

第 22 回  
文京区政に関する世論調査

平成 24 年 12 月

文 京 区

## はじめに

文京区では、平成22年6月に「文京区基本構想～歴史と文化と緑に育まれた、みんなが主役のまち『文の京』」を策定し、これに沿って総合的かつ計画的な区政運営を進めてまいりました。

来年度は、平成26年度を初年度とする新たな「基本構想実施計画」を策定してまいります。本計画は、現行の基本構想に基づく第2回目の計画であり、各分野における個別課題やこれまでの基本構想実現度評価の結果等を踏まえ、基本構想に掲げた分野ごとの将来像の実現に向けた効果的かつ実効性の高い計画を、区民の皆様との協働により策定してまいります。

このため、区では、区政を話し合う集い、広聴はがき、区民の声（ホームページ）など各種の広聴活動を行い、区民の皆様のご意見、ご要望の把握に努めております。

今回、この広聴活動の一環として、第22回の世論調査を実施いたしました。今回の調査では、「定住意向」「区政運営」「協働・協治」「防災・安全・まちづくり」「コミュニティ」「子育て・教育」「障害者」「商店街・産業（消費者相談）」「文化振興」「循環型社会」「議会」「広報」の12項目について調査しました。この調査結果につきましては、今後の区政運営の貴重な基礎資料として活用させていただきます。

おわりに、調査にご協力いただきました区民の皆様にご心からお礼申し上げます。

平成24年12月

文京区長 成澤 廣修

# 目次

<b>I 調査の概要</b> .....	1
1. 調査の目的.....	3
2. 調査の内容.....	3
3. 調査の設計.....	3
4. 調査方法.....	3
5. 回収結果.....	4
6. 地区区分.....	4
7. 集計にあたって.....	5
8. 分析にあたって.....	6
9. 母集団との比較.....	6
10. 回答者の特性.....	7
<b>II 調査結果の分析</b> .....	9
<b>1 定住意向</b> .....	11
1-1 居住年数.....	13
1-2 定住・転出意向.....	14
1-3 住み続けたい理由.....	16
<b>2 区政運営</b> .....	19
2-1 満足に感じている区の施策.....	21
2-2 不満に感じている区の施策.....	24
2-3 さらに力を入れてほしい区の施策.....	27
2-4 区の財政状況に対する関心.....	29
2-5 区の財政状況に対する印象.....	32
2-6 厳しい経済状況の中でも財政の健全化を進めていくために必要なこと.....	36
<b>3 協働・協治</b> .....	39
3-1 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度.....	41
3-2 参加している団体・組織・グループ.....	43
3-3 参加している団体・組織・グループの活動分野.....	46
3-4 今後参加してみたい地域活動.....	49
<b>4 防災・安全・まちづくり</b> .....	53
4-1 災害への備え.....	55
4-2 防災事業の利用度・参加度.....	58
4-3 暴力団排除条例の認知度.....	63
4-4 安心・防災メールの配信内容.....	66
4-5 有用な防犯対策.....	69
4-6 自転車の安全利用施策.....	73
4-7 周辺地域のまち並み・景観.....	76
4-8 良いと思うまち並み・景観.....	79

4-9	文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例の認知度	82
<b>5</b>	<b>コミュニティ</b>	<b>85</b>
5-1	町会・自治会への加入状況	87
5-2	町会・自治会活動への参加意向	90
5-3	町会・自治会に期待すること	94
<b>6</b>	<b>子育て・教育</b>	<b>99</b>
6-1	子育て支援のために取り組むべき施策	101
6-2	子育て支援サービス	105
6-3	青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと	112
6-4	学校支援活動	115
<b>7</b>	<b>障害者</b>	<b>121</b>
7-1	ノーマライゼーションの認知度	123
7-2	ノーマライゼーションの浸透度	125
7-3	ノーマライゼーションを定着させるための施策	127
<b>8</b>	<b>商店街・産業（消費者相談）</b>	<b>131</b>
8-1	消費者相談コーナーの認知度	133
<b>9</b>	<b>文化振興</b>	<b>135</b>
9-1	参加してみたい講座	137
9-2	生涯学習情報の入手方法	140
<b>10</b>	<b>循環型社会</b>	<b>143</b>
10-1	地域生活での環境について関心のあるテーマ	145
10-2	文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）の認知度	148
10-3	文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）実現に向けて実践すべきもの	150
<b>11</b>	<b>議会</b>	<b>153</b>
11-1	区議会の活動の認知媒体	155
11-2	区議会の活動として期待すること	157
11-3	区議会ホームページの閲覧頻度	159
<b>12</b>	<b>広報</b>	<b>161</b>
12-1	ケーブルテレビにあれば良いと思う番組	163
<b>Ⅲ</b>	<b>使用した調査票</b>	<b>165</b>

# I 調査の概要



## 1. 調査の目的

本調査は、区民の区政に対する意識や意向、意見や要望等を統計的手法によつて的確に把握することを目的として行った。

## 2. 調査の内容

第22回文京区政に関する世論調査は、「区政全般」をテーマとし、次の12項目について調査した。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| (1) 定住意向        | (7) 障害者           |
| (2) 区政運営        | (8) 商店街・産業（消費者相談） |
| (3) 協働・協治       | (9) 文化振興          |
| (4) 防災・安全・まちづくり | (10) 循環型社会        |
| (5) コミュニティ      | (11) 議会           |
| (6) 子育て・教育      | (12) 広報           |

## 3. 調査の設計

- (1) 調査地域 文京区全域
- (2) 調査対象 文京区在住の満20歳以上の個人
- (3) 標本数 1,300 サンプル
- (4) 対象者の抽出
  - ①母集団…文京区住民基本台帳（区の電算機により個人まで抽出）
  - ②地点数…130地点（1地点10票）
  - ③抽出方法…層化2段無作為抽出法（層化→地点抽出→対象者抽出）
  - ④層化…次のページの5地区に層化
  - ⑤地点数配分…1地点が10票となるように、各地区の調査対象者に応じて地点数を比例配分した（合計130地点）
  - ⑥地点抽出…各地区ごとの地点数に応じてインターバルを定め、等サイズブロック抽出法にしたがい、無作為系統的に各地点の抽出スタート点を決めて地点を抽出した。
  - ⑦対象者抽出…抽出された各地点のスタート点より、1地点10票ずつのサンプルを無作為系統的に抽出した。
- (5) 調査期間 平成24年8月20日～9月5日
- (6) 調査機関 株式会社タイム・エージェント

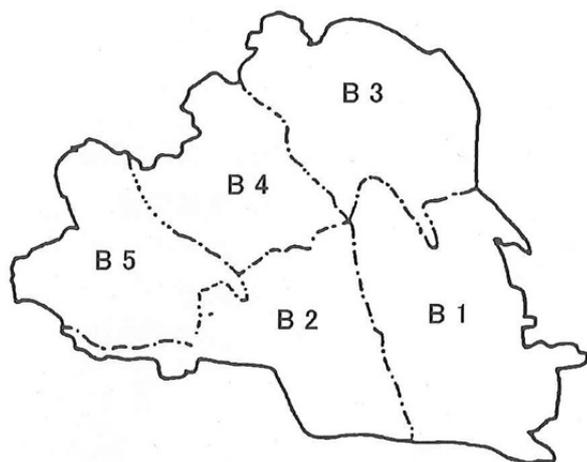
## 4. 調査方法

- (1) 調査方法 郵送留置配布・調査員による訪問回収
- (2) 調査票 巻末に折り込んだ調査票を使用した。

## 5. 回収結果

	満20歳以上人口（構成比）	地点数	標本数	有効回収数	有効回収率
区全体	165,564 (100.0%)	130	1,300	1,009	77.6%
B 1 地区	39,825 (24.1%)	31	310	233	75.2%
B 2 地区	31,720 (19.2%)	25	250	198	79.2%
B 3 地区	41,953 (25.3%)	33	330	254	77.0%
B 4 地区	27,646 (16.7%)	22	220	171	77.7%
B 5 地区	24,420 (14.7%)	19	190	152	80.0%
地区不明	—	—	—	1	100.0%

## 6. 地区区分



地区	該当町(丁目)名
B 1	根津、弥生、本郷、湯島、西片、白山(一丁目)、向丘(一丁目)
B 2	後楽、春日、水道、小石川(一、二、三、四丁目)、関口(一丁目)、小日向(一丁目)、白山(二丁目)
B 3	千駄木、本駒込、向丘(二丁目)、白山(五丁目)
B 4	千石、白山(三、四丁目)、大塚(三、四丁目)、小石川(五丁目)
B 5	音羽、目白台、大塚(一、二、五、六丁目)、関口(二、三丁目)、小日向(二、三、四丁目)

## 7. 集計にあたって

- (1) 図表中の「n」(number of case の略) は各設問の回答者数を示し、比率算出の基数である。したがって、複数回答の設問では、すべての比率を合計すると 100.0%を超える。
- (2) 集計は小数点第2位を四捨五入して算出した。したがって、回答比率を合計しても 100.0% ちょうどにならず、1%の範囲で増減することがある。
- (3) 回答の比率(%)は、その設問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100.0%を超える。
- (4) 集計は、①単純集計、②フェイスシートとのクロス集計、③設問間のクロス集計の3種類を行った。
- (5) 標本誤差は (b) は次の式で得られ、①比率算出の基数 (n)、②回答の比率 (P) によって誤差幅が異なる。

$$b = 2 \sqrt{2 \times \frac{N - n}{N - 1} \times \frac{P(1 - P)}{n}}$$

b = 標本誤差 (二段抽出の場合)

N = 母集団数

n = 比率算出の基数 (サンプル数)

P = 回答の比率

今回の調査結果の場合、誤差および信頼の範囲は下表のとおりであり、「ある設問の回答者数が 1,009 人で、その設問中の選択肢の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は、最高でも ±1.5%である」というようにみる。

回答比率 (P) 基数 (n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,009	±0.9%	±1.2%	±1.4%	±1.5%	±1.5%
900	±1.1%	±1.5%	±1.7%	±1.8%	±1.8%
800	±1.3%	±1.8%	±2.0%	±2.1%	±2.2%
600	±1.8%	±2.4%	±2.7%	±2.9%	±3.0%
400	±2.5%	±3.3%	±3.8%	±4.1%	±4.2%
200	±3.9%	±5.2%	±6.0%	±6.4%	±6.5%
100	±5.8%	±7.7%	±8.8%	±9.4%	±9.6%

(注)  $\frac{N-n}{N-1} \cong 1$  として計算した

## 8. 分析にあたって

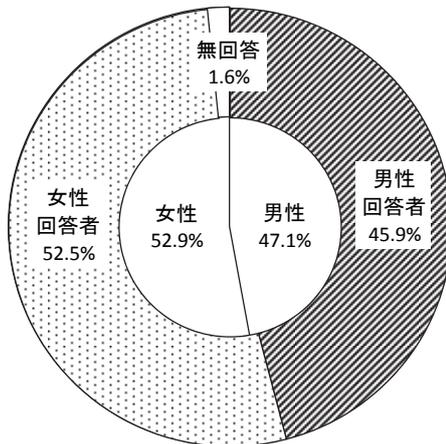
- (1) グラフ・数表上の選択肢表記は、場合によっては語句を簡略化してある。
- (2) クロス結果の帯のグラフや表について、表側（分析の軸）となる設問に「無回答」がある場合、これを表示しない。ただし、全体の件数には含めているので、表側のカテゴリーの件数の合計が、全体の件数と一致しないことがある。
- (3) 複数回答におけるクロス結果の棒グラフは、上位 10 項目または 5 項目に限定している場合があり、その際「その他」は対象から除き表示していない。
- (4) ライフステージの分類は以下のとおりである。
  - A. 独 身 期 40 歳未満の独身者
  - B. 家族形成期 40 歳未満の子どもがいない夫婦、または一番上の子どもが就学前の人
  - C. 家族成長前期 一番上の子どもが小・中学生の人
  - D. 家族成長後期 一番上の子どもが高校・大学生の人
  - E. 家族成熟期 64 歳以下で一番上の子どもが学校を卒業している人
  - F. 老 齢 期 65 歳以上の人
  - G. そ の 他 40～64 歳の独身者、40～64 歳の子どもがいない夫婦など

## 9. 母集団との比較

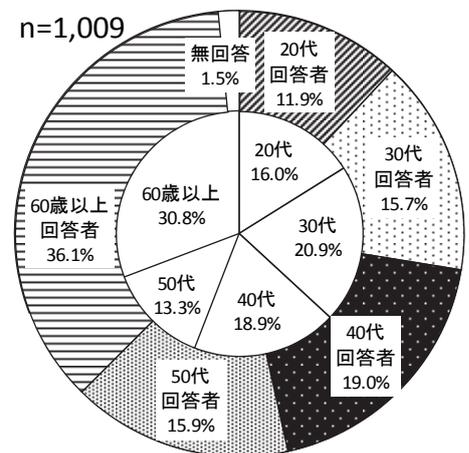
母集団（文京区住民基本台帳上の満 20 歳以上の人）と比べた調査回答者の男女構成は、一部無回答があるものの、ほぼ同じ傾向となった。

また、調査回答者の年代構成をみると、20 代が少なく、40 代が多いという結果となった。

(1) 性別構成



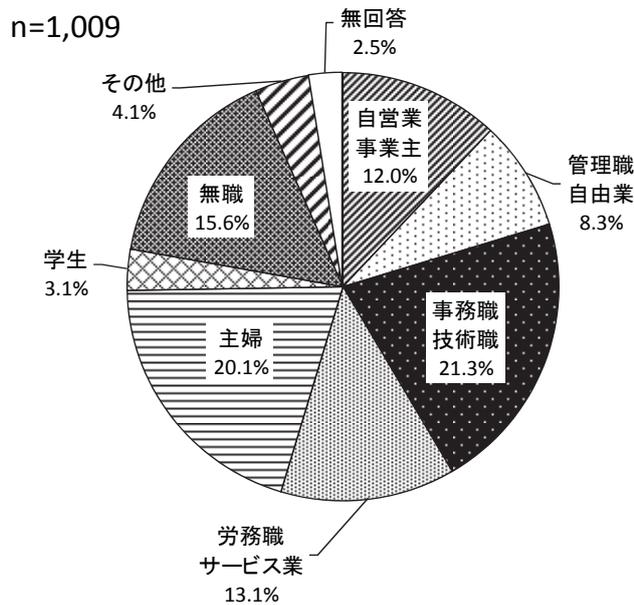
(2) 年代構成



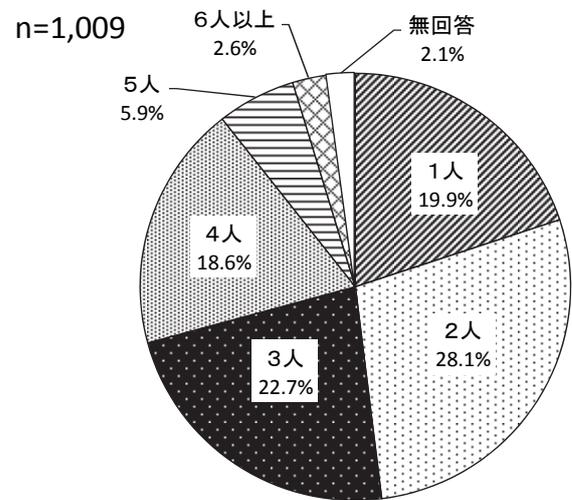
(注) 内円は母集団、外円は調査回答者の構成比を示している。

## 10. 回答者の特性

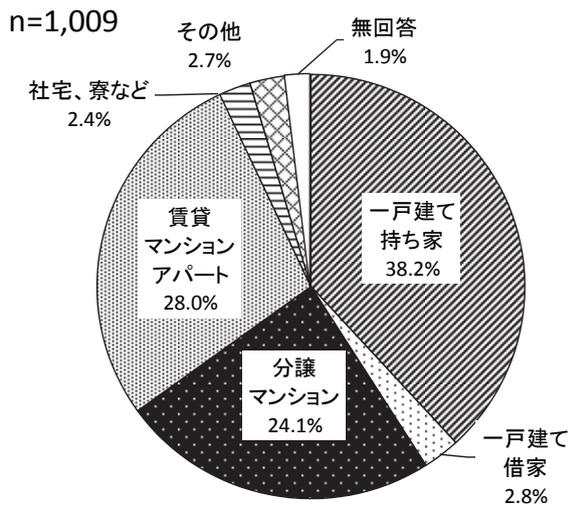
(1) 職業



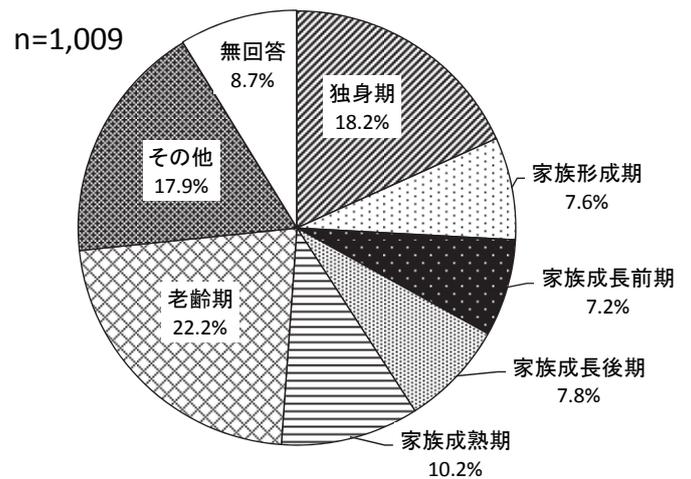
(2) 家族人数



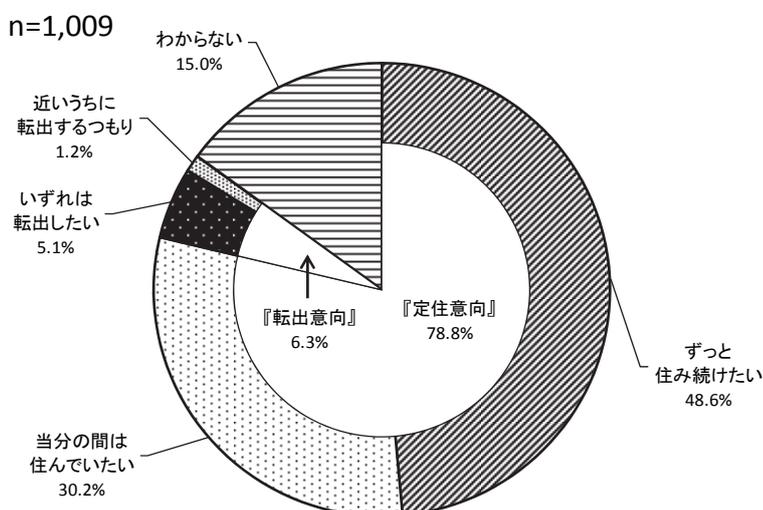
(3) 住居形態



(4) ライフステージ



(5) 定住意向





## Ⅱ 調査結果の分析



# 1. 定住意向

- 
- 1 - 1 居住年数
  - 1 - 2 定住・転出意向
  - 1 - 3 住み続けたい理由
-

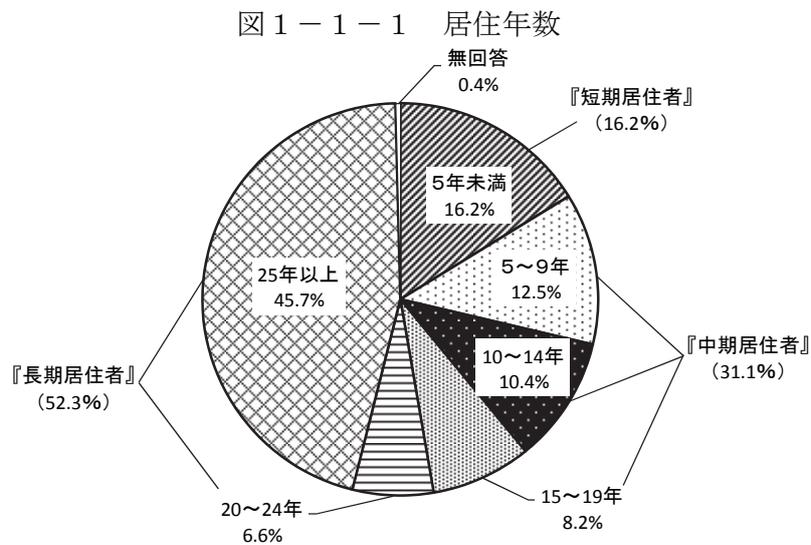


# 1 定住意向

## 1-1 居住年数

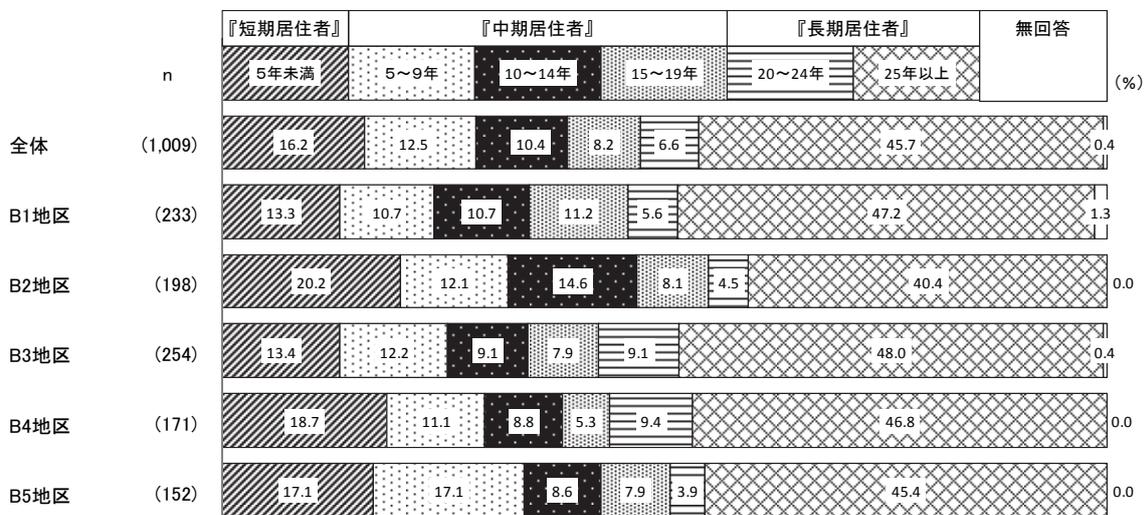
問1 あなたは、文京区にお住まいになって何年になりますか。1つお選びください。 (n=1,009)

1	5年未満	(16.2%)	4	15~19年	(8.2%)
2	5~9年	(12.5%)	5	20~24年	(6.6%)
3	10~14年	(10.4%)	6	25年以上	(45.7%)
無回答 (0.4%)					



居住年数を聞いたところ、居住年数「5年未満」の『短期居住者』(16.2%)が1割半ば、「5~9年」(12.5%)、「10~14年」(10.4%)、「15~19年」(8.2%)を合わせた『中期居住者』(31.1%)が3割を超え、「20~24年」(6.6%)と「25年以上」(45.7%)を合わせた『長期居住者』(52.3%)が5割を超えている。(図1-1-1)

図1-1-2 居住年数-地区別



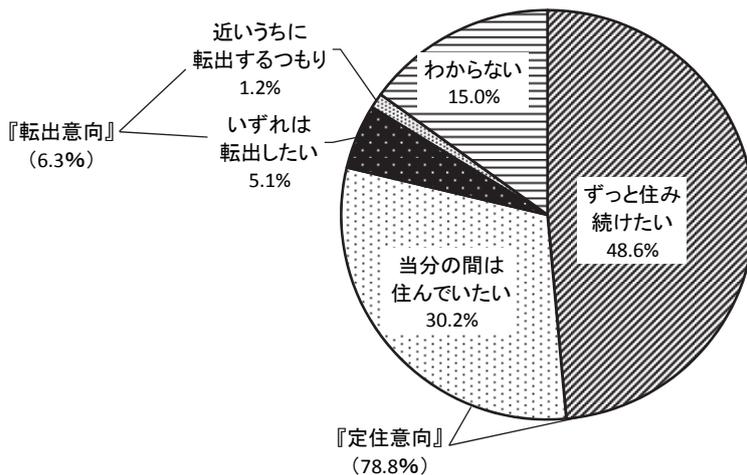
地区別にみると、『中期居住者』はブロック2で3割半ば、『長期居住者』はブロック3で6割近くと多くなっている。(図1-1-2)

## 1-2 定住・転出意向

問2 あなたは、これからも文京区に住み続けたいと思いますか。1つお選びください。(n=1,009)

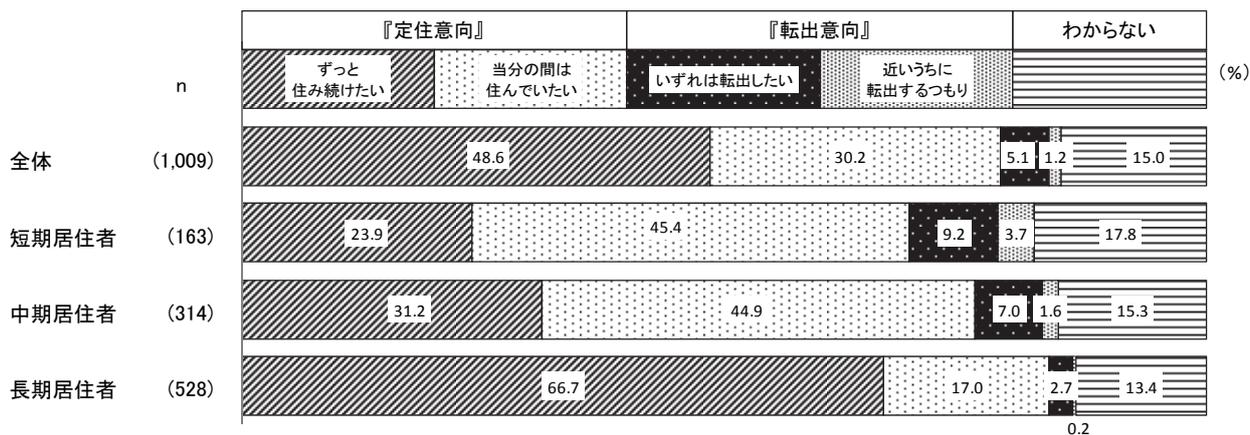
1 ずっと住み続けたい	(48.6%)	3 いずれは転出したい	(5.1%)
2 当分の間は住んでいたい	(30.2%)	4 近いうちに転出するつもり	(1.2%)
		5 わからない	(15.0%)

図1-2-1 定住・転出意向



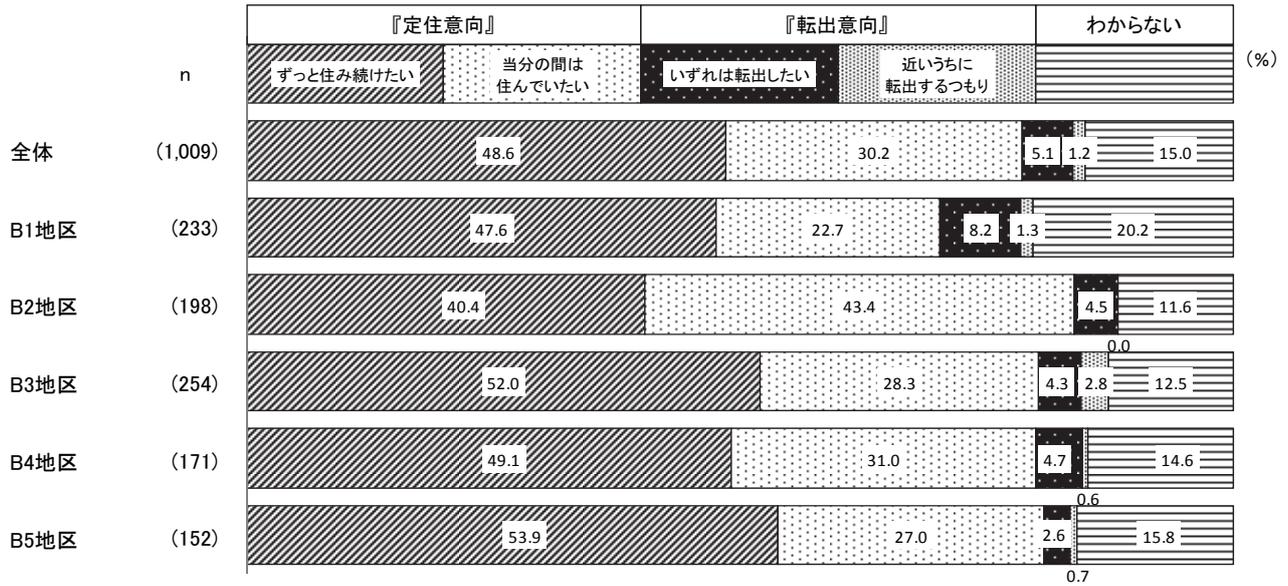
定住・転出意向を聞いたところ、これからも引き続き文京区に「ずっと住み続けたい」(48.6%)が5割近くと最も多く、これに「当分の間は住んでいたい」(30.2%)を合わせた『定住意向』(78.8%)が8割近くとなっている。一方、「いずれは転出したい」(5.1%)と「近いうちに転出するつもり」(1.2%)を合わせた『転出意向』(6.3%)は1割に満たない。(図1-2-1)

図1-2-2 定住・転出意向－居住年数別



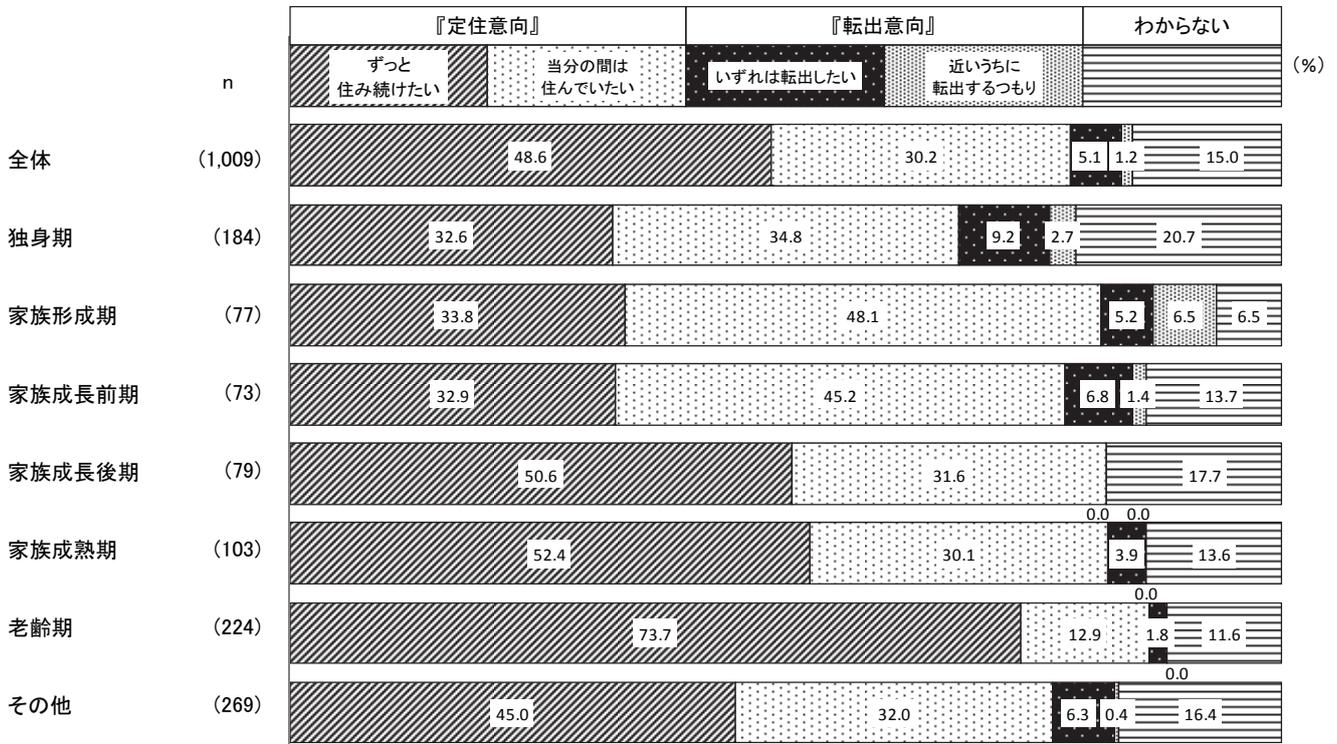
居住年数別にみると、「ずっと住み続けたい」は居住年数が長いほど割合が高い傾向にあり、長期居住者では6割半ばと特に多くなっている。また、『定住意向』はいずれの居住年数でも6割以上を占めており、長期居住者では8割以上と特に多くなっている。(図1-2-2)

図 1-2-3 定住・転出意向—地区別



地区別にみると、『定住意向』はブロック 1 を除く全ての地区で 8 割を超え多くなっている。(図 1-2-3)

図 1-2-4 定住・転出意向—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「ずっと住み続けたい」は老齢期で 7 割を超え、家族成長後期及び家族成熟期では 5 割を超え多く、『定住意向』では家族形成期、家族成長後期、家族成熟期及び老齢期で 8 割を超え、老齢期では 8 割半ばと特に多くなっている。(図 1-2-4)

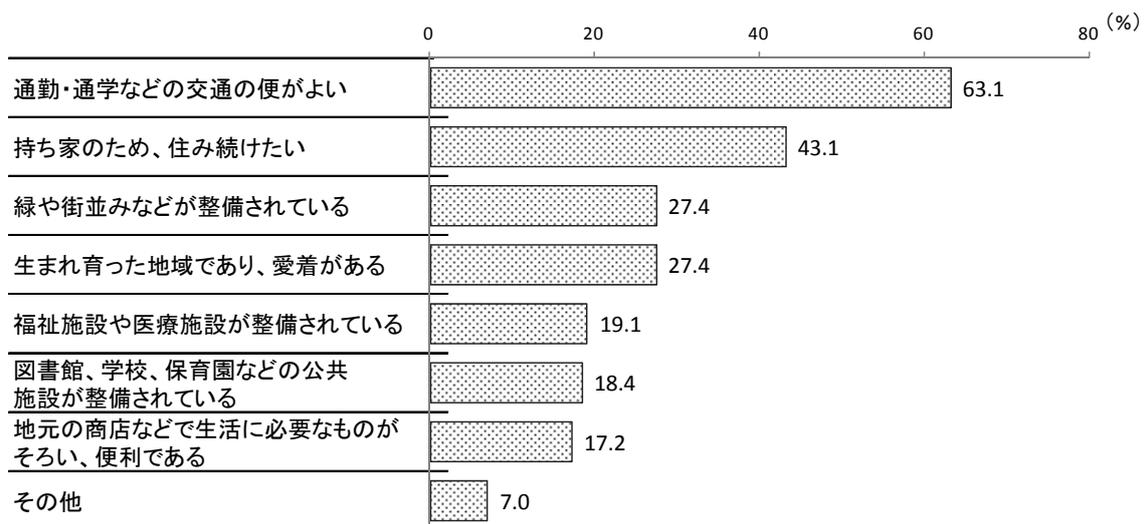
### 1-3 住み続けたい理由

(問2で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます)

問2-1 住み続けたいと思う理由を3つ以内でお選びください。 (n=795)

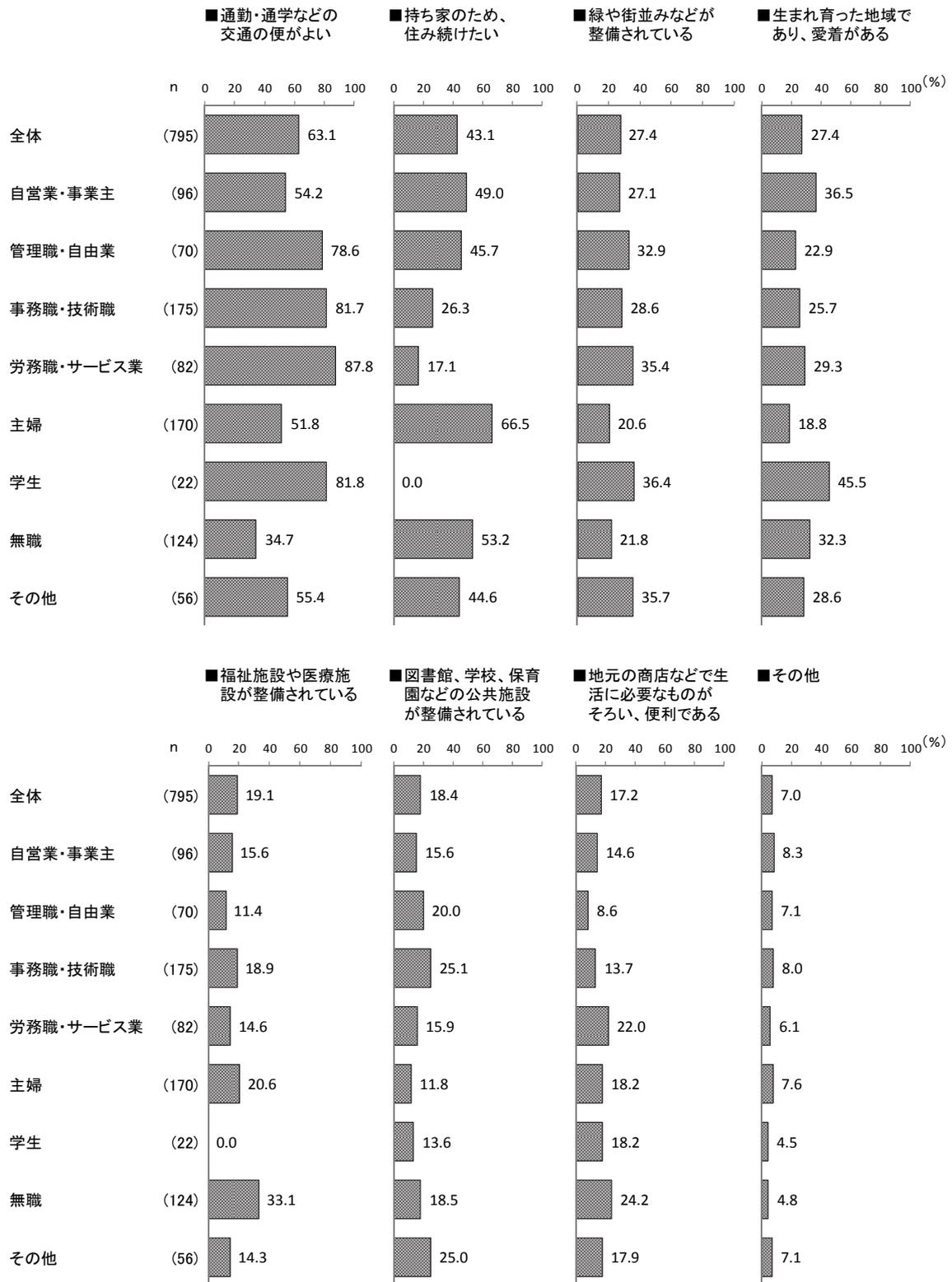
1 通勤・通学などの交通の便がよい	(63.1%)
2 緑や街並みなどが整備されている	(27.4%)
3 図書館、学校、保育園などの公共施設が整備されている	(18.4%)
4 福祉施設や医療施設が整備されている	(19.1%)
5 地元の商店などで生活に必要なものがそろい、便利である	(17.2%)
6 生まれ育った地域であり、愛着がある	(27.4%)
7 持ち家のため、住み続けたい	(43.1%)
8 その他	(7.0%)

図1-3-1 住み続けたい理由



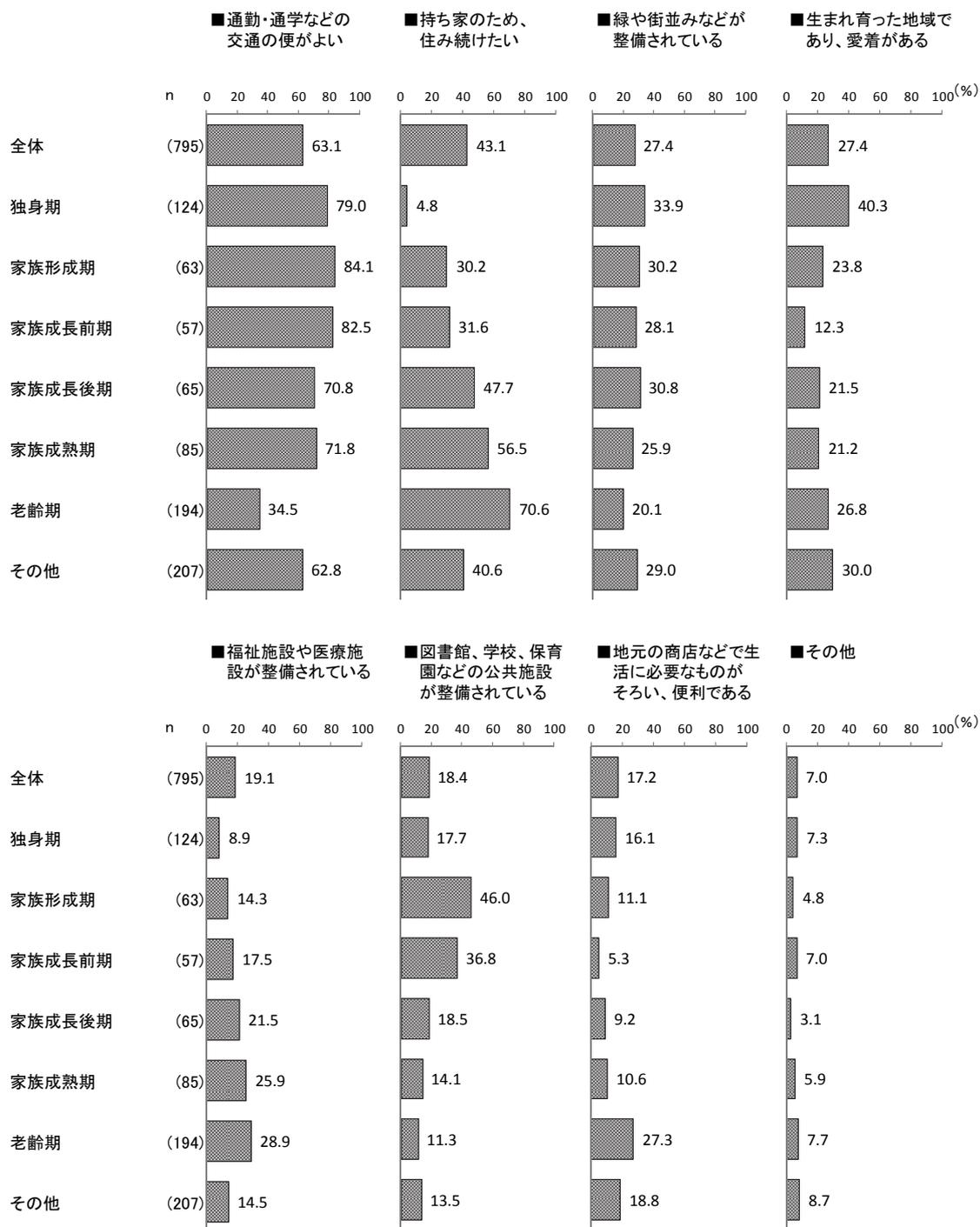
これからも文京区に「ずっと住み続けたい」または「当分の間は住んでいたい」と答えた人(795人)に、住み続けたい理由を聞いたところ、「通勤・通学などの交通の便がよい」(63.1%)が6割を超え最も多く、次いで「持ち家のため、住み続けたい」(43.1%)、「緑や街並みなどが整備されている」(27.4%)、「生まれ育った地域であり、愛着がある」(27.4%)などの順となっている。(図1-3-1)

図1-3-2 住み続けたい理由—職業別



職業別にみると、「通勤・通学などの交通の便がよい」は労務職・サービス業で9割近く、事務職・技術職と学生でともに8割を超え、管理職・自由業で8割近くと多くなっている。「持ち家のため、住み続けたい」は主婦で6割半ば、「生まれ育った地域であり、愛着がある」は学生で4割半ばと多く、「緑や街並みなどが整備されている」は学生で3割半ば、「福祉施設や医療施設が整備されている」は無職で3割を超え多くなっている。(図1-3-2)

図1-3-3 住みたい理由—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「通勤・通学などの交通の便がよい」は家族形成期で8割半ば、「持ち家のため、住みたい」は老齢期では7割を超え、家族成熟期で5割半ばと多くなっている。「図書館、学校、保育園などの公共施設が整備されている」は家族形成期で4割半ば、「生まれ育った地域であり、愛着がある」は独身期で4割を超え多くなっている。(図1-3-3)

## 2. 区政運営

- 
- 2-1 満足に感じている区の施策
  - 2-2 不満に感じている区の施策
  - 2-3 さらに力を入れてほしい区の施策
  - 2-4 区の財政状況に対する関心
  - 2-5 区の財政状況に対する印象
  - 2-6 厳しい経済状況の中でも財政の健全化を進めていくために必要なこと
-



## 2 区政運営

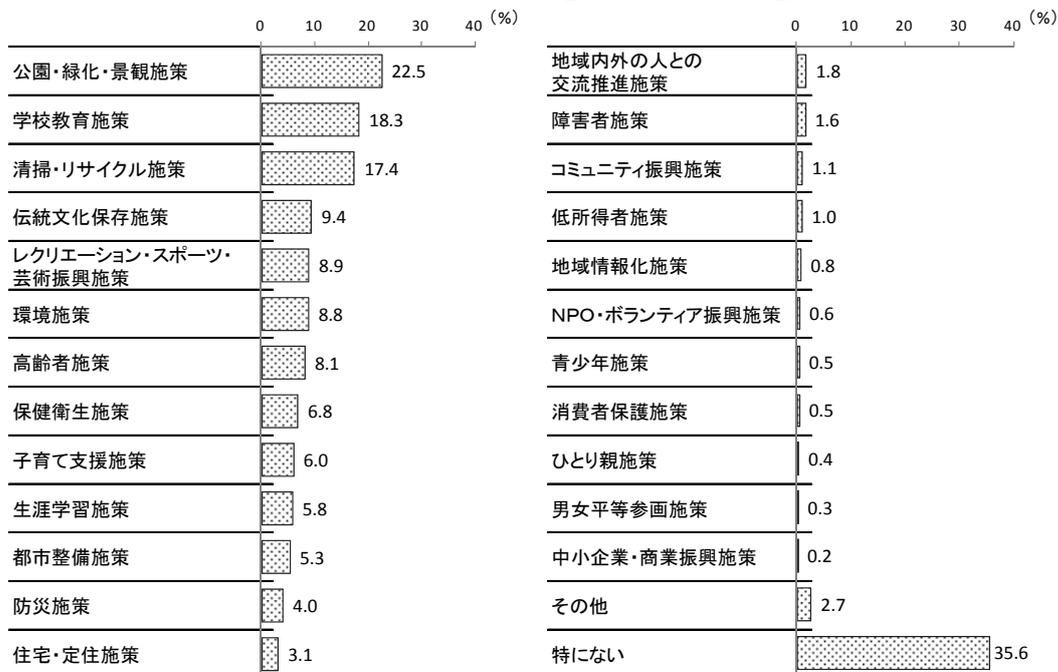
### 2-1 満足に感じている区の施策

問3 次の区の施策のうち、あなたが満足に感じているものを、3つ以内でお選びください。

(n = 1,009)

1 学校教育施策	(18.3%)	14 都市整備施策	(5.3%)
2 生涯学習施策	(5.8%)	15 清掃・リサイクル施策	(17.4%)
3 レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	(8.9%)	16 環境施策	(8.8%)
4 伝統文化保存施策	(9.4%)	17 住宅・定住施策	(3.1%)
5 地域内外の人との交流推進施策	(1.8%)	18 公園・緑化・景観施策	(22.5%)
6 保健衛生施策	(6.8%)	19 防災施策	(4.0%)
7 子育て支援施策	(6.0%)	20 コミュニティ振興施策	(1.1%)
8 高齢者施策	(8.1%)	21 NPO・ボランティア振興施策	(0.6%)
9 障害者施策	(1.6%)	22 中小企業・商業振興施策	(0.2%)
10 ひとり親施策	(0.4%)	23 消費者保護施策	(0.5%)
11 低所得者施策	(1.0%)	24 地域情報化施策	(0.8%)
12 青少年施策	(0.5%)	25 その他	(2.7%)
13 男女平等参画施策	(0.3%)	26 特にない	(35.6%)

図2-1-1 満足に感じている区の施策



満足に感じている区の施策について聞いたところ、「公園・緑化・景観施策」(22.5%)が2割を超え最も多く、次いで「学校教育施策」(18.3%)、「清掃・リサイクル施策」(17.4%)などの順となっている。また、「特にない」(35.6%)が3割半ばを超えている。(図2-1-1)

表2-1-1 満足に感じている区の施策一性・年代別（上位5位）

(%)

順位 属性	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1,009	公園・緑化・景観施策 22.5	学校教育施策 18.3	清掃・リサイクル施策 17.4	伝統文化保存施策 9.4	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 8.9
男性(計)	463	公園・緑化・景観施策 21.4	学校教育施策 18.6	清掃・リサイクル施策 17.7	伝統文化保存施策 11.2	環境施策 9.7
20代	51	公園・緑化・景観施策 19.6	学校教育施策 / 清掃・リサイクル施策 17.6	環境施策 9.8	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 7.8	
30代	74	公園・緑化・景観施策 29.7	学校教育施策 23.0	子育て支援施策 13.5	伝統文化保存施策 12.2	保健衛生施策 / 清掃・リサイクル施策 10.8
40代	99	学校教育施策 21.2	公園・緑化・景観施策 17.2	清掃・リサイクル施策 14.1	伝統文化保存施策 12.1	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 10.1
50代	72	学校教育施策 22.2	伝統文化保存施策 / 公園・緑化・景観施策 18.1	清掃・リサイクル施策 16.7	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 12.5	
60歳以上	166	清掃・リサイクル施策 23.5	公園・緑化・景観施策 22.3	高齢者施策 16.3	学校教育施策 13.9	保健衛生施策 10.8
年代不明	1	都市整備施策 / 環境施策 100				
女性(計)	530	公園・緑化・景観施策 23.2	学校教育施策 18.3	清掃・リサイクル施策 17.7	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 8.3	伝統文化保存施策 7.9
20代	69	公園・緑化・景観施策 26.1	学校教育施策 24.6	清掃・リサイクル施策 17.4	保健衛生施策 10.1	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 8.7
30代	84	学校教育施策 / 清掃・リサイクル施策 / 公園・緑化・景観施策 20.2	子育て支援施策 11.9	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 15.1	清掃・リサイクル施策 14.0	子育て支援施策 11.8
40代	93	公園・緑化・景観施策 28.0	学校教育施策 23.7	清掃・リサイクル施策 17.0	子育て支援施策 9.1	生涯学習施策 6.8
50代	88	公園・緑化・景観施策 20.5	学校教育施策 / 清掃・リサイクル施策 19.0	高齢者施策 16.4	学校教育施策 13.3	環境施策 10.8
60歳以上	195	公園・緑化・景観施策 22.6	清掃・リサイクル施策 19.0	高齢者施策 16.4	学校教育施策 13.3	環境施策 10.8
年代不明	1	地域内外の人との交流推進施策 / 高齢者施策 100				
性別不明	16	高齢者施策 / 公園・緑化・景観施策 31.3	環境施策 25.0	地域内外の人との 交流推進施策 18.8	学校教育施策 / 生涯学習 施策 / レクリエーション・ス ポーツ・芸術振興施策 12.5	

性別に上位5位で見ると、男女いずれも「公園・緑化・景観施策」は1位、「学校教育施策」は2位、「清掃・リサイクル施策」は3位となっている。

また、性・年代別に上位5位で見ると、男性30代で「公園・緑化・景観施策」が29.7%と最も高い割合となっている。男女とも60歳以上で「高齢者施策」が3位となっている。(表2-1-1)

表 2-1-2 満足に感じている区の施策－ライフステージ別（上位 5 位）

		(%)				
属性	順位 n	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1,009	公園・緑化・景観施策 22.5	学校教育施策 18.3	清掃・リサイクル施策 17.4	伝統文化保存施策 9.4	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 8.9
独身期	184	公園・緑化・景観施策 25.5	学校教育施策 17.4	清掃・リサイクル施策 16.8	伝統文化保存施策 8.7	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 8.2
家族形成期	77	学校教育施策 27.3	子育て支援施策／公園・緑化・景観施策 23.4	清掃・リサイクル施策 15.6	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策／ 保健衛生施策 9.1	
家族成長前期	73	学校教育施策 39.7	公園・緑化・景観施策 23.3	子育て支援施策 21.9	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 13.7	伝統文化保存施策／ 清掃・リサイクル施策 12.3
家族成長後期	79	学校教育施策 30.4	公園・緑化・景観施策 19.0	清掃・リサイクル施策 17.7	伝統文化保存施策 15.2	生涯学習施策／ レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 10.1
家族成熟期	103	清掃・リサイクル施策 24.3	公園・緑化・景観施策 18.4	学校教育施策／環境施策 15.5	保健衛生施策 9.7	
高齢期	224	公園・緑化・景観施策 23.2	清掃・リサイクル施策 20.1	高齢者施策 19.6	学校教育施策 14.7	保健衛生施策 9.4
その他	269	公園・緑化・景観施策 21.9	清掃・リサイクル施策 14.9	学校教育施策 11.2	レクリエーション・スポーツ・ 芸術振興施策 10.0	伝統文化保存施策 9.7

ライフステージ別に上位 5 位でみると、「公園・緑化・景観施策」はすべてのライフステージで 2 位以内になっており、家族成長後期・家族成熟期を除き 2 割を超えている。「学校教育施策」は家族形成期、家族成長前期、家族成長後期で 1 位になっており、家族成長前期ではほぼ 4 割と多くなっている。（表 2-1-2）

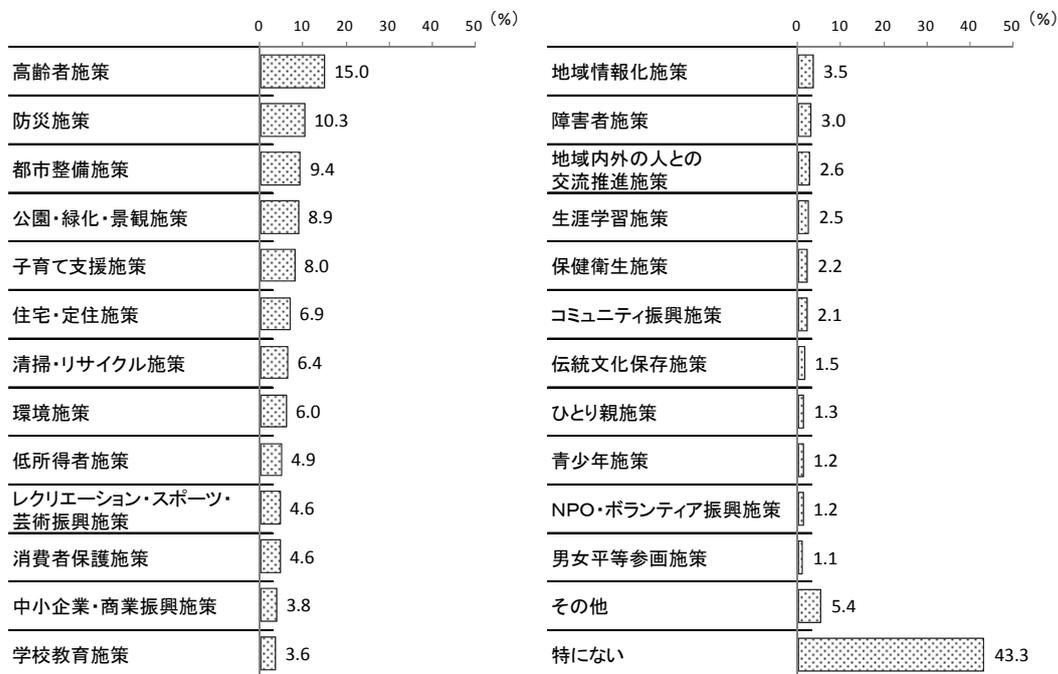
## 2-2 不満に感じている区の施策

問4 次の区の施策のうち、あなたが不満に感じているものを、3つ以内でお選びください。

(n = 1,009)

1 学校教育施策	(3.6%)	14 都市整備施策	(9.4%)
2 生涯学習施策	(2.5%)	15 清掃・リサイクル施策	(6.4%)
3 レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	(4.6%)	16 環境施策	(6.0%)
4 伝統文化保存施策	(1.5%)	17 住宅・定住施策	(6.9%)
5 地域内外の人との交流推進施策	(2.6%)	18 公園・緑化・景観施策	(8.9%)
6 保健衛生施策	(2.2%)	19 防災施策	(10.3%)
7 子育て支援施策	(8.0%)	20 コミュニティ振興施策	(2.1%)
8 高齢者施策	(15.0%)	21 NPO・ボランティア振興施策	(1.2%)
9 障害者施策	(3.0%)	22 中小企業・商業振興施策	(3.8%)
10 ひとり親施策	(1.3%)	23 消費者保護施策	(4.6%)
11 低所得者施策	(4.9%)	24 地域情報化施策	(3.5%)
12 青少年施策	(1.2%)	25 その他	(5.4%)
13 男女平等参画施策	(1.1%)	26 特にない	(43.3%)

図2-2-1 不満に感じている区の施策



不満に感じている区の施策について聞いたところ、「高齢者施策」(15.0%)が1割半ばと最も多く、次いで「防災施策」(10.3%)、「都市整備施策」(9.4%)、「公園・緑化・景観施策」(8.9%)などの順となっている。また、「特にない」(43.3%)が4割を超えている。(図2-2-1)

表 2-2-1 不満に感じている区の施策一性・年代別（上位5位）

(%)

属性	順位	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体		1,009	高齢者施策 15.0	防災施策 10.3	都市整備施策 9.4	公園・緑化・景観施策 8.9	子育て支援施策 8.0
男性(計)		463	高齢者施策 13.4	防災施策 11.2	都市整備施策／公園・緑化・景観施策	10.8	住宅・定住施策 8.4
	20代	51	都市整備施策 13.7	公園・緑化・景観施策 11.8	レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策／ 清掃・リサイクル施策	5.9	伝統文化保存施策／青少年 施策／環境施策／NPO・ボ ランティア振興施策／中小企 業・商業振興施策／消費者 保護施策／地域情報化施策 3.9
	30代	74	子育て支援施策 16.2	公園・緑化・景観施策 12.2	都市整備施策 10.8	住宅・定住施策 9.5	防災施策／ 消費者保護施策 6.8
	40代	99	公園・緑化・景観施策 15.2	防災施策 13.1	住宅・定住施策 12.1	子育て支援施策 11.1	都市整備施策／ 清掃・リサイクル施策 10.1
	50代	72	高齢者施策 19.4	防災施策 15.3	都市整備施策 12.5	学校教育施策 ／ レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策 ／ 中小企業・商業振興施策	6.9
	60歳以上	166	高齢者施策 24.1	防災施策 13.3	公園・緑化・景観施策 10.8	都市整備施策 9.6	住宅・定住施策 9.0
	年代不明	1	-	-	-	-	-
女性(計)		530	高齢者施策 16.0	防災施策 9.8	都市整備施策 8.3	子育て支援施策 7.9	公園・緑化・景観施策 7.5
	20代	69	高齢者施策 10.1	障害者施策 8.7	子育て支援施策／防災施策	7.2	都市整備施策／ 消費者保護施策 4.3
	30代	84	子育て支援施策 17.9	都市整備施策／公園・緑化・景観施策	9.5	環境施策 8.3	清掃・リサイクル施策 ／ 住宅・定住施策 7.1
	40代	93	公園・緑化・景観施策 15.1	子育て支援施策 14.0	高齢者施策 10.8	都市整備施策 9.7	清掃・リサイクル施策 ／ 環境施策／防災施策 7.5
	50代	88	高齢者施策 19.3	防災施策 17.0	都市整備施策 10.2	公園・緑化・景観施策 9.1	清掃・リサイクル施策 8.0
	60歳以上	195	高齢者施策 25.1	防災施策 9.7	低所得者施策 8.2	都市整備施策 7.7	消費者保護施策 7.2
	年代不明	1	防災施策 100	-	-	-	-
性別不明		16	高齢者施策 25.0	子育て支援施策／レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策／生涯学習施策	18.8	清掃・リサイクル施策 ／ 障害者施策	12.5

性別に上位5位で見ると、男女いずれも「高齢者施策」は1位、「防災施策」は2位、「都市整備施策」は3位となっている。

また、性・年代別に上位5位で見ると、男性40代以上では「防災対策」をあげる割合が高くなっている。女性30代では「子育て支援施策」が17.9%と他の性・年代に比べ高い割合となっている。

(表 2-2-1)

表2-2-2 不満に感じている区の施策－ライフステージ別（上位5位）

(%)

順位 属性	n	1位	2位	3位	4位	5位
全体	1,009	高齢者施策 15.0	防災施策 10.3	都市整備施策 9.4	公園・緑化・景観施策 8.9	子育て支援施策 8.0
独身期	184	都市整備施策 8.2	公園・緑化・景観施策 7.1	清掃・リサイクル施策 / 防災施策 5.4		高齢者施策 / 低所得者施策 環境施策 4.3
家族形成期	77	子育て支援施策 28.6	公園・緑化・景観施策 16.9	防災施策 13.0	住宅・定住施策 11.7	都市整備施策 10.4
家族成長前期	73	子育て支援施策 23.3	公園・緑化・景観施策 16.4	住宅・定住施策 / 防災施策 15.1		高齢者施策 12.3
家族成長後期	79	高齢者施策 15.2	防災施策 12.7	学校教育施策 / 環境施策 10.1		子育て支援施策 / 都市整備施策 / 住宅・定住施策 8.9
家族成熟期	103	防災施策 19.4	高齢者施策 17.5	公園・緑化・景観施策 14.6	都市整備施策 12.6	住宅・定住施策 7.8
老齢期	224	高齢者施策 24.6	都市整備施策 11.2	防災施策 9.4	清掃・リサイクル施策 7.6	環境施策 7.1
その他	269	高齢者施策 17.5	防災施策 8.2	都市整備施策 / 低所得者施策 7.4		子育て支援施策 / 清掃・リサイクル施策 7.1

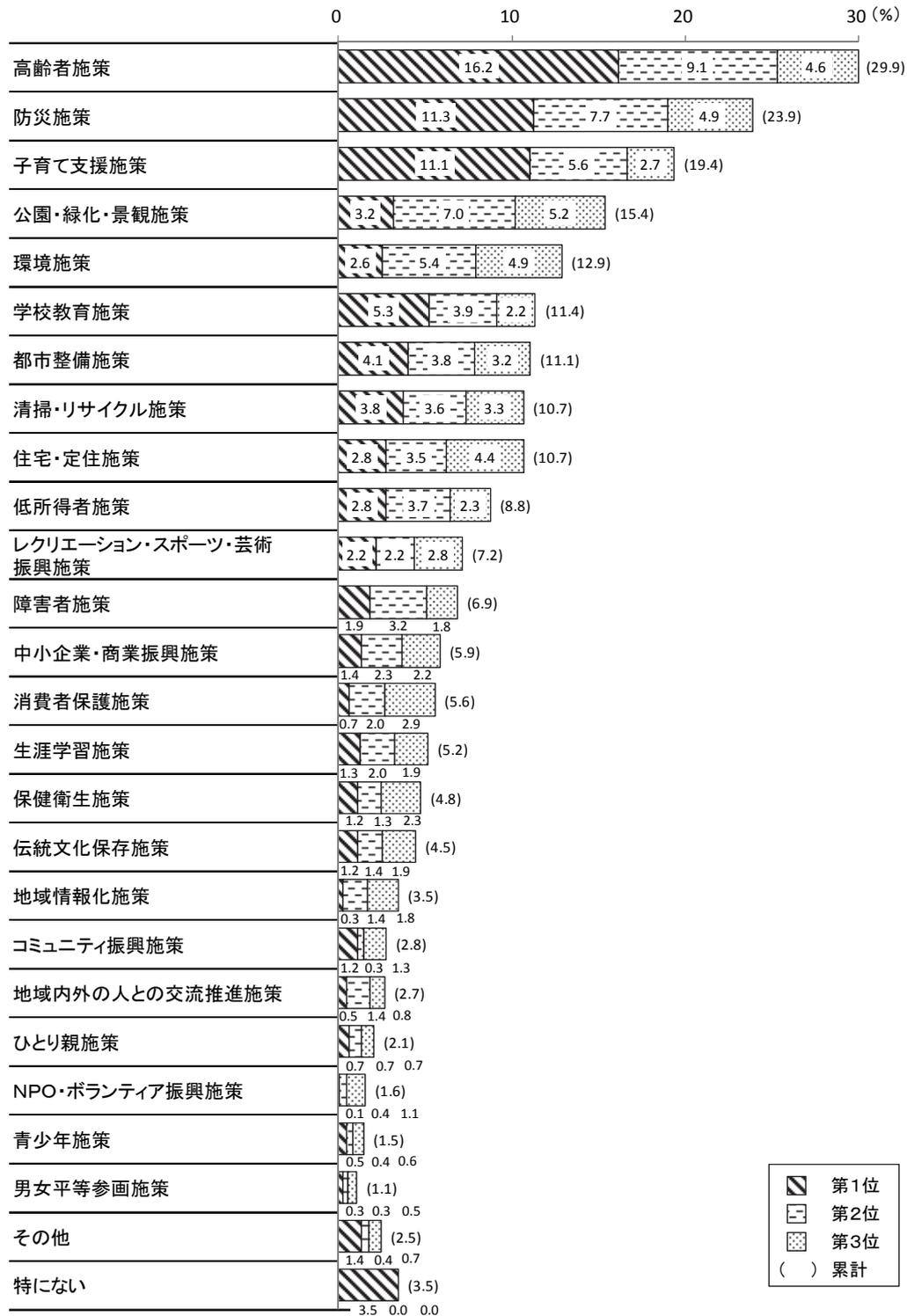
ライフステージ別に上位5位でみると、「子育て支援施策」は家族形成期と家族成長前期で1位となっており、特に家族形成期で3割近くと多くなっている。一方、「高齢者施策」は家族成長後期と老齢期で1位となっており、老齢期では2割半ばとなっている。また、「防災施策」は、特に家族成熟期でほぼ2割と多くなっている。(表2-2-2)

### 2-3 さらに力を入れてほしい区の施策

問5 次の区の施策のうち、あなたがさらに力を入れるべきだと考えるものを、順位をつけて、3つ以内で選び、下の記入欄に番号をご記入ください。 (n=1,009)

	<1位>	<2位>	<3位>
1 学校教育施策	5.3%	3.9%	2.2%
2 生涯学習施策	1.3%	2.0%	1.9%
3 レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	2.2%	2.2%	2.8%
4 伝統文化保存施策	1.2%	1.4%	1.9%
5 地域内外の人との交流推進施策	0.5%	1.4%	0.8%
6 保健衛生施策	1.2%	1.3%	2.3%
7 子育て支援施策	11.1%	5.6%	2.7%
8 高齢者施策	16.2%	9.1%	4.6%
9 障害者施策	1.9%	3.2%	1.8%
10 ひとり親施策	0.7%	0.7%	0.7%
11 低所得者施策	2.8%	3.7%	2.3%
12 青少年施策	0.5%	0.4%	0.6%
13 男女平等参画施策	0.3%	0.3%	0.5%
14 都市整備施策	4.1%	3.8%	3.2%
15 清掃・リサイクル施策	3.8%	3.6%	3.3%
16 環境施策	2.6%	5.4%	4.9%
17 住宅・定住施策	2.8%	3.5%	4.4%
18 公園・緑化・景観施策	3.2%	7.0%	5.2%
19 防災施策	11.3%	7.7%	4.9%
20 コミュニティ振興施策	1.2%	0.3%	1.3%
21 NPO・ボランティア振興施策	0.1%	0.4%	1.1%
22 中小企業・商業振興施策	1.4%	2.3%	2.2%
23 消費者保護施策	0.7%	2.0%	2.9%
24 地域情報化施策	0.3%	1.4%	1.8%
25 その他	1.4%	0.4%	0.7%
26 特にない	3.5%	0.0%	0.0%

図2-3-1 さらに力を入れてほしい区の施策



さらに力を入れてほしい区の施策について聞いたところ、1位にあげられた割合は、「高齢者施策」(16.2%)が1割半ばで最も多く、次いで「防災施策」(11.3%)、「子育て支援施策」(11.1%)などの順となっている。

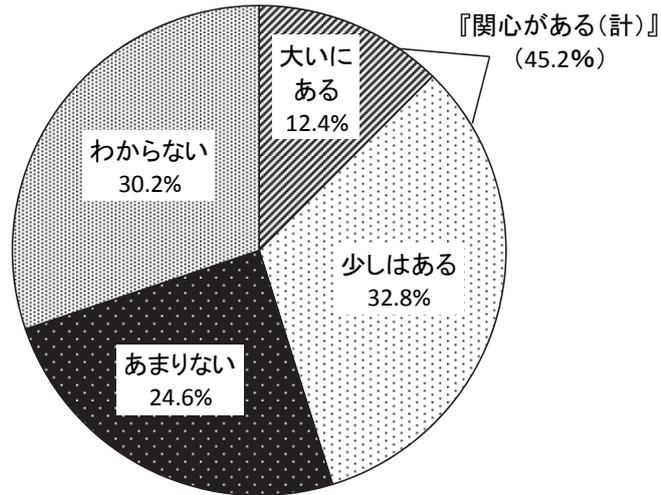
また、1位から3位までを合計すると、「高齢者施策」(29.9%)がほぼ3割で最も多く、次いで「防災施策」(23.9%)、「子育て支援施策」(19.4%)、「公園・緑化・景観施策」(15.4%)などの順となっている。(図2-3-1)

## 2-4 区の財政状況に対する関心

問6 区の財政状況に関心がありますか。1つお選びください。 (n=1,009)

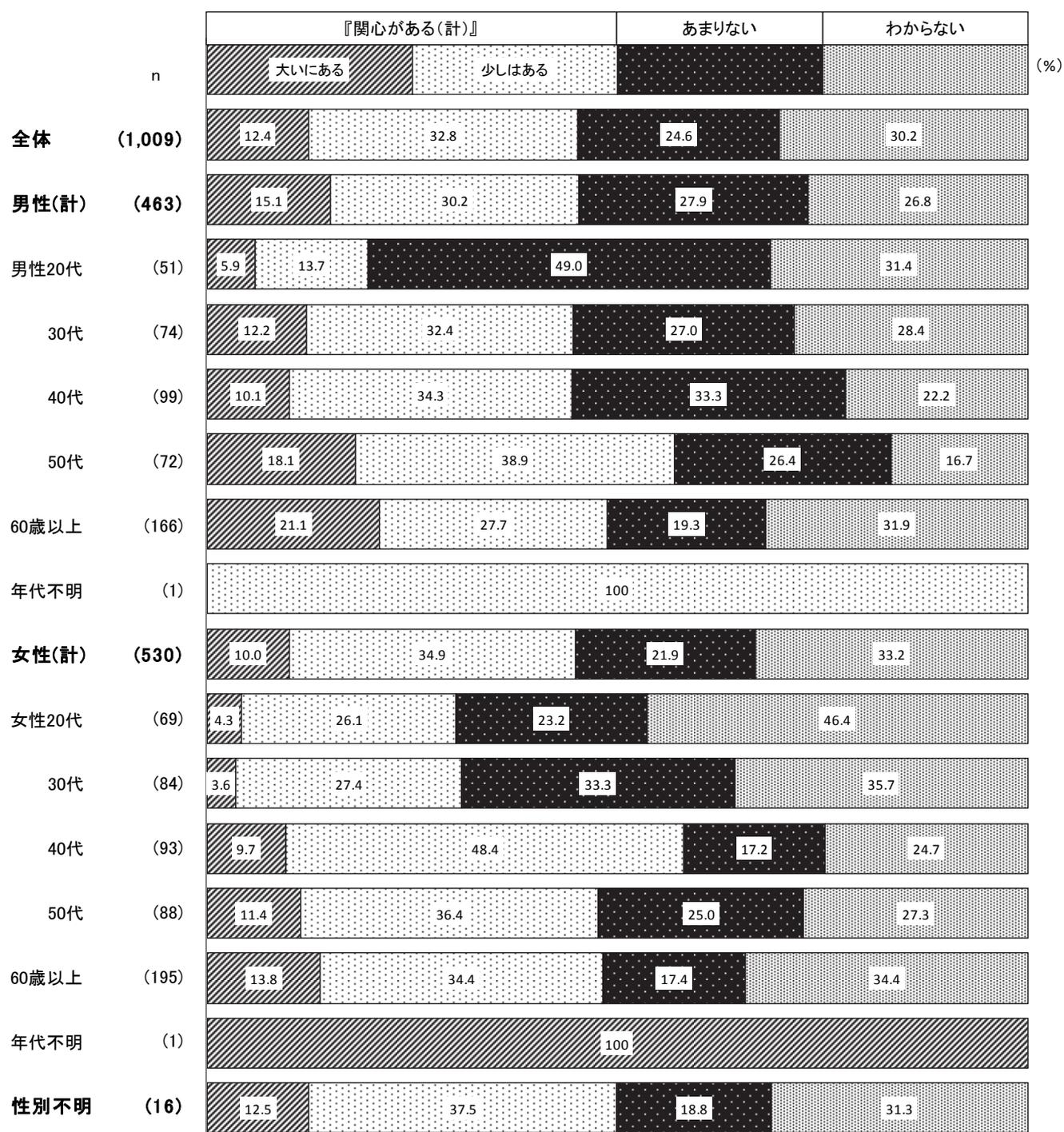
1 大いにある	(12.4%)	3 あまりない	(24.6%)
2 少しはある	(32.8%)	4 わからない	(30.2%)

図2-4-1 区の財政状況に対する関心



区の財政状況に対する関心について聞いたところ、「大いにある」(12.4%)と「少しはある」(32.8%)を合わせた『関心がある(計)』(45.2%)が4割半ばとなっている。また、「あまりない」(24.6%)が2割半ば、「わからない」(30.2%)がほぼ3割となっている。(図2-4-1)

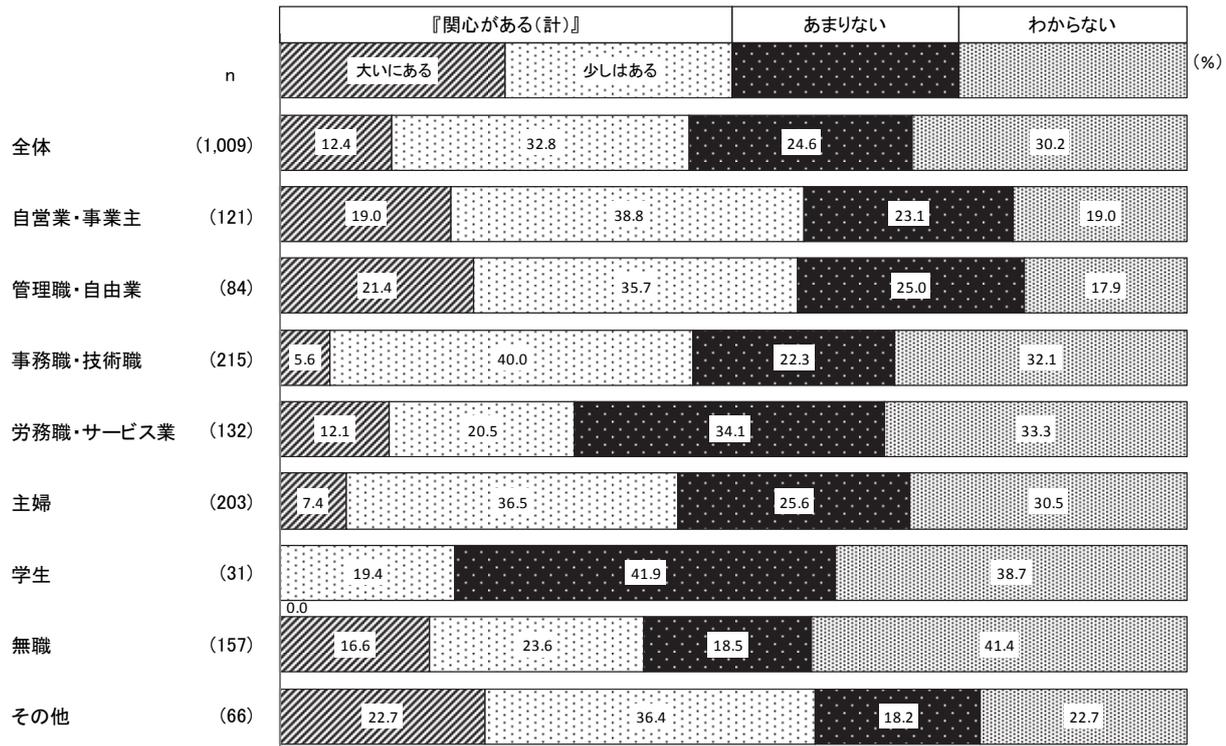
図 2-4-2 区の財政状況に対する関心性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

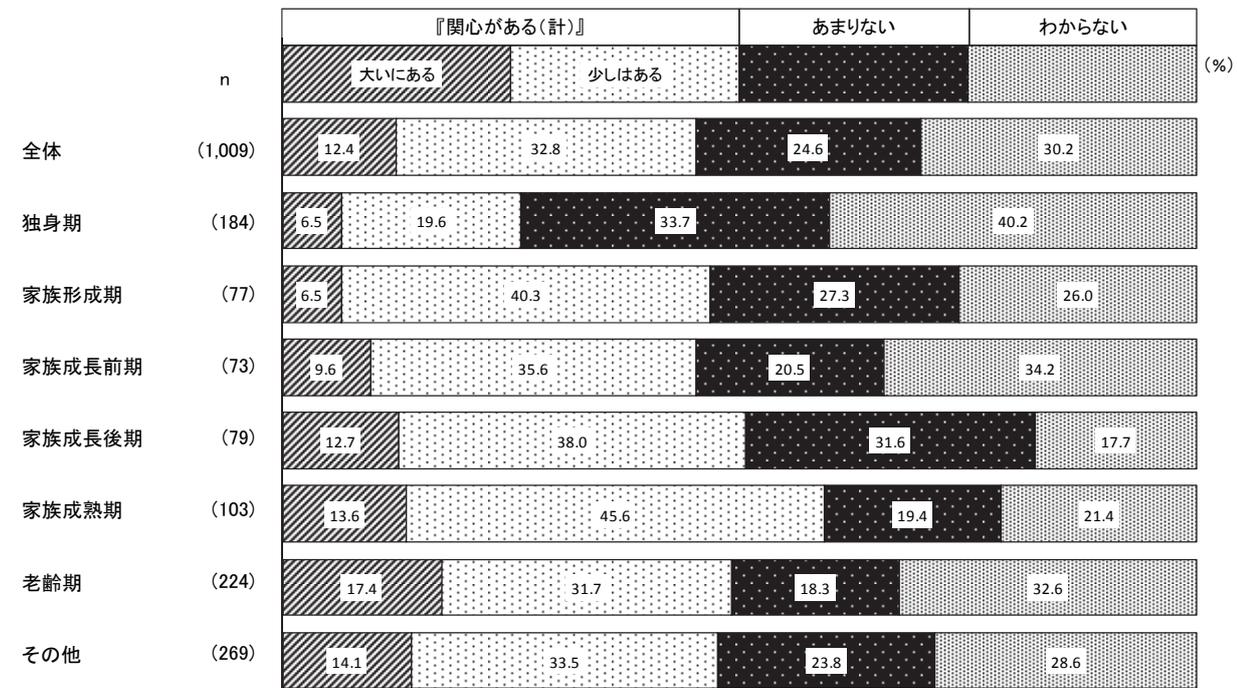
性・年代別にみると、『関心がある(計)』は男性50代と女性40代で6割近くと多くなっている。一方、「あまりない」は男性20代でほぼ5割、女性30代で3割を超え多くなっている。(図2-4-2)

図 2-4-3 区の財政状況に対する関心—職業別



職業別にみると、『関心がある(計)』は自営業・事業主と管理職・自由業で6割近くと多くなっている。また、「わからない」は学生でほぼ4割となっている。(図2-4-3)

図 2-4-4 区の財政状況に対する関心—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『関心がある(計)』は家族成熟期でほぼ6割、家族成長後期でほぼ5割と多くなっている。(図2-4-4)

## 2-5 区の財政状況に対する印象

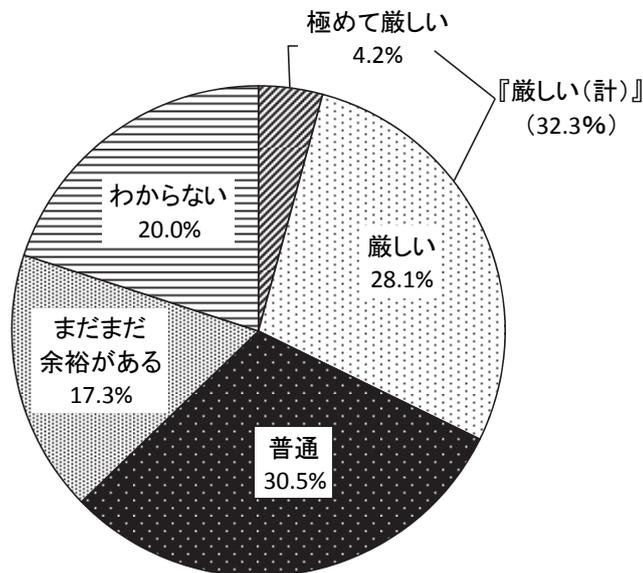
(問6で「1」または「2」とお答えの方にかがいます)

問6-1 あなたは、区の財政状況について、どのような印象をお持ちですか。1つお選びください。

(n=456)

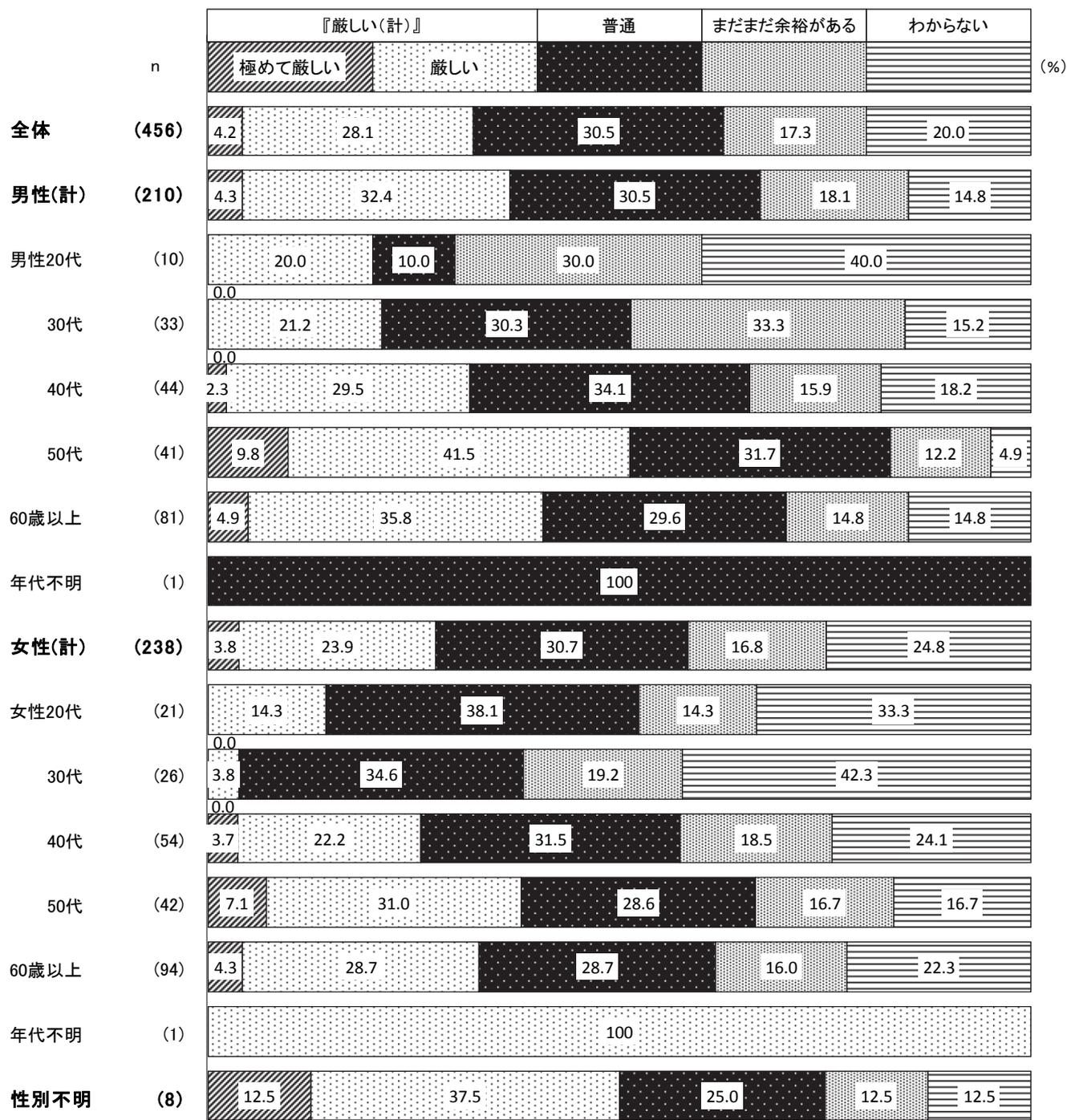
1 極めて厳しい	(4.2%)	4 まだまだ余裕がある	(17.3%)
2 厳しい	(28.1%)	5 わからない	(20.0%)
3 普通	(30.5%)		

図2-5-1 区の財政状況に対する印象



区の財政状況に対する関心が「大いにある」または「少しはある」と答えた人(456人)に、区の財政状況に対する印象について聞いたところ、「極めて厳しい」(4.2%)と「厳しい」(28.1%)を合わせた『厳しい(計)』(32.3%)が3割を超え、「普通」(30.5%)がほぼ3割、「まだまだ余裕がある」(17.3%)が2割近くとなっている。また、「わからない」(20.0%)が2割となっている。(図2-5-1)

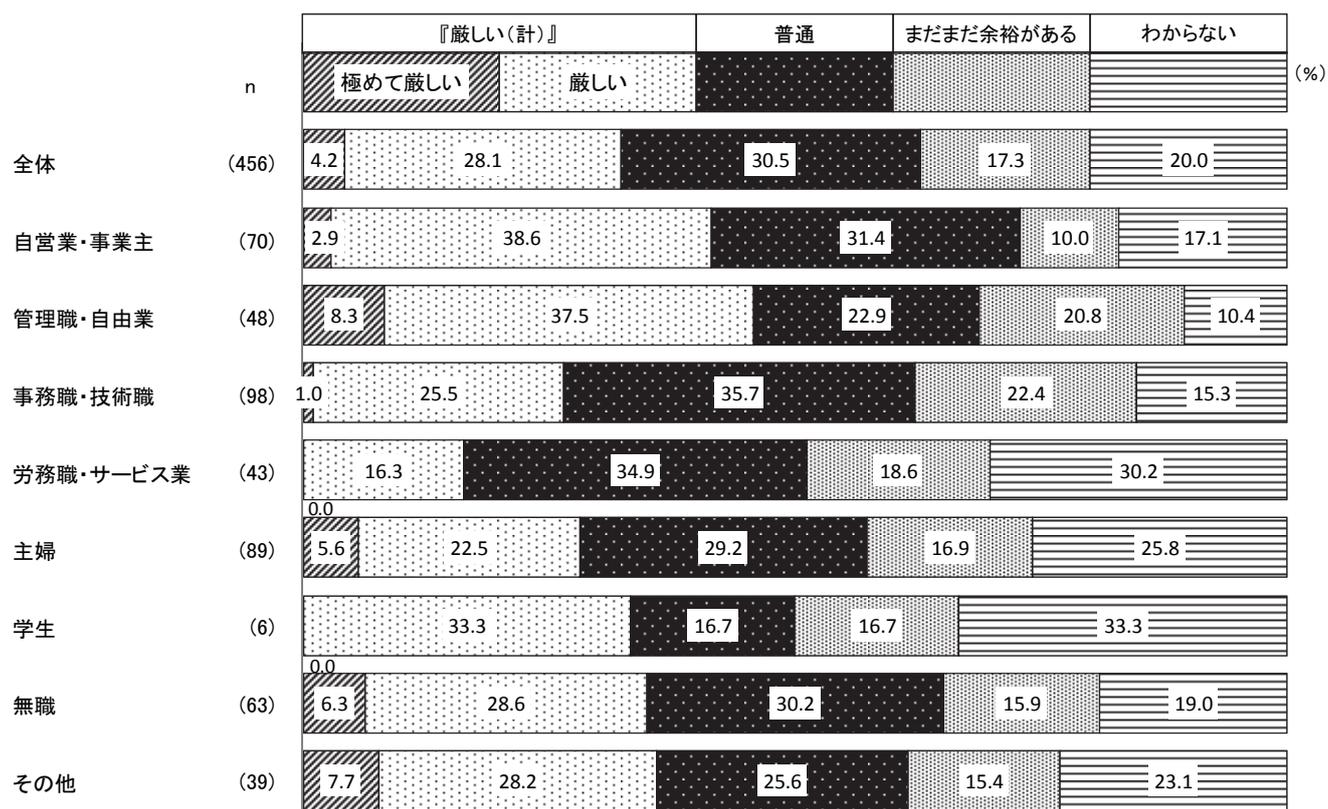
図 2-5-2 区の財政状況に対する印象—性・年代別



性別にみると、「厳しい」は男性のほうが8.5ポイント高くなっている。

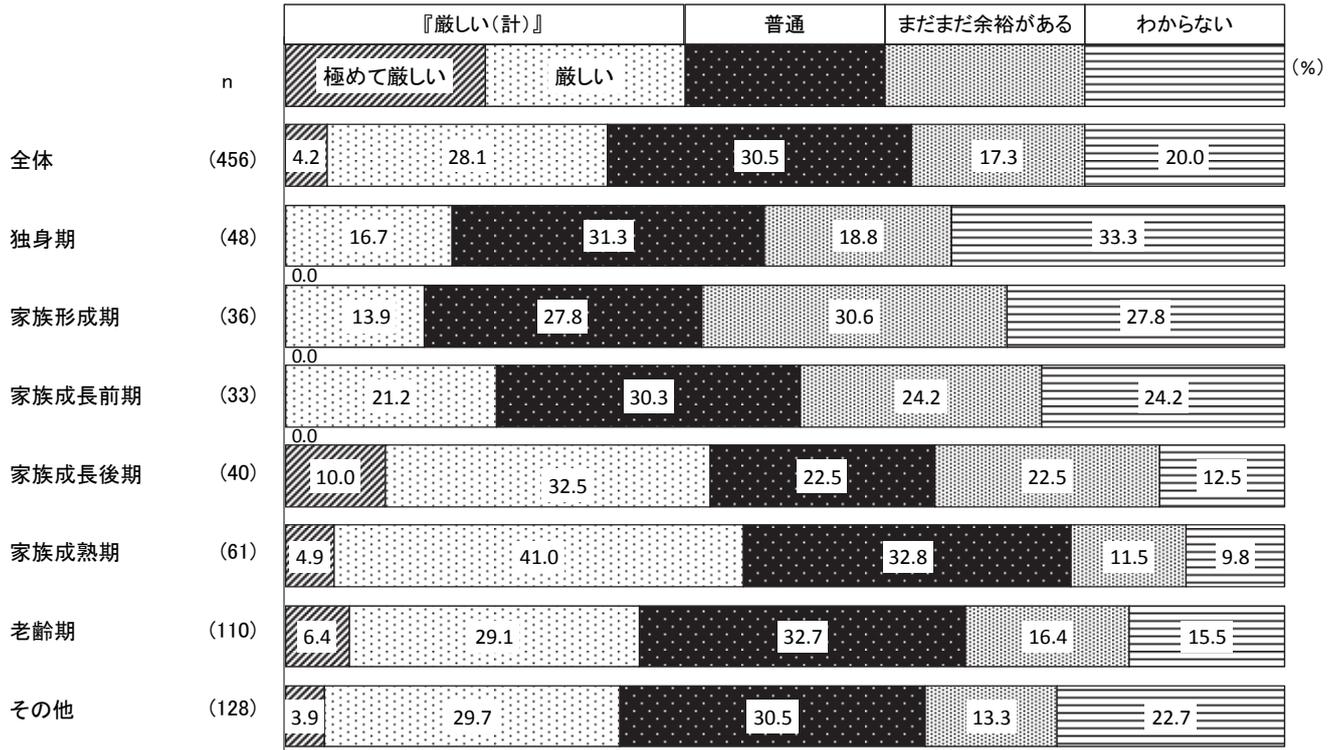
性・年代別にみると、『厳しい(計)』は男性50代で5割を超え、女性50代で4割近くとなっている。また、「わからない」は男性20代と女性30代で4割以上と多くなっている。(図2-5-2)

図 2-5-3 区の財政状況に対する印象－職業別



職業別にみると、『厳しい(計)』は自営業・事業主と管理職・自由業で4割以上を占めている。また、「わからない」は労務職・サービス業と学生で3割以上となっている。(図2-5-3)

図 2-5-4 区の財政状況に対する印象—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、『厳しい(計)』は家族成長後期と家族成熟期で4割を超え多くなっている。また、「わからない」は独身期で3割を超え多くなっている。(図 2-5-4)

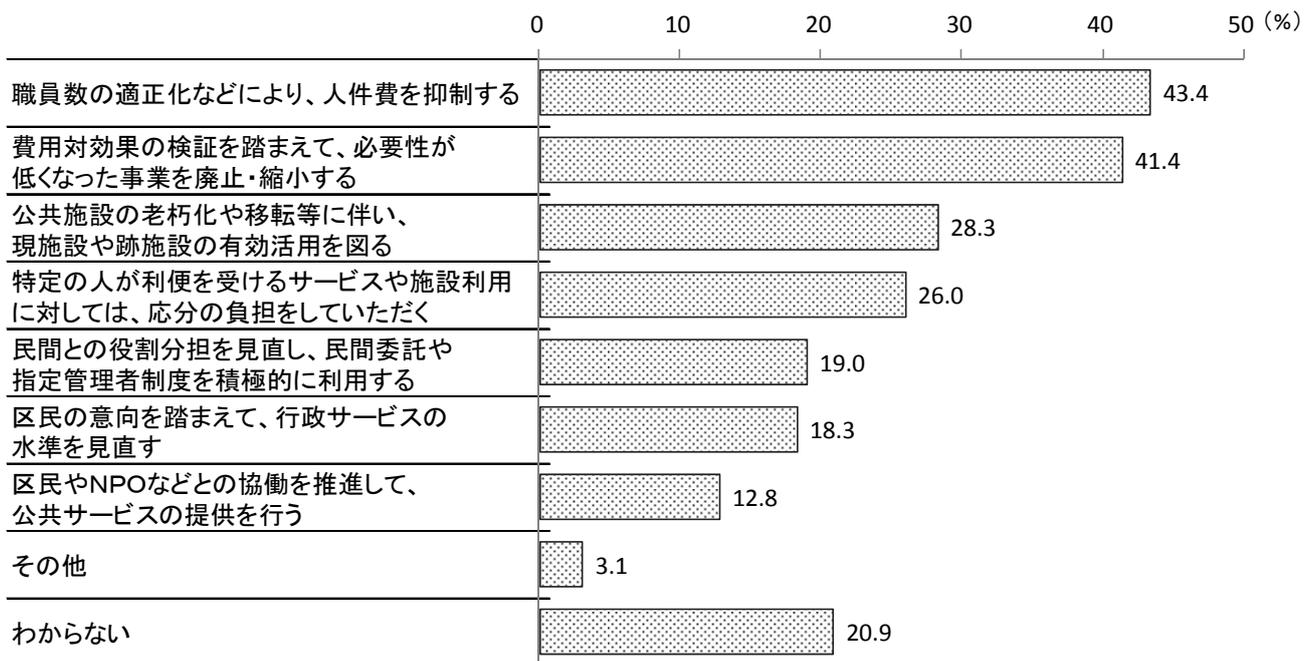
## 2-6 厳しい経済状況の中でも財政の健全化を進めていくために必要なこと

問7 質の高い効率的な行財政体制を確立するため、不断に行財政改革に取り組み、着実に成果をあげてきました。景気の低迷による厳しい経済状況の中でも財政の健全化を更に進めていくためには、今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。3つ以内でお選びください。

(n=1,009)

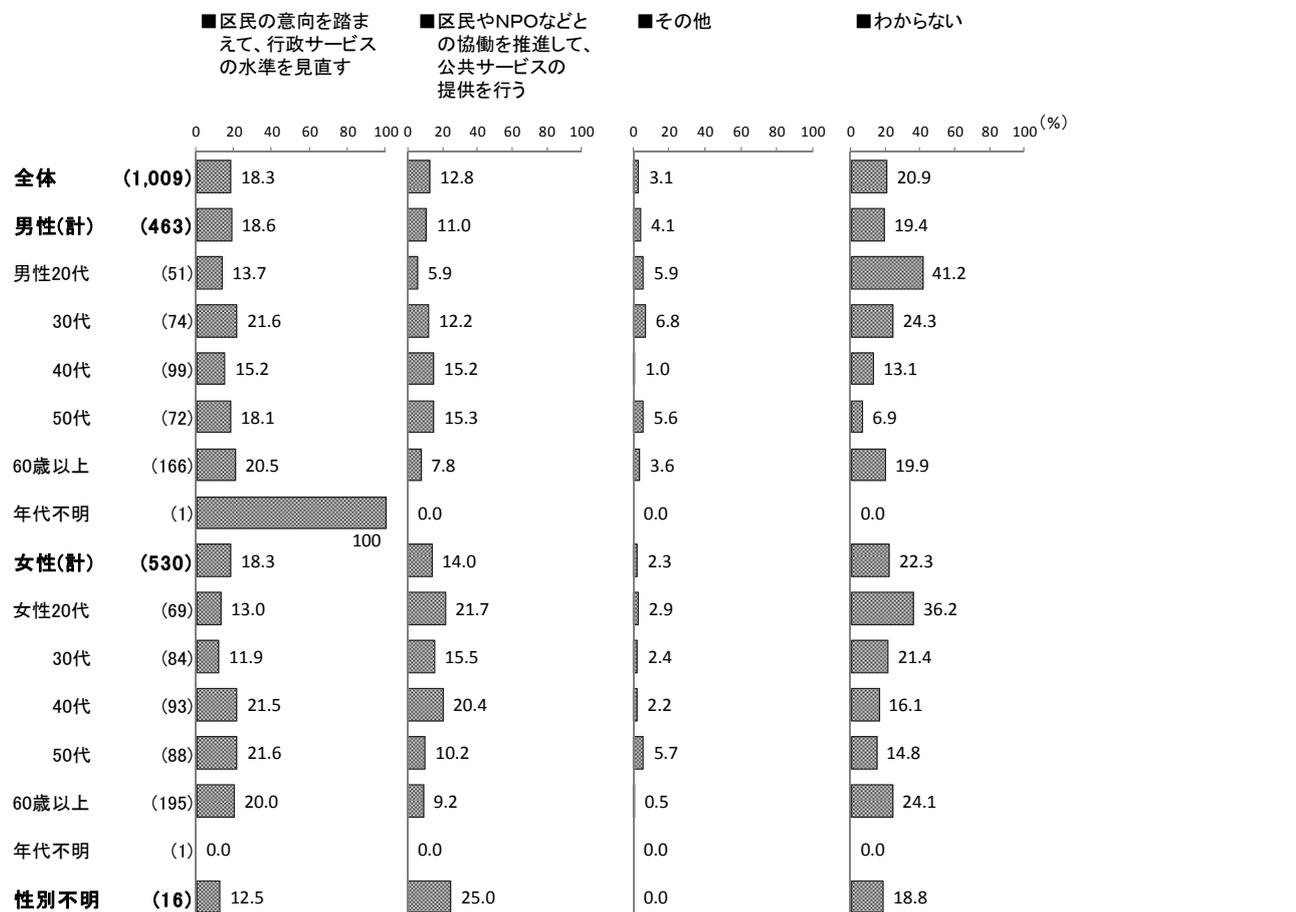
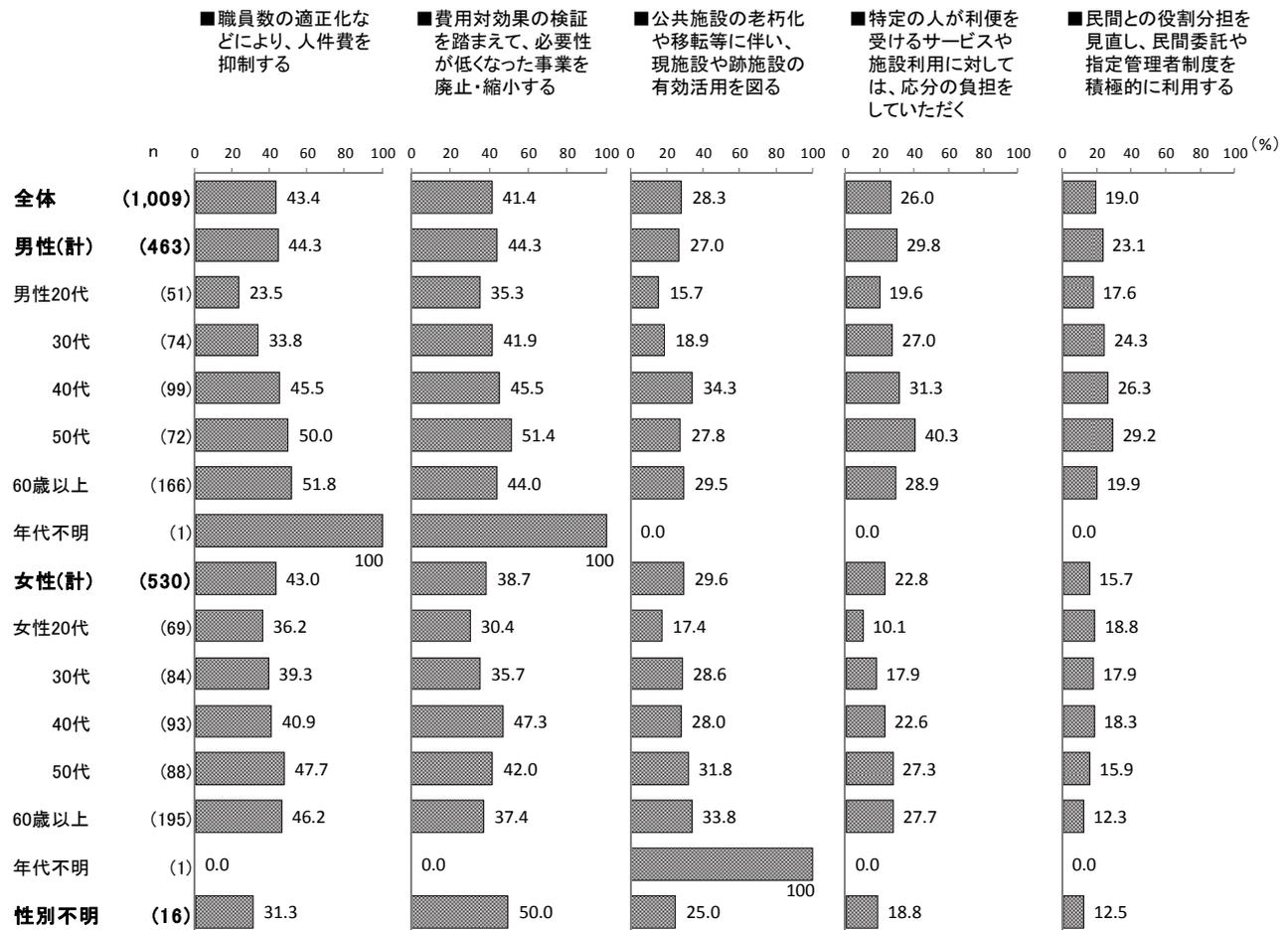
1	公共施設の老朽化や移転等に伴い、現施設や跡施設の有効活用を図る	(28.3%)
2	職員数の適正化などにより、人件費を抑制する	(43.4%)
3	費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する	(41.4%)
4	特定の人が利便を受けるサービスや施設利用に対しては、応分の負担をしていただく	(26.0%)
5	民間との役割分担を見直し、民間委託や指定管理者制度を積極的に利用する	(19.0%)
6	区民やNPOなどとの協働を推進して、公共サービスの提供を行う	(12.8%)
7	区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す	(18.3%)
8	その他	(3.1%)
9	わからない	(20.9%)

図2-6-1 厳しい経済状況の中でも財政の健全化を進めていくために必要なこと



厳しい経済状況の中でも財政の健全化を進めていくために必要なことについて聞いたところ、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」(43.4%)が4割半ばと最も多く、次いで「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」(41.4%)、「公共施設の老朽化や移転等に伴い、現施設や跡施設の有効活用を図る」(28.3%)、「特定の人が利便を受けるサービスや施設利用に対しては、応分の負担をしていただく」(26.0%)、「民間との役割分担を見直し、民間委託や指定管理者制度を積極的に利用する」(19.0%)などの順となっている。(図2-6-1)

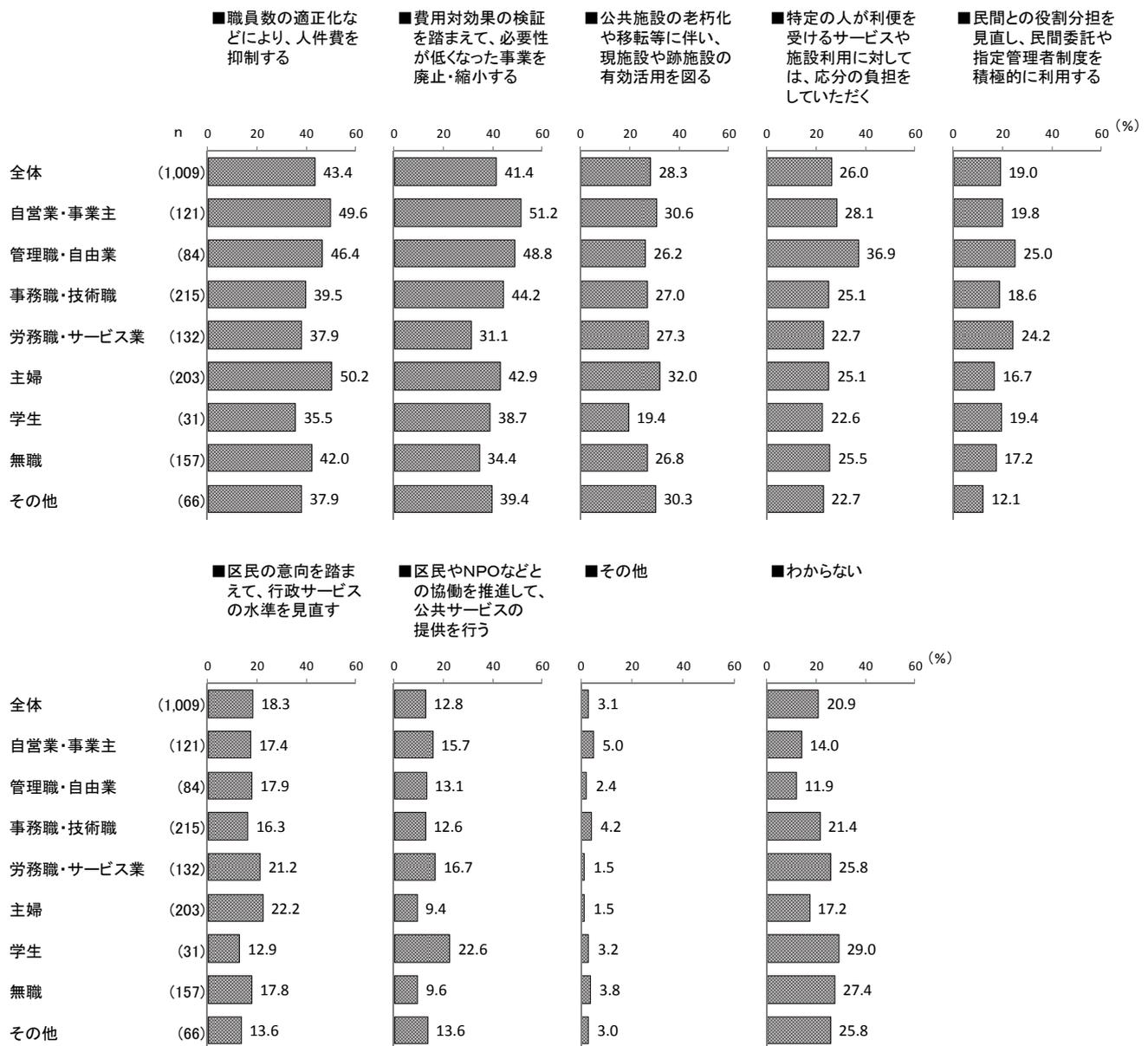
図 2-6-2 厳しい経済状況の中でも財政の健全化を進めていくために必要なこと一性・年代別



性別にみると、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」は男女ともに4割を超え多くなっている。「民間との役割分担を見直し、民間委託や指定管理者制度を積極的に利用する」は男性のほうが7.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」は男性50代、60歳以上で、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」は男性50代で5割以上となっている。(図2-6-2)

図2-6-3 厳しい経済状況の中でも財政の健全化を進めていくために必要なこと―職業別



職業別にみると、「費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する」は自営業・事業主、管理職・自由業、事務職・技術職及び学生で最も多く、自営業・事業主では5割を超えており、「職員数の適正化などにより、人件費を抑制する」は主婦で5割を超え多くなっている。

また、「わからない」は学生でほぼ3割と多くなっている。(図2-6-3)

## 3. 協働・協治

- 
- 3-1 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度
  - 3-2 参加している団体・組織・グループ
  - 3-3 参加している団体・組織・グループの活動分野
  - 3-4 今後参加してみたい地域活動
-



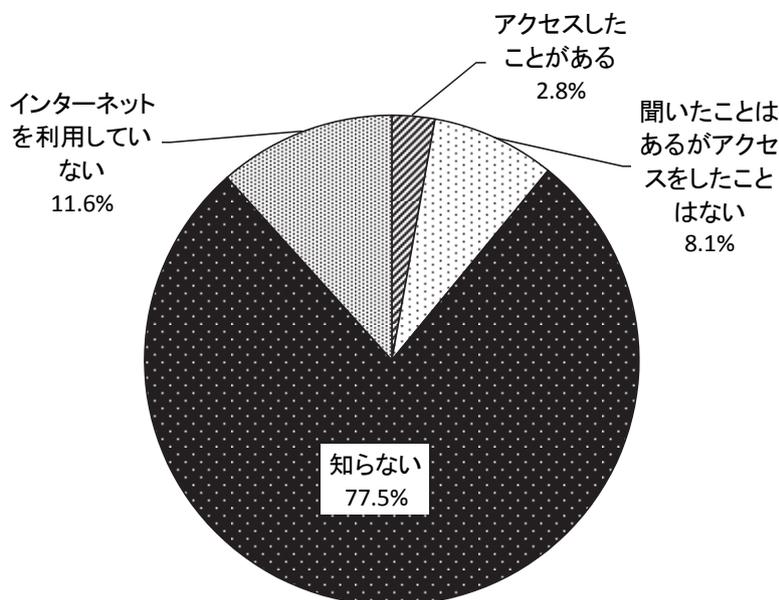
### 3 協働・協治

#### 3-1 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度

問8 平成19年12月文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」を開設しました。このサイトは区内のNPO、ボランティア団体、町会・自治会及び社会教育団体等を支援し、活動の情報を提供するものです。このサイトをご存じですか。1つお選びください。(n=1,009)

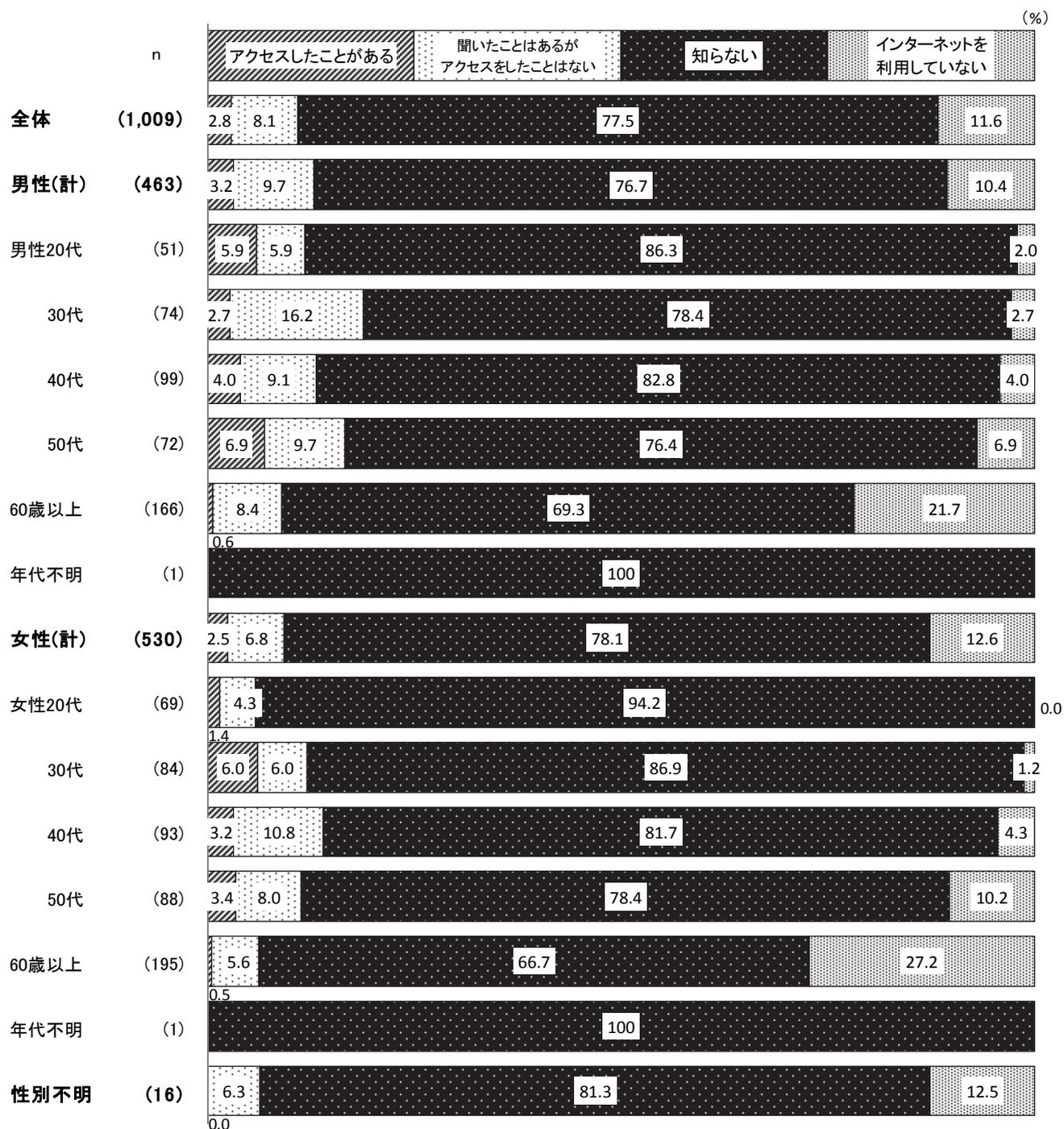
1 アクセスしたことがある (2.8%)	3 知らない (77.5%)
2 聞いたことはあるがアクセスをしたことはない (8.1%)	4 インターネットを利用していない (11.6%)

図3-1-1 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度



文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度について聞いたところ、「知らない」(77.5%)が8割近くとなっている。また、「アクセスしたことがある」(2.8%)と「聞いたことはあるがアクセスをしたことはない」(8.1%)がともに1割未満、「インターネットを利用していない」(11.6%)が1割を超えている。(図3-1-1)

図3-1-2 文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」の認知度－性・年代別



性・年代別にみると、男女ともにすべての年代で「知らない」が最も多く、女性20代では9割半ばとなっている。また、「インターネットを利用していない」は男女とも60歳以上で最も多く2割を超えている。(図3-1-2)

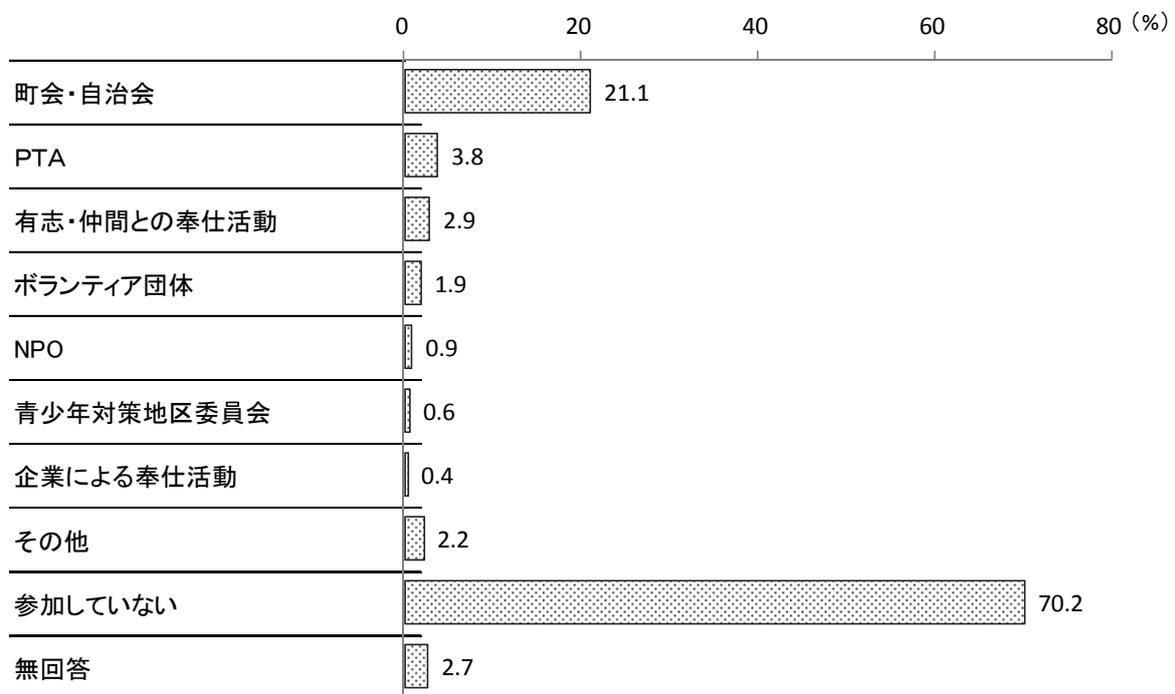
### 3-2 参加している団体・組織・グループ

問9 区内でNPO、ボランティア団体及び町会・自治会等の地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に参加していますか。参加しているものを、すべてお選びください。

(n=1,009)

1 町会・自治会	(21.1%)	6 企業による奉仕活動	(0.4%)
2 PTA	(3.8%)	7 有志・仲間との奉仕活動	(2.9%)
3 青少年対策地区委員会	(0.6%)	8 その他	(2.2%)
4 ボランティア団体	(1.9%)	9 参加していない	(70.2%)
5 NPO	(0.9%)		無回答 (2.7%)

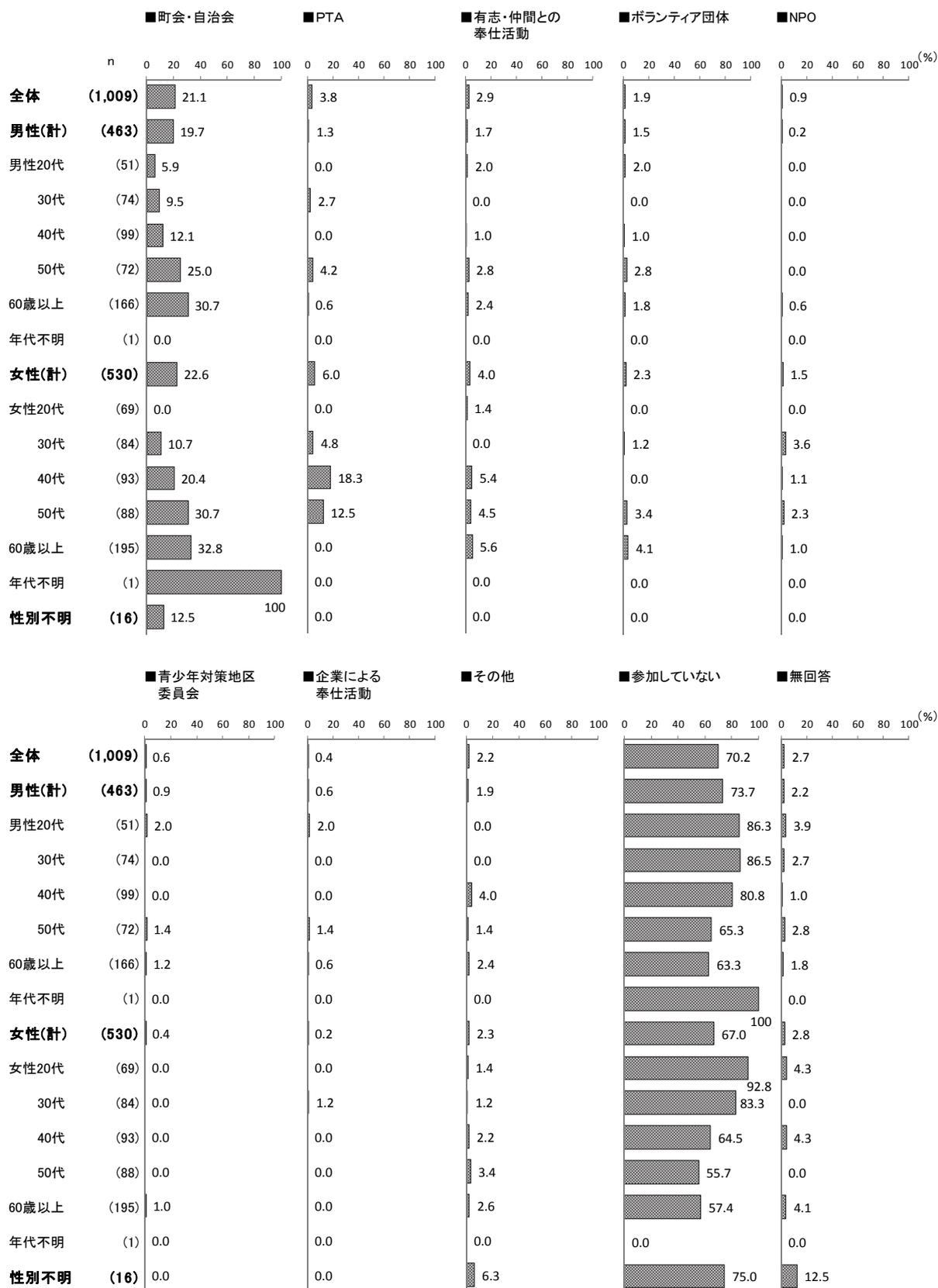
図3-2-1 参加している団体・組織・グループ



参加している団体・組織・グループについて聞いたところ、「町会・自治会」(21.1%)が2割を超え最も多く、次いで「PTA」(3.8%)、「有志・仲間との奉仕活動」(2.9%)、「ボランティア団体」(1.9%)などの順となっているが、「町会・自治会」を除き、いずれも1割未満と低い割合となっている。

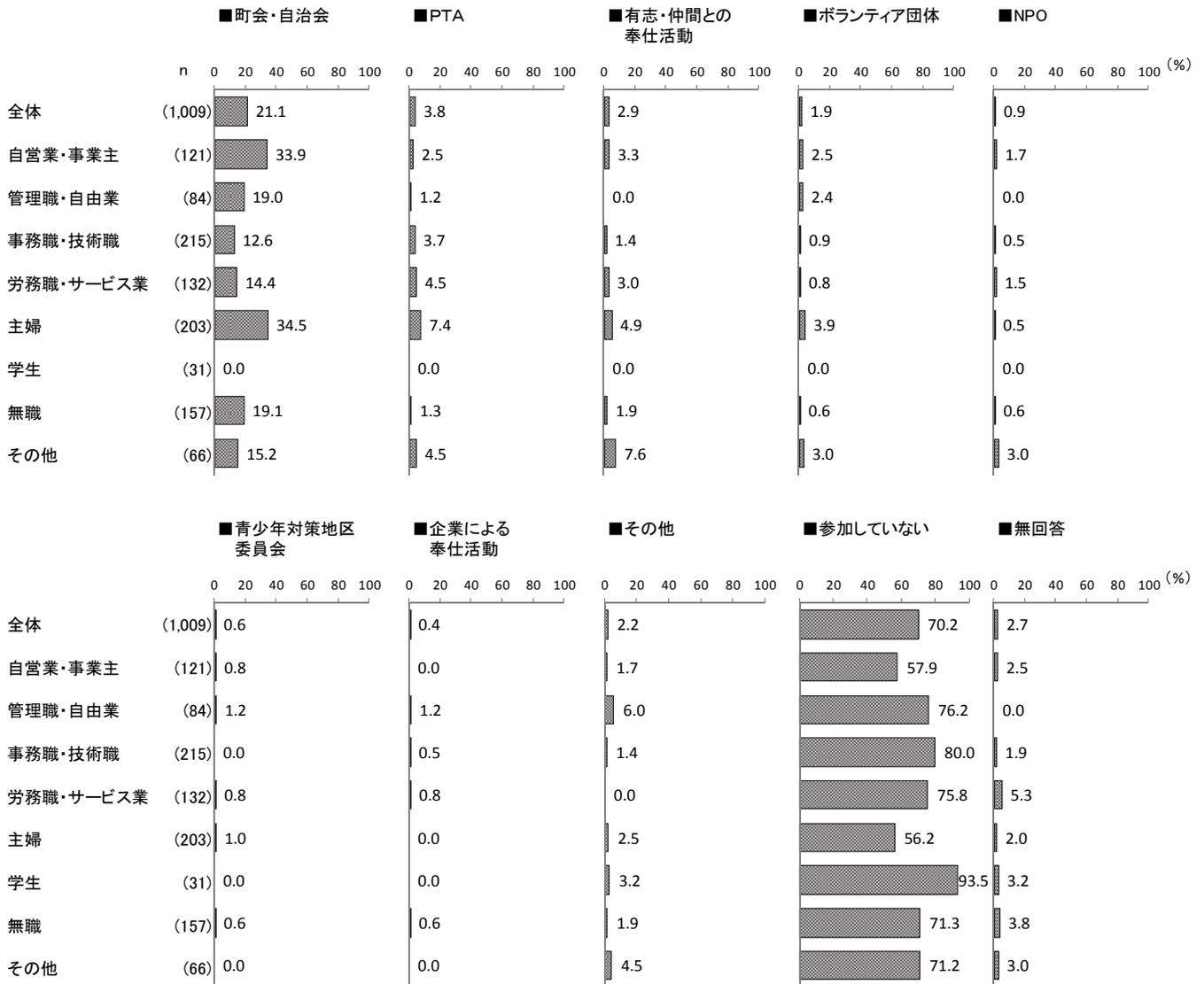
また、「参加していない」(70.2%)はほぼ7割と多くなっている。(図3-2-1)

図 3-2-2 参加している団体・組織・グループ・性・年代別



性・年代別にみると、「町会・自治会」は男性 60 歳以上と女性 50 代、60 歳以上で 3 割を超えている。また、「参加していない」は女性 20 代で最も多く 9 割を超え、男性 20 代から 40 代と女性 30 代で 8 割を超え多くなっている。(図 3-2-2)

図 3-2-3 参加している団体・組織・グループ—職業別



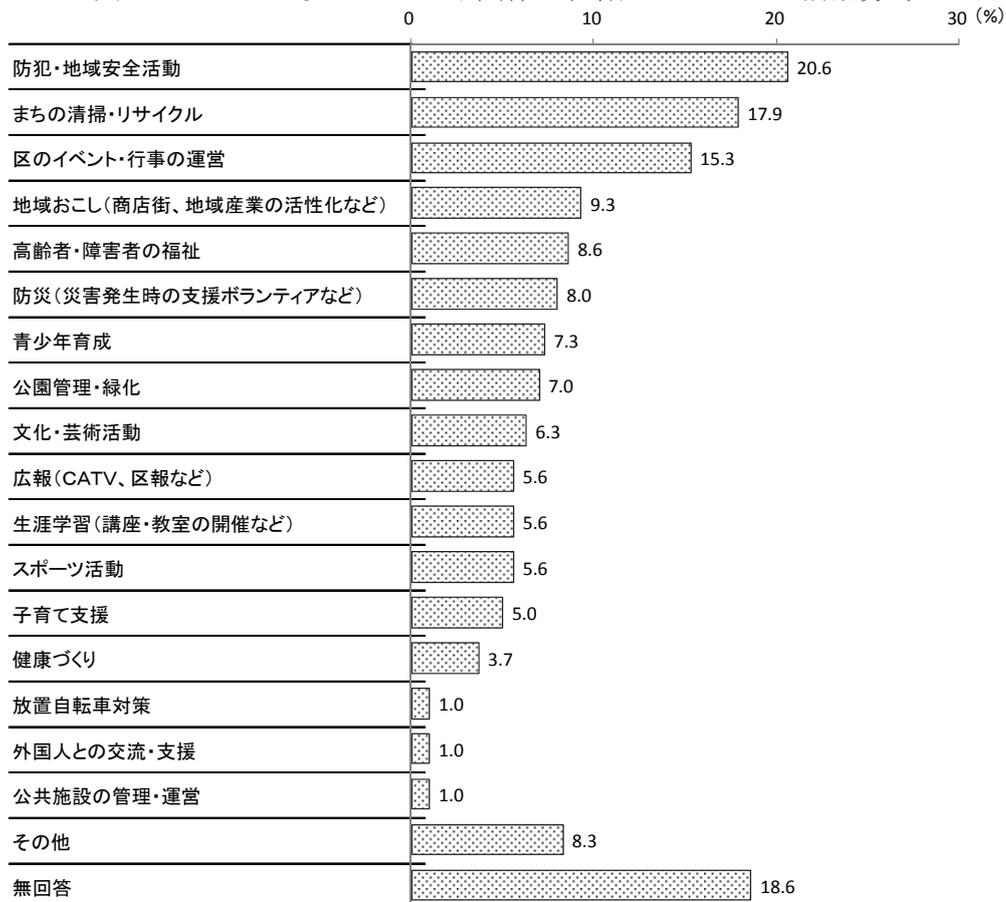
職業別にみると、「町会・自治会」は自営業・事業主と主婦で3割を超えている。また、「参加していない」は学生で最も多く9割以上を占めており、管理職・自由業、事務職・技術職及び労務職・サービス業で8割前後となっている。(図3-2-3)

### 3-3 参加している団体・組織・グループの活動分野

問9-1 参加されている方にお伺いします。その活動は、どのような分野ですか。参加しているものを、すべてお選びください。 (n=301)

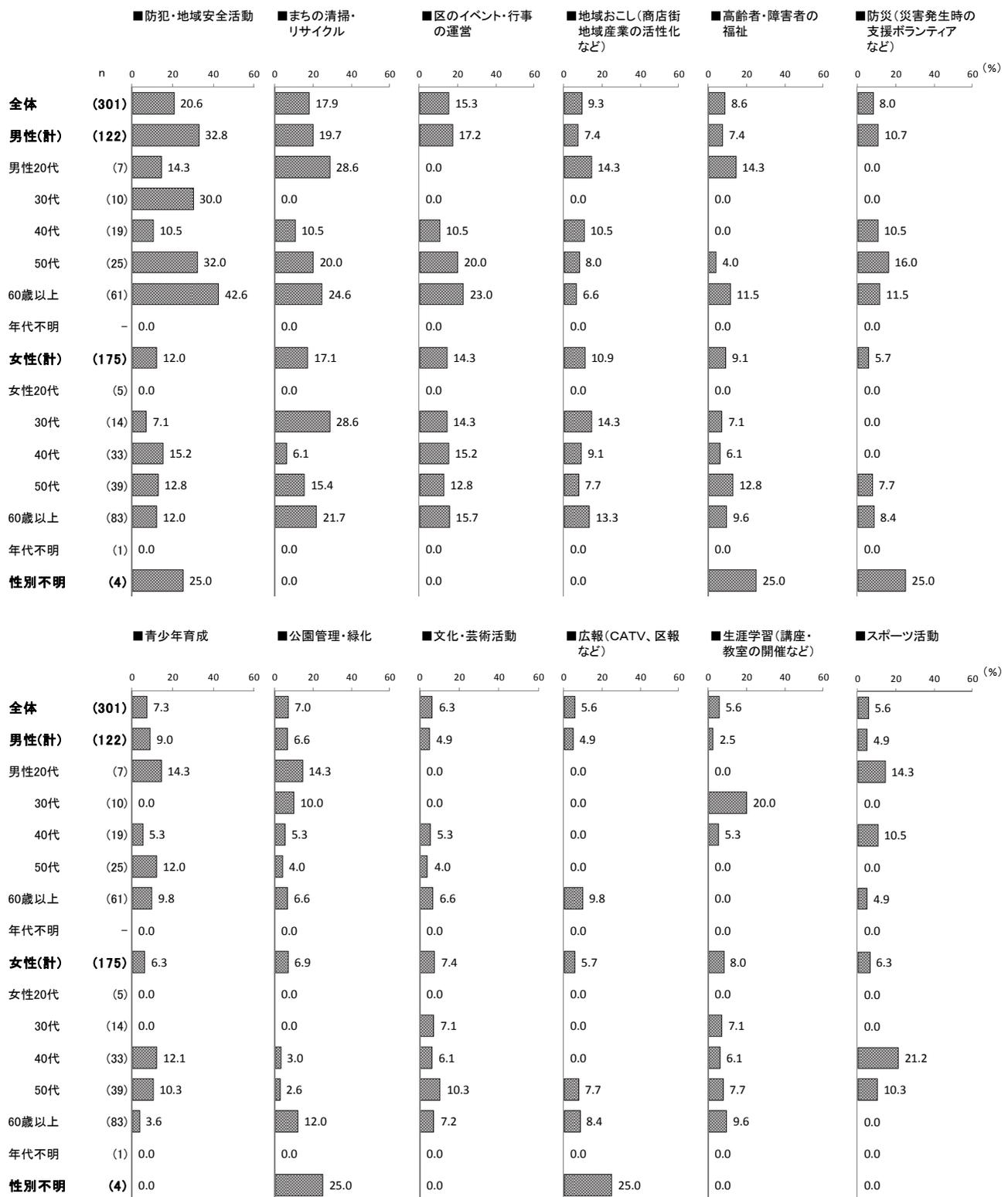
1 区のイベント・行事の運営 (15.3%)	10 公園管理・緑化 (7.0%)
2 広報(CATV、区報など) (5.6%)	11 まちの清掃・リサイクル (17.9%)
3 防犯・地域安全活動 (20.6%)	12 放置自転車対策 (1.0%)
4 防災(災害発生時の支援ボランティアなど) (8.0%)	13 生涯学習(講座・教室の開催など) (5.6%)
5 地域おこし(商店街、地域産業の活性化など) (9.3%)	14 文化・芸術活動 (6.3%)
6 青少年育成 (7.3%)	15 スポーツ活動 (5.6%)
7 子育て支援 (5.0%)	16 外国人との交流・支援 (1.0%)
8 高齢者・障害者の福祉 (8.6%)	17 公共施設の管理・運営 (1.0%)
9 健康づくり (3.7%)	18 その他 (8.3%)
	無回答(18.6%)

図3-3-1 参加している団体・組織・グループの活動分野



団体・組織・グループの活動に参加している人(301人)に、参加している団体・組織・グループの活動分野について聞いたところ、「防犯・地域安全活動」(20.6%)がほぼ2割と最も多く、次いで「まちの清掃・リサイクル」(17.9%)、「区のイベント・行事の運営」(15.3%)、「地域おこし(商店街、地域産業の活性化など)」(9.3%)などの順となっている。(図3-3-1)

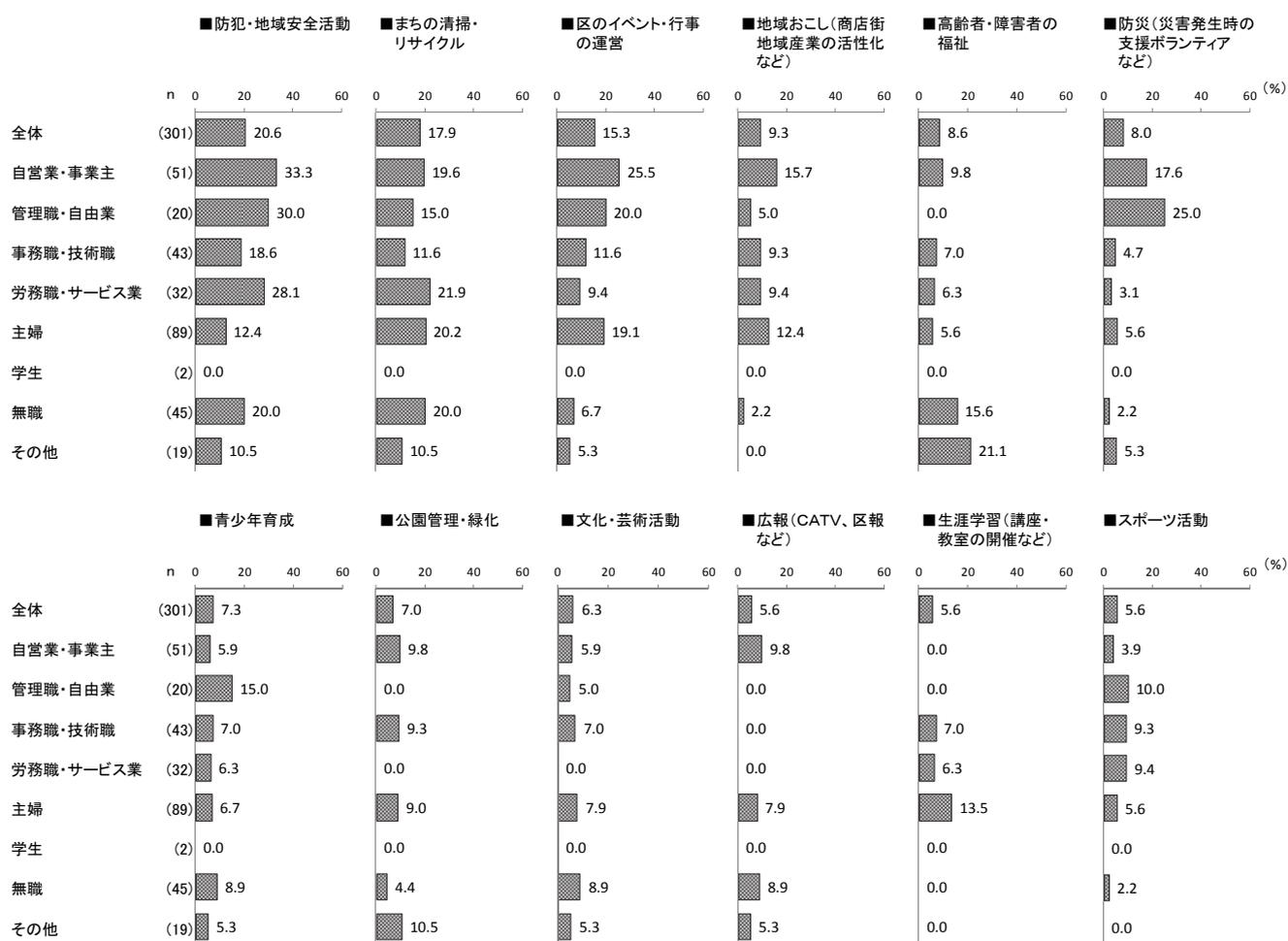
図3-3-2 参加している団体・組織・グループの活動分野一性・年代別（上位10項目）



性別に上位10項目で見ると、「防犯・地域安全活動」は男性のほうが20.8ポイント高くなっている。

性・年代別に上位10項目で見ると、「防犯・地域安全活動」は男性60歳以上で4割を超え、「まちの清掃・リサイクル」は女性30代で3割近くとなっている。(図3-3-2)

図3-3-3 参加している団体・組織・グループの活動分野—職業別（上位10項目）



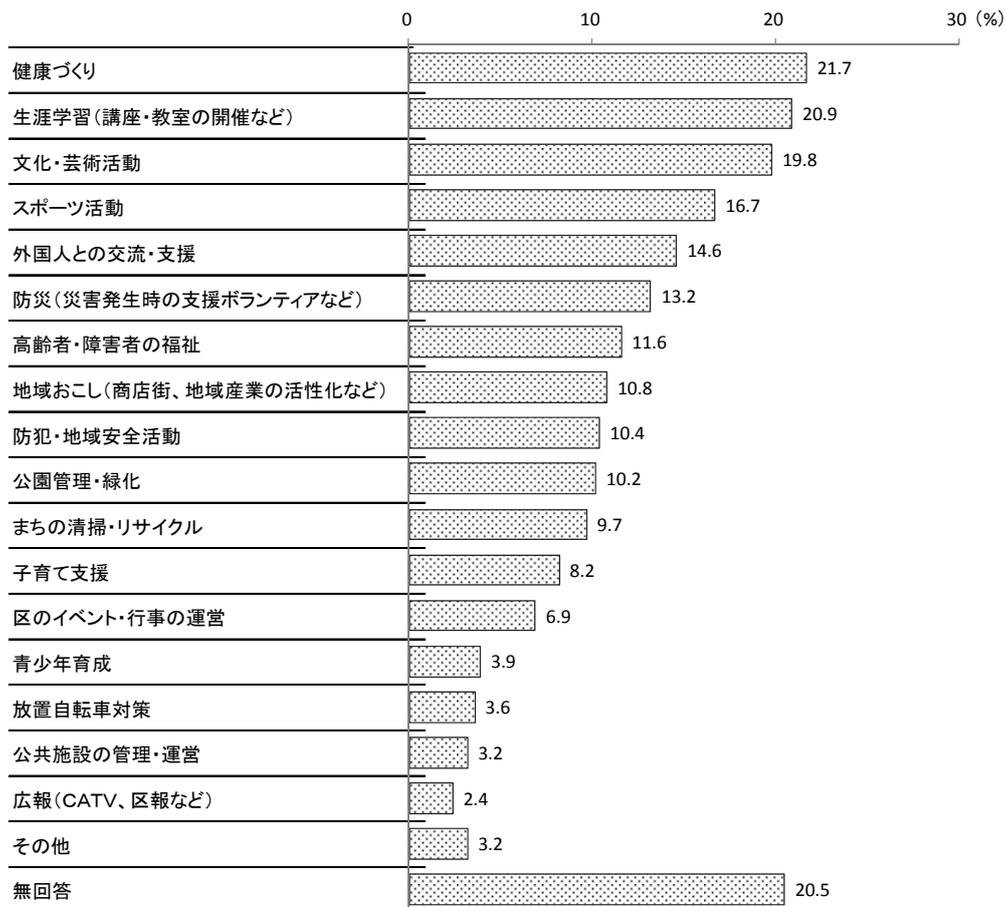
職業別に上位10項目で見ると、「防犯・地域安全活動」は自営業・事業主と管理職・自由業で3割以上と最も多く、「区のイベント・行事の運営」は自営業・事業主で2割半ば、「防災(災害発生時の支援ボランティアなど)」は管理職・自由業で2割半ばとなっている。(図3-3-3)

### 3-4 今後参加してみたい地域活動

問9-2 すべての方にお伺いします。今後参加してみたいと思う地域での活動は、どのような分野ですか。参加してみたいものを、すべてお選びください。(n=1,009)

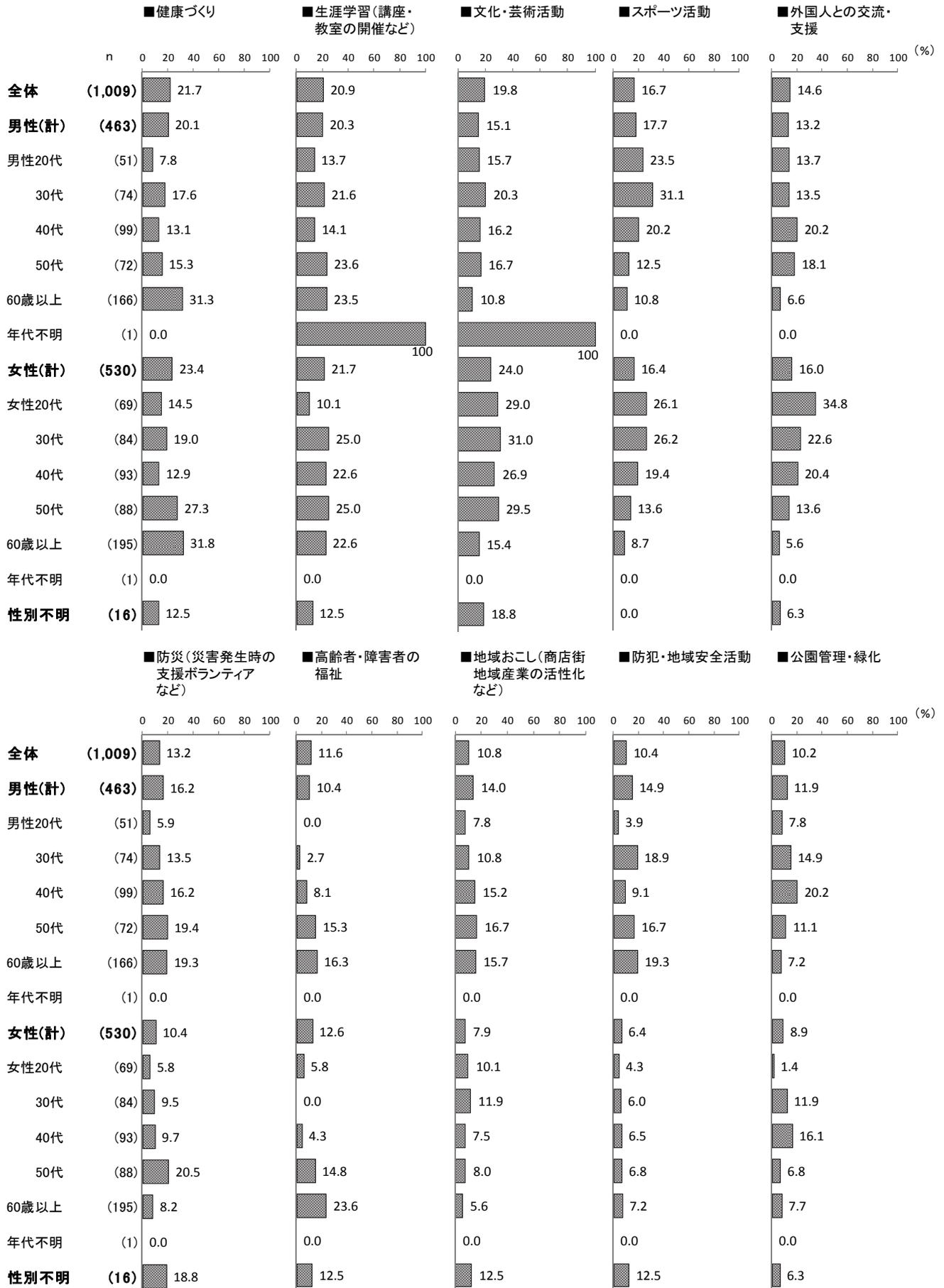
1 区のイベント・行事の運営	(6.9%)	10 公園管理・緑化	(10.2%)
2 広報(CATV、区報など)	(2.4%)	11 まちの清掃・リサイクル	(9.7%)
3 防犯・地域安全活動	(10.4%)	12 放置自転車対策	(3.6%)
4 防災(災害発生時の支援ボランティアなど)	(13.2%)	13 生涯学習(講座・教室の開催など)	(20.9%)
5 地域おこし(商店街、地域産業の活性化など)	(10.8%)	14 文化・芸術活動	(19.8%)
6 青少年育成	(3.9%)	15 スポーツ活動	(16.7%)
7 子育て支援	(8.2%)	16 外国人との交流・支援	(14.6%)
8 高齢者・障害者の福祉	(11.6%)	17 公共施設の管理・運営	(3.2%)
9 健康づくり	(21.7%)	18 その他	(3.2%)
			無回答(20.5%)

図3-4-1 今後参加してみたい地域活動



今後参加してみたい地域活動について聞いたところ、「健康づくり」(21.7%)が2割を超え最も多く、次いで「生涯学習(講座・教室の開催など)」(20.9%)、「文化・芸術活動」(19.8%)、「スポーツ活動」(16.7%)、「外国人との交流・支援」(14.6%)などの順となっている。(図3-4-1)

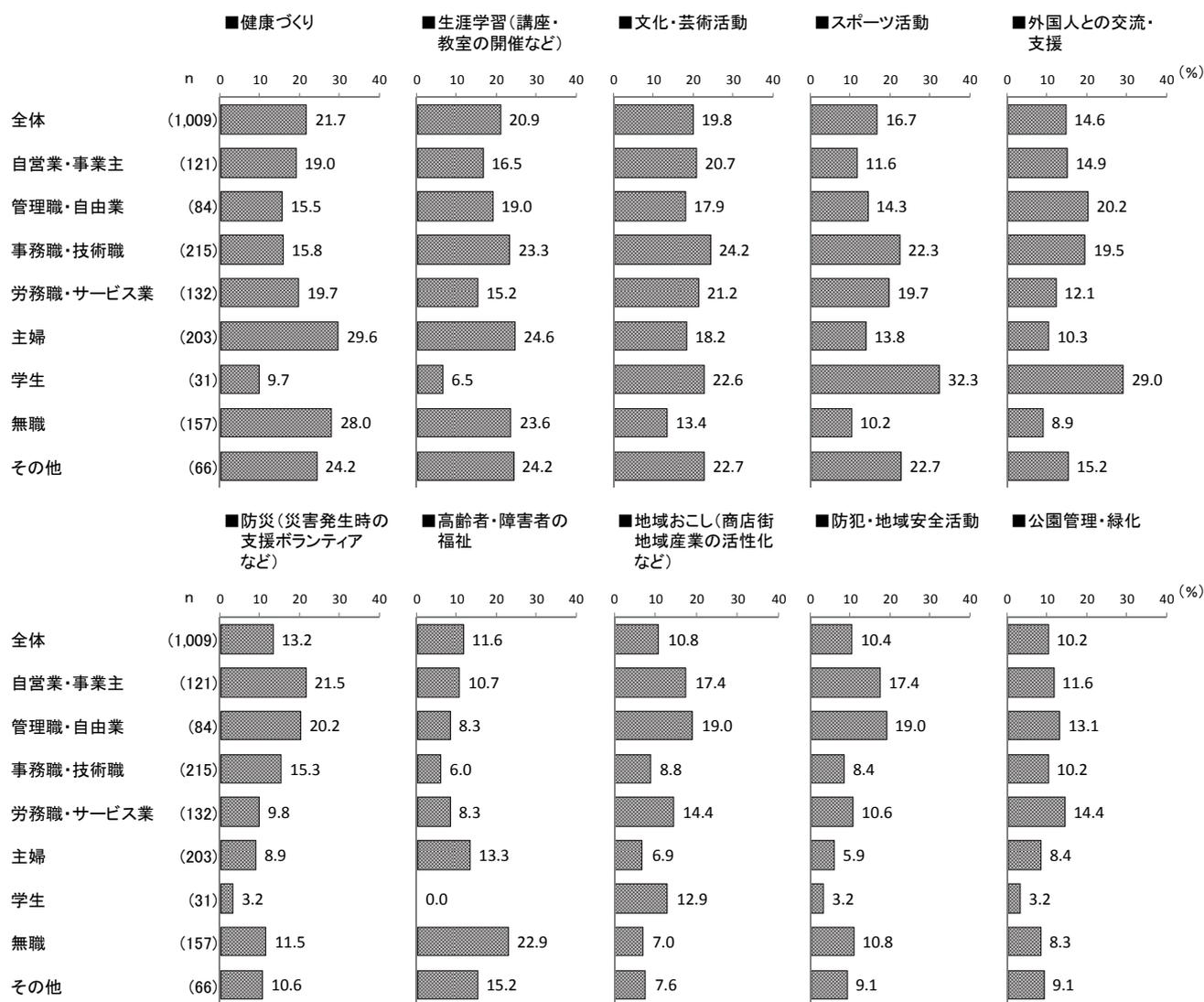
図3-4-2 今後参加してみたい地域活動—性・年代別（上位10項目）



性別に上位10項目でみると、「健康づくり」と「生涯学習(講座・教室の開催など)」は男女とも2割を超え多くなっている。

性・年代別に上位10項目でみると、「健康づくり」は男女とも60歳以上で3割を超え、「外国人との交流・支援」は女性20代で3割半ばと多くなっている。また、「文化・芸術活動」は女性のほうがすべての年代で男性より多く、女性20代から50代の年代は3割前後となっており、「防犯・地域安全活動」は男性30代から60歳以上の年代で女性より多く、男性30代と60歳以上はほぼ2割となっている。(図3-4-2)

図3-4-3 今後参加してみたい地域活動－職業別(上位10項目)



職業別に上位10項目でみると、「スポーツ活動」と「外国人との交流・支援」は学生で3割前後と他の年代に比べ多くなっており、「健康づくり」は主婦でほぼ3割と多くなっている。(図3-4-3)



## 4. 防災・安全・まちづくり

- 
- 4-1 災害への備え
  - 4-2 防災事業の利用度・参加度
  - 4-3 暴力団排除条例の認知度
  - 4-4 安心・防災メールの配信内容
  - 4-5 有用な防犯対策
  - 4-6 自転車の安全利用施策
  - 4-7 周辺地域のまち並み・景観
  - 4-8 良いと思うまち並み・景観
  - 4-9 文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例の認知度
-



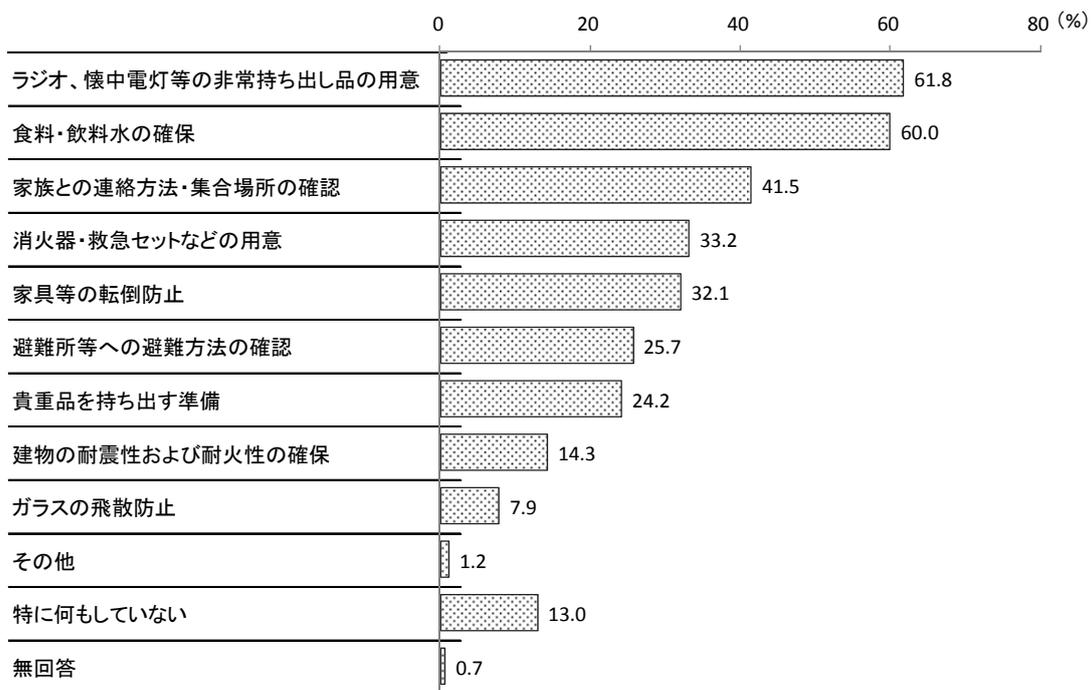
## 4 防災・安全・まちづくり

### 4-1 災害への備え

問 10 あなたは、災害に備えて、どのような対策をとっていますか。次の中からいくつでもお選びください。 (n=1,009)

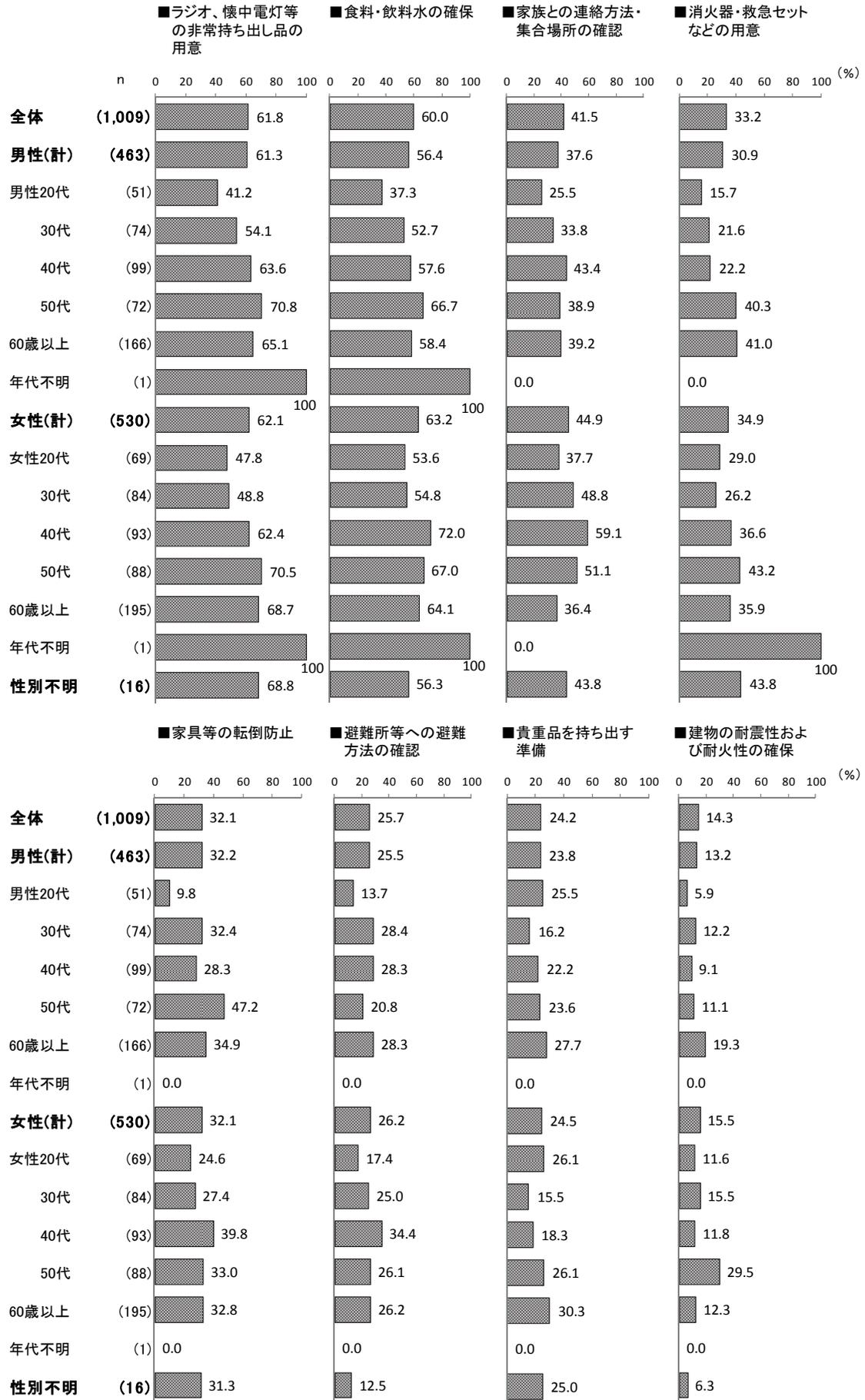
1 食料・飲料水の確保	(60.0%)	7 建物の耐震性および耐火性の確保	(14.3%)
2 消火器・救急セットなどの用意	(33.2%)	8 避難所等への避難方法の確認	(25.7%)
3 ラジオ、懐中電灯等の非常持ち出し品の用意	(61.8%)	9 家族との連絡方法・集合場所の確認	(41.5%)
4 貴重品を持ち出す準備	(24.2%)	10 その他	(1.2%)
5 家具等の転倒防止	(32.1%)	11 特に何もしていない	(13.0%)
6 ガラスの飛散防止	(7.9%)		無回答 (0.7%)

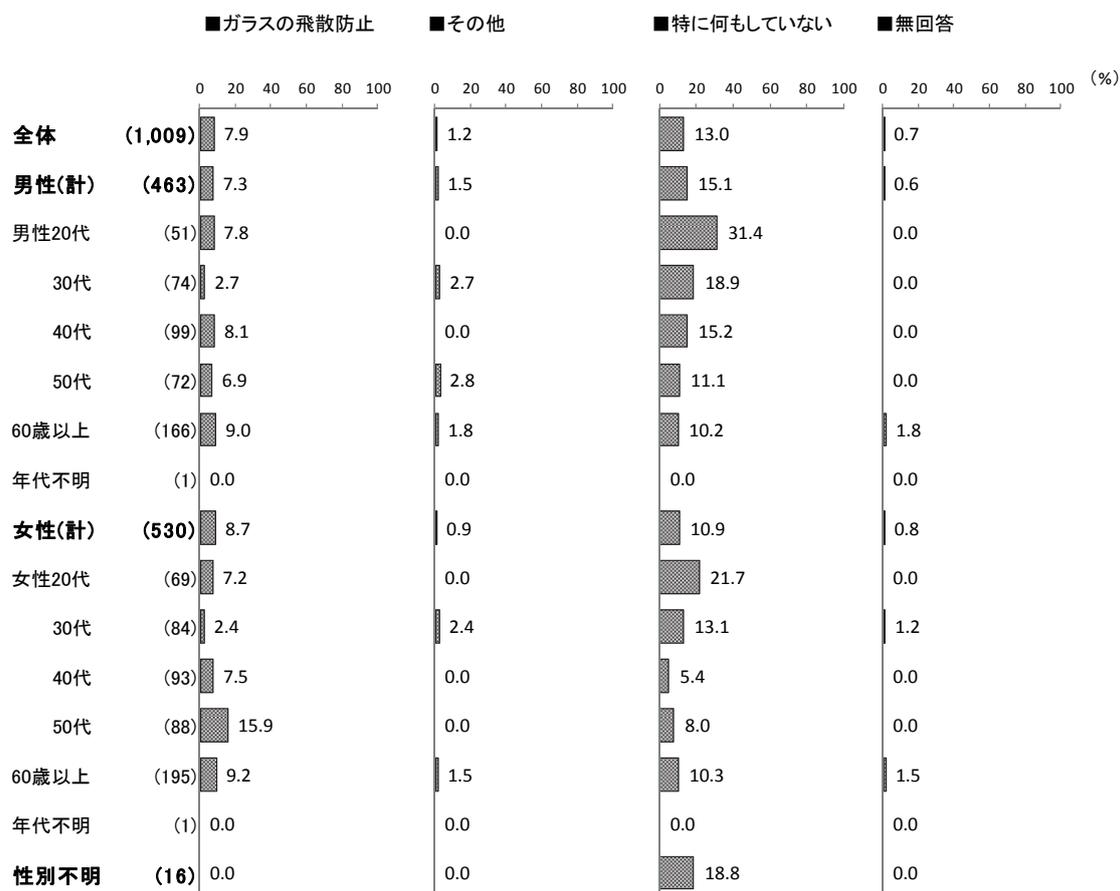
図 4-1-1 災害への備え



災害への備えについて聞いたところ、「ラジオ、懐中電灯等の非常持ち出し品の用意」(61.8%)が6割を超え最も多く、次いで「食料・飲料水の確保」(60.0%)、「家族との連絡方法・集合場所の確認」(41.5%)、「消火器・救急セットなどの用意」(33.2%)、「家具等の転倒防止」(32.1%)などの順となっている。(図4-1-1)

図4-1-2 災害への備え一性・年代別





性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっているが、「家族との連絡方法・集合場所の確認」は女性のほうが7.3ポイント高く、「食料・飲料水の確保」は女性のほうが6.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「ラジオ、懐中電灯等の非常持ち出し品の用意」は男性のすべての年代と女性50代及び60歳以上で最も多く、男女ともに50代ではほぼ7割と多くなっている。また、「食料・飲料水の確保」は女性20代から40代の年代で最も多く、女性40代では7割を超えている。(図4-1-2)

## 4-2 防災事業の利用度・参加度

問 11 防災事業の利用度・参加度についてお伺いします。

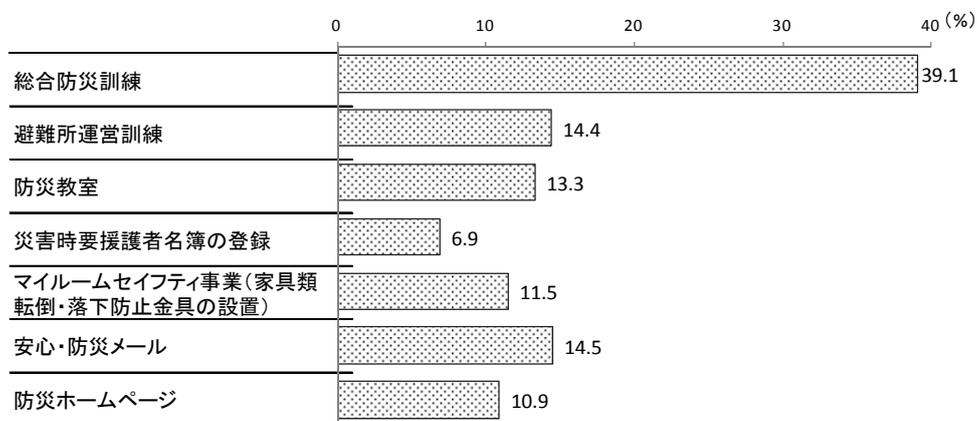
- (1) これらの事業をご存じですか。いくつでもお選びください。
- (2) これらの事業を利用・参加したことがありますか。いくつでもお選びください。
- (3) これらの事業を今後利用したいと思いませんか。いくつでもお選びください。

(n=1,009)

項目	(1) 知っている	(2) 利用・参加 したことがある	(3) 今後利用したい
ア 総合防災訓練	39.1%	8.5%	20.2%
イ 避難所運営訓練	14.4%	4.8%	19.0%
ウ 防災教室	13.3%	3.3%	21.7%
エ 災害時要援護者名簿の登録	6.9%	2.0%	15.8%
オ マイルームセイフティ事業 (家具類転倒・落下防止金具の設置)	11.5%	1.9%	18.9%
カ 安心・防災メール	14.5%	6.1%	24.2%
キ 防災ホームページ	10.9%	2.6%	23.7%

図 4-2-1 防災事業の認知度

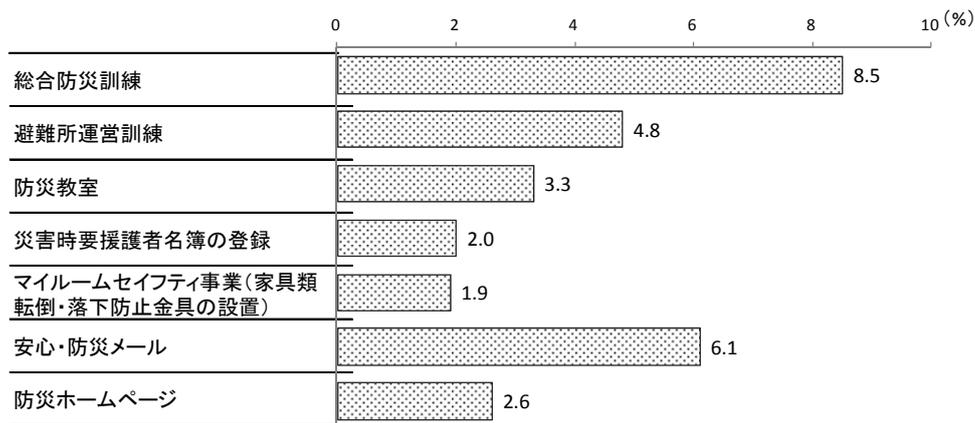
「知っている」



防災事業の認知度について聞いたところ、「総合防災訓練」(39.1%)はほぼ4割と最も多く、次いで「安心・防災メール」(14.5%)、「避難所運営訓練」(14.4%)、「防災教室」(13.3%)などの順となっている。(図 4-2-1)

図4-2-2 防災事業の利用度・参加度

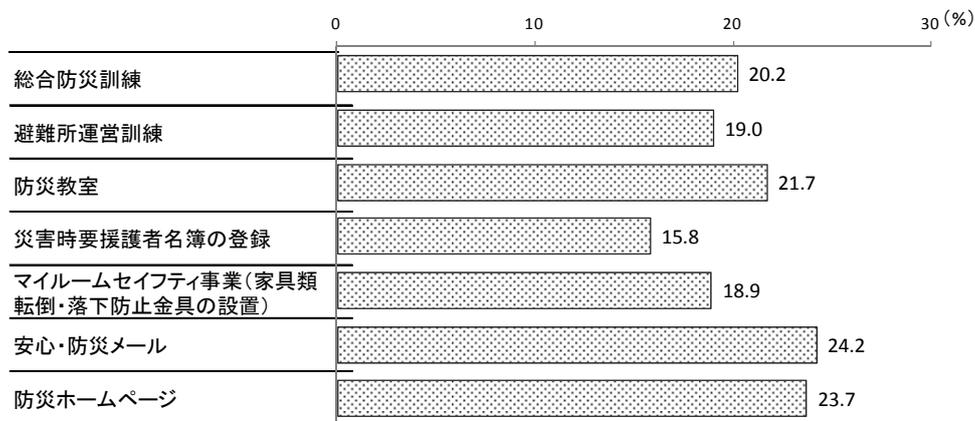
「利用・参加したことがある」



防災事業の利用度・参加度について聞いたところ、「総合防災訓練」(8.5%)が最も多く、次いで「安心・防災メール」(6.1%)、「避難所運営訓練」(4.8%)、「防災教室」(3.3%)などの順となっているが、いずれも1割未満となっている。(図4-2-2)

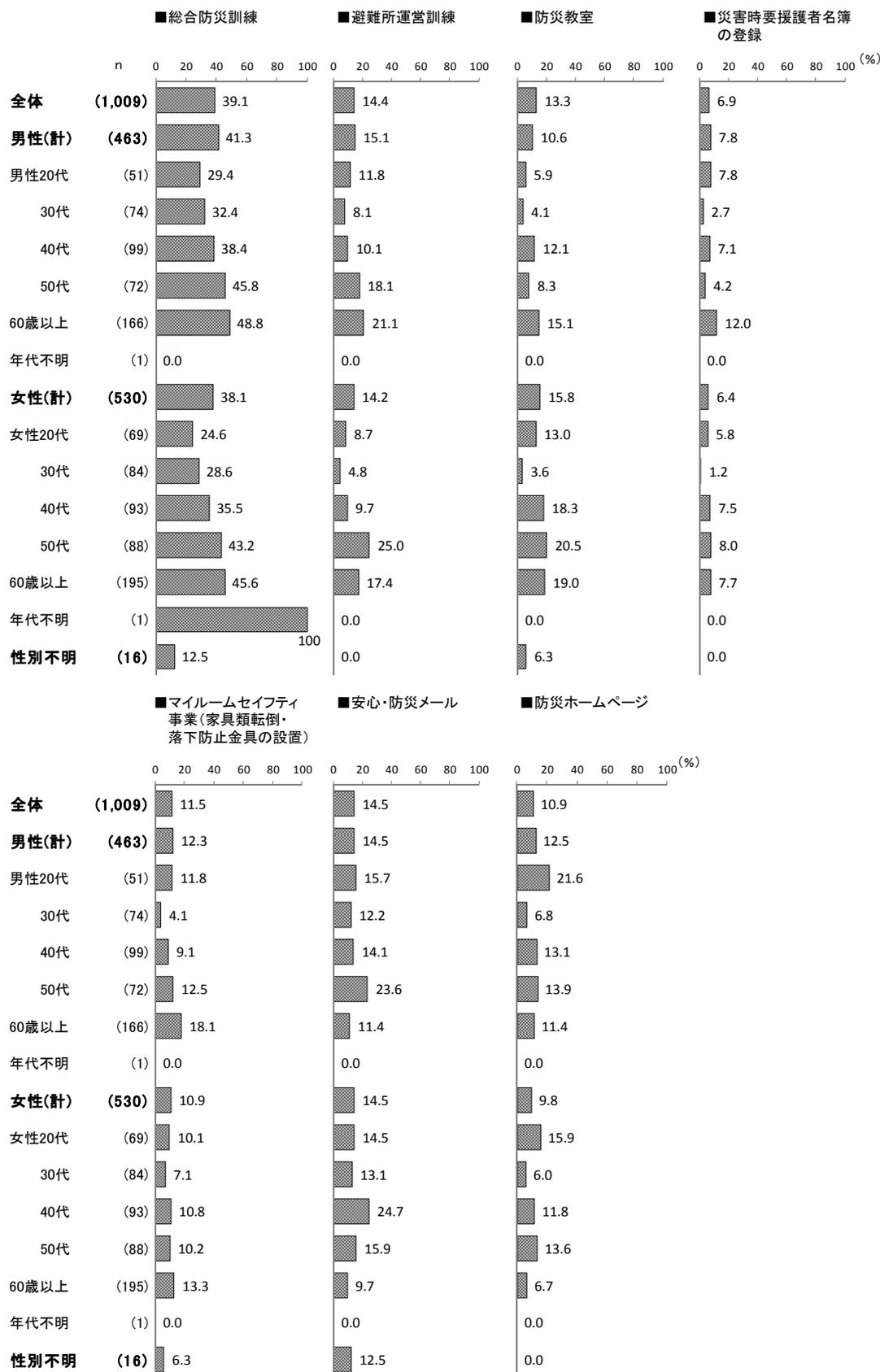
図4-2-3 今後利用したい防災事業

「今後利用したい」



今後利用したい防災事業について聞いたところ、「安心・防災メール」(24.2%)が2割半ばと最も多く、次いで「防災ホームページ」(23.7%)、「防災教室」(21.7%)、「総合防災訓練」(20.2%)などの順となっている。(図4-2-3)

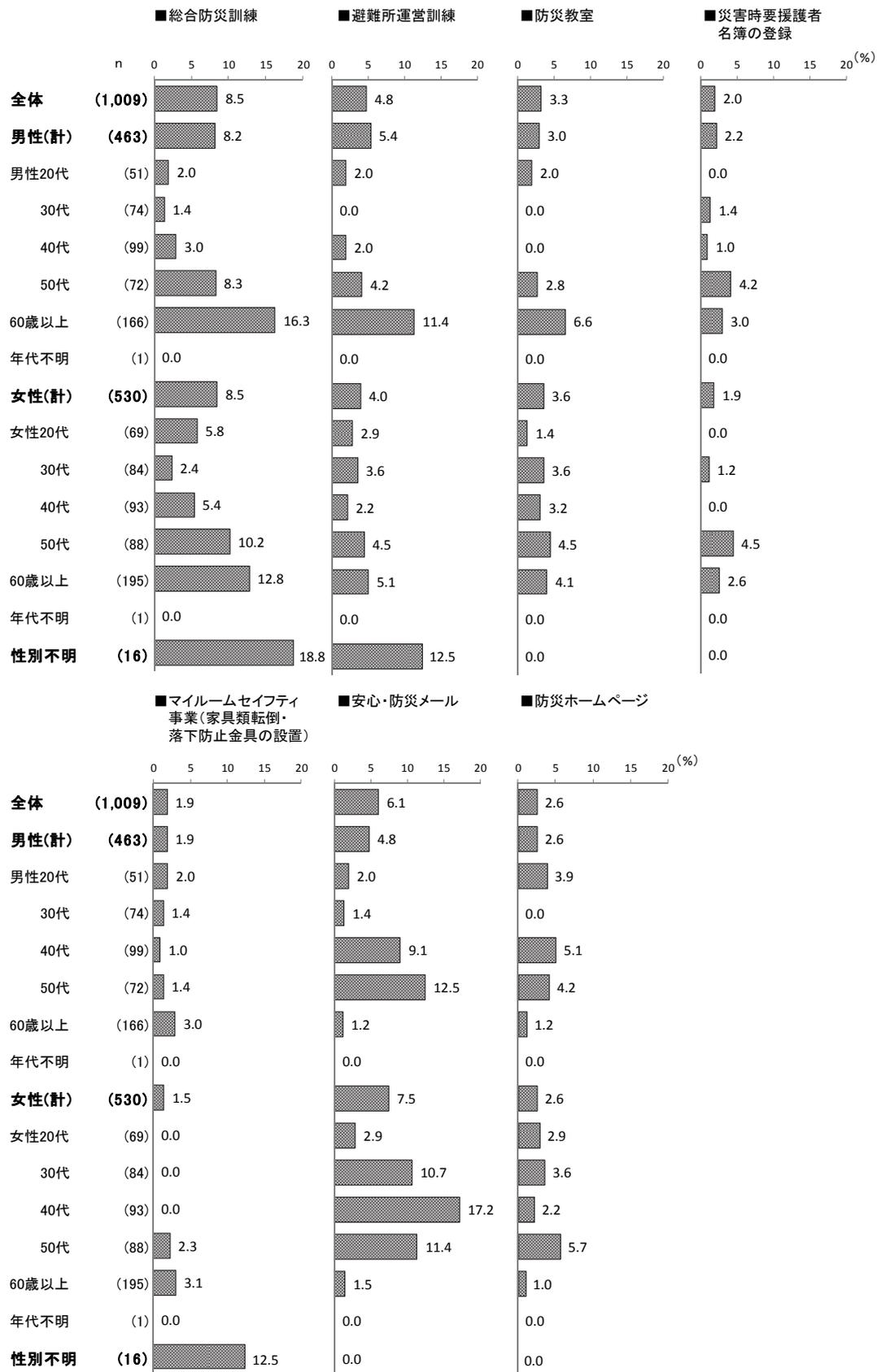
図4-2-4 防災事業の認知度－性・年代別 「知っている」



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「総合防災訓練」は男女ともにすべての年代で最も多く、男女ともに50代以上で4割を超え多くなっている。(図4-2-4)

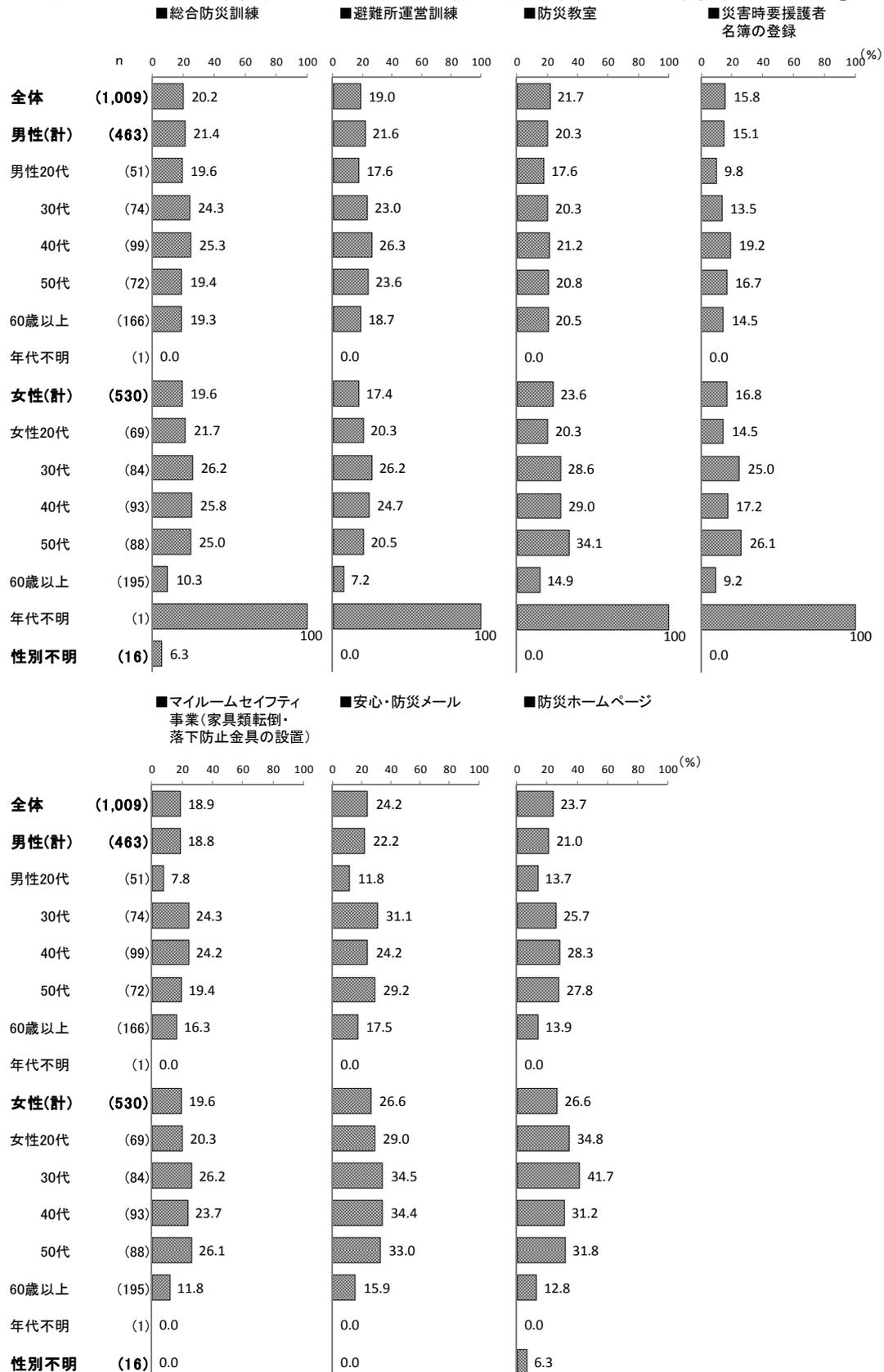
図 4-2-5 防災事業の利用度・参加度一性・年代別 「利用・参加したことがある」



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「総合防災訓練」は男女ともに60歳以上で最も多く1割を超え、「安心・防災メール」は男性50代、女性30代から50代の年代で最も多く、1割を超えている。(図4-2-5)

図4-2-6 今後利用したい防災事業—性・年代別 「今後利用したい」



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっているが、「総合防災訓練」と「避難所運営訓練」を除き、女性のほうが高い傾向となっている。

性・年代別にみると、「防災ホームページ」は女性30代で4割を超え、「安心・防災メール」は女性30代、40代で3割半ば、「防災教室」は女性50代で3割半ばと多くなっている。(図4-2-6)

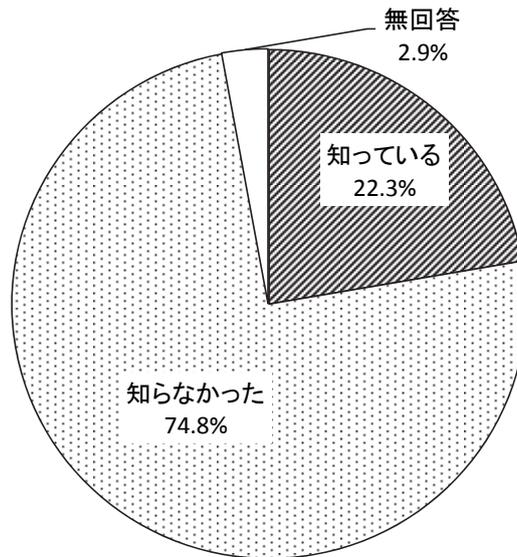
### 4-3 暴力団排除条例の認知度

問 12 あなたは、文京区暴力団排除条例が平成 24 年 4 月に施行されたことをご存じですか。

(n = 1,009)

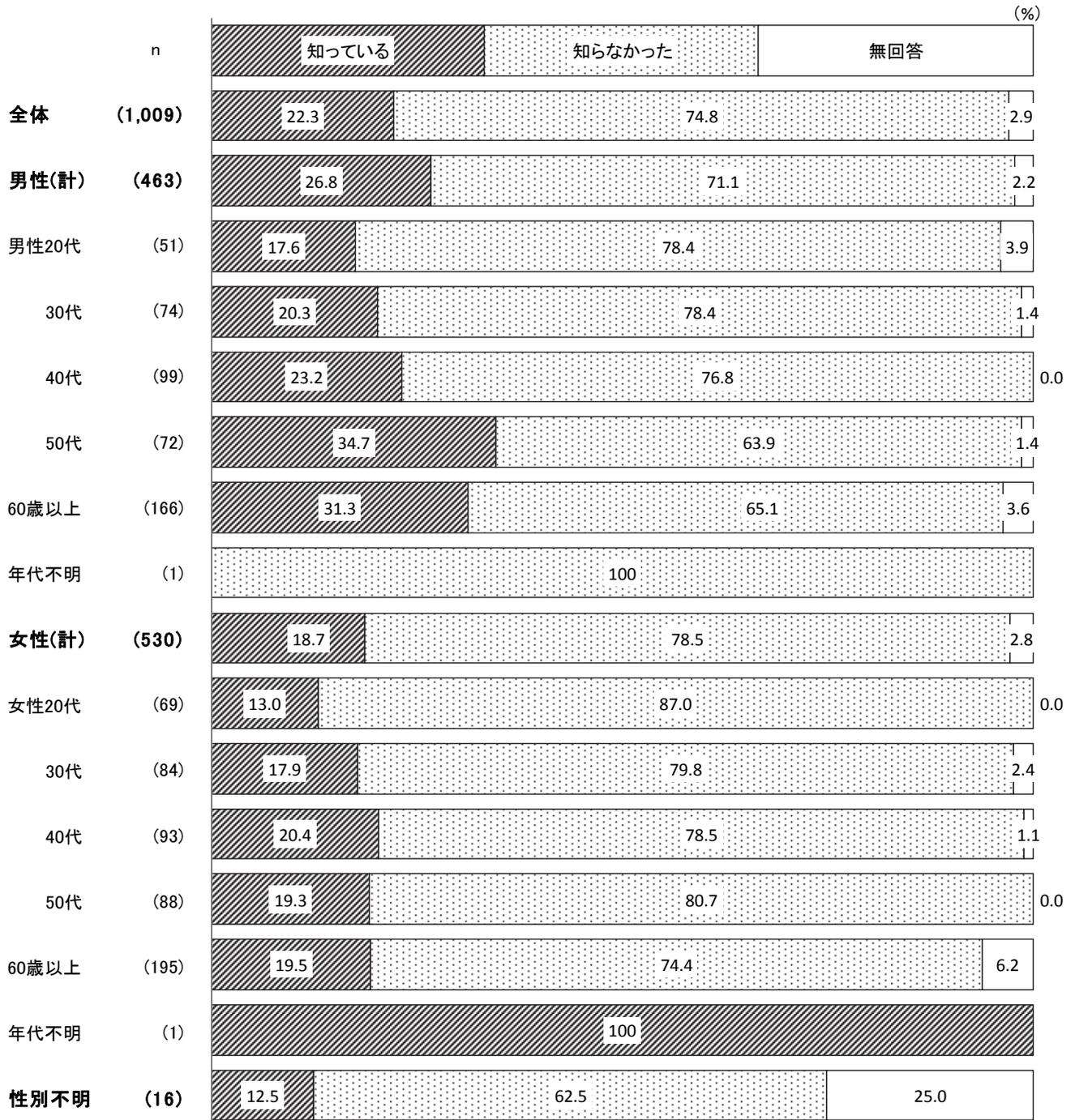
1 知っている	(22.3%)	2 知らなかった	(74.8%)
		無回答	(2.9%)

図 4-3-1 暴力団排除条例の認知度



文京区暴力団排除条例について聞いたところ、「知っている」(22.3%)は2割を超え、「知らなかった」(74.8%)は7割半ばとなっている。(図 4-3-1)

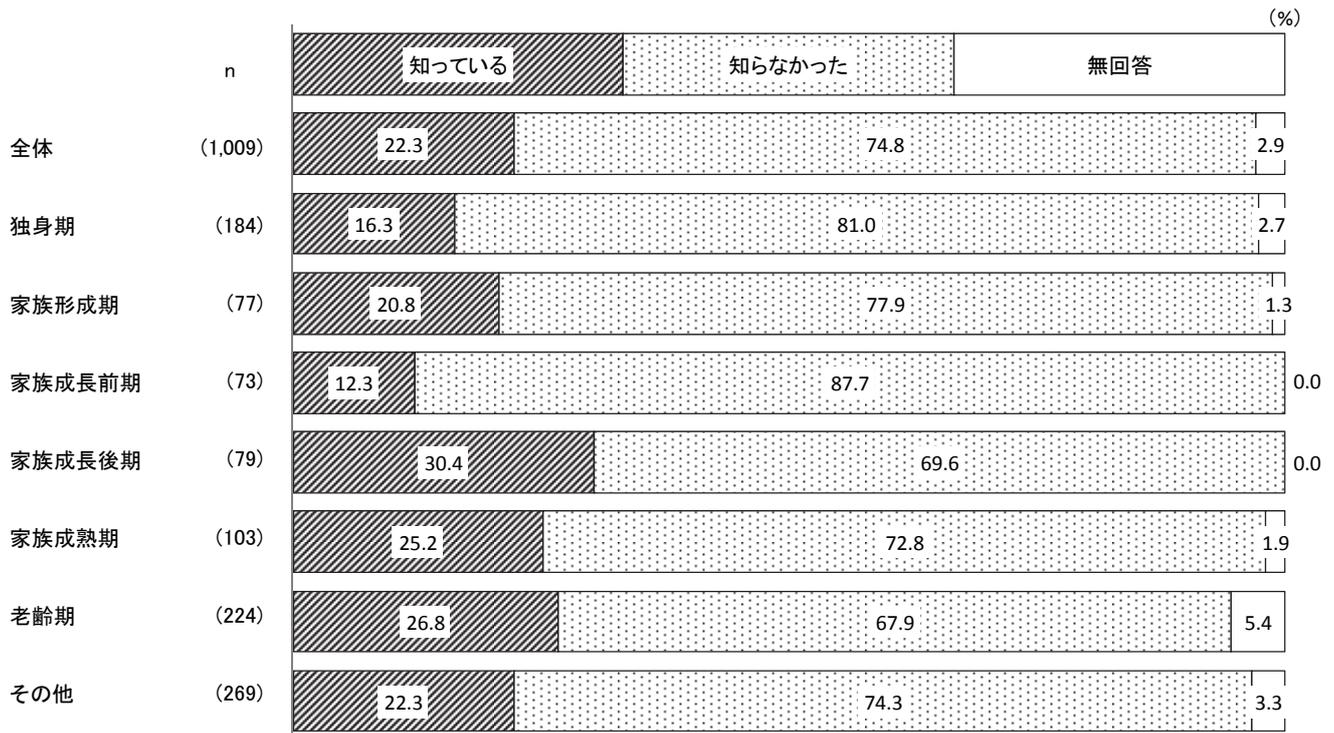
図 4-3-2 暴力団排除条例の認知度—性・年代別



性別にみると、「知っている」は男性で2割半ば、女性は2割近くとなっており、「知らなかった」は男女ともに7割以上を占めている。

性・年代別にみると、「知っている」は男性50代で3割半ばと最も多く、男性60歳以上で3割を超え、女性40代から60歳以上の年代では2割前後となっている。一方、「知らなかった」はすべての年代で6割以上を占め、男性20代、30代と女性30代から50代の年代ではほぼ8割となっており、女性20代では9割近くと多くなっている。(図4-3-2)

図 4-3-3 暴力団排除条例の認知度—ライフステージ別



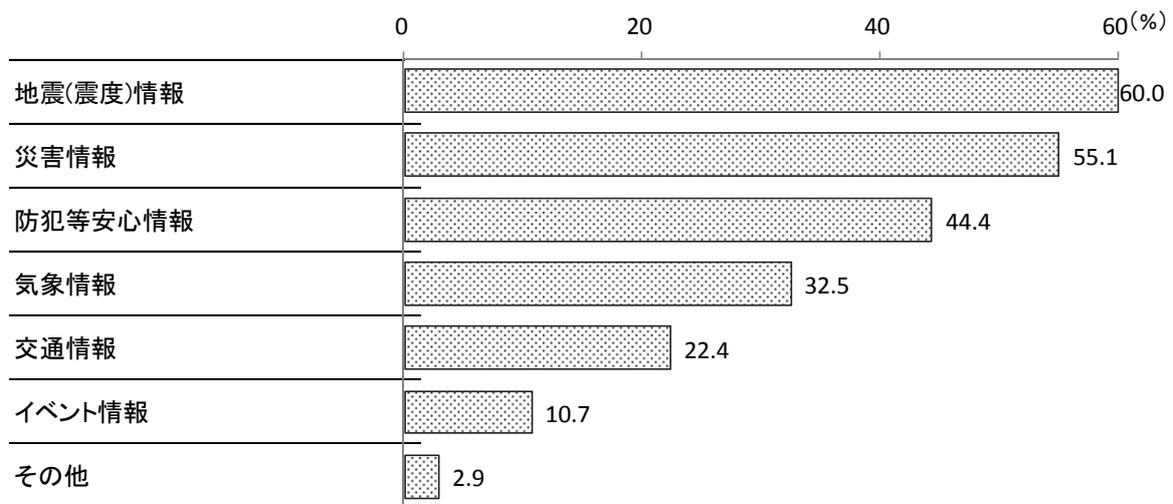
ライフステージ別にみると、「知っている」は家族成長後期ではほぼ3割、家族成熟期と老齢期で2割半ばとなっている。また、「知らなかった」は独身期と家族成長前期で8割を超え、家族成長前期では9割近くと多くなっている。(図4-3-3)

#### 4-4 安心・防災メールの配信内容

問 13 区では登録者に安心・防災メールを配信しています。あなたは、どのような情報の配信を希望しますか。いくつでもお選びください。 (n=1,009)

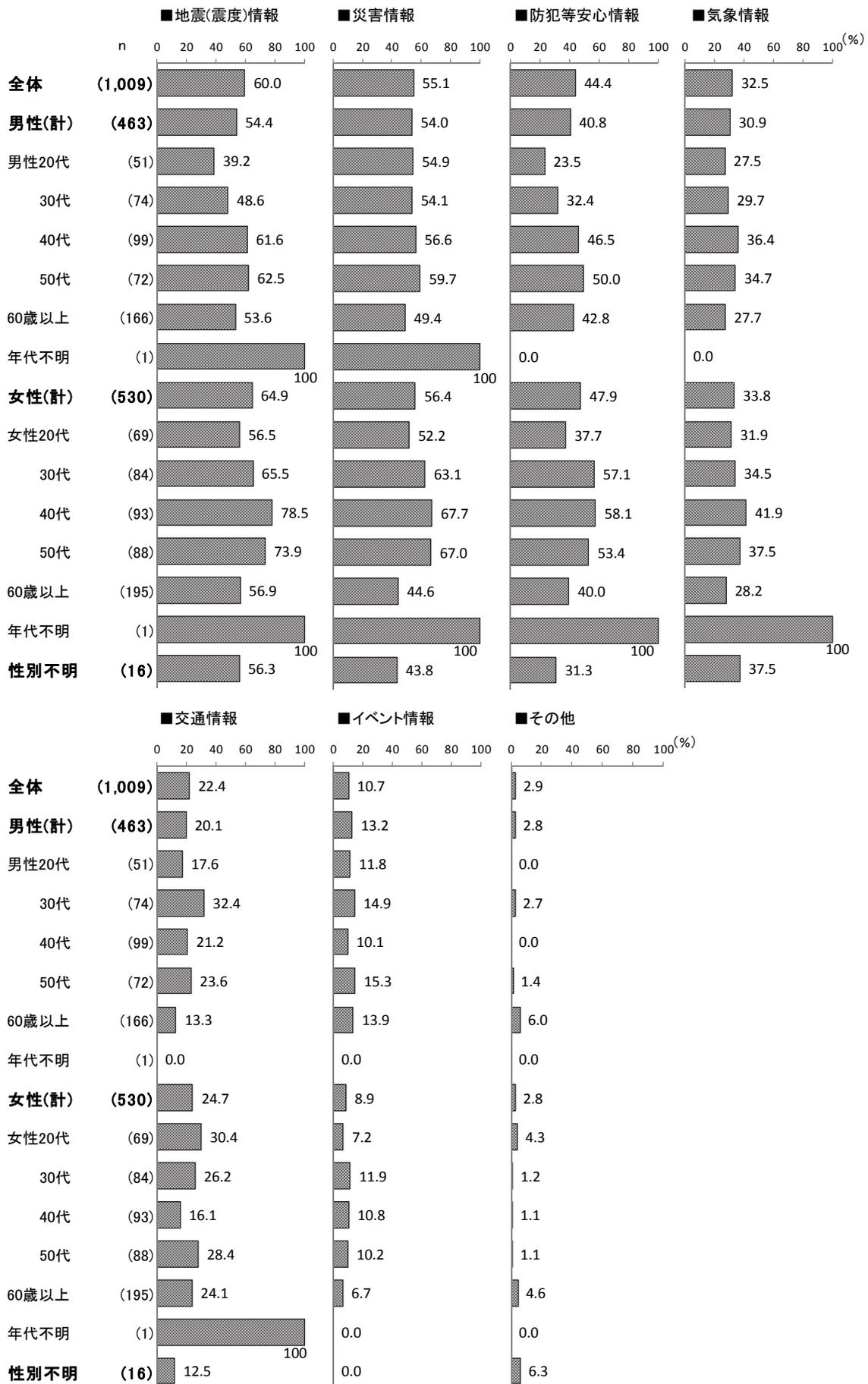
1 防犯等安心情報	(44.4%)	5 交通情報	(22.4%)
2 地震(震度)情報	(60.0%)	6 イベント情報	(10.7%)
3 気象情報	(32.5%)	7 その他	(2.9%)
4 災害情報	(55.1%)		

図 4-4-1 安心・防災メールの配信内容



希望する安心・防災メールの配信内容について聞いたところ、「地震(震度)情報」(60.0%)が6割と最も多く、次いで「災害情報」(55.1%)、「防犯等安心情報」(44.4%)、「気象情報」(32.5%)などの順となっている。(図 4-4-1)

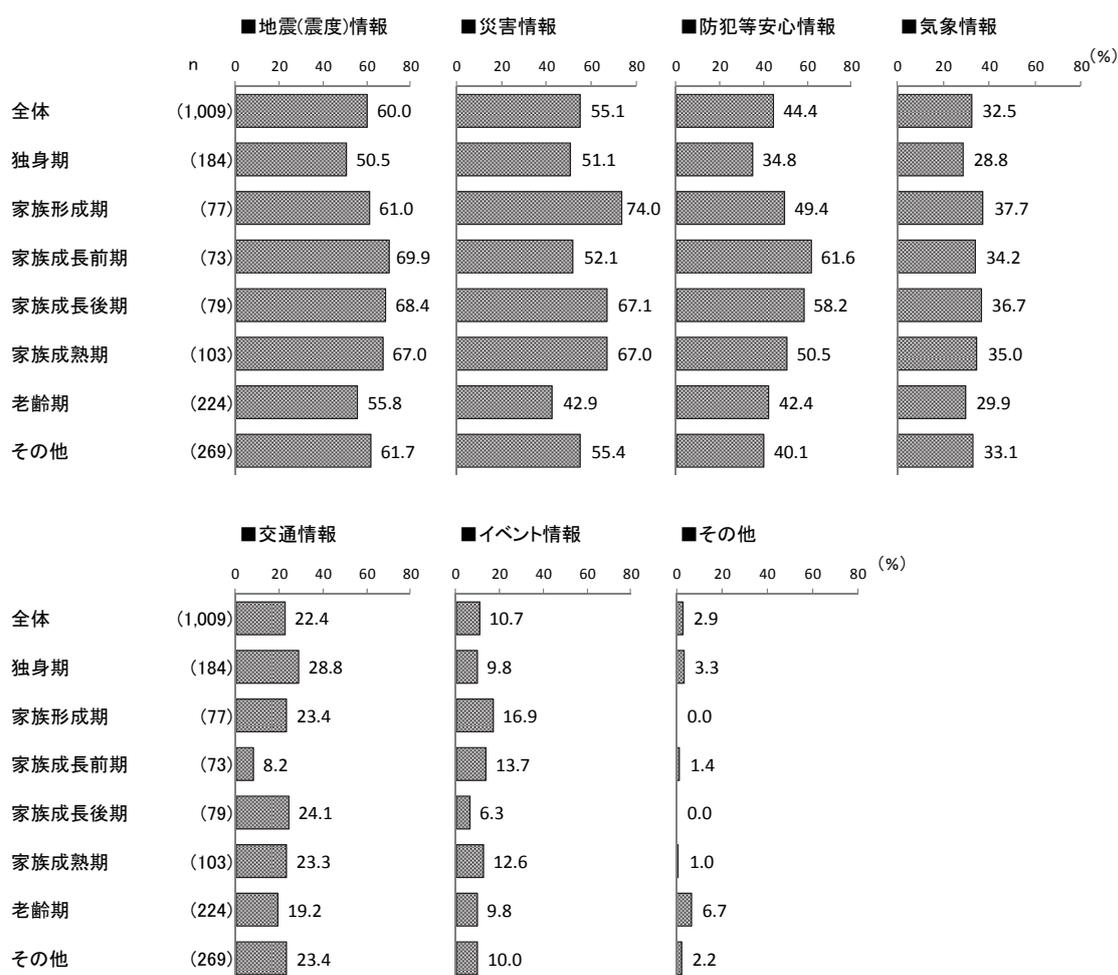
図 4-4-2 安心・防災メールの配信内容—性・年代別



性別にみると、「イベント情報」を除き、女性のほうが多い傾向になっている。「地震(震度)情報」は男女ともに最も多く、男性で5割半ば、女性で6割半ばとなっている。

性・年代別にみると、「地震(震度)情報」は男女いずれも40代、50代で高い傾向になっており、男性40代、50代で6割以上、女性40代、50代で7割以上と多くなっている。次いで、「災害情報」についても男女いずれも40代、50代で高い傾向になっており、男性40代、50代で6割近く、女性40代、50代で7割近くとなっている。(図4-4-2)

図4-4-3 安心・防災メールの配信内容－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「災害情報」は家族形成期で7割半ばと最も多く、家族成長後期と家族成熟期で7割近くとなっており、「地震(震度)情報」は家族成長前期、家族成長後期及び家族成熟期で7割近くと多くなっている。(図4-4-3)

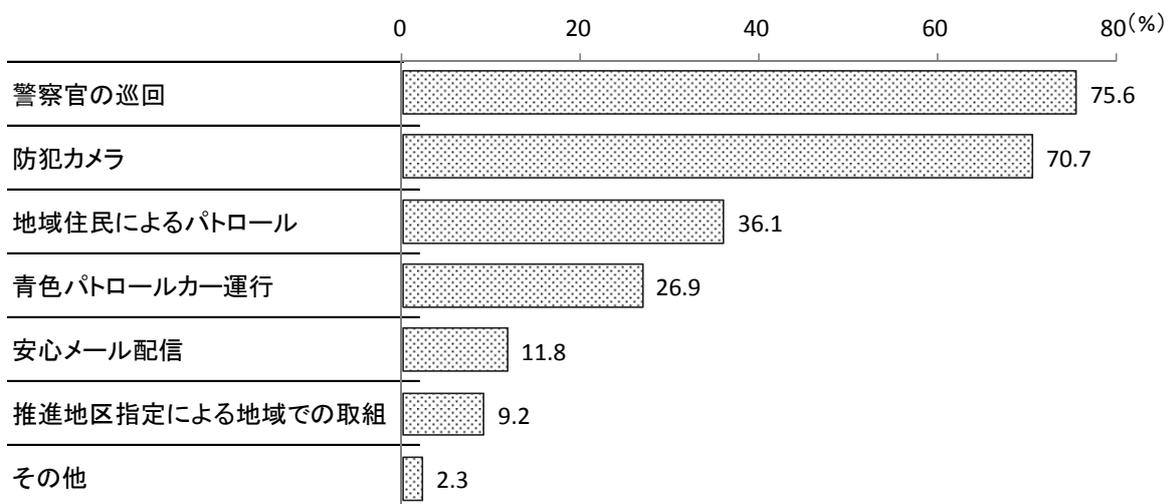
#### 4-5 有用な防犯対策

問 14 あなたが防犯対策として有用と考えるものは何ですか。いくつでもお選びください。

(n = 1,009)

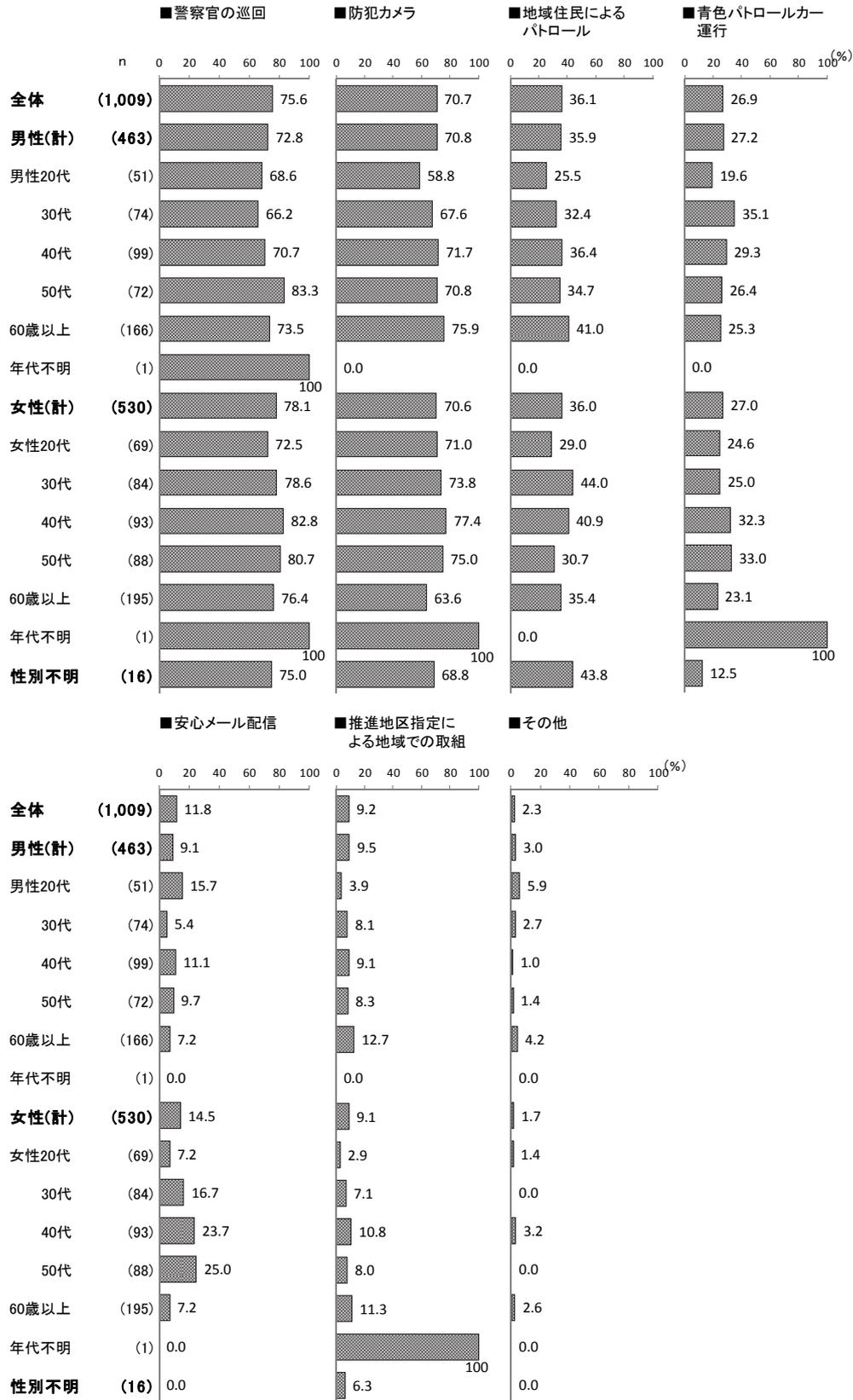
1 防犯カメラ	(70.7%)	5 警察官の巡回	(75.6%)
2 地域住民によるパトロール	(36.1%)	6 推進地区指定による地域での取組	(9.2%)
3 青色パトロールカー運行	(26.9%)	7 その他	(2.3%)
4 安心メール配信	(11.8%)		

図 4-5-1 有用な防犯対策



有用な防犯対策について聞いたところ、「警察官の巡回」(75.6%)が7割半ばと最も多く、次いで「防犯カメラ」(70.7%)、「地域住民によるパトロール」(36.1%)、「青色パトロールカー運行」(26.9%)、「安心メール配信」(11.8%)などの順となっている。(図4-5-1)

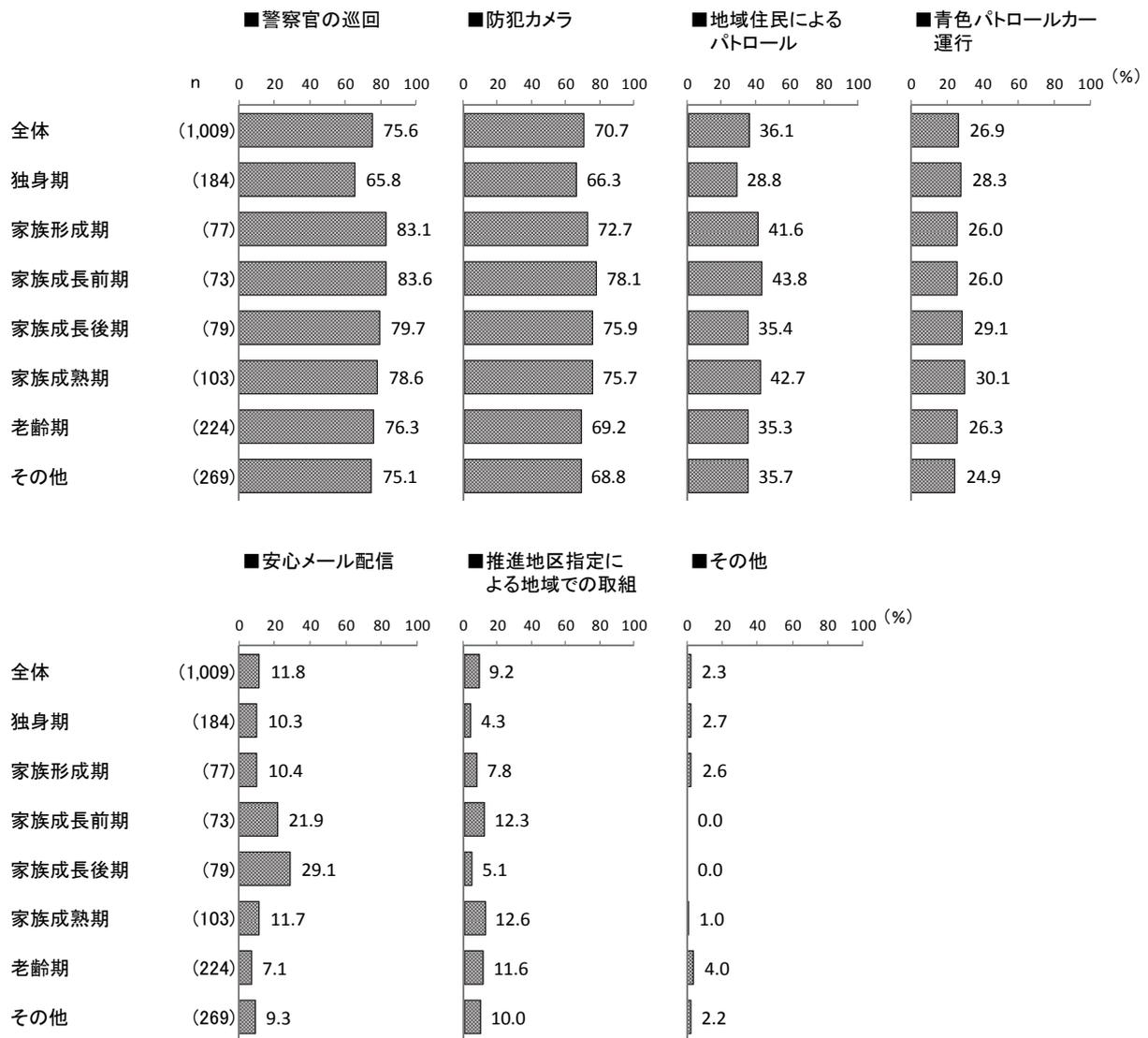
図4-5-2 有用な防犯対策一性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

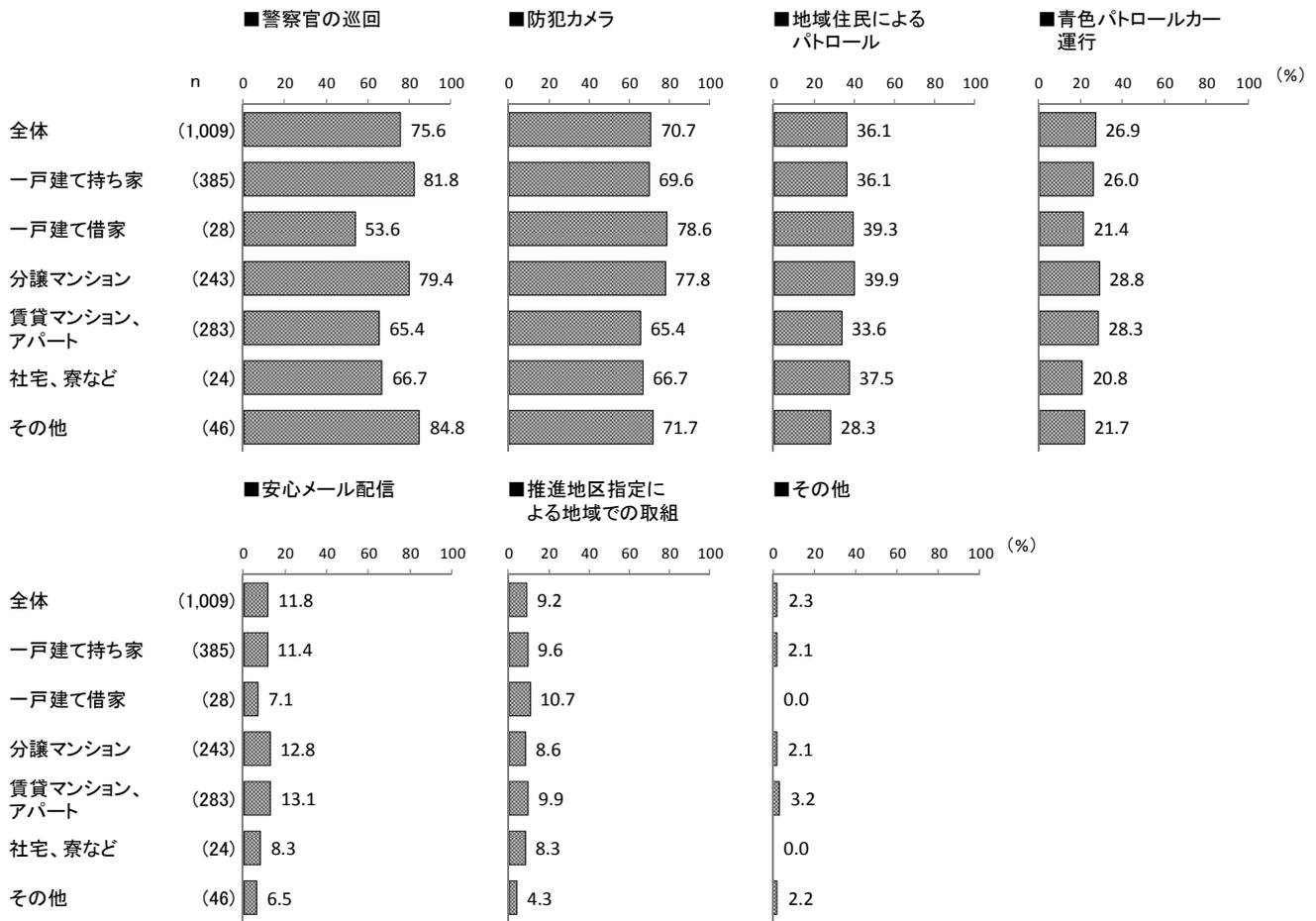
性・年代別にみると、「警察官の巡回」は女性のすべての年代で最も多く、女性40代と50代では8割以上となっている。一方、「防犯カメラ」は男性30代、40代及び60歳以上で最も多く、60歳以上では7割半ばとなっている。(図4-5-2)

図 4-5-3 有用な防犯対策－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「警察官の巡回」は独身期を除く他のライフステージで最も多く、いずれも7割以上を占めており、家族形成期と家族成長前期で8割を超え、家族成長後期と家族成熟期で8割近くとなっている。また、「防犯カメラ」は独身期で最も多く6割半ばとなっている。(図4-5-3)

図4-5-4 有用な防犯対策—住居形態別



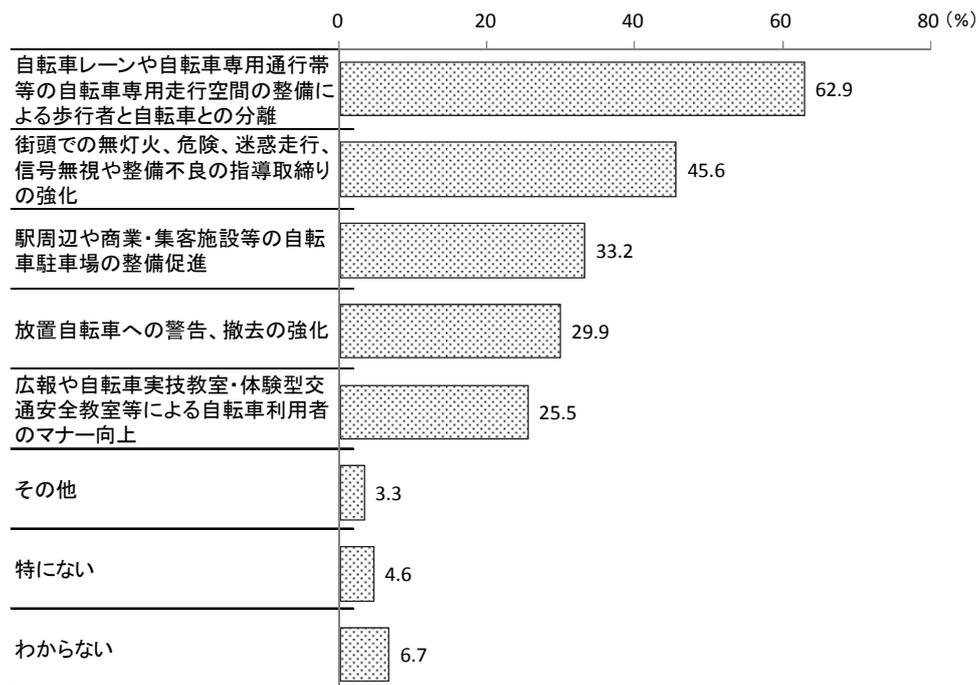
住居形態別で見ると、「警察官の巡回」は一戸建て持ち家と分譲マンションで8割前後となっており、「防犯カメラ」は一戸建て借家と分譲マンションで8割近くとなっている。(図4-5-4)

#### 4-6 自転車の安全利用施策

問 15 自転車の安全利用の推進のためには、あなたが重点を置くべきと思う施策について、次のなかから3つ以内でお選びください。 (n=1,009)

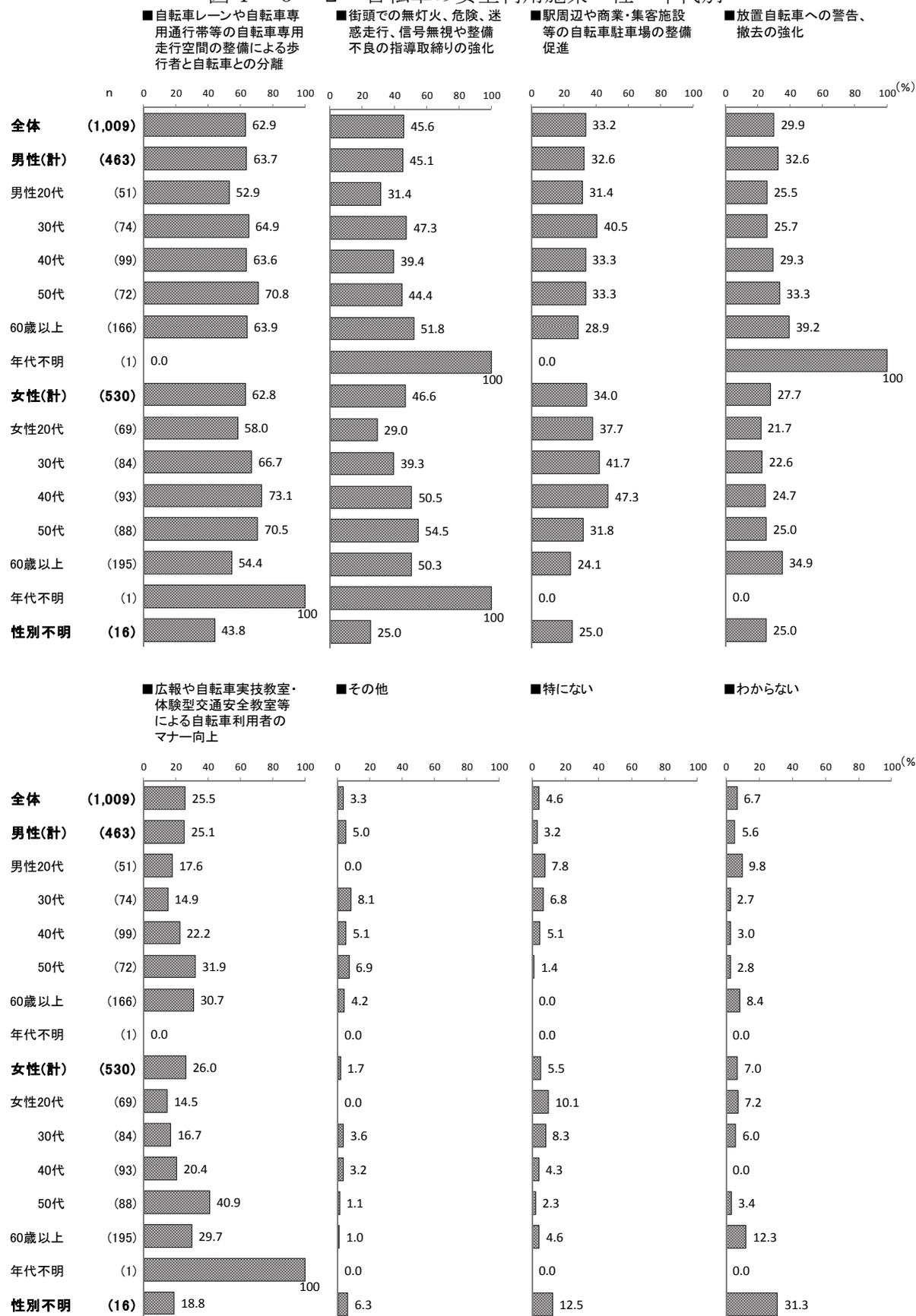
1	自転車レーンや自転車専用通行帯等の自転車専用走行空間の整備による歩行者と自転車との分離	(62.9%)
2	広報や自転車実技教室・体験型交通安全教室等による自転車利用者のマナー向上	(25.5%)
3	街頭での無灯火、危険、迷惑走行、信号無視や整備不良の指導取締りの強化	(45.6%)
4	放置自転車への警告、撤去の強化	(29.9%)
5	駅周辺や商業・集客施設等の自転車駐車場の整備促進	(33.2%)
6	その他	(3.3%)
7	特にない	(4.6%)
8	わからない	(6.7%)

図 4-6-1 自転車の安全利用施策



自転車の安全利用施策について聞いたところ、「歩行者と自転車との分離」(62.9%)が6割を超え最も多く、次いで「指導取締りの強化」(45.6%)、「自転車駐車場の整備促進」(33.2%)、「放置自転車への警告、撤去の強化」(29.9%)などの順となっている。(図4-6-1)

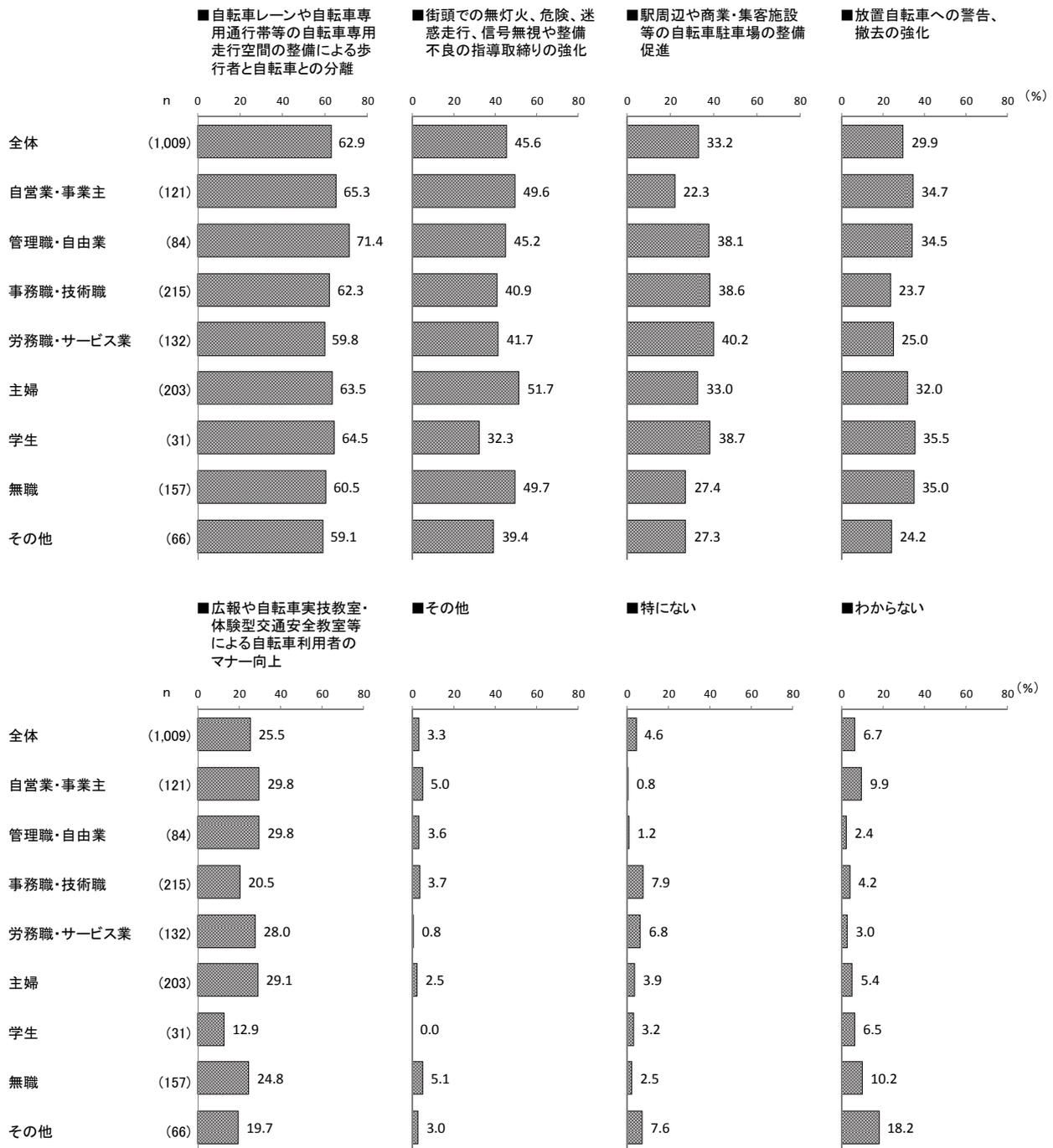
図4-6-2 自転車の安全利用施策一性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「歩行者と自転車との分離」は男女ともにすべての年代で最も多く、男性50代と女性40代、50代の年代で7割以上となっている。(図4-6-2)

図 4-6-3 自転車の安全利用施策—職業別



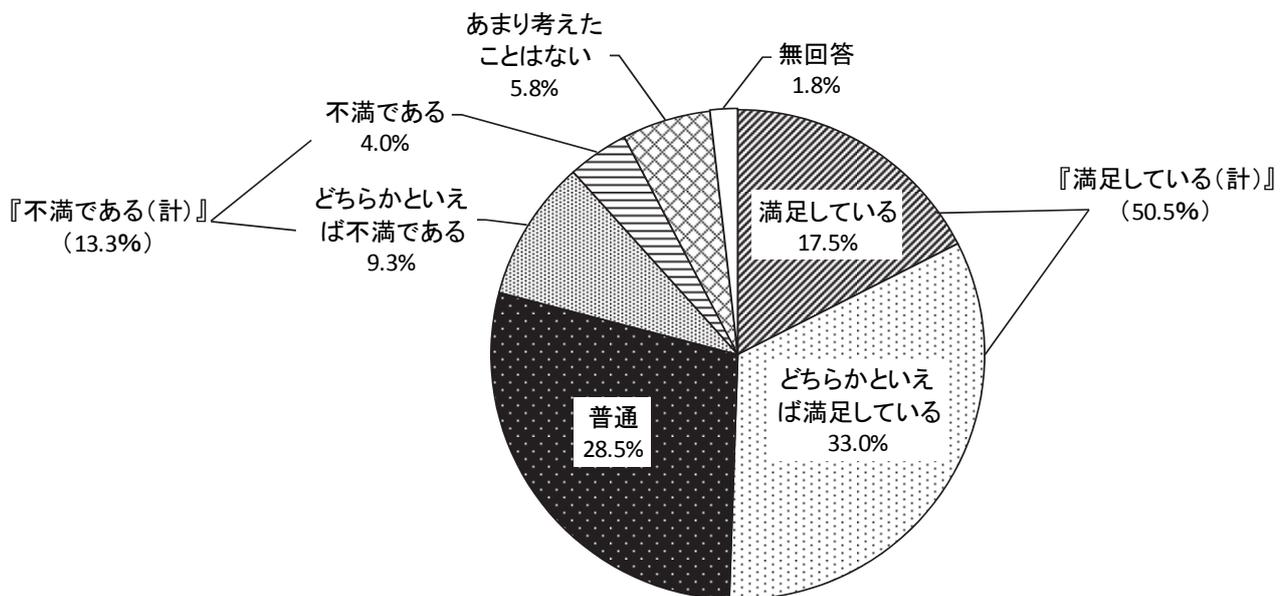
職業別にみると、「歩行者と自転車との分離」はすべての職業で最も多く、管理職・自由業では7割を超えており、「指導取締りの強化」は学生を除き4割以上と多くなっている。(図 4-6-3)

#### 4-7 周辺地域のまち並み・景観

問 16 あなたがお住まいの周辺地域のまち並み・景観について、どのように感じますか。1つお選びください。(n=1,009)

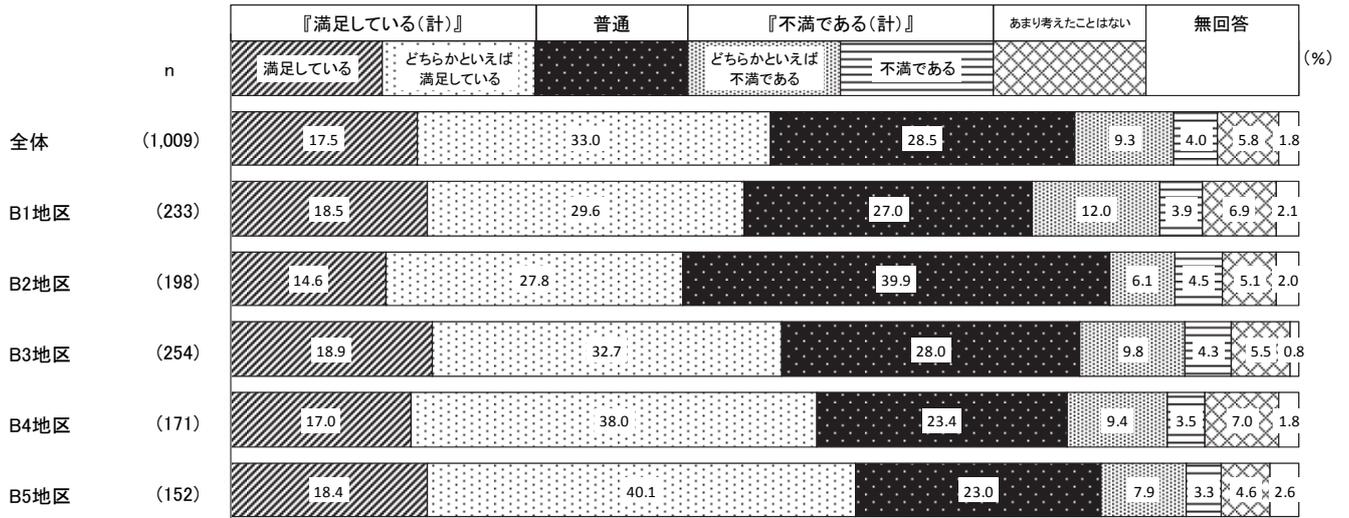
1 満足している	(17.5%)	4 どちらかといえば不満である	(9.3%)
2 どちらかといえば満足している	(33.0%)	5 不満である	(4.0%)
3 普通	(28.5%)	6 あまり考えたことはない	(5.8%)
		無回答	(1.8%)

図 4-7-1 周辺地域のまち並み・景観



周辺地域のまち並み・景観について聞いたところ、「満足している」(17.5%)と「どちらかといえば満足している」(33.0%)を合わせた『満足している(計)』(50.5%)が5割を超えており、「不満である」(4.0%)と「どちらかといえば不満である」(9.3%)を合わせた『不満である(計)』(13.3%)は1割程度となっている。(図4-7-1)

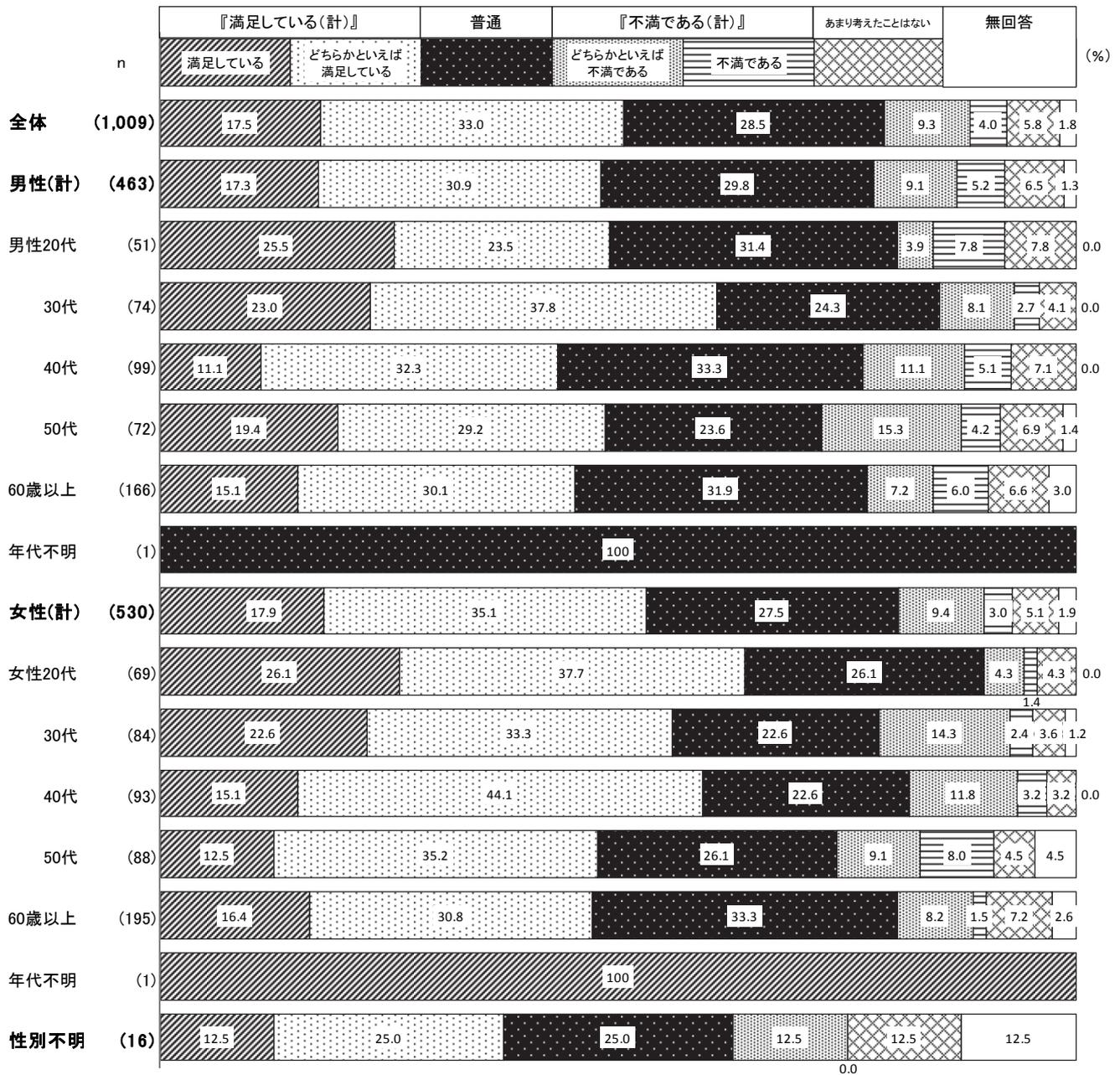
図4-7-2 周辺地域のまち並み・景観—地区別



地区別にみると、『満足している(計)』はブロック3からブロック5で5割を超えており、ブロック5では6割近くとなっている。

一方、『不満である(計)』はブロック1とブロック3で1割半ばとなっている。(図4-7-2)

図4-7-3 周辺地域のまち並み・景観一性・年代別



性別にみると、『満足している(計)』は男女ともに約5割となっている。

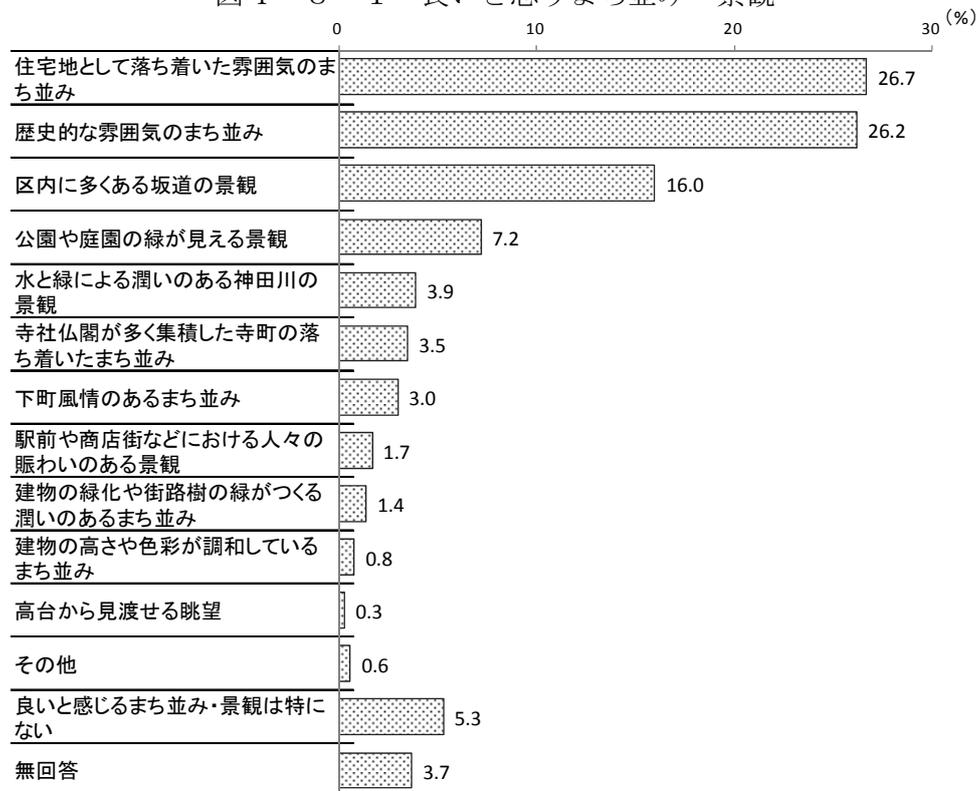
性・年代別にみると、『満足している(計)』は男性30代と女性20代で6割以上、女性40代でほぼ6割となっている。一方、『不満である(計)』は男女ともに50代で2割近くとなっている。(図4-7-3)

#### 4-8 良いと思うまち並み・景観

問 16-1 どのようなまち並み・景観が良いと感じますか。3つ以内でお選びください。(n=1,009)

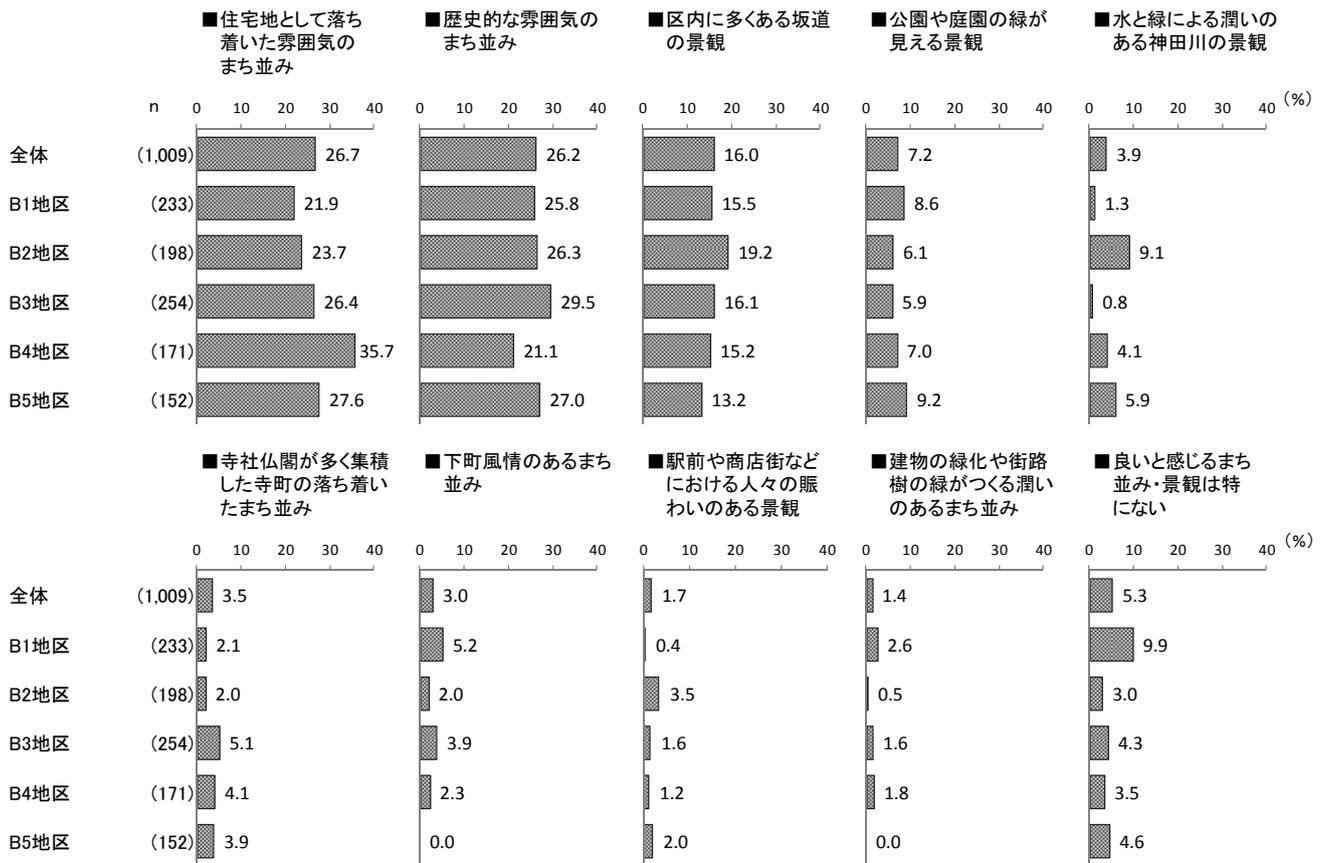
1 区内に多くある坂道の景観	(16.0%)
2 歴史的な雰囲気のみち並み	(26.2%)
3 住宅地として落ち着いた雰囲気のまち並み	(26.7%)
4 寺社仏閣が多く集積した寺町の落ち着いたまち並み	(3.5%)
5 下町風情のあるまち並み	(3.0%)
6 水と緑による潤いのある神田川の景観	(3.9%)
7 駅前や商店街などにおける人々の賑わいのある景観	(1.7%)
8 公園や庭園の緑が見える景観	(7.2%)
9 建物の緑化や街路樹の緑がつくる潤いのあるまち並み	(1.4%)
10 建物の高さや色彩が調和しているまち並み	(0.8%)
11 高台から見渡せる眺望	(0.3%)
12 その他	(0.6%)
13 良いと感じるまち並み・景観は特にない	(5.3%)
	無回答 (3.7%)

図 4-8-1 良いと思うまち並み・景観



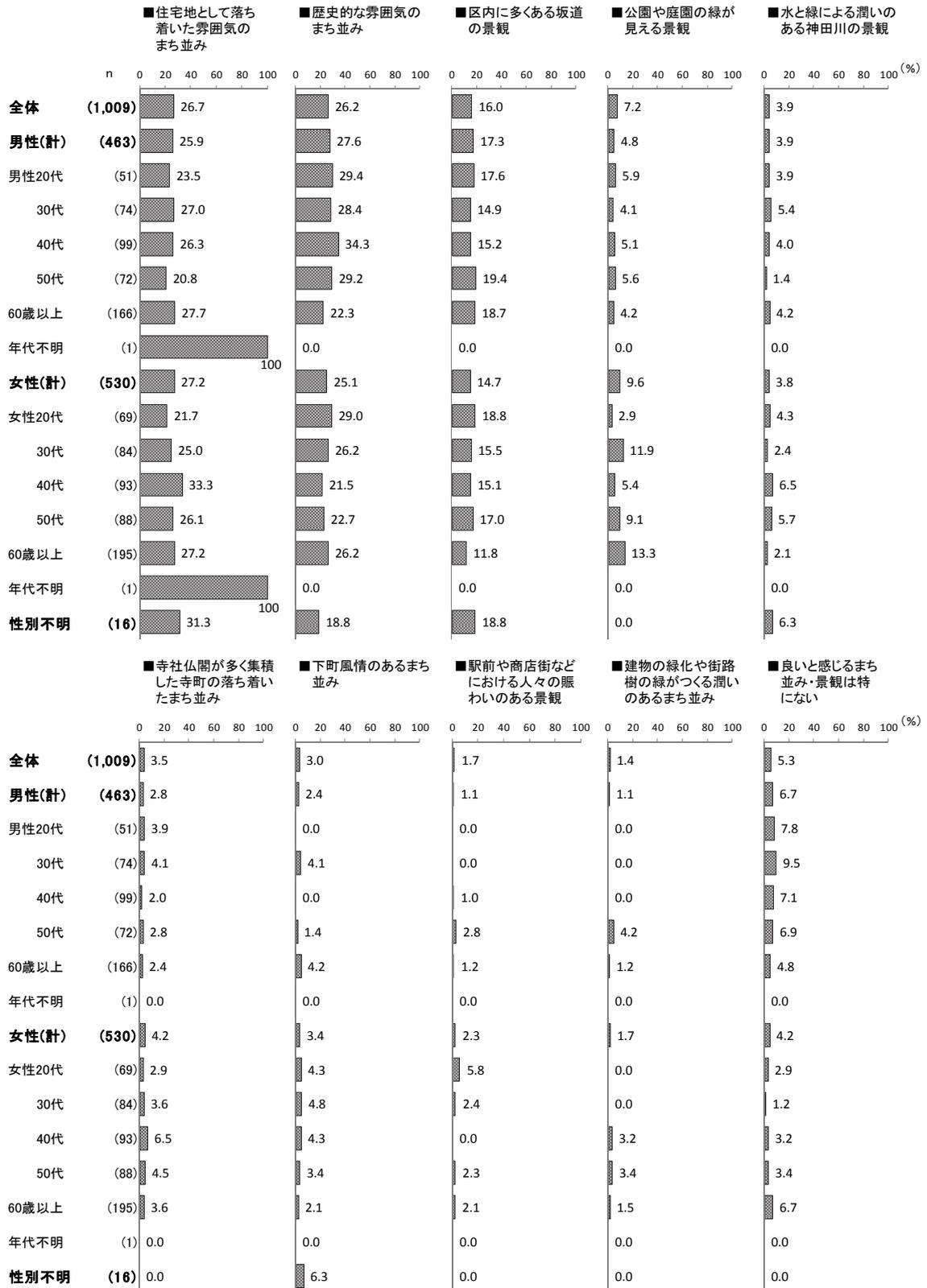
良いと思うまち並み・景観について聞いたところ、「住宅地として落ち着いた雰囲気のまち並み」(26.7%)と「歴史的な雰囲気のまち並み」(26.2%)が2割半ばと最も多く、次いで「区内に多くある坂道の景観」(16.0%)、「公園や庭園の緑が見える景観」(7.2%)などの順となっている。(図4-8-1)

図4-8-2 良いと思うまち並み・景観一地区別（上位10項目）



地区別にみると、「住宅地として落ち着いた雰囲気のあるまち並み」はブロック4で3割半ばと多く、他のブロックでも2割以上となっている。「歴史的な雰囲気のまち並み」はブロック3ではほぼ3割となっており、いずれのブロックも2割以上を占めている。一方、「区内に多くある坂道の景観」はブロック5以外のブロックで1割半ば以上となっている。（図4-8-2）

図 4-8-3 良いと思うまち並み・景観一性・年代別（上位 10 項目）



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

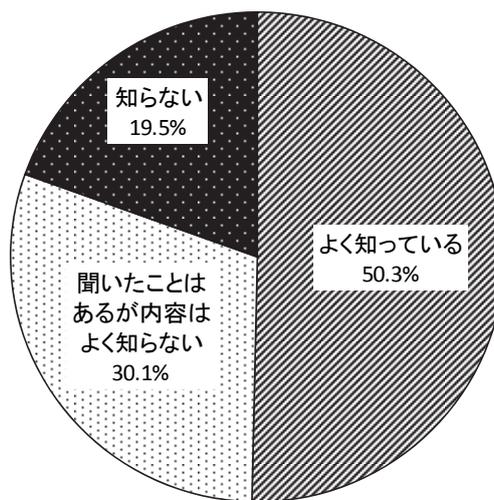
性・年代別にみると、「住宅地として落ち着いた雰囲気のあるまち並み」は男性 60 歳以上と女性 40 代から 60 歳以上の年代で最も多く、女性 40 代では 3 割を超えている。「歴史的な雰囲気のまち並み」は男性 20 代から 50 代と女性 20 代及び 30 代で多く、男性 40 代ではほぼ 3 割半ばとなっている。(図 4-8-3)

#### 4-9 文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例の認知度

問 17 区では、平成 21 年 4 月 1 日から「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を施行し、区内の公共の場所（屋外に限る）における歩きタバコやポイ捨て及び駅出入口前などの重点地域での路上喫煙を禁止しています。このことをご存じですか。1つお選びください。（n=1,009）

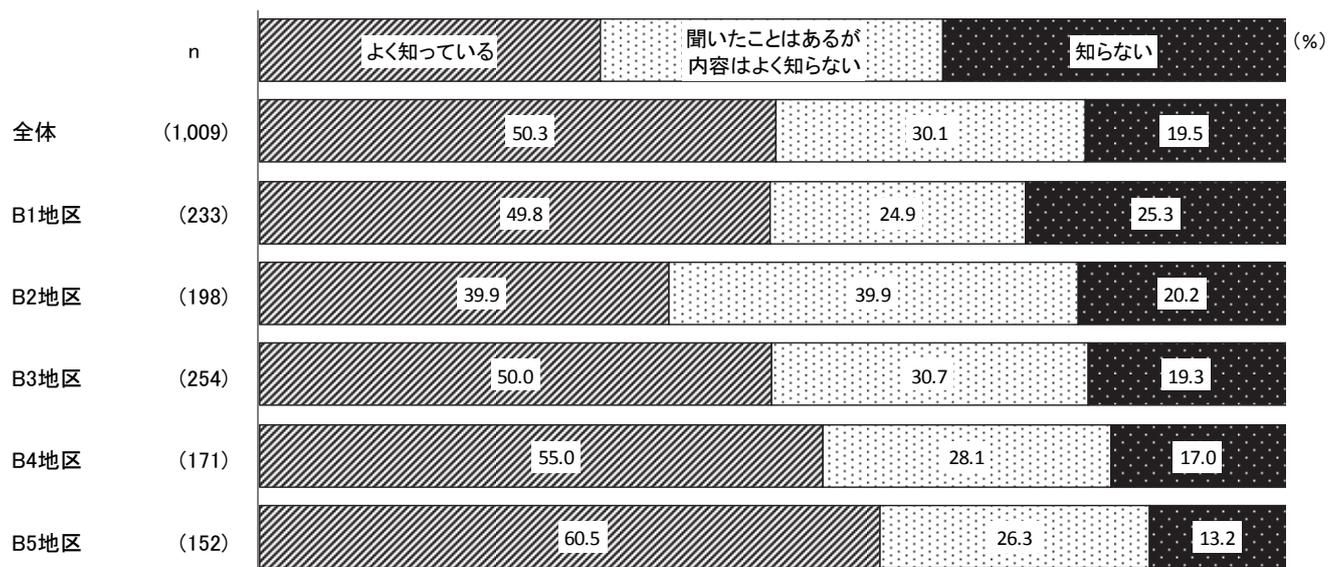
- |                      |         |        |         |
|----------------------|---------|--------|---------|
| 1 よく知っている            | (50.3%) | 3 知らない | (19.5%) |
| 2 聞いたことはあるが内容はよく知らない | (30.1%) |        |         |

図 4-9-1 文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例の認知度



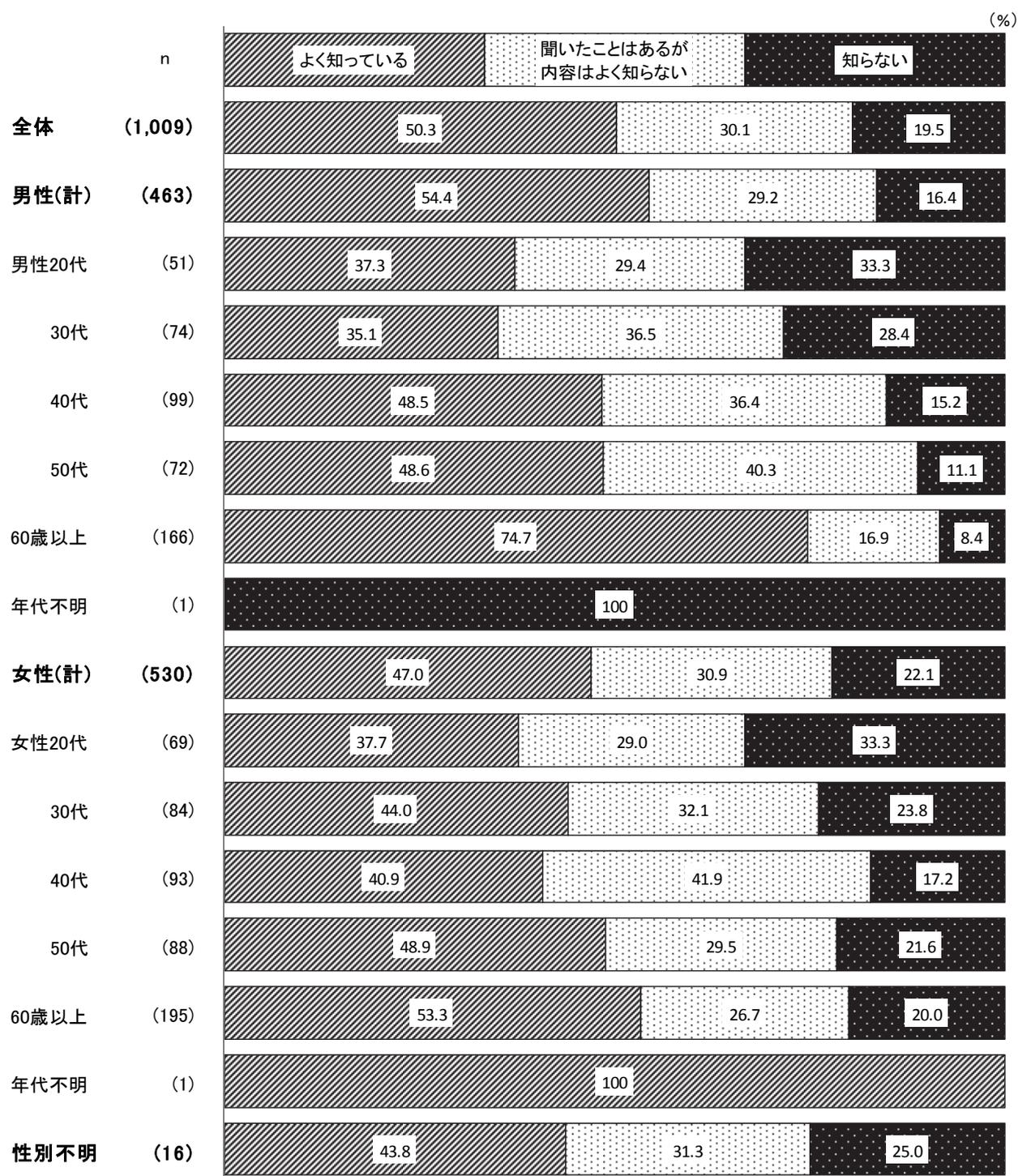
「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」の認知度について聞いたところ、「よく知っている」(50.3%)がほぼ5割と最も多く、これに「聞いたことはあるが内容はよく知らない」(30.1%)を合わせると8割を超えている。(図 4-9-1)

図4-9-2 文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例の認知度—地区別



地区別にみると、「よく知っている」はブロック2でほぼ4割と、他のブロックより少なくなっているが、これに「聞いたことはあるが内容はよく知らない」を合わせると、いずれのブロックでも7割以上を占めている。(図4-9-2)

図 4-9-3 文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例の認知度—性・年代別



性別にみると、「よく知っている」は男性のほうが7.4ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「よく知っている」は男女ともに年齢があがるほど割合が高い傾向にあり、男性60歳以上で7割半ばと多く、男性40代と50代及び女性50代と60歳以上で5割前後となっている。(図4-9-3)

## 5. コミュニティ

- 
- 5-1 町会・自治会への加入状況
  - 5-2 町会・自治会活動への参加意向
  - 5-3 町会・自治会に期待すること
-



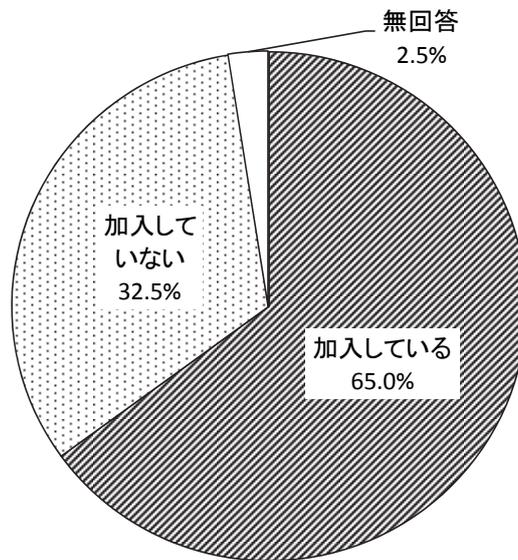
## 5 コミュニティ

### 5-1 町会・自治会への加入状況

問 18 あなたの世帯は、町会や自治会に加入していますか。 (n=1,009)

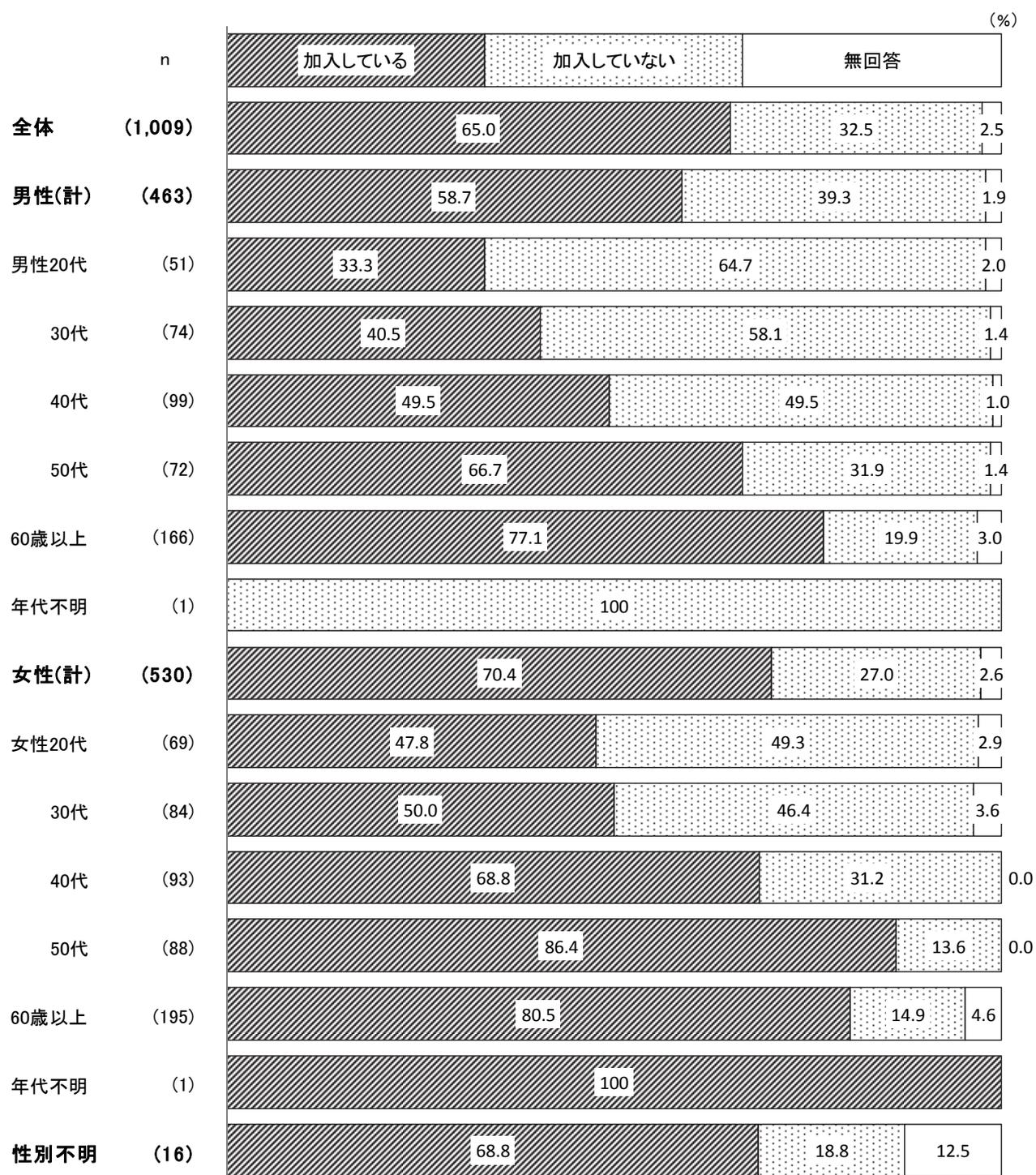
1 加入している	(65.0%)	2 加入していない	(32.5%)
		無回答	(2.5%)

図 5-1-1 町会・自治会への加入状況



町会・自治会への加入状況について聞いたところ、「加入している」(65.0%)が6割半ば、「加入していない」(32.5%)が3割を超えている。(図5-1-1)

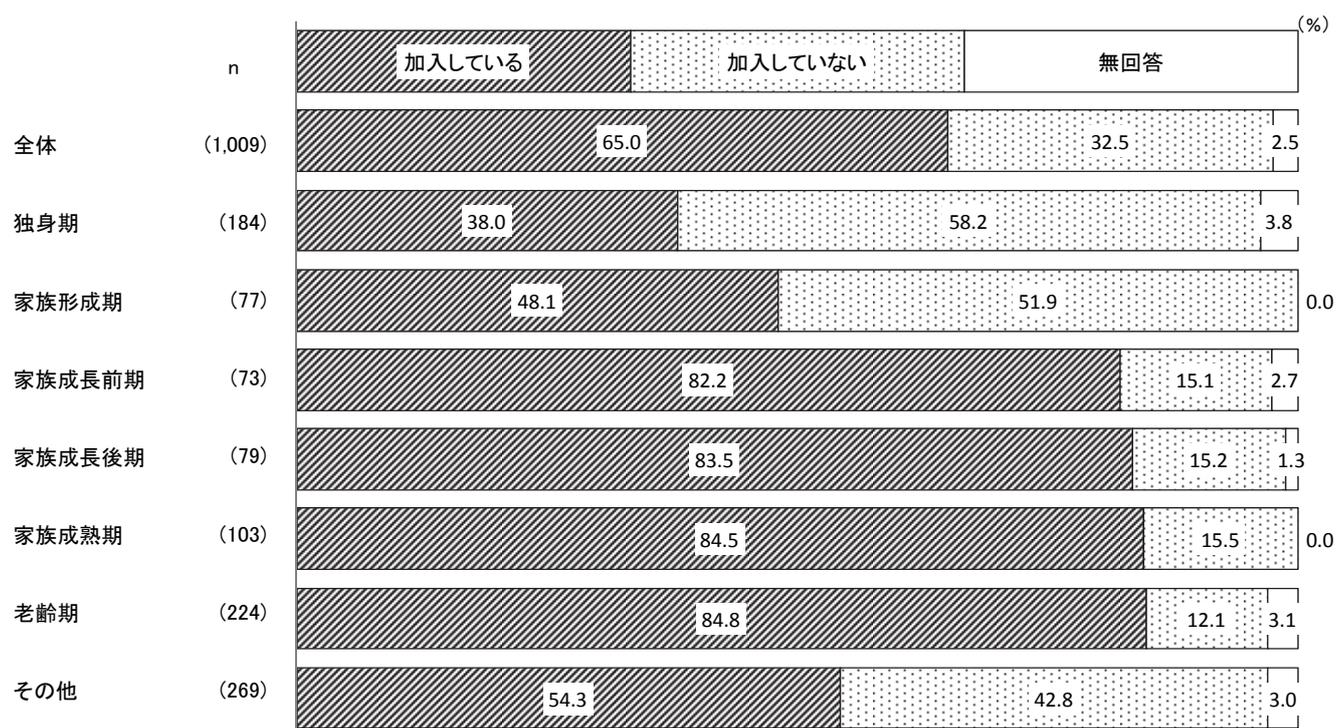
図5-1-2 町会・自治会への加入状況－性・年代別



性別にみると、「加入している」は女性のほうが11.7ポイント高くなっている。

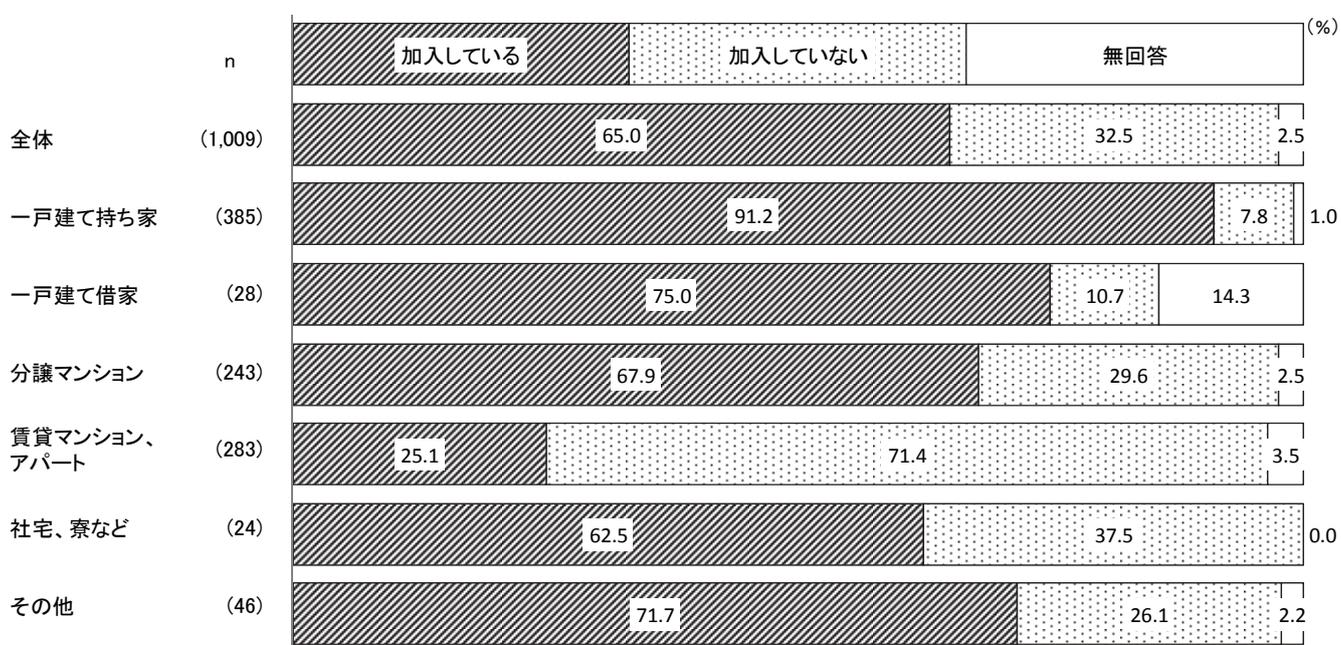
性・年代別にみると、「加入している」は男女ともに年齢があがるほど割合が高い傾向にあり、男性60歳以上で8割近く、女性50代と60歳以上で8割を超え多くなっている。一方、「加入していない」は男性20代と30代で6割前後、男性40代と女性20代でほぼ5割と多くなっている。(図5-1-2)

図5-1-3 町会・自治会への加入状況－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「加入している」は家族成長前期、家族成長後期、家族成熟期、老齢期でいずれも8割以上と多くなっている。一方、「加入していない」は独身期で6割近く、家族形成期で5割を超え多くなっている。(図5-1-3)

図5-1-4 町会・自治会への加入状況－住居形態別



住居形態別にみると、「加入している」は一戸建て持ち家で9割を超え多くなっている。一方、「加入していない」は賃貸マンション、アパートで7割を超え多くなっている。(図5-1-4)

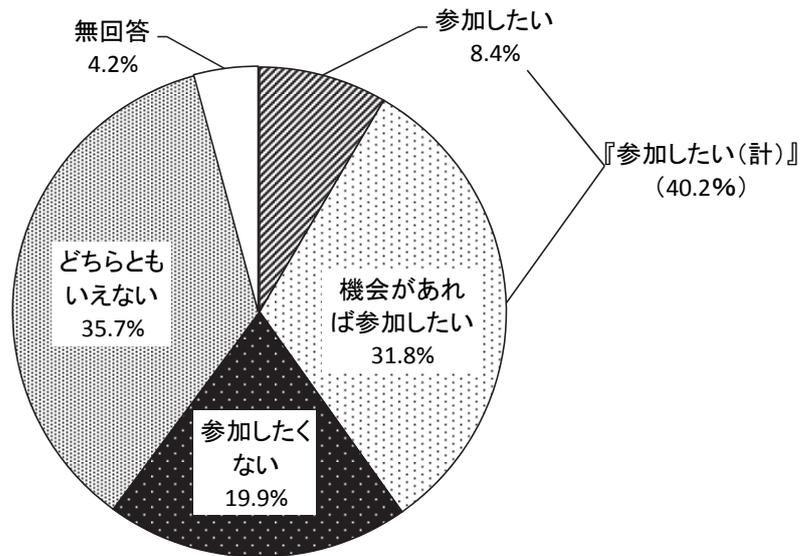
## 5-2 町会・自治会活動への参加意向

問 19 あなたは、今後、町会や自治会活動に参加したいと思いますか。1つお選びください。

(n = 1,009)

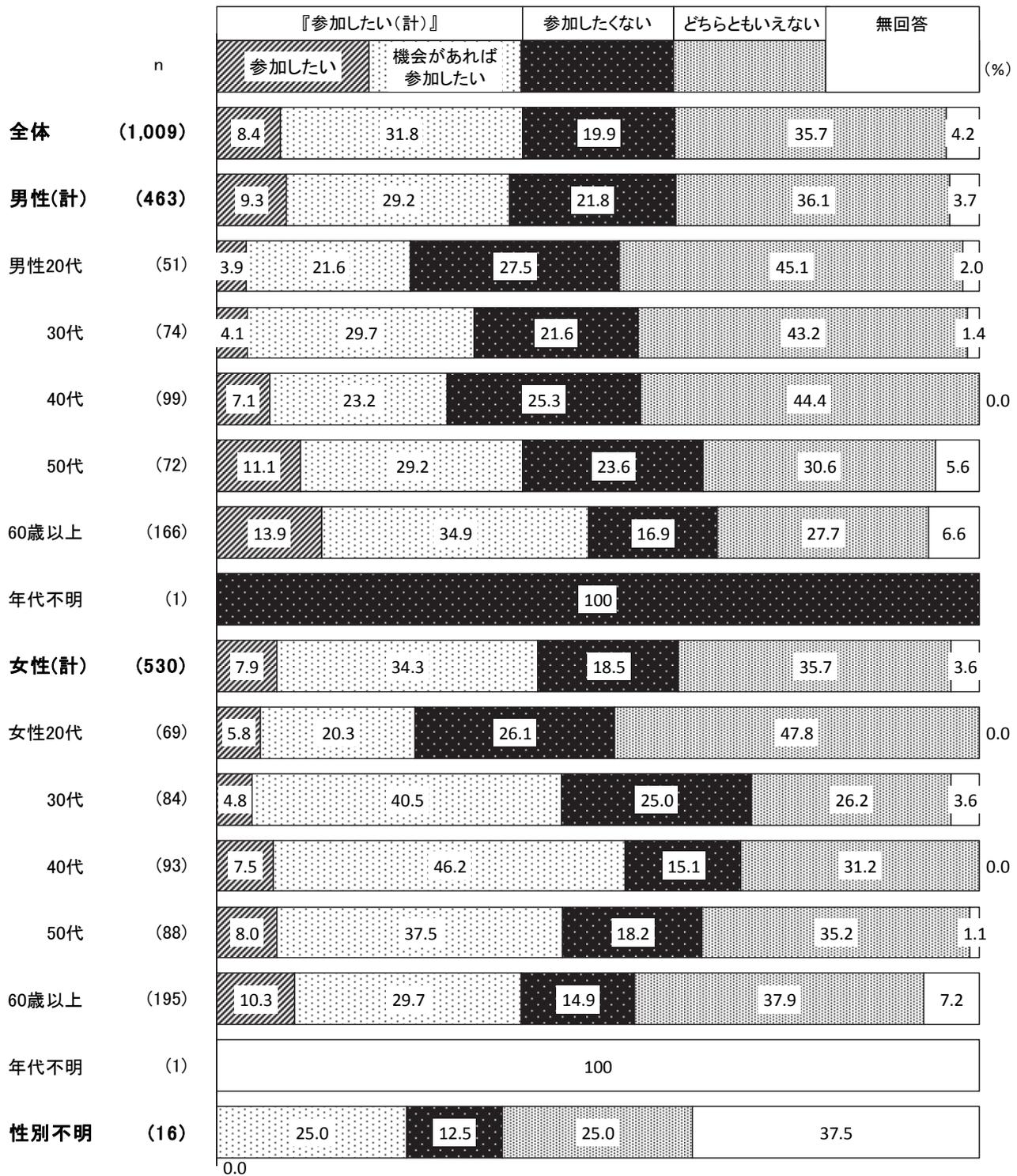
1 参加したい	(8.4%)	3 参加したくない	(19.9%)
2 機会があれば参加したい	(31.8%)	4 どちらともいえない	(35.7%)
			無回答 (4.2%)

図 5-2-1 町会・自治会活動への参加意向



町会・自治会活動への参加意向について聞いたところ、「参加したい」(8.4%)と「機会があれば参加したい」(31.8%)を合わせた『参加したい(計)』(40.2%)がほぼ4割となっている。また、「参加したくない」(19.9%)がほぼ2割、「どちらともいえない」(35.7%)が3割半ばとなっている。(図5-2-1)

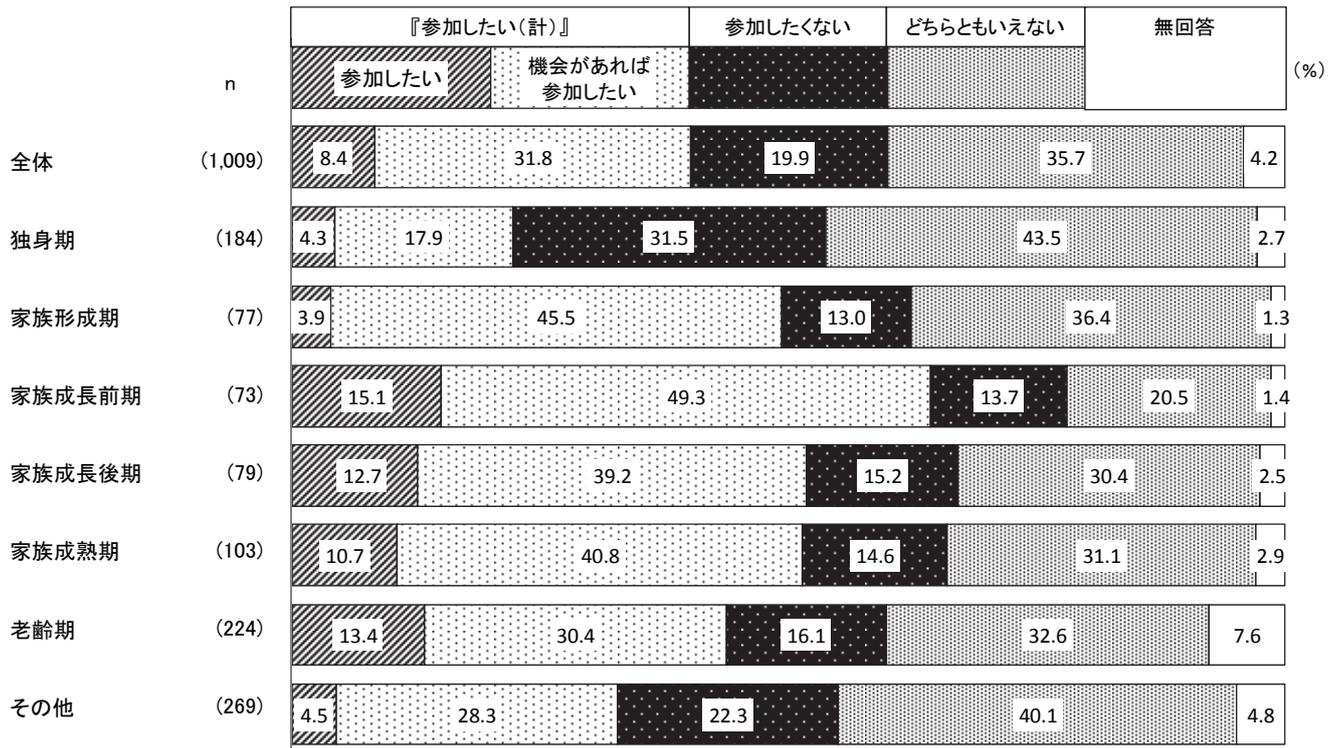
図 5 - 2 - 2 町会・自治会活動への参加意向一性・年代別



性別にみると、『参加したい(計)』は女性のほうが3.7ポイント高くなっている。

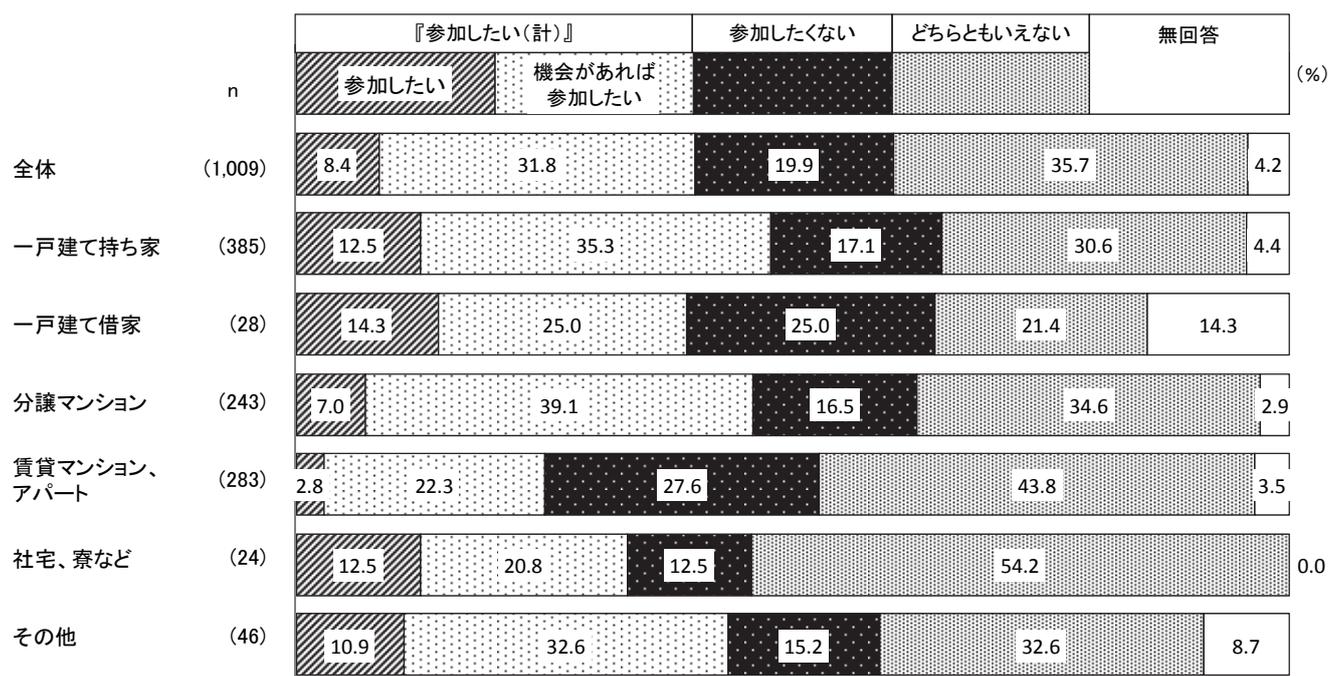
性・年代別にみると、『参加したい(計)』は男性60歳以上ではほぼ5割、女性40代で5割を超え多くなっている。一方、「参加したくない」は男女ともに20代で3割近くと多くなっている。(図5-2-2)

図5-2-3 町会・自治会活動への参加意向－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「機会があれば参加したい」は家族成長前期でほぼ5割で、これに「参加したい」を合わせた『参加したい(計)』でも6割半ばと多くなっている。一方、「参加したくない」は独身期で3割を超え多くなっている。(図5-2-3)

図5-2-4 町会・自治会活動への参加意向－住居形態別



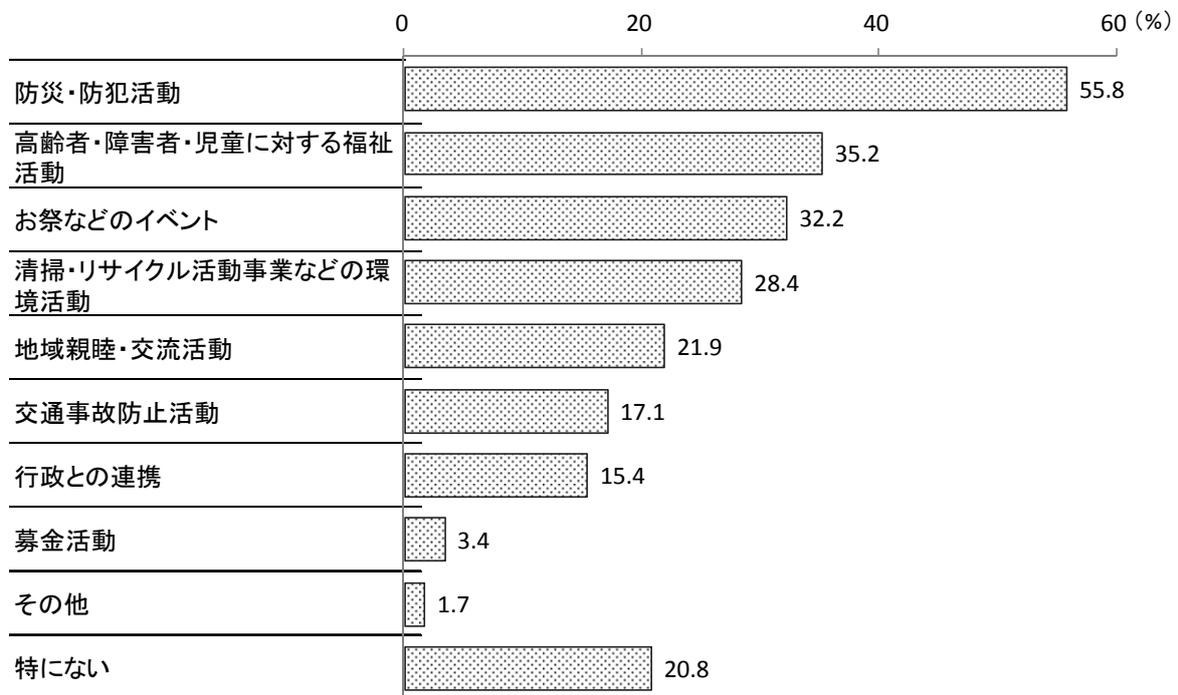
住居形態別にみると、『参加したい(計)』は一戸建て持ち家で5割近く、分譲マンションで4割半ばと多くなっている。一方で、「参加したくない」は賃貸マンション、アパートで3割近くと多くなっている。(図5-2-4)

### 5-3 町会・自治会に期待すること

問 20 町会・自治会に期待する内容はどのようなことですか。いくつでもお選びください。(n=1,009)

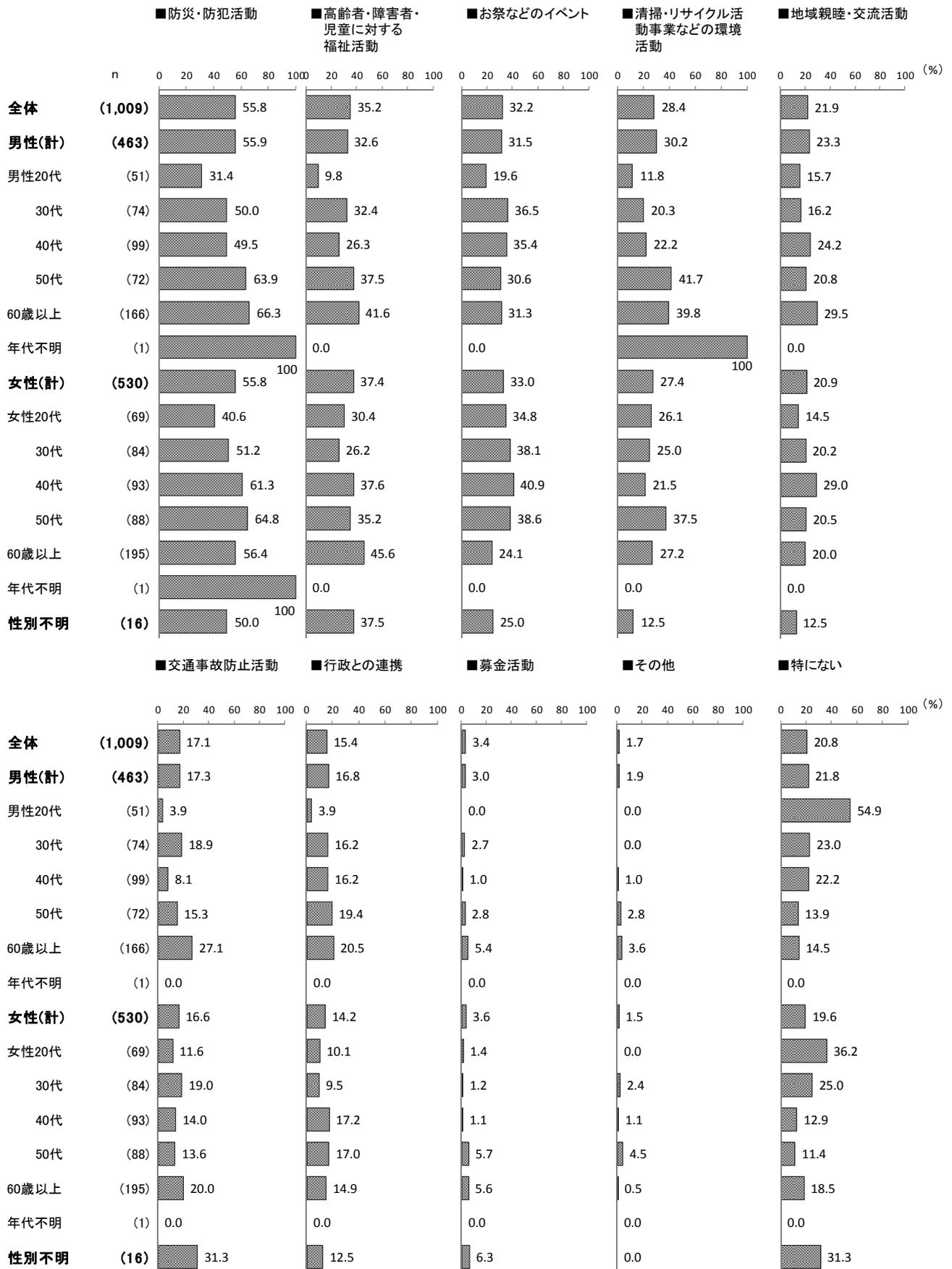
1 防災・防犯活動	(55.8%)	6 高齢者・障害者・児童に対する福祉活動	
2 交通事故防止活動	(17.1%)		(35.2%)
3 清掃・リサイクル活動事業などの環境活動		7 行政との連携	(15.4%)
	(28.4%)	8 募金活動	(3.4%)
4 お祭などのイベント	(32.2%)	9 その他	(1.7%)
5 地域親睦・交流活動	(21.9%)	10 特にない	(20.8%)

図 5-3-1 町会・自治会に期待すること



町会・自治会に期待することについて聞いたところ、「防災・防犯活動」(55.8%)が5割半ばと最も多く、次いで「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」(35.2%)、「お祭などのイベント」(32.2%)、「清掃・リサイクル活動事業などの環境活動」(28.4%)、「地域親睦・交流活動」(21.9%)などの順となっている。(図5-3-1)

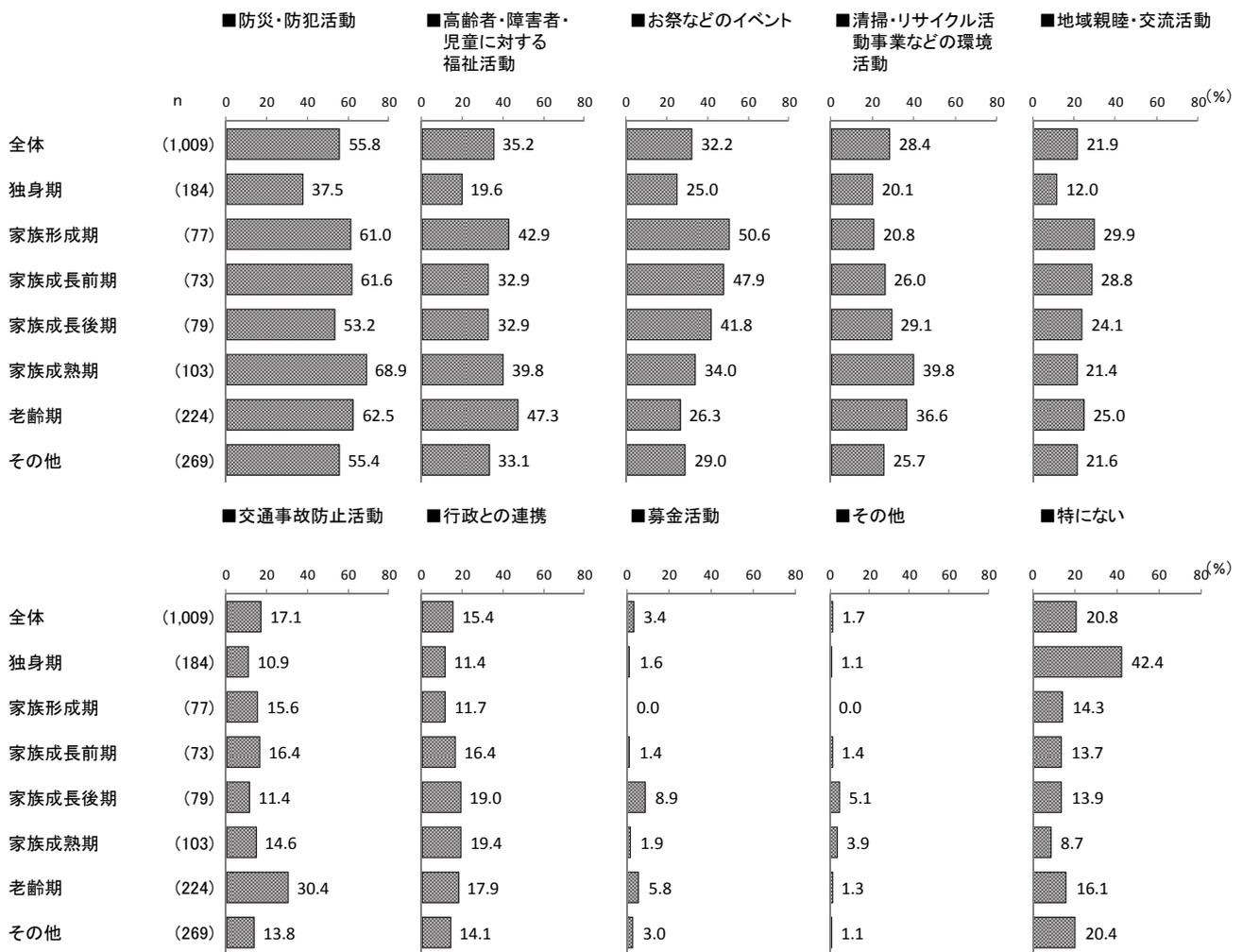
図5-3-2 町会・自治会に期待することー性・年代別



性別にみると、「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は女性のほうが4.8ポイント高くなっている。

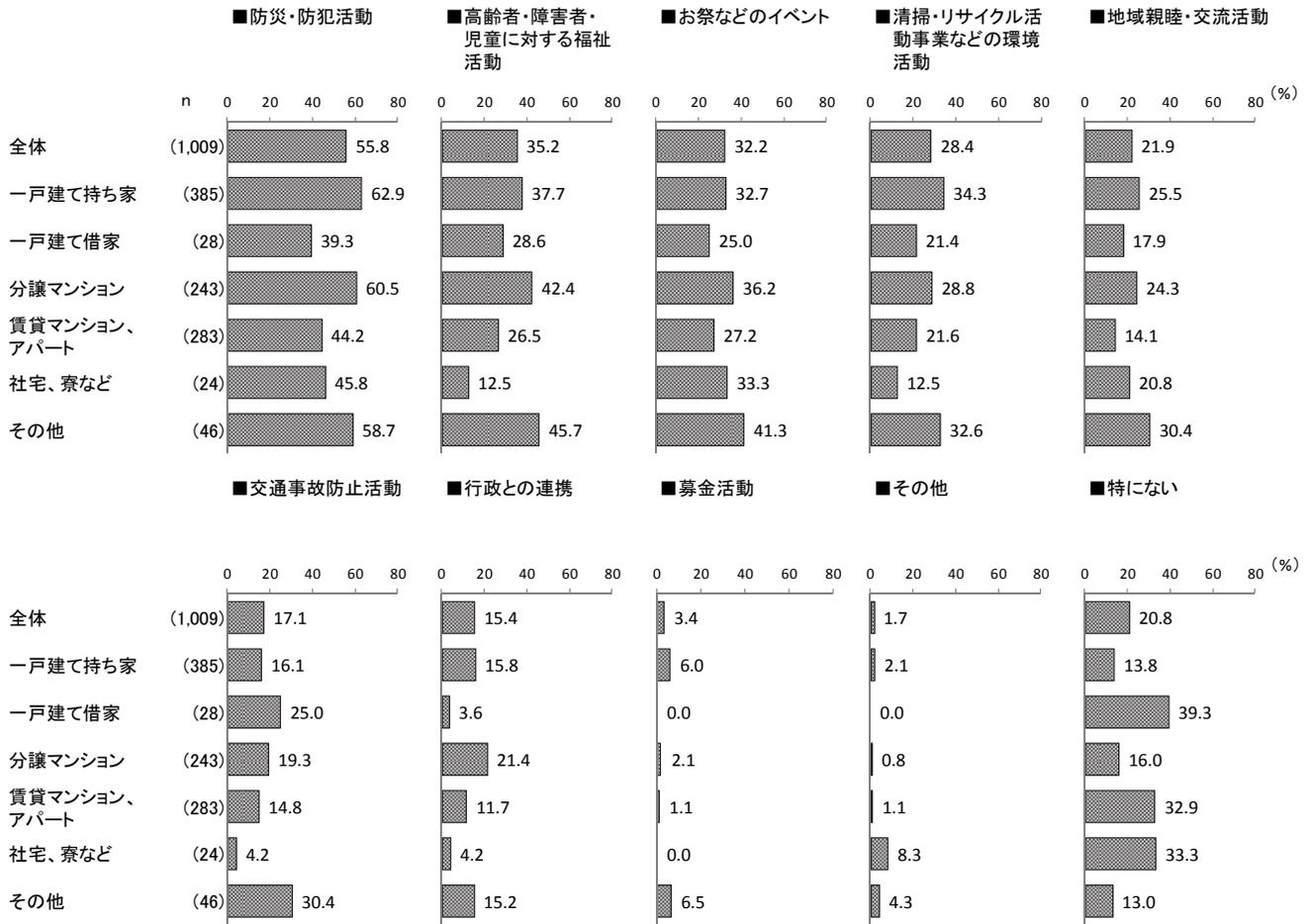
性・年代別にみると、「防災・防犯活動」は男女ともに年齢があがるほど割合が高い傾向にあり、男性60歳以上では6割半ばとなっている。「お祭などのイベント」は男性30代から60歳以上と女性20代から50代の年代でいずれも3割以上を占めており、女性30代から50代ではほぼ4割となっている。「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は男女ともに60歳以上で最も多く、いずれも4割を超えている。(図5-3-2)

図5-3-3 町会・自治会に期待すること—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「防災・防犯活動」は家族成熟期で7割近くと多く、「お祭などのイベント」は家族形成期でほぼ5割、「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は老齢期で5割近くと多くなっている。(図5-3-3)

図 5-3-4 町会・自治会に期待すること—住居形態別



住居形態別にみると、「防災・防犯活動」は一戸建て持ち家と分譲マンションで6割を超え、「高齢者・障害者・児童に対する福祉活動」は分譲マンションで4割を超え多くなっている。一戸建て持ち家と分譲マンションはいずれの項目でも高い傾向になっている。(図5-3-4)



## 6. 子育て・教育

- 
- 6-1 子育て支援のために取り組むべき施策
  - 6-2 子育て支援サービス
  - 6-3 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと
  - 6-4 学校支援活動
-



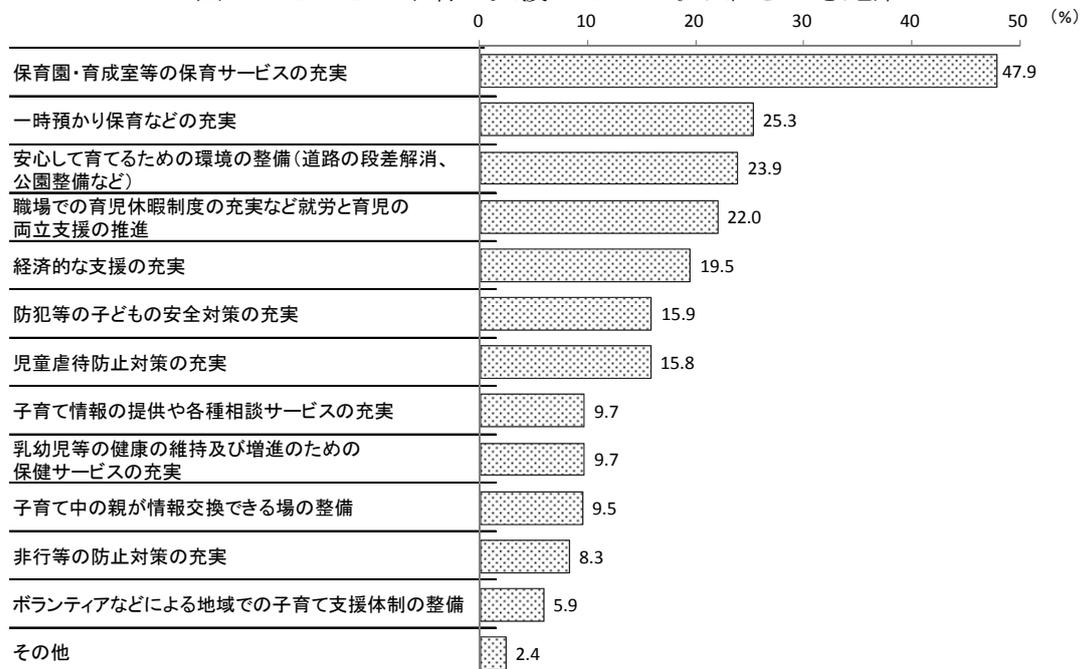
## 6 子育て・教育

### 6-1 子育て支援のために取り組むべき施策

問 21 子育て支援策として、区はどのような施策を実施すべきでしょうか。3つ以内でお選びください。 (n=1,009)

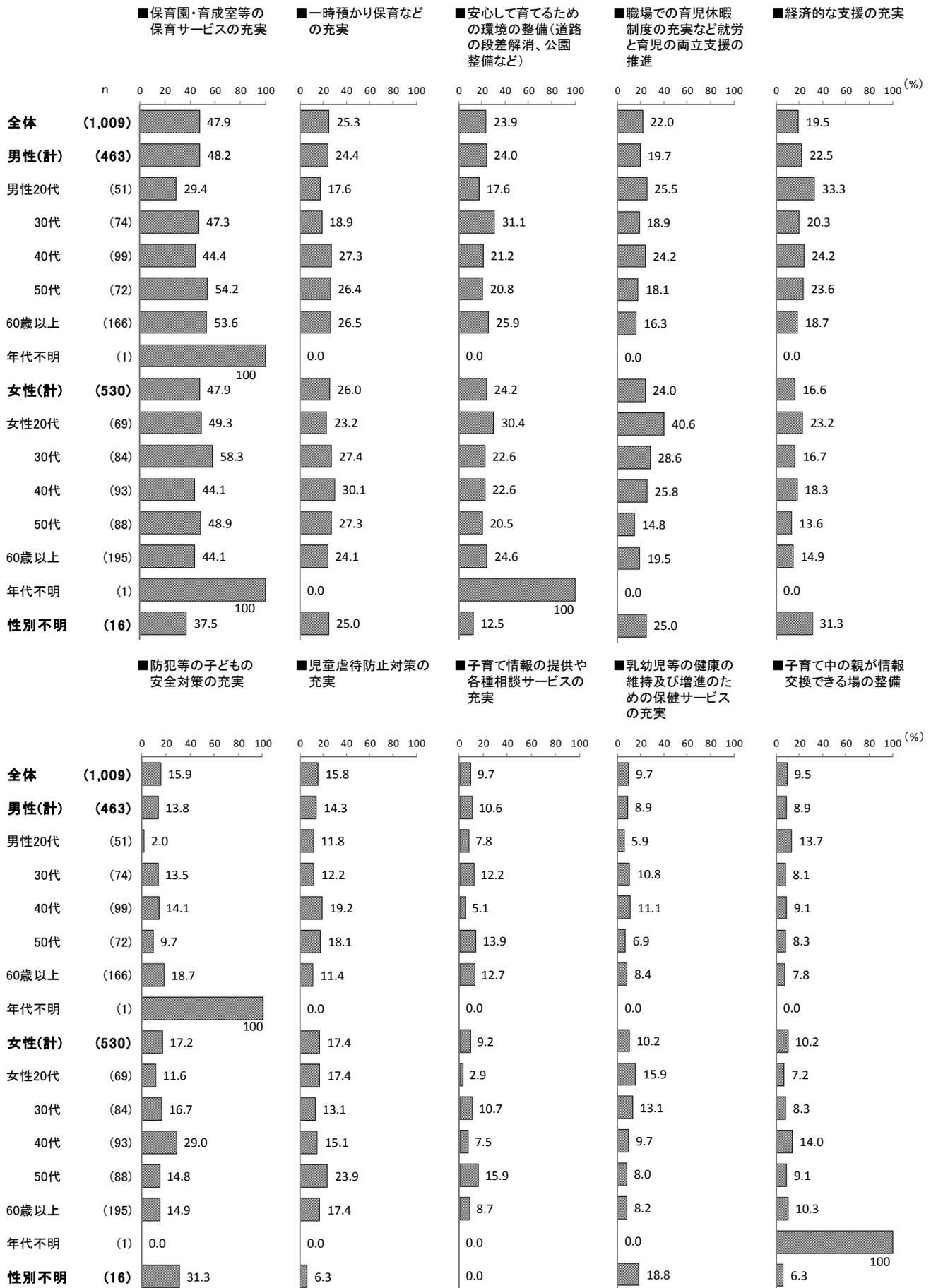
1 保育園・育成室等の保育サービスの充実	(47.9%)
2 職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進	(22.0%)
3 安心して育てるための環境の整備(道路の段差解消、公園整備など)	(23.9%)
4 子育て中の親が情報交換できる場の整備	(9.5%)
5 子育て情報の提供や各種相談サービスの充実	(9.7%)
6 乳幼児等の健康の維持及び増進のための保健サービスの充実	(9.7%)
7 経済的な支援の充実	(19.5%)
8 一時預かり保育などの充実	(25.3%)
9 児童虐待防止対策の充実	(15.8%)
10 防犯等の子どもの安全対策の充実	(15.9%)
11 非行等の防止対策の充実	(8.3%)
12 ボランティアなどによる地域での子育て支援体制の整備	(5.9%)
13 その他	(2.4%)

図 6-1-1 子育て支援のために取り組むべき施策



子育て支援のために取り組むべき施策について聞いたところ、「保育園・育成室等の保育サービスの充実」(47.9%)が最も多く、次いで「一時預かり保育などの充実」(25.3%)、「安心して育てるための環境の整備(道路の段差解消、公園整備など)」(23.9%)、「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」(22.0%)、「経済的な支援の充実」(19.5%)などの順となっている。(図 6-1-1)

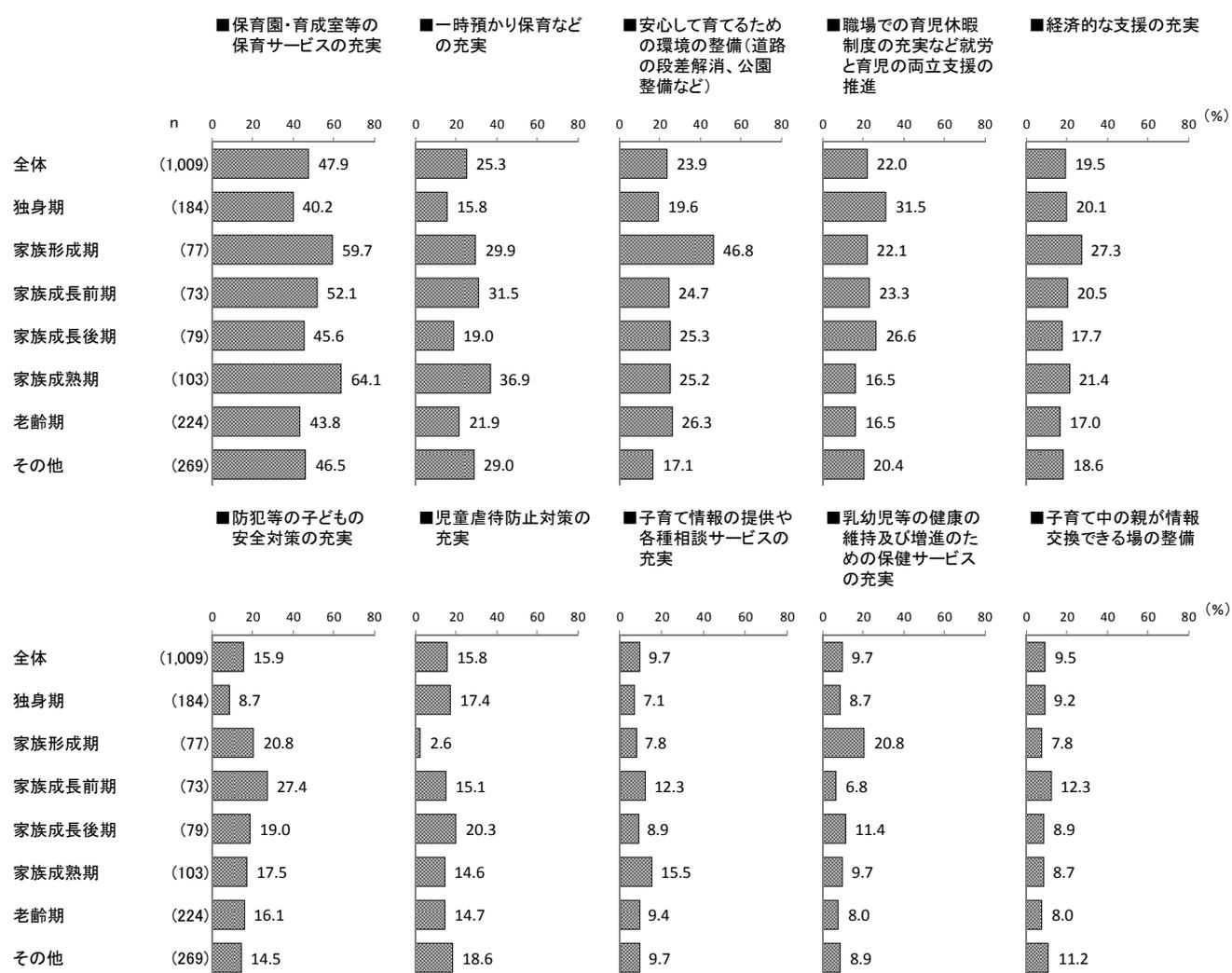
図6-1-2 子育て支援のために取り組むべき施策—性・年代別（上位10項目）



性別にみると、「経済的な支援の充実」は男性のほうが5.9ポイント高く、「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」は女性のほうが4.3ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「保育園・育成室等の保育サービスの充実」は男性20代を除くすべての年代で4割以上を占めており、女性30代では6割近くとなっている。「安心して育てるための環境の整備（道路の段差解消、公園整備など）」は男性20代を除くすべての年代で2割以上となっている。「職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進」は女性では年齢が低いほど割合が高い傾向にあり、女性20代ではほぼ4割と多くなっている。また、「経済的な支援の充実」はいずれの年代でも男性のほうが高い傾向にあり、男性20代では3割を超え多くなっている。（図6-1-2）

図6-1-3 子育て支援のために取り組むべき施策—ライフステージ別（上位10項目）



ライフステージ別にみると、「保育園・育成室等の保育サービスの充実」は家族成熟期で6割半ば、家族形成期ではほぼ6割、「安心して育てるための環境の整備（道路の段差解消、公園整備など）」は家族形成期で4割半ばと多くなっている。（図6-1-3）

## 6-2 子育て支援サービス

問 22 子育て支援サービスについてお伺いします。

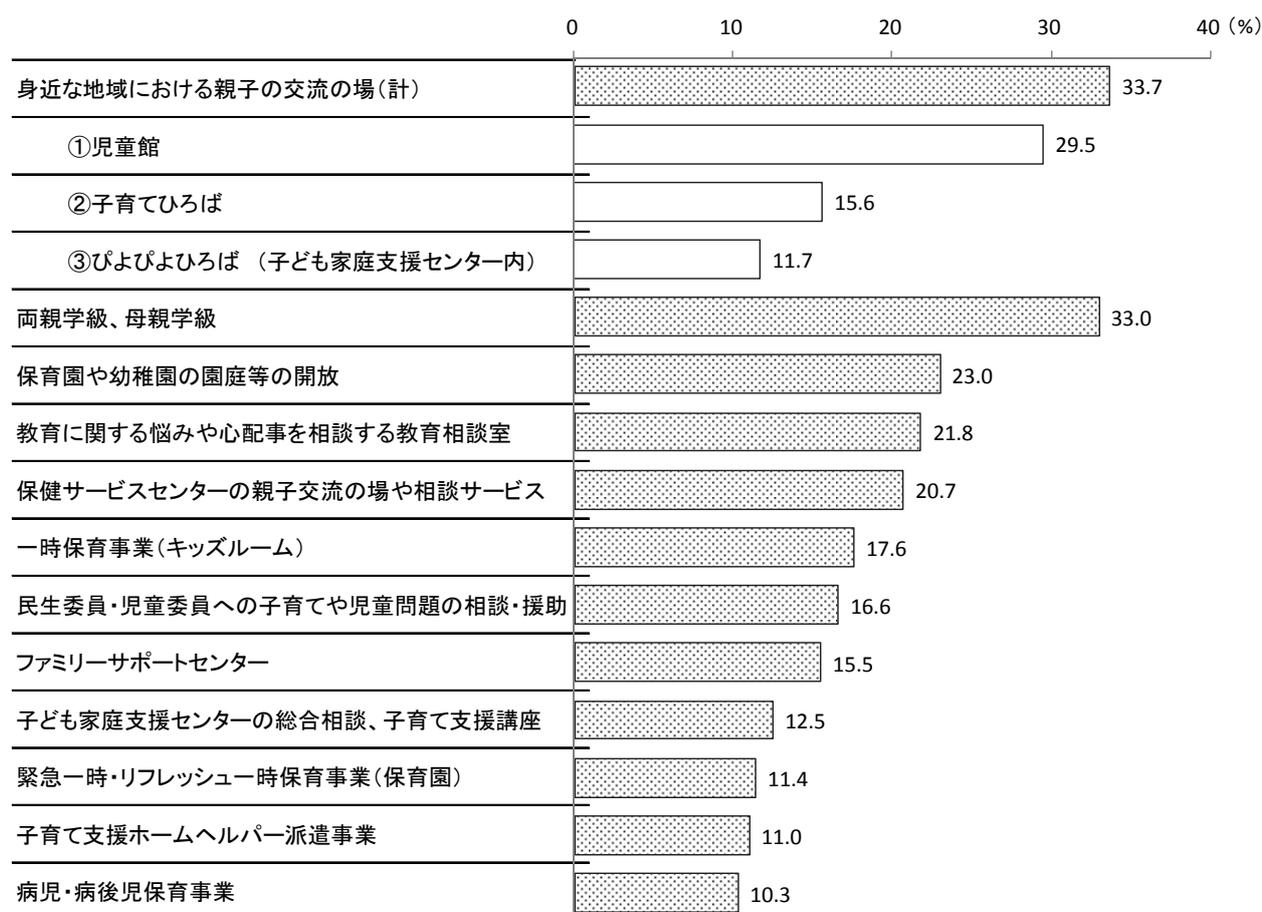
- (1) これらのサービスをご存じですか。いくつでもお選びください。  
 (2) これらのサービスを利用したことはありますか。いくつでもお選びください。  
 (3) これらのサービスを今後利用したいと思いませんか。いくつでもお選びください。

(n=1,009)

項目		(1) 知っている	(2) 利用した ことがある	(3) 利用したい	
1	両親学級、母親学級	33.0%	8.8%	4.1%	
2	保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス	20.7%	4.2%	4.8%	
3	教育に関する悩みや心配事を相談する教育相談室	21.8%	1.9%	5.5%	
4	保育園や幼稚園の園庭等の開放	23.0%	6.3%	6.2%	
5	身近な地域における 親子の交流の場	5-①児童館	29.5%	13.6%	6.2%
	5-②子育てひろば	15.6%	5.2%	5.6%	
	5-③ぴよぴよひろば (子ども家庭支援センター内)	11.7%	3.3%	4.8%	
6	ファミリーサポートセンター	15.5%	0.6%	5.0%	
7	子ども家庭支援センターの総合相談、子育て支援講座	12.5%	0.8%	4.8%	
8	子育て支援ホームヘルパー派遣事業	11.0%	0.3%	5.6%	
9	一時保育事業(キッズルーム)	17.6%	1.9%	7.1%	
10	緊急一時・リフレッシュ一時保育事業(保育園)	11.4%	0.9%	7.0%	
11	病児・病後児保育事業	10.3%	0.3%	6.0%	
12	民生委員・児童委員への子育てや児童問題の相談・援助	16.6%	0.2%	4.3%	

図6-2-1 子育て支援サービスの認知度

「知っている」

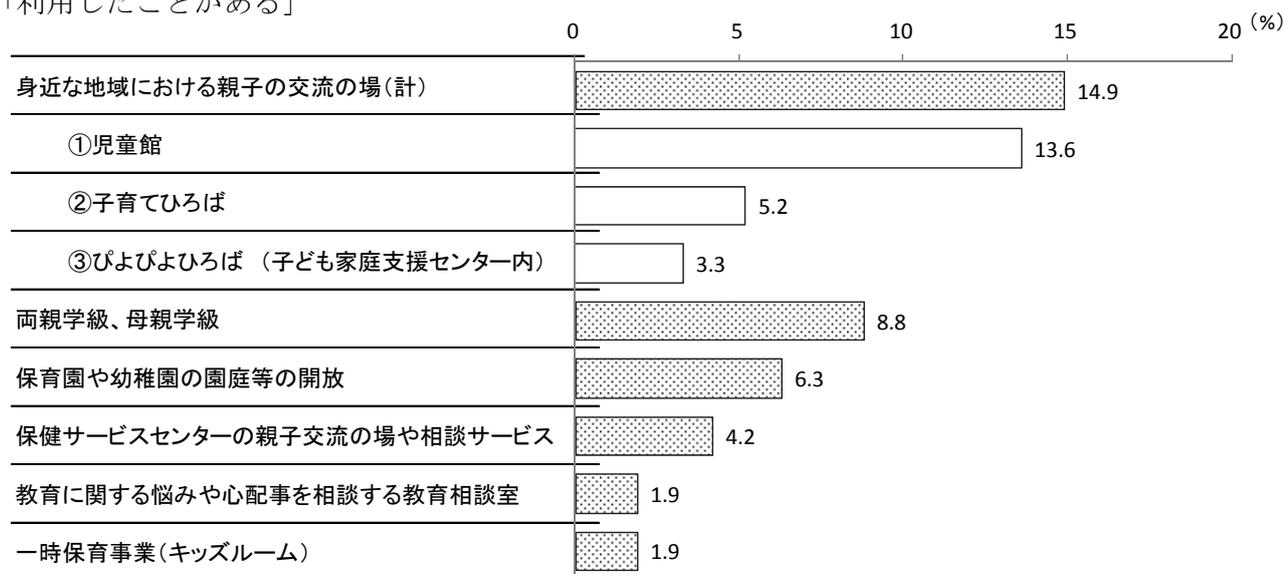


子育て支援サービスの認知度について聞いたところ、個別の項目では「両親学級、母親学級」(33.0%)が3割を超え最も多く、次いで「児童館」(29.5%)、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」(23.0%)、「教育に関する悩みや心配事を相談する教育相談室」(21.8%)、「保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス」(20.7%)などの順となっている。

「児童館」、「子育てひろば」、「ぴよぴよひろば」のうちいずれかを「知っている」という回答を合計した『身近な地域における親子の交流の場(計)』は33.7%となっている。(図6-2-1)

図6-2-2 子育て支援サービスの利用度（上位5項目）

「利用したことがある」

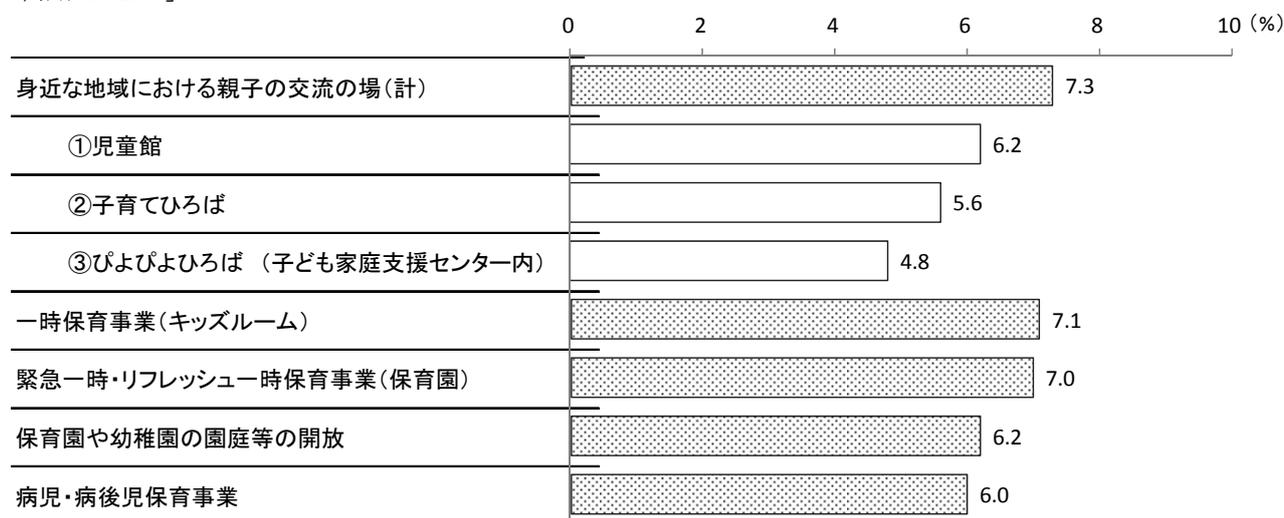


子育て支援サービスの利用度について聞いたところ、個別の項目では「児童館」（13.6%）が1割を超え最も多く、次いで「両親学級、母親学級」（8.8%）、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」（6.3%）、「子育てひろば」（5.2%）、「保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス」（4.2%）などの順となっている。

「児童館」、「子育てひろば」、「びよびよひろば」のうちいずれかを「利用したことがある」という回答を合計した『身近な地域における親子の交流の場(計)』は14.9%となっている。（図6-2-2）

図6-2-3 今後利用したい子育て支援サービス（上位5項目）

「利用したい」

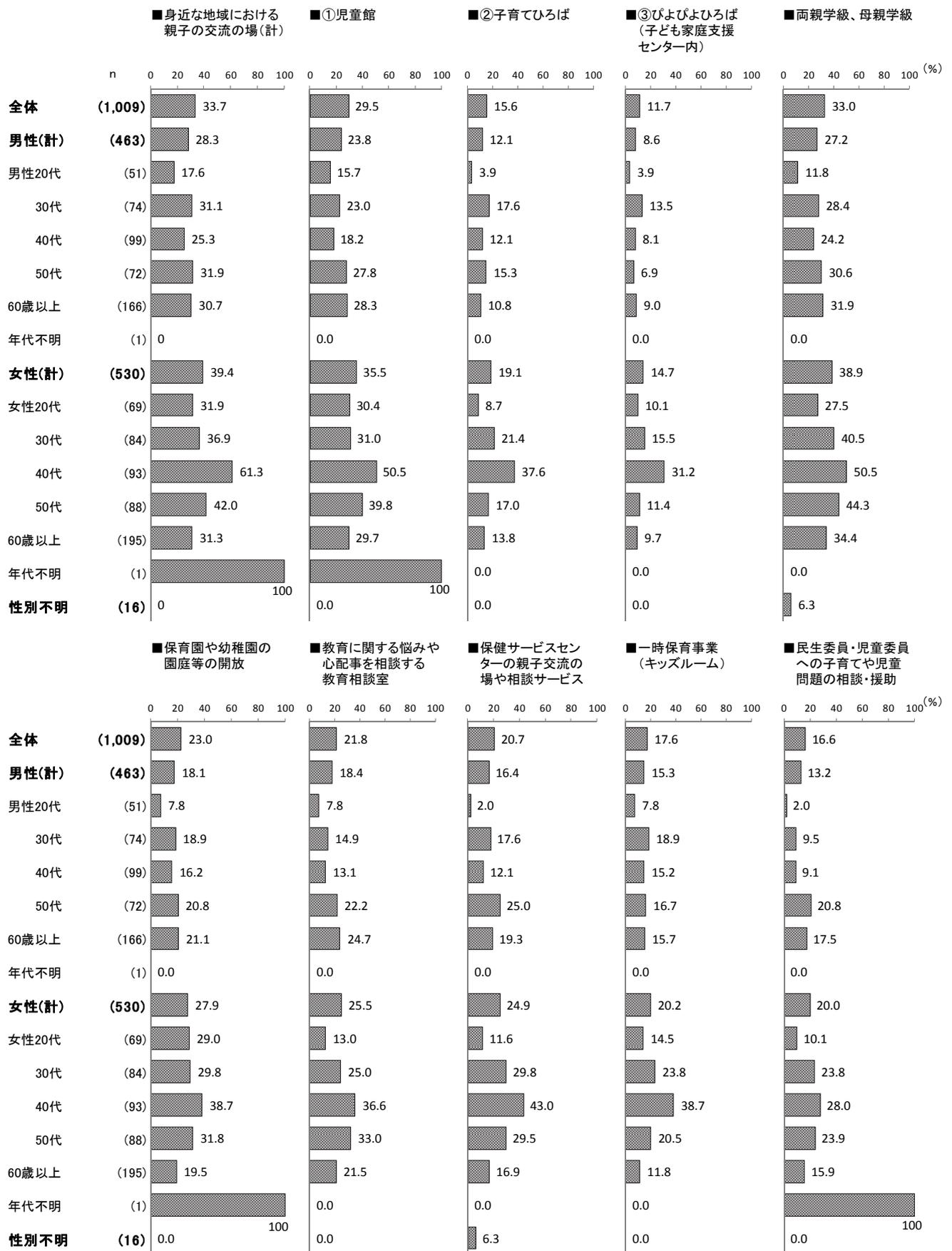


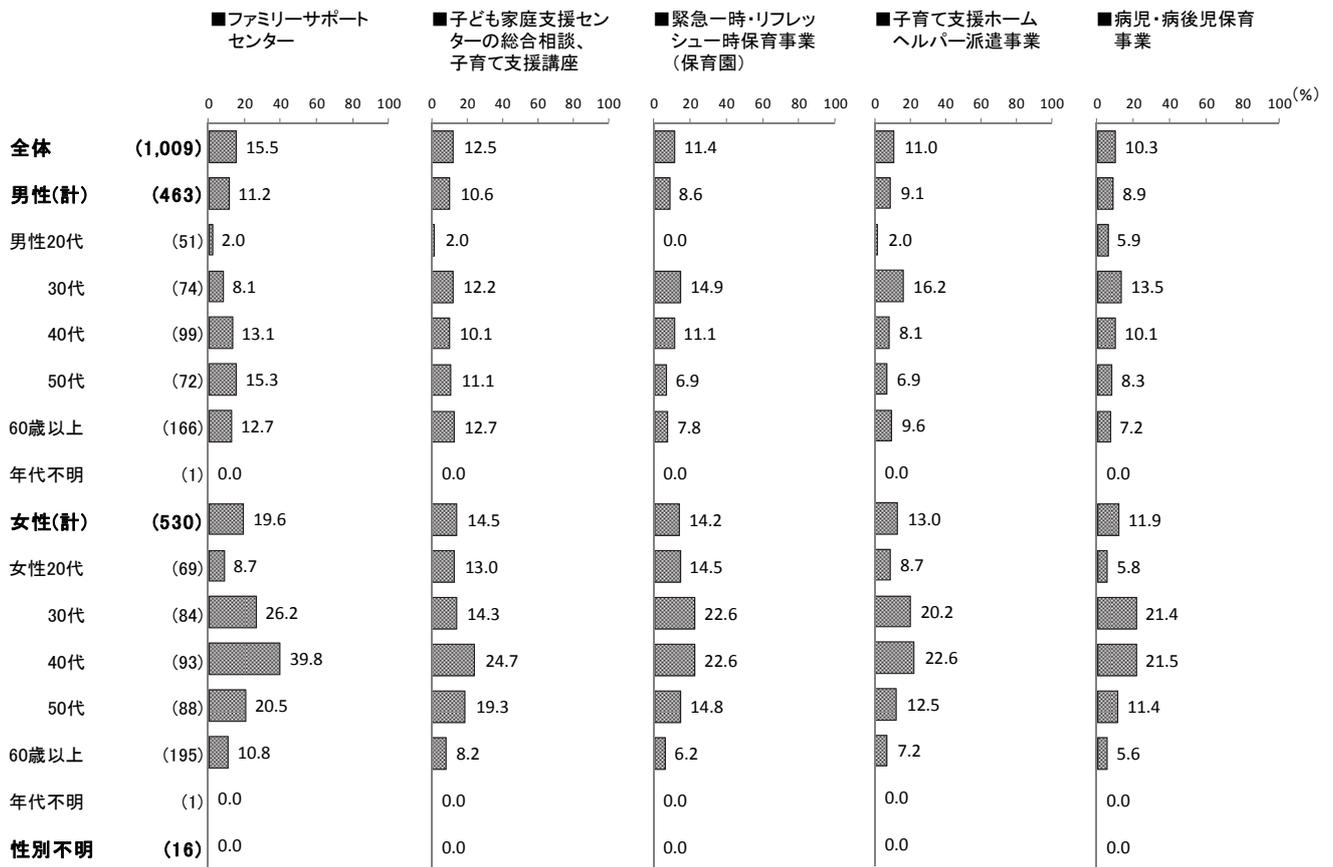
今後利用したい子育て支援サービスについて聞いたところ、個別の項目では「一時保育事業（キッズルーム）」（7.1%）が最も多く、次いで「緊急一時・リフレッシュ一時保育事業（保育園）」（7.0%）、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」（6.2%）、「児童館」（6.2%）、「病児・病後児保育事業」（6.0%）などの順となっている。

「児童館」、「子育てひろば」、「びよびよひろば」をのうちいずれかを「利用したい」という回答を合計した『身近な地域における親子の交流の場(計)』は7.3%となっている。（図6-2-3）

図6-2-4 子育て支援サービスの認知度—性・年代別

「知っている」



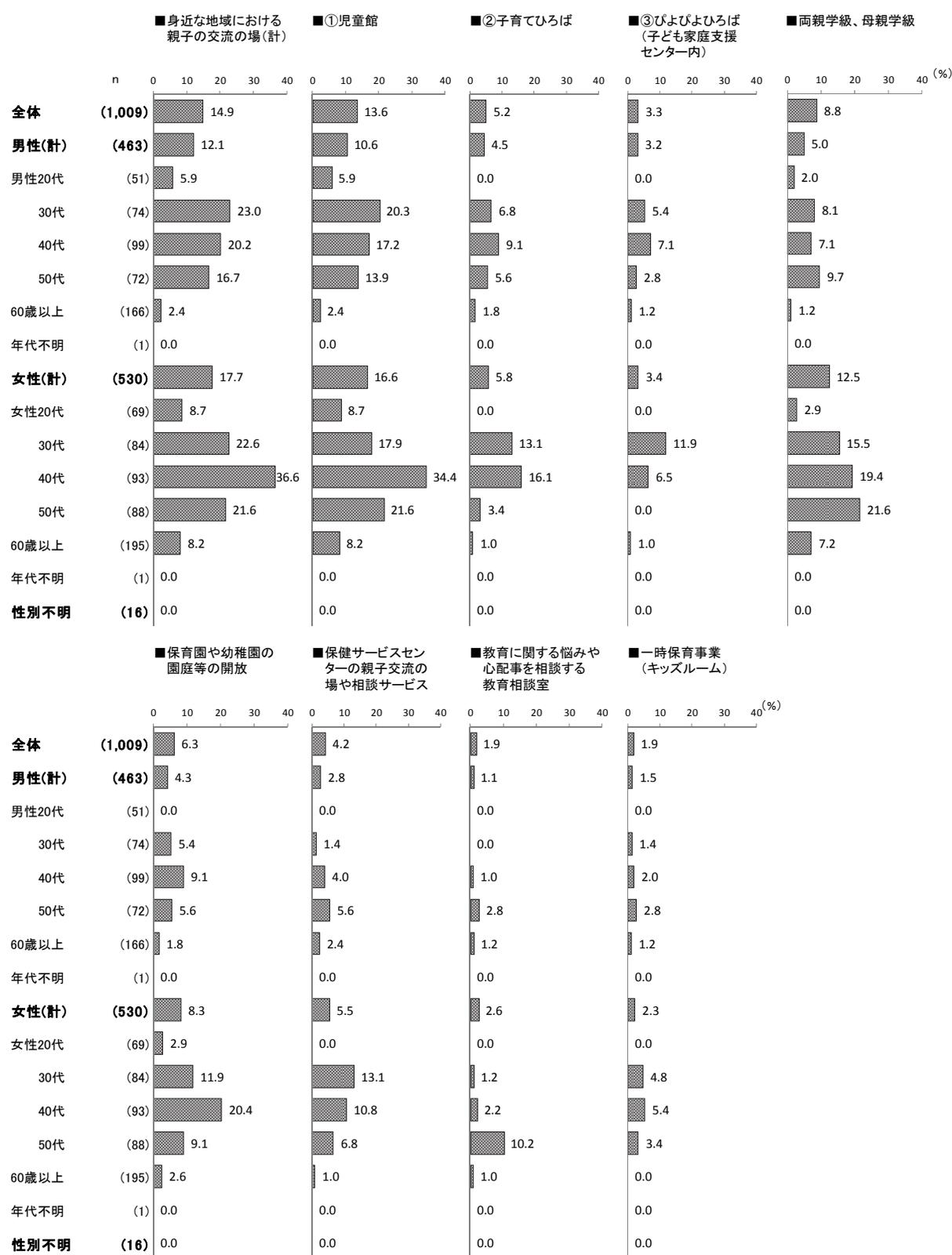


性別にみると、すべての項目で女性のほうが多く、「両親学級、母親学級」と「児童館」はともに女性のほうが11.7ポイント高くなっており、「両親学級、母親学級」は4割近くとなっている。

性・年代別にみると、女性40代はいずれの項目でも最も多く、「両親学級、母親学級」と「児童館」はともにほぼ5割と多くなっている。一方、男性20代は「病児・病後児保育事業」を除き、いずれの項目でも最も低く、「両親学級、母親学級」と「児童館」を除くすべての項目で1割未満となっている。(図6-2-4)

図6-2-5 子育て支援サービスの利用度一性・年代別（上位5項目）

「利用したことがある」

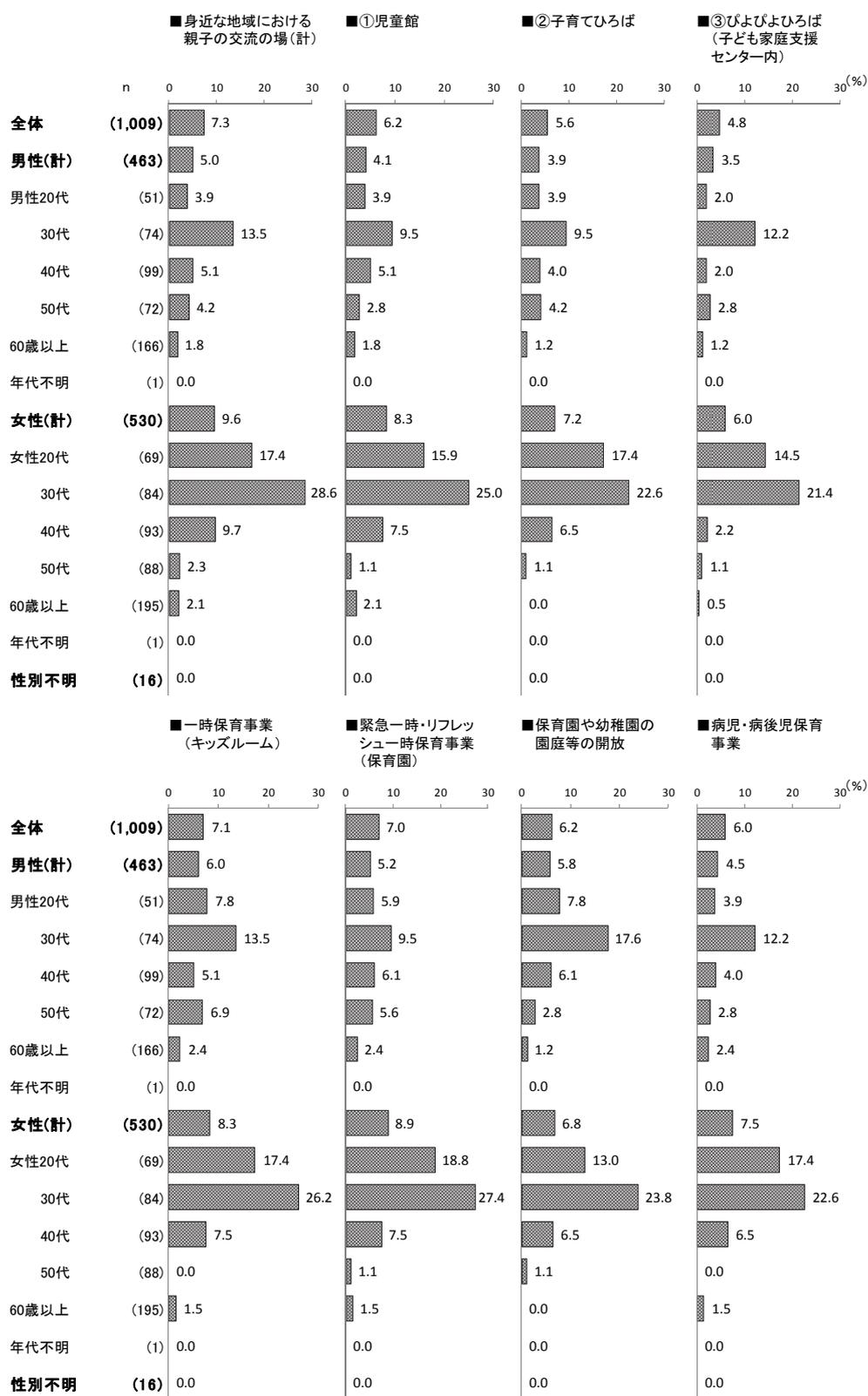


性別にみると、「両親学級、母親学級」は女性のほうが7.5ポイント高く、「児童館」は女性のほうが6.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「児童館」は男性30代でほぼ2割、女性40代で3割半ばと、それぞれ最も多くなっている。(図6-2-5)

図6-2-6 今後利用したい子育て支援サービス・性・年代別（上位5項目）

「利用したい」



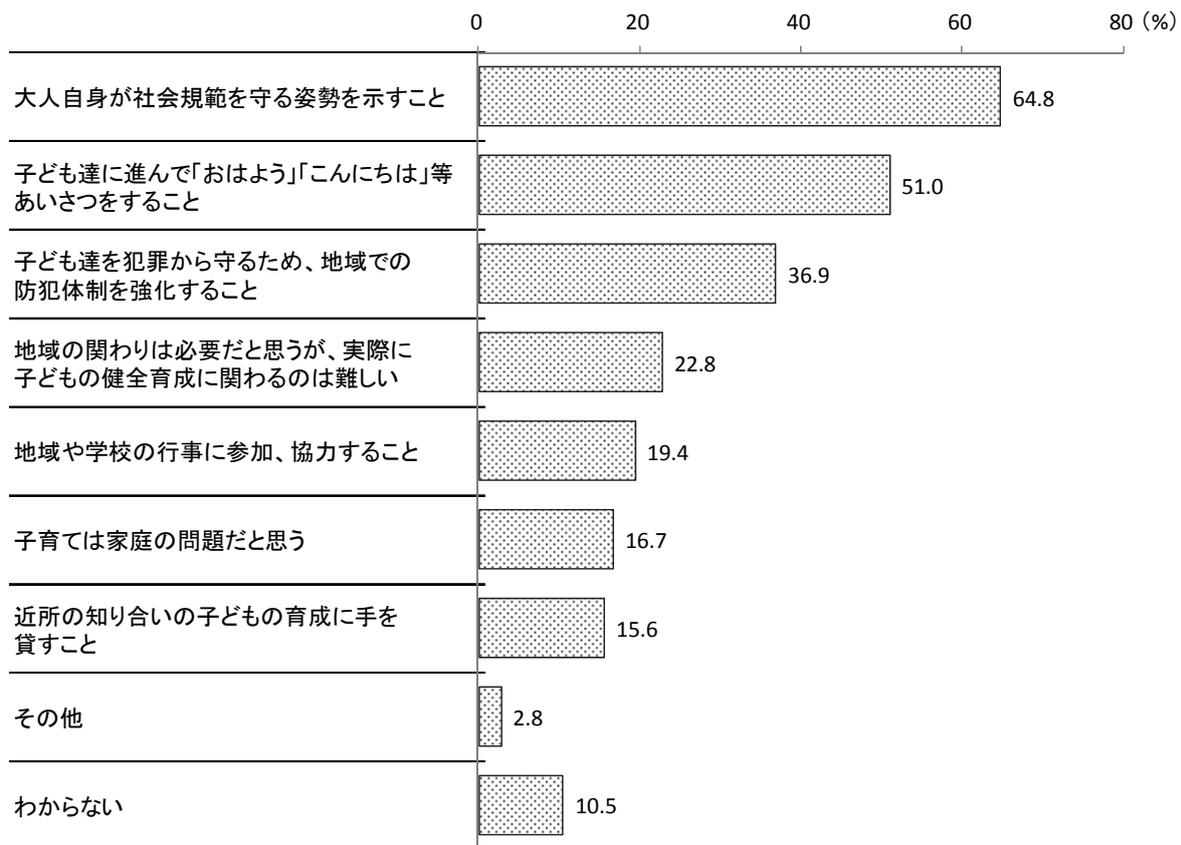
性・年代別にみると、男女とも30代で最も多い傾向にあり、特に女性30代では、「緊急一時・リフレッシュ一時保育事業（保育園）」は3割近くと多くなっている。男性30代では、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」は男性30代で2割近くと多くなっている。（図6-2-6）

### 6-3 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと

問 23 青少年健全育成に関して地域の大人たちができること、またやるべきことは何だと思いますか。  
いくつでもお選びください。 (n=1,009)

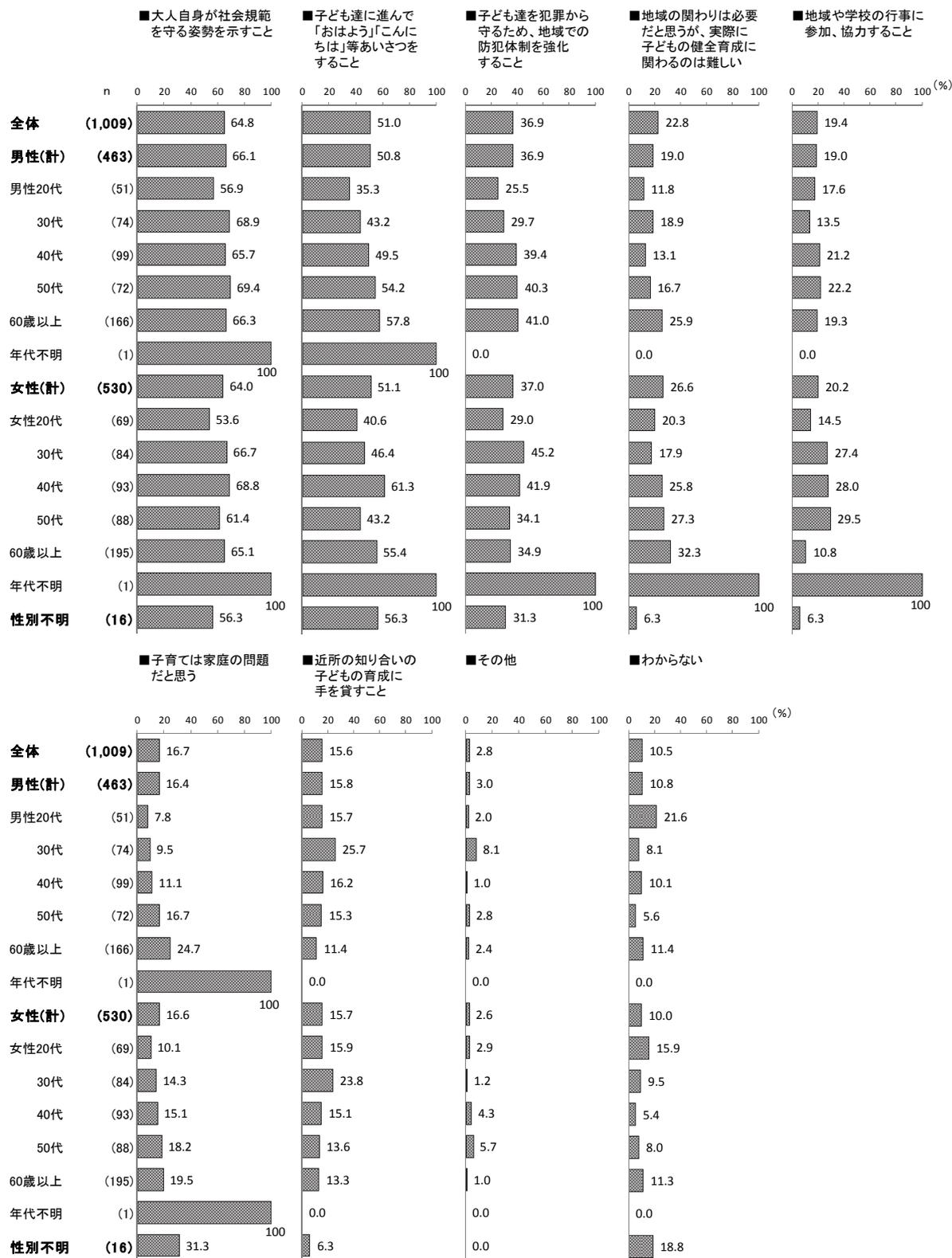
1 大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと	(64.8%)
2 子ども達に進んで「おはよう」「こんにちは」等あいさつをすること	(51.0%)
3 地域や学校の行事に参加、協力すること	(19.4%)
4 子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること	(36.9%)
5 近所の知り合いの子どもの育成に手を貸すこと	(15.6%)
6 地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい	(22.8%)
7 子育ては家庭の問題だと思う	(16.7%)
8 その他	(2.8%)
9 わからない	(10.5%)

図 6-3-1 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと



青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきことについて聞いたところ、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」(64.8%)が6割半ばと最も多く、次いで「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをすること」(51.0%)、「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」(36.9%)などの順となっている。(図6-3-1)

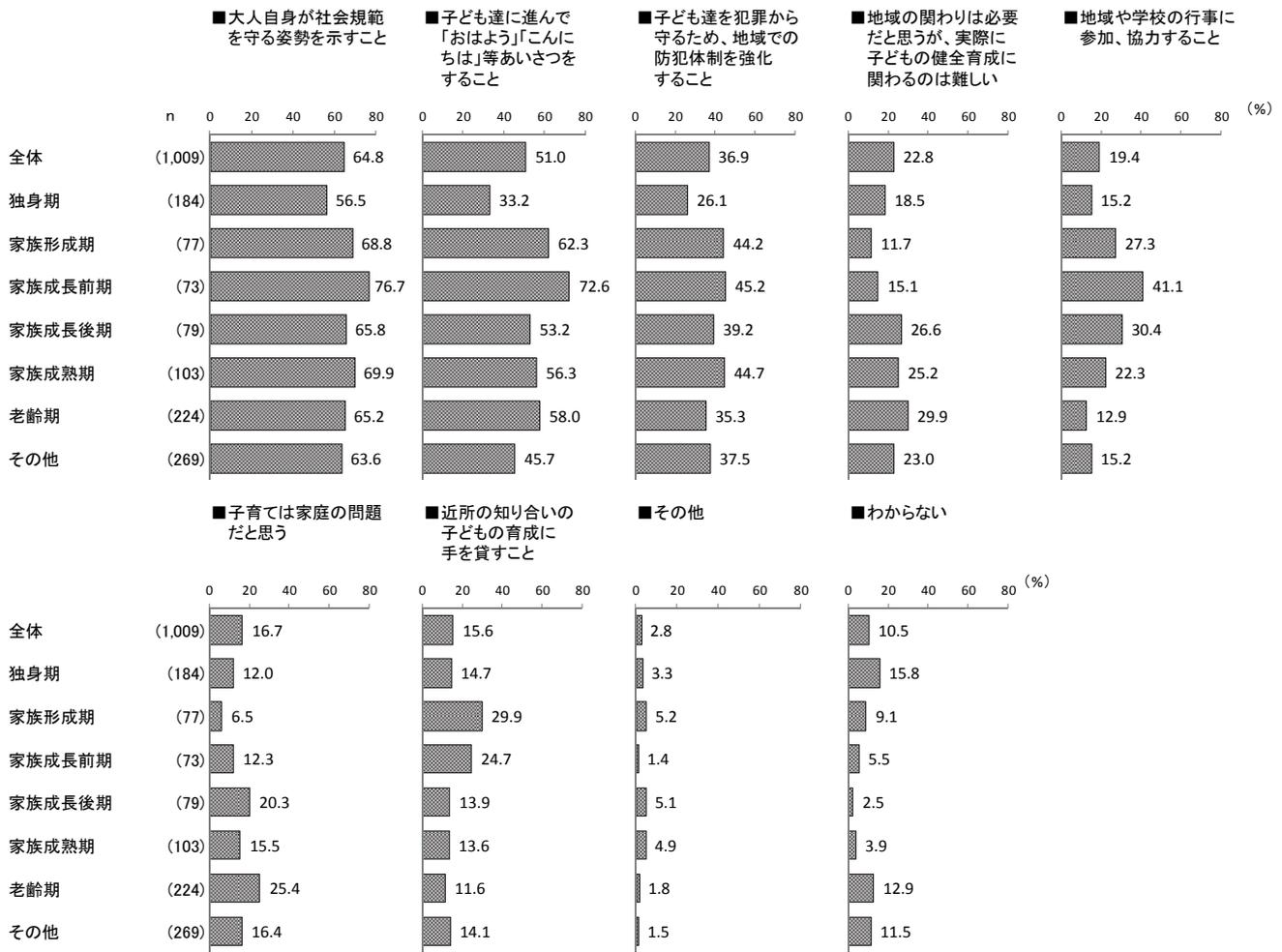
図6-3-2 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきこと一性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと」は男女ともにすべての年代で5割を超えており、男性30代、50代と女性40代では7割近くと多くなっている。また、「子育ては家庭の問題だと思う」は男女ともに年齢があがるほど割合が多くなる傾向となっている。(図6-3-2)

図 6-3-3 青少年健全育成に関して地域の大人達が行うべきことーライフステージ別



ライフステージ別にみると、「子ども達に進んで『おはよう』『こんにちは』等あいさつをすること」は家族成長前期で7割を超え、「地域や学校の行事に参加、協力すること」は家族成長前期で4割を超え多くなっている。「子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること」は家族形成期、家族成長前期及び家族成熟期で4割半ばと多くなっている。(図6-3-3)

## 6-4 学校支援活動

問 24 区立の小中学校では、次のような学校支援活動が実施されています。

(1) これらの活動をご存じですか。いくつでもお選びください。

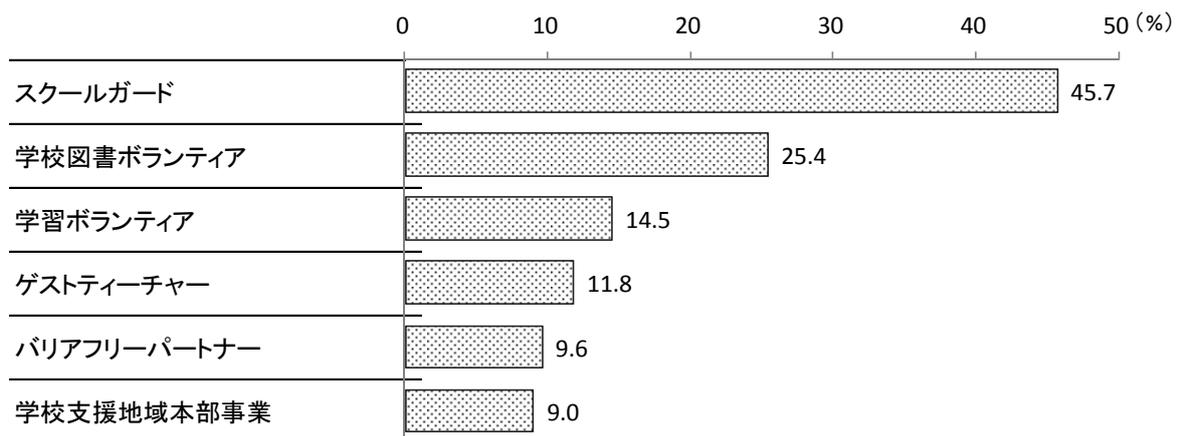
(2) これらの活動に今後協力したいと思いませんか。いくつでもお選びください。

(n=1,009)

項目	(1) 知っている	(2) 協力したい
1 スクールガード 登下校等の見守りを行うボランティア	45.7%	7.6%
2 学校図書ボランティア 児童に本の読み聞かせ等を行うボランティア	25.4%	8.3%
3 学習ボランティア 学校において学習指導等を行うボランティア	14.5%	6.7%
4 バリアフリーパートナー 学校での特別な支援を必要とする子どもたちを支援するボランティア	9.6%	5.6%
5 ゲストティーチャー 授業で特技や専門分野等を子どもたちに教えるボランティア	11.8%	7.0%
6 学校支援地域本部事業 PTA や地域の人が、ボランティアで学校運営をサポートする事業	9.0%	5.0%

図 6-4-1 学校支援活動の認知度

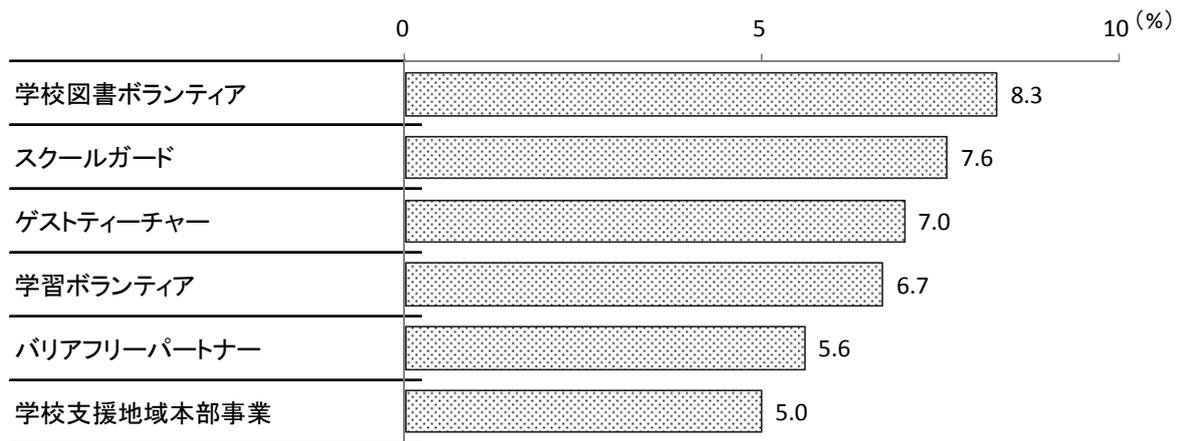
「知っている」



学校支援活動の認知度について聞いたところ、「スクールガード」(45.7%)が4割半ばと最も多く、次いで「学校図書ボランティア」(25.4%)、「学習ボランティア」(14.5%)、「ゲストティーチャー」(11.8%)などの順となっている。(図 6-4-1)

図6-4-2 学校支援活動の協力度

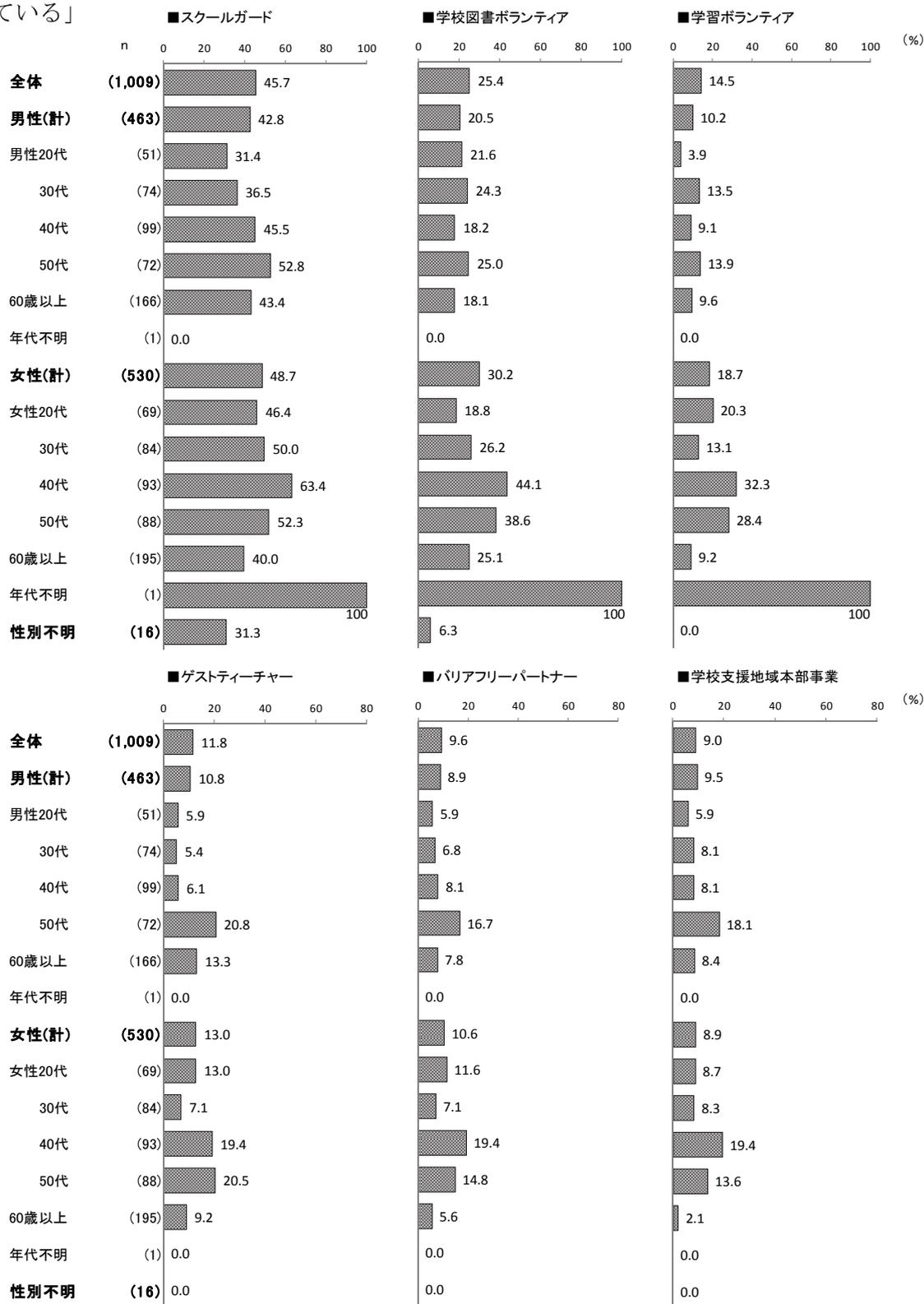
「協力したい」



学校支援活動の協力度について聞いたところ、「学校図書ボランティア」(8.3%)が最も多く、次いで「スクールガード」(7.6%)、「ゲストティーチャー」(7.0%)、「学習ボランティア」(6.7%)などの順となっているが、いずれも1割未満となっている。(図6-4-2)

図6-4-3 学校支援活動の認知度一性・年代別

「知っている」

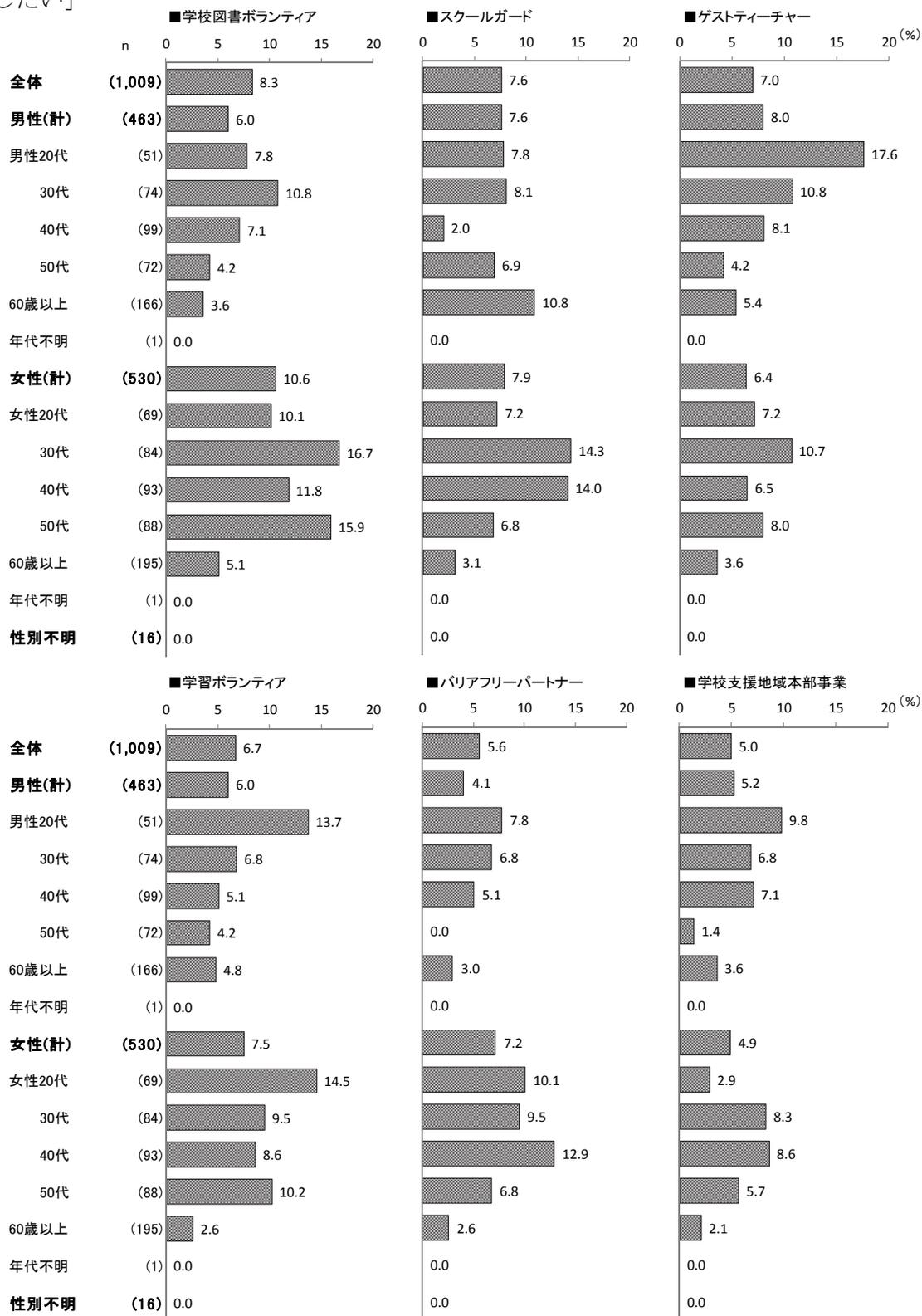


性別にみると、「学校図書ボランティア」は女性のほうが9.7ポイント、「学習ボランティア」は女性のほうが8.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、女性40代でいずれの項目でも高い傾向にあり、「スクールガード」で6割を超え、「学校図書ボランティア」で4割半ばと多くなっている。男性では50代でいずれの項目でも最も高くなっており、「スクールガード」は5割を超えている。(図6-4-3)

図 6-4-4 学校支援活動の協力度一性・年代別

「協力したい」

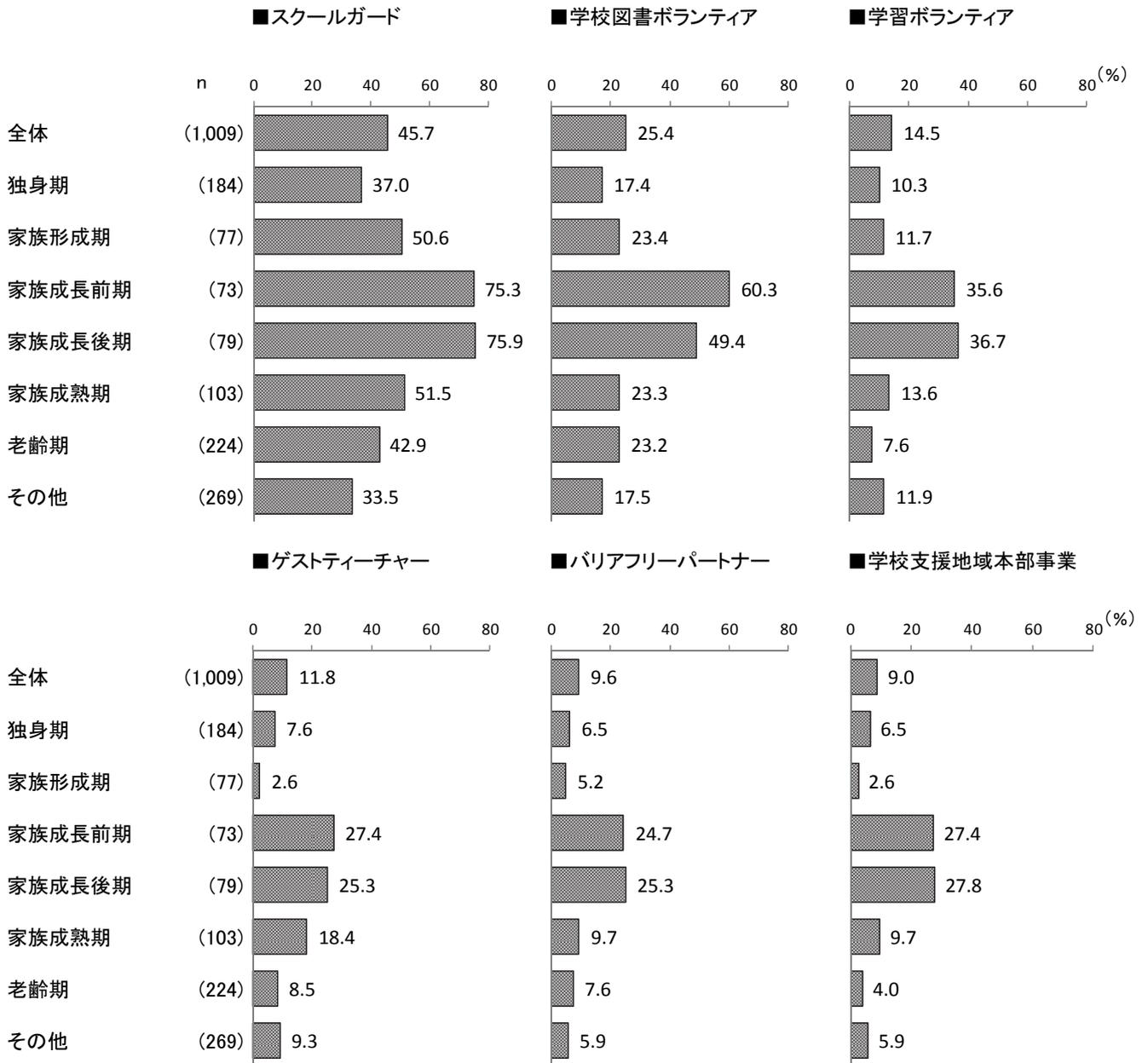


性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「ゲストティーチャー」は男性20代で2割近く、「学校図書ボランティア」は女性30代で1割半ばとなっている。(図6-4-4)

図6-4-5 学校支援活動の認知度—ライフステージ別

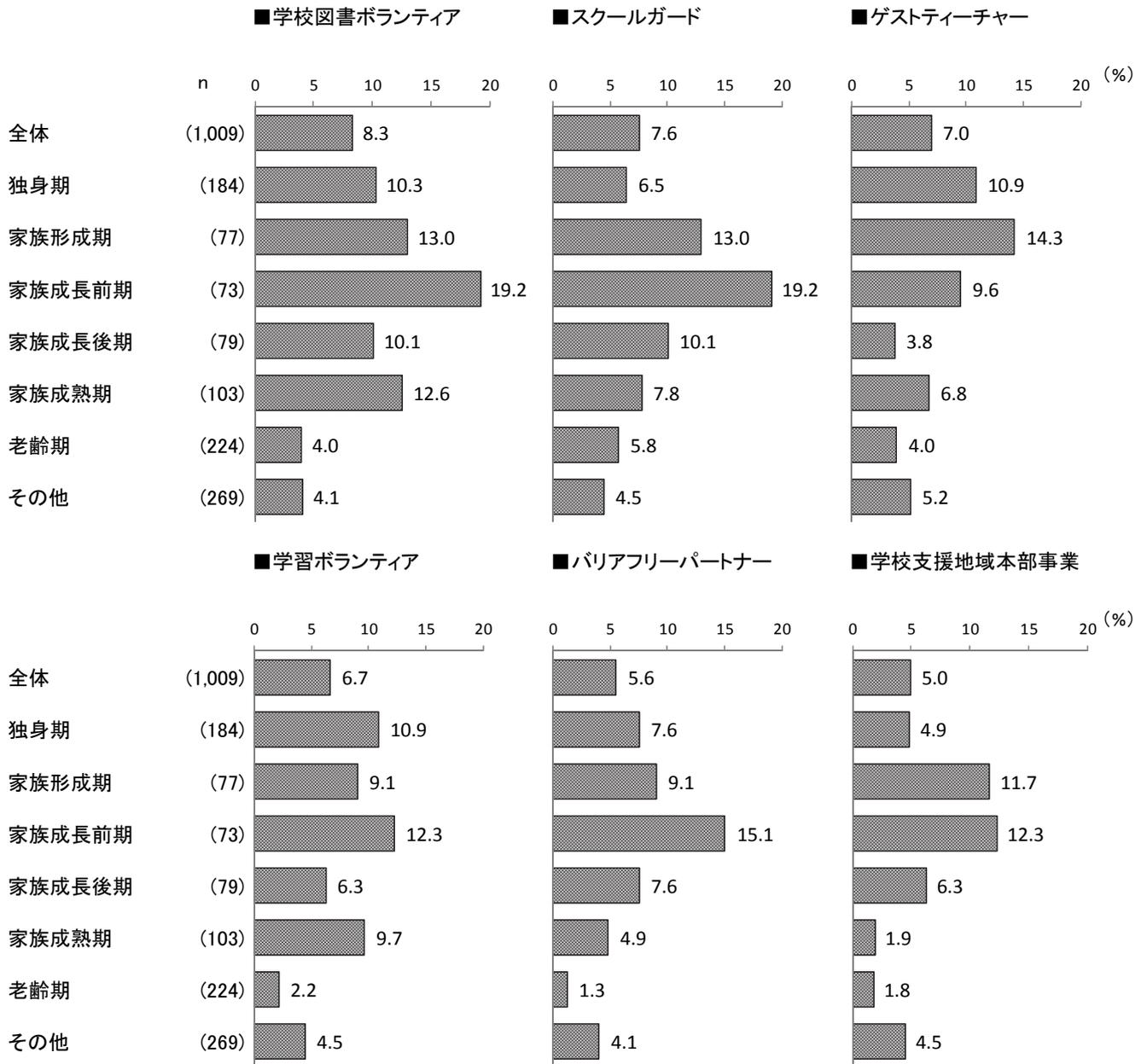
「知っている」



ライフステージ別にみると、家族成長前期と家族成長後期がすべての項目で多くなっており、「スクールガード」はそれぞれ7割半ば、「学校図書ボランティア」は家族成長前期でほぼ6割、家族成長後期でほぼ5割、「学習ボランティア」はそれぞれ3割半ばと多くなっている。(図6-4-5)

図6-4-6 学校支援活動の協力度ーライフステージ別

「協力したい」



ライフステージ別にみると、家族成長前期でいずれの項目も高い傾向にあり、「スクールガード」と「学校図書ボランティア」はともにほぼ2割となっている。(図6-4-6)

## 7. 障害者

---

7-1 ノーマライゼーションの認知度

7-2 ノーマライゼーションの浸透度

7-3 ノーマライゼーションを定着させるための施策

---



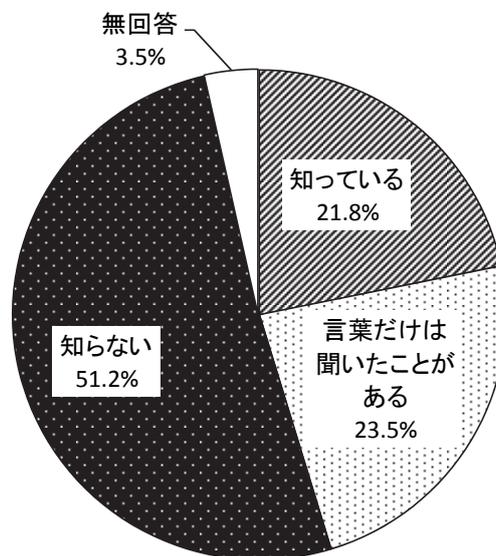
## 7 障害者

### 7-1 ノーマライゼーションの認知度

問 25 あなたは、障害のある人もない人も、子どもも高齢者も、すべての人が地域で普通（ノーマル）の生活を送ることを当然とし、共に認めあって普通の生活ができる社会を創造するという「ノーマライゼーション」の考え方をご存じですか。 1つお選びください。 (n=1,009)

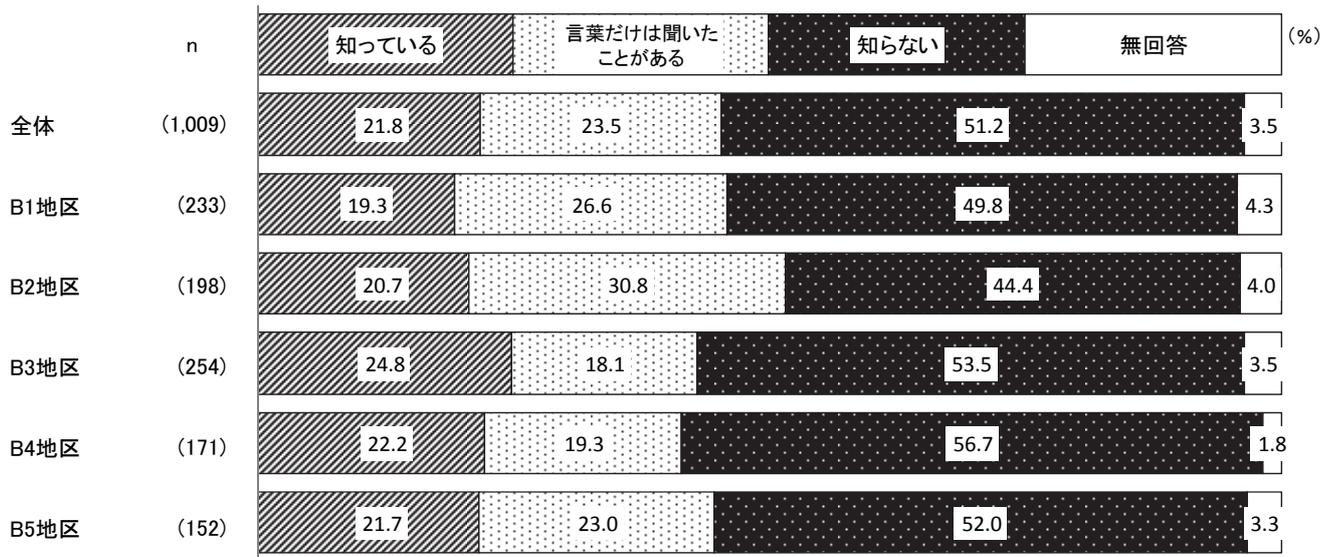
1 知っている	(21.8%)	3 知らない	(51.2%)
2 言葉だけは聞いたことがある	(23.5%)		無回答 (3.5%)

図 7-1-1 ノーマライゼーションの認知度



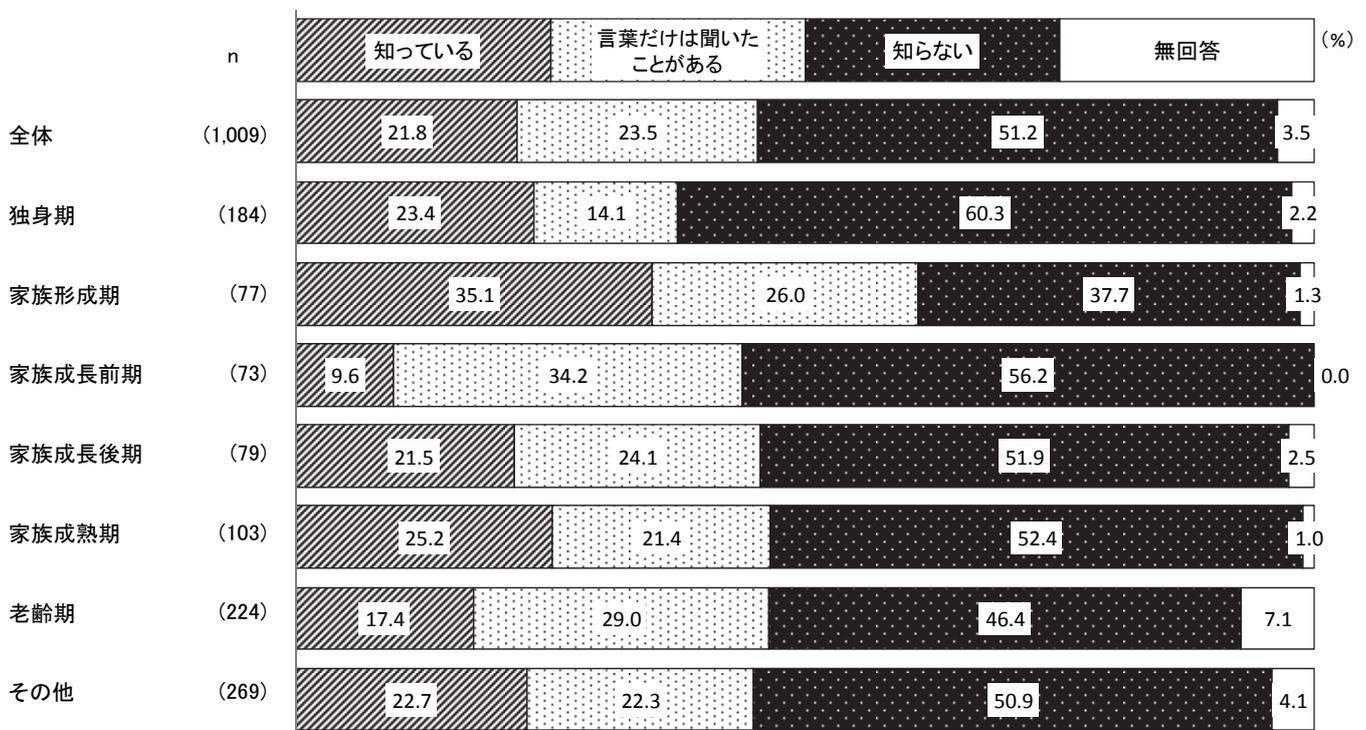
ノーマライゼーションの認知度について聞いたところ、「知っている」(21.8%)がほぼ2割となっている。また、「言葉だけは聞いたことがある」(23.5%)は2割を超え、「知らない」(51.2%)は5割以上となっている。(図7-1-1)

図 7-1-2 ノーマライゼーションの認知度—地区別



地区別にみると、「知っている」はすべての地区で2割前後となっており、ブロック3は2割半ばとなっている。一方、「知らない」はすべての地区で5割前後となっており、ブロック4は5割半ばとなっている。(図7-1-2)

図 7-1-3 ノーマライゼーションの認知度—ライフステージ別



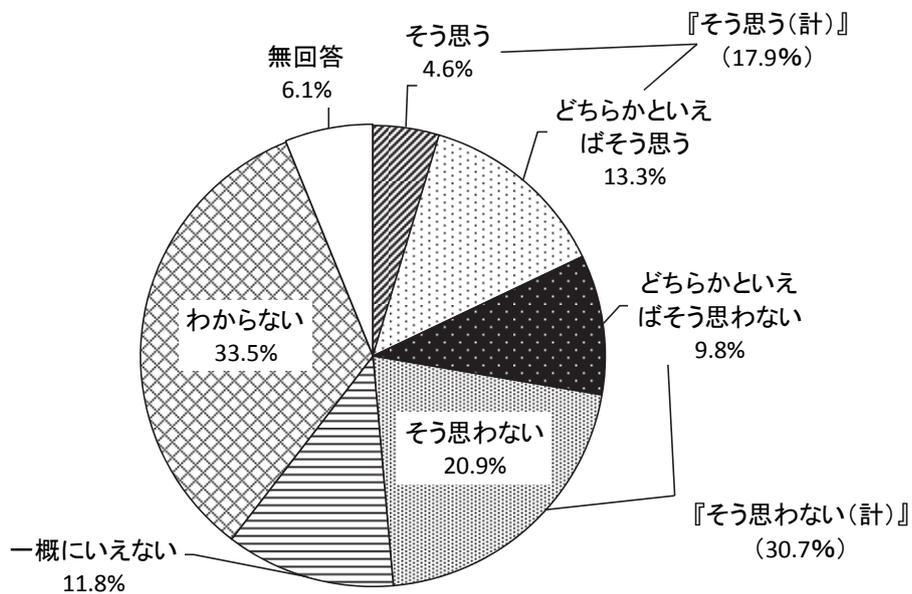
ライフステージ別にみると、「知っている」は家族形成期で3割半ばと多い。一方で、家族成長前期では1割未満と低い割合となっている。また、「知らない」は独身期でほぼ6割を占め、家族成長前期で5割半ばと多くなっている。(図7-1-3)

## 7-2 ノーマライゼーションの浸透度

問 25-1 区では、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害の有無にかかわらず、ともに住み慣れた地域で生活をするため、障害に対する正しい知識を広め理解の促進を図っています。このような考え方があなたの周りや地域に浸透していると思いますか。1つお選びください。(n=1,009)

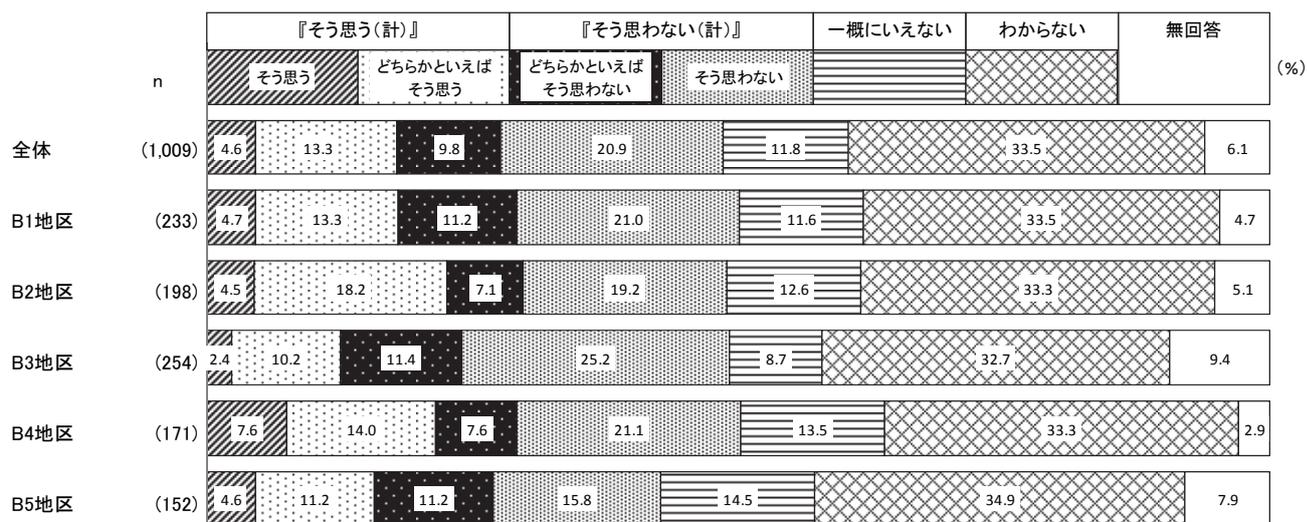
1 そう思う	(4.6%)	4 そう思わない	(20.9%)
2 どちらかといえばそう思う	(13.3%)	5 一概にいけない	(11.8%)
3 どちらかといえばそう思わない	(9.8%)	6 わからない	(33.5%)
		無回答	(6.1%)

図7-2-1 ノーマライゼーションの浸透度



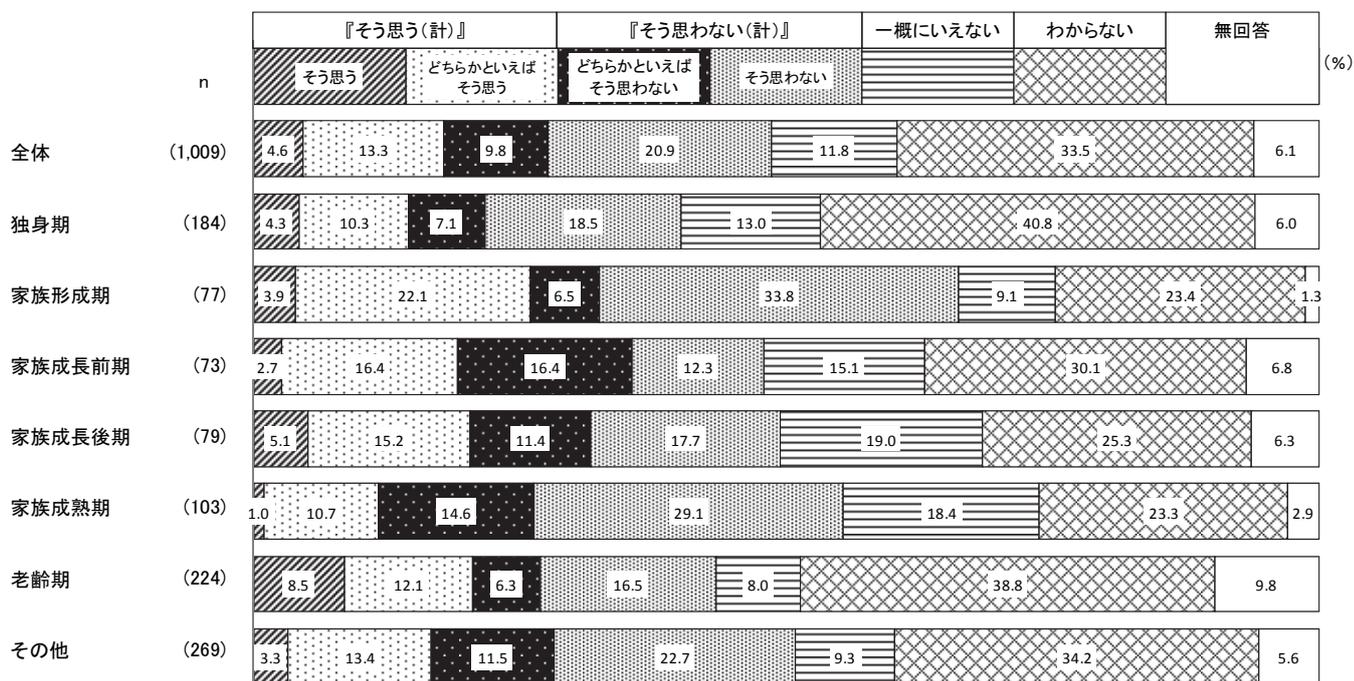
ノーマライゼーションの浸透度について聞いたところ、「そう思う」(4.6%)と「どちらかといえばそう思う」(13.3%)を合わせた『そう思う(計)』(17.9%)が2割近くとなっている。一方、「そう思わない」(20.9%)と「どちらかといえばそう思わない」(9.8%)を合わせた『そう思わない(計)』(30.7%)がほぼ3割となり、「一概にいけない」(11.8%)が1割強、「わからない」(33.5%)が3割半ば近くとなっている。(図7-2-1)

図 7-2-2 ノーマライゼーションの浸透度-地区別



地区別にみると、『そう思う(計)』はブロック2とブロック4で2割を超えている。一方、『そう思わない(計)』はすべての地区で3割前後となり、ブロック3は3割半ばとなっている。(図7-2-2)

図 7-2-3 ノーマライゼーションの浸透度-ライフステージ別



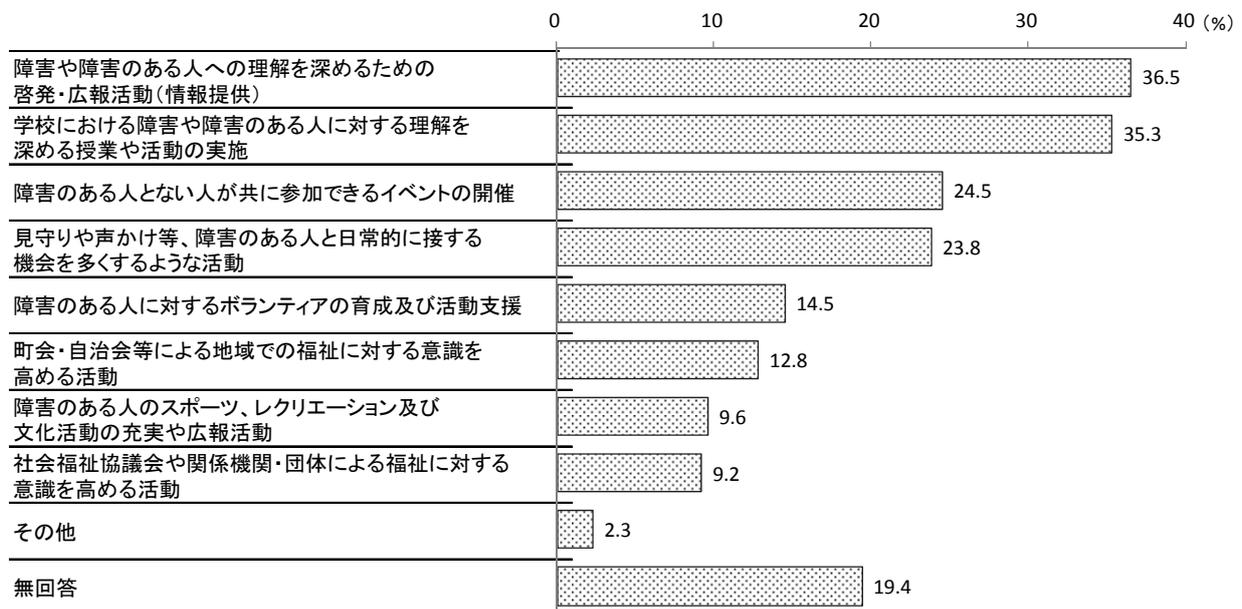
ライフステージ別にみると、『そう思う(計)』は家族形成期で2割半ば、家族成長前期、家族成長後期及び老齢期ではほぼ2割となっている。一方、『そう思わない(計)』は家族形成期と家族成熟期で4割以上となっている。(図7-2-3)

### 7-3 ノーマライゼーションを定着させるための施策

問 25-2 あなたは、「ノーマライゼーション」の考え方を広く区民に定着させるために、どのようにしたらよいと思いますか。3つ以内でお選びください。(n=1,009)

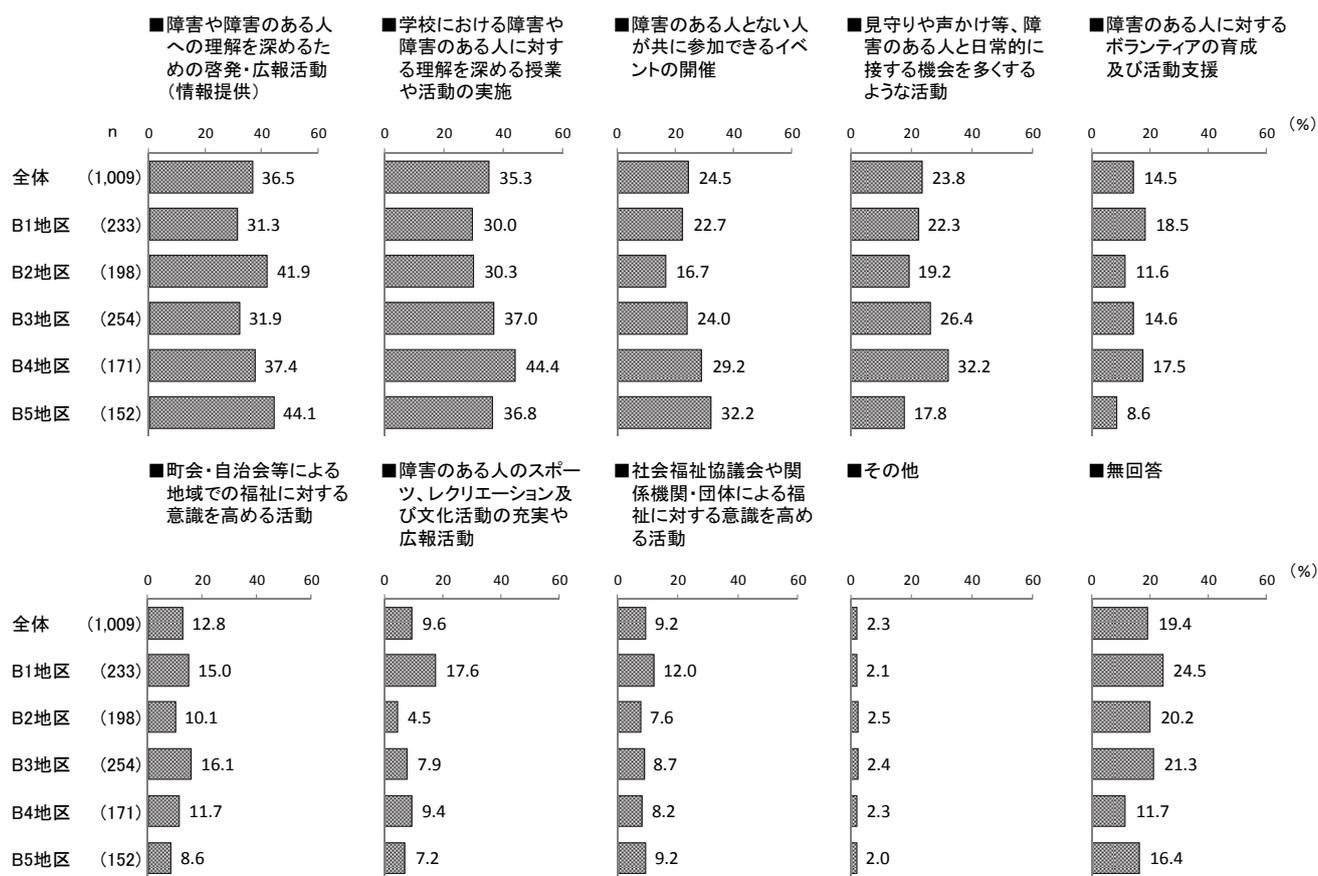
1	障害や障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動（情報提供）	(36.5%)
2	障害のある人とない人が共に参加できるイベントの開催	(24.5%)
3	学校における障害や障害のある人に対する理解を深める授業や活動の実施	(35.3%)
4	町会・自治会等による地域での福祉に対する意識を高める活動	(12.8%)
5	社会福祉協議会や関係機関・団体による福祉に対する意識を高める活動	(9.2%)
6	障害のある人のスポーツ、レクリエーション及び文化活動の充実や広報活動	(9.6%)
7	障害のある人に対するボランティアの育成及び活動支援	(14.5%)
8	見守りや声かけ等、障害のある人と日常的に接する機会を多くするような活動	(23.8%)
9	その他	(2.3%)
	無回答	(19.4%)

図 7-3-1 ノーマライゼーションを定着させるための施策



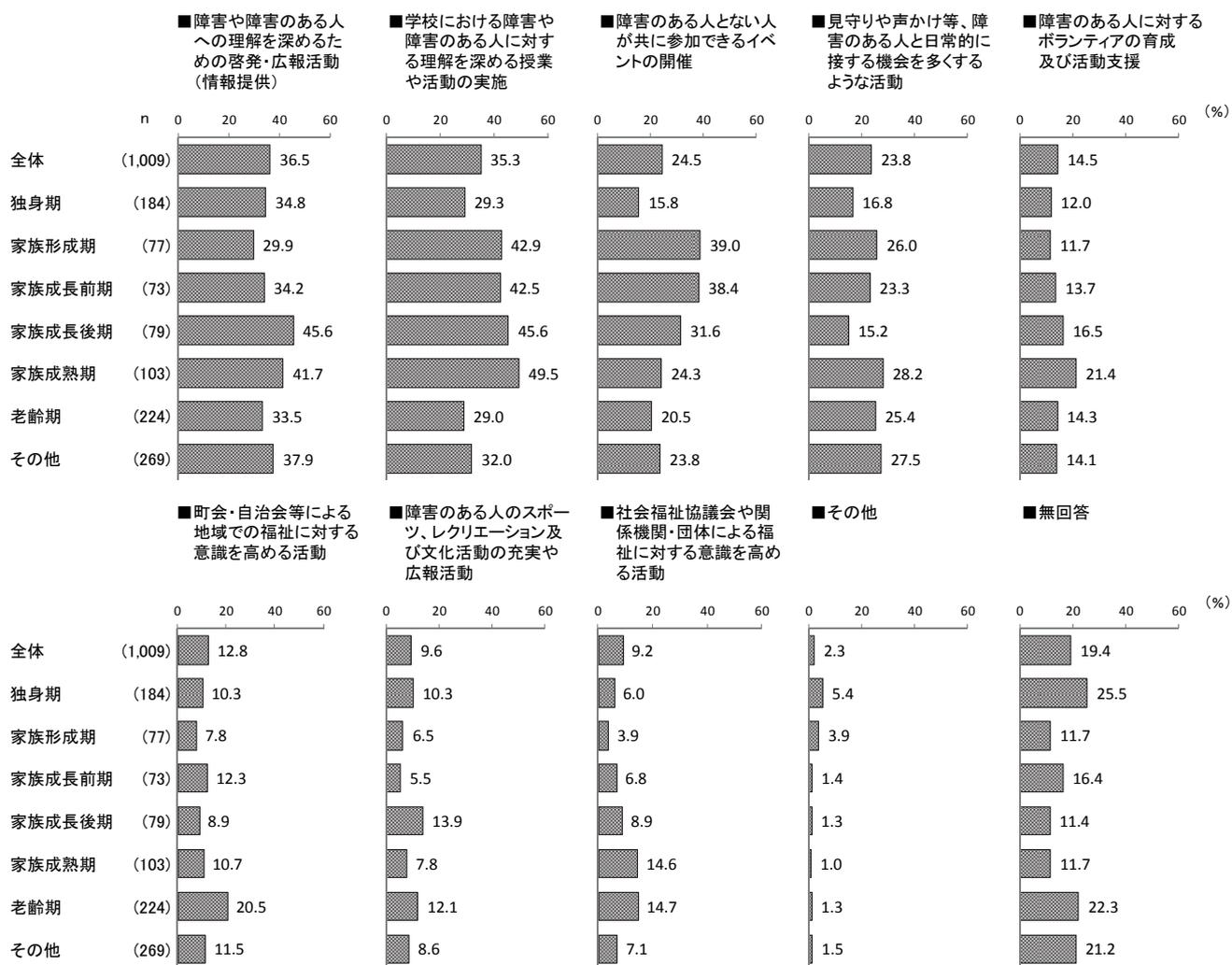
ノーマライゼーションを定着させるための施策について聞いたところ、「障害や障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動（情報提供）」(36.5%)が3割半ばと最も多く、次いで「学校における障害や障害のある人に対する理解を深める授業や活動の実施」(35.3%)、「障害のある人とない人が共に参加できるイベントの開催」(24.5%)、「見守りや声かけ等、障害のある人と日常的に接する機会を多くするような活動」(23.8%)などの順となっている。(図7-3-1)

図 7-3-2 ノーマライゼーションを定着させるための施策—地区別



地区別にみると、「学校における障害や障害のある人に対する理解を深める授業や活動の実施」はブロック4で4割半ばとなっており、他のブロックでも3割以上を占めている。また、「障害や障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動（情報提供）」はすべてのブロックで3割以上となっており、ブロック2とブロック5は4割を超えている。一方、「社会福祉協議会や関係機関・団体による福祉に対する意識を高める活動」と「障害のある人のスポーツ、レクリエーション及び文化活動の充実や広報活動」はブロック1で1割を超えているが、他のブロックではいずれも1割未満となっている。（図7-3-2）

図 7-3-3 ノーマライゼーションを定着させるための施策—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「学校における障害や障害のある人に対する理解を深める授業や活動の実施」は家族成熟期でほぼ5割、家族形成期、家族成長前期及び家族成長後期で4割以上と多くなっている。一方、「社会福祉協議会や関係機関・団体による福祉に対する意識を高める活動」は家族成熟期と老齢期で1割半ばとなっているが、他のライフステージでは1割未満となっている。(図7-3-3)



## 8. 商店街・産業（消費者相談）



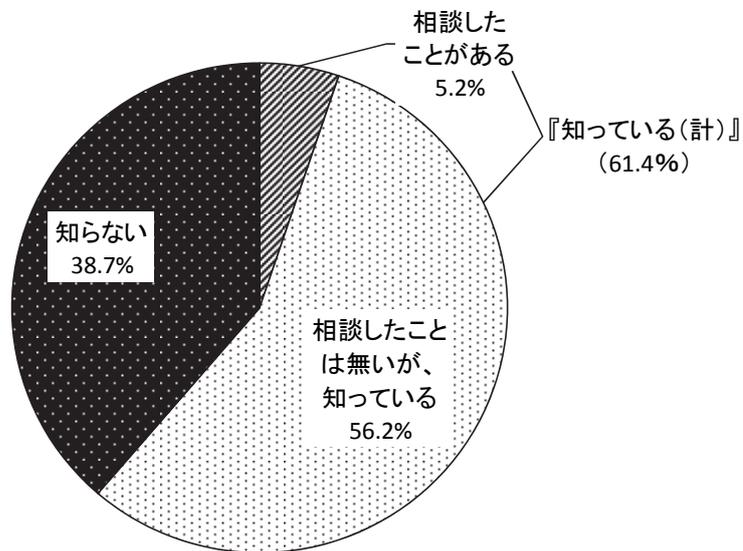
## 8 商店街・産業（消費者相談）

### 8-1 消費者相談コーナーの認知度

問 26 あなたは、消費生活センターに消費者と事業者との間に生じたトラブルを相談するコーナーがあることをご存知ですか。1つお選びください。 (n=1,009)

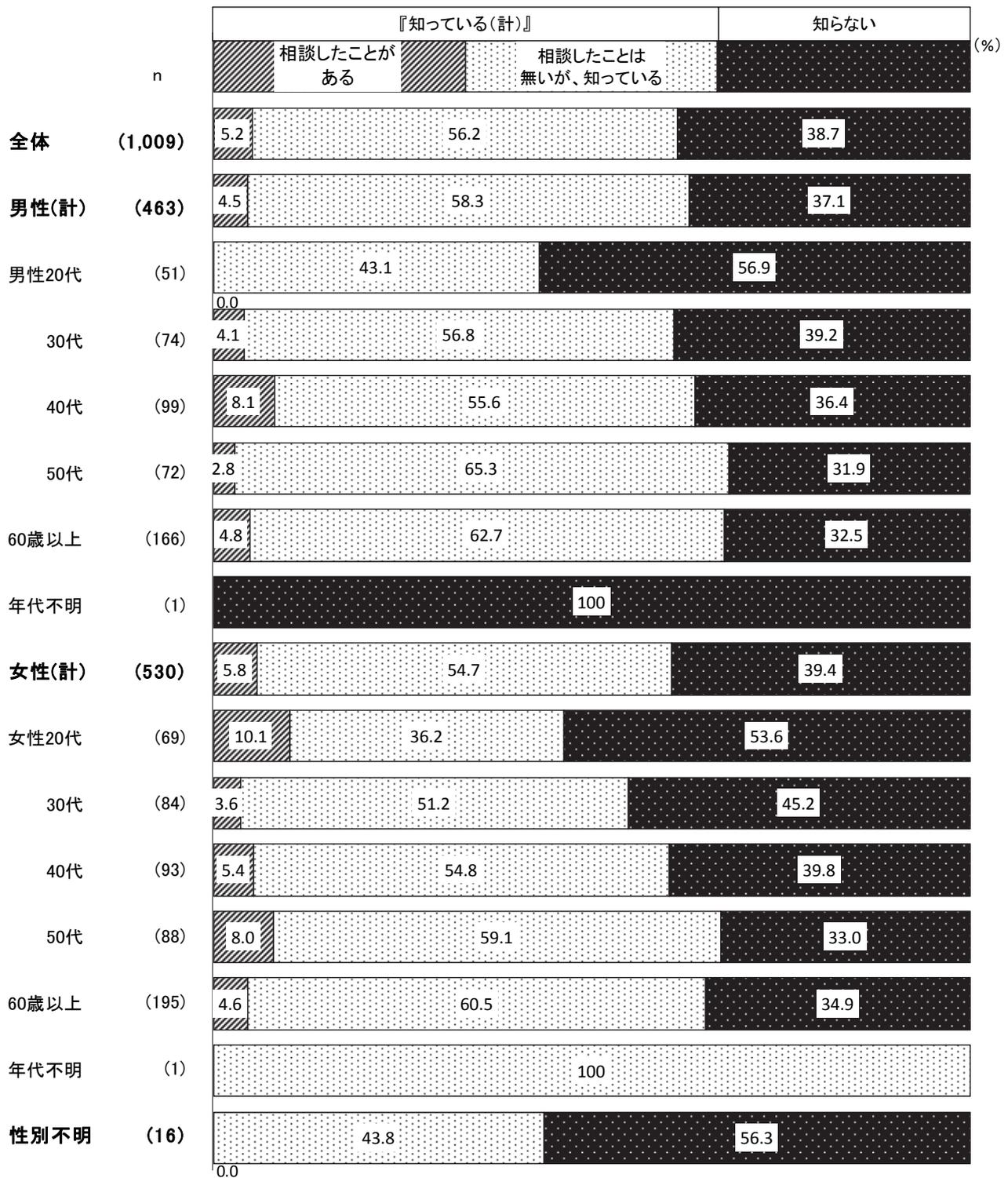
- |                            |                |
|----------------------------|----------------|
| 1 相談したことがある (5.2%)         | 3 知らない (38.7%) |
| 2 相談したことは無いが、知っている (56.2%) |                |

図 8-1-1 消費者相談コーナーの認知度



消費者相談コーナーの認知度について聞いたところ、「相談したことは無いが、知っている」(56.2%)が5割半ばと最も多く、これに「相談したことがある」(5.2%)を合わせた『知っている(計)』(61.4%)は6割を超えている。(図8-1-1)

図 8-1-2 消費者相談コーナーの認知度—性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、『知っている(計)』は男性50代、60歳以上と女性50代で7割近くと多くなっている。一方、「知らない」は男女ともに20代で5割半ばと多くなっている。(図8-1-2)

## 9. 文化振興

---

9-1 参加してみたい講座

9-2 生涯学習情報の入手方法

---



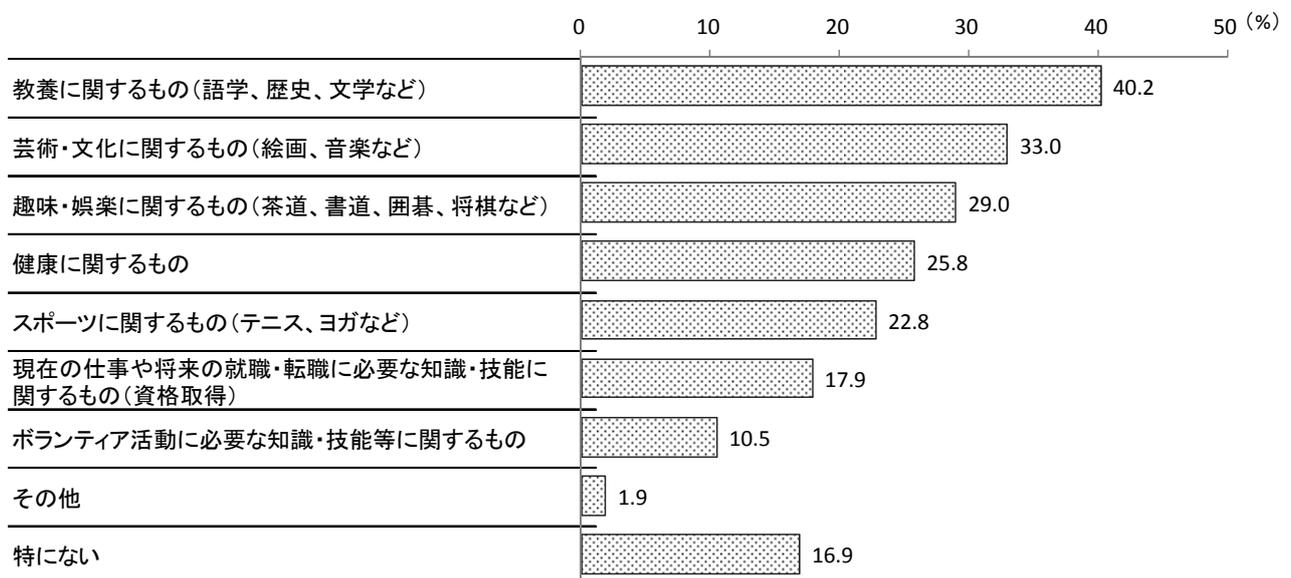
## 9 文化振興

### 9-1 参加してみたい講座

問 27 区では、大学や企業とも連携して、多様な生涯学習講座を開催していきます。そこで、あなたは、どのような講座があれば参加したいですか。3つ以内でお選びください。（n=1,009）

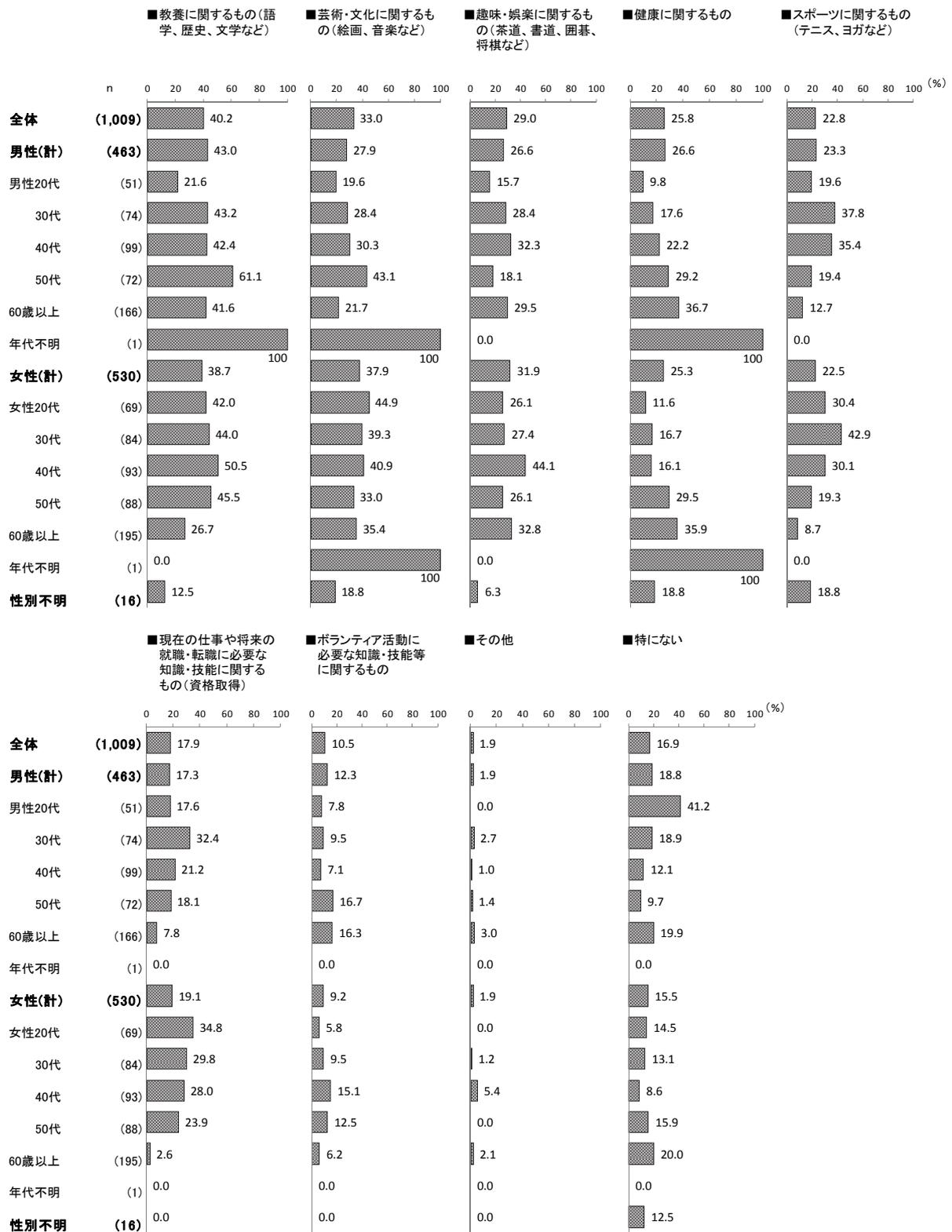
1 趣味・娯楽に関するもの（茶道、書道、囲碁、将棋など）	(29.0%)
2 教養に関するもの（語学、歴史、文学など）	(40.2%)
3 芸術・文化に関するもの（絵画、音楽など）	(33.0%)
4 現在の仕事や将来の就職・転職に必要な知識・技能に関するもの（資格取得）	(17.9%)
5 ボランティア活動に必要な知識・技能等に関するもの	(10.5%)
6 スポーツに関するもの（テニス、ヨガなど）	(22.8%)
7 健康に関するもの	(25.8%)
8 その他	(1.9%)
9 特にない	(16.9%)

図 9-1-1 参加してみたい講座



参加してみたい講座について聞いたところ、「教養に関するもの」（40.2%）が4割と最も多く、次いで「芸術・文化に関するもの」（33.0%）、「趣味・娯楽に関するもの」（29.0%）、「健康に関するもの」（25.8%）、「スポーツに関するもの」（22.8%）などの順となっている。（図 9-1-1）

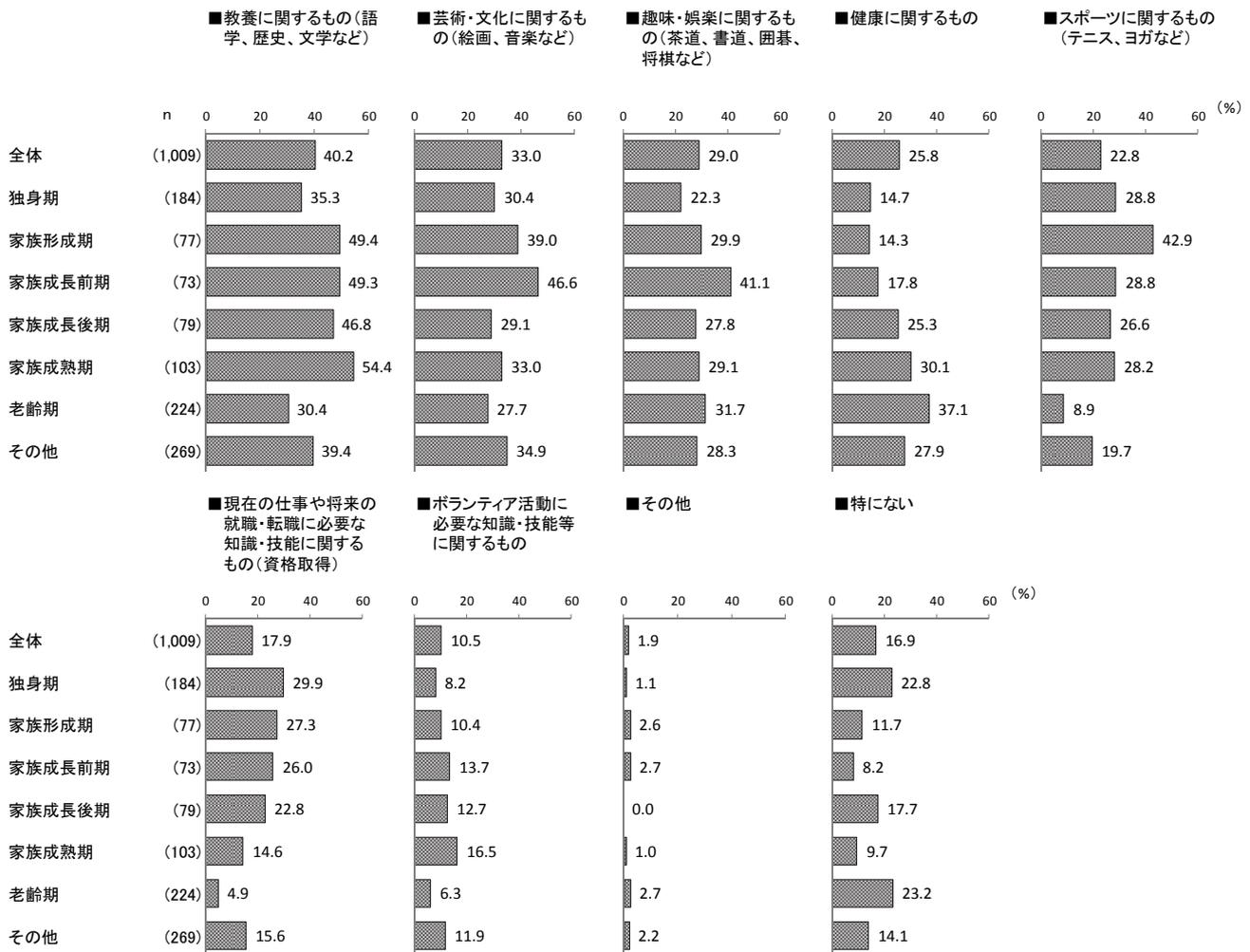
図9-1-2 参加してみたい講座一性・年代別



性別にみると、「芸術・文化に関するもの」は女性のほうが10.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「教養に関するもの」は女性20代を除くすべての年代で最も多く、男性50代では6割を超えている。また、「健康に関するもの」は男女ともに年齢があがるほど割合が高くなる傾向になっている。(図9-1-2)

図9-1-3 参加してみたい講座－ライフステージ別



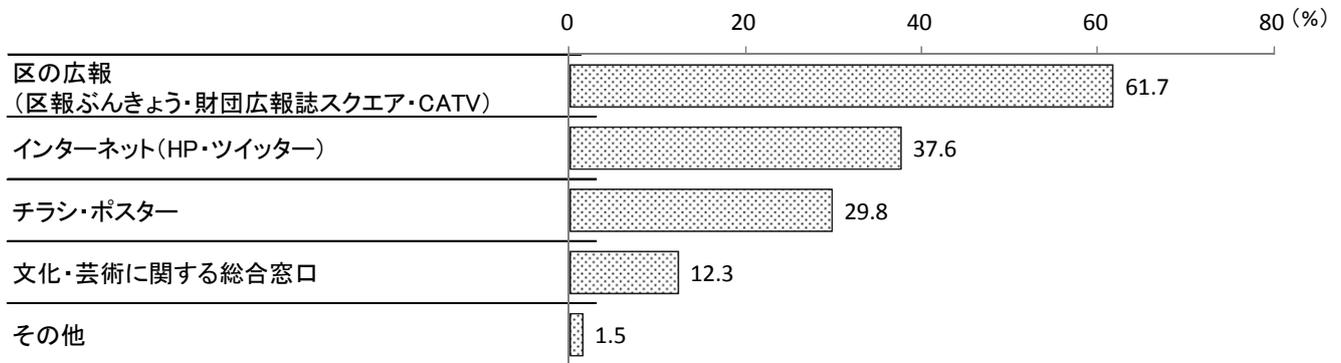
ライフステージ別にみると、「教養に関するもの」は家族成熟期で5割半ばとなり、他のライフステージでも3割以上を占めている。また、「現在の仕事や将来の就職・転職に必要な知識・技能に関するもの」はライフステージが進むほど割合が低くなり、「健康に関するもの」はライフステージが進むほど割合が高くなる傾向になっている。(図9-1-3)

## 9-2 生涯学習情報の入手方法

問 28 文化・芸術及び生涯学習活動の情報入手にあたって、充実を望む媒体はなんですか。いくつでもお選びください。 (n=1,009)

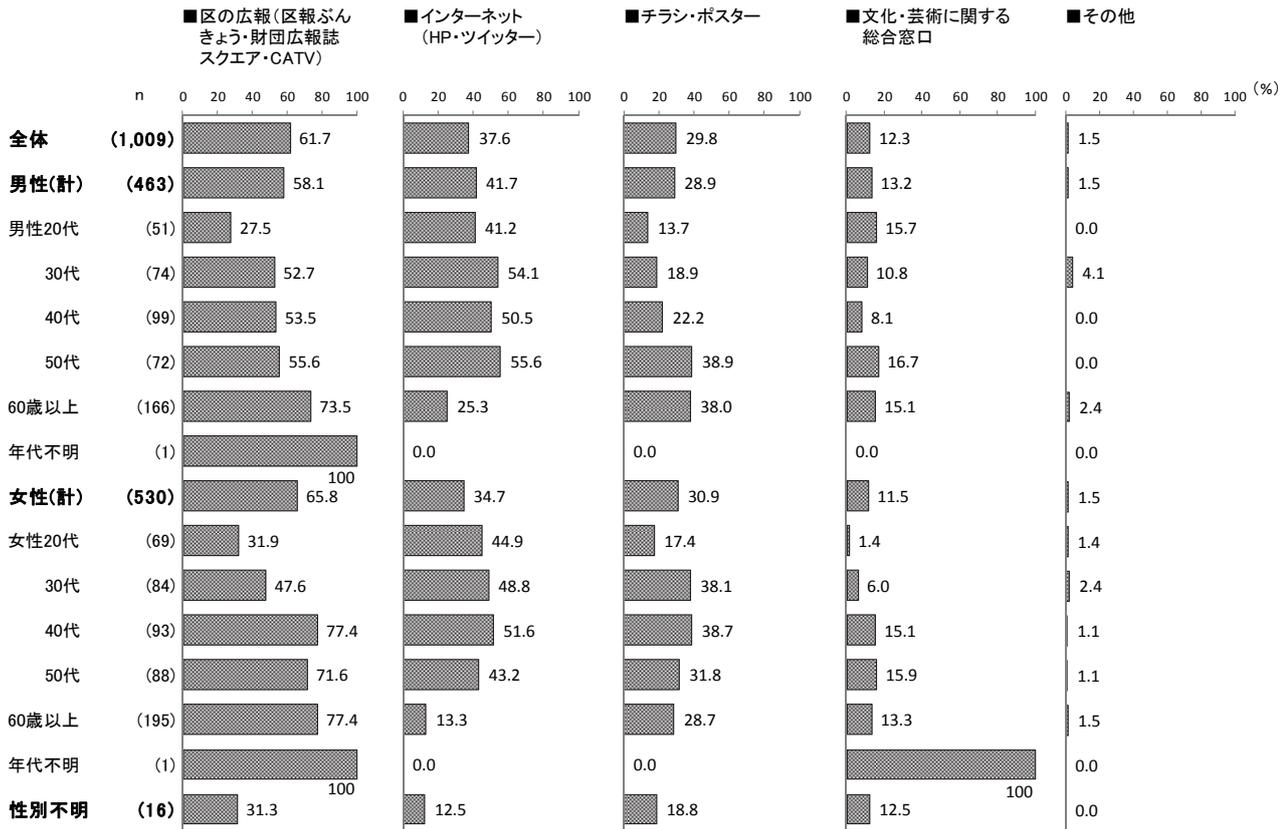
1 区の広報(区報ぶんきょう・財団広報誌スクエア・CATV)	(61.7%)
2 インターネット(HP・ツイッター)	(37.6%)
3 チラシ・ポスター	(29.8%)
4 文化・芸術に関する総合窓口	(12.3%)
5 その他	(1.5%)

図 9-2-1 生涯学習情報の入手方法



生涯学習情報の入手方法について聞いたところ、「区の広報(区報ぶんきょう・財団広報誌スクエア・CATV)」(61.7%)が6割を超え最も多く、次いで「インターネット(HP・ツイッター)」(37.6%)、「チラシ・ポスター」(29.8%)などの順となっている。(図9-2-1)

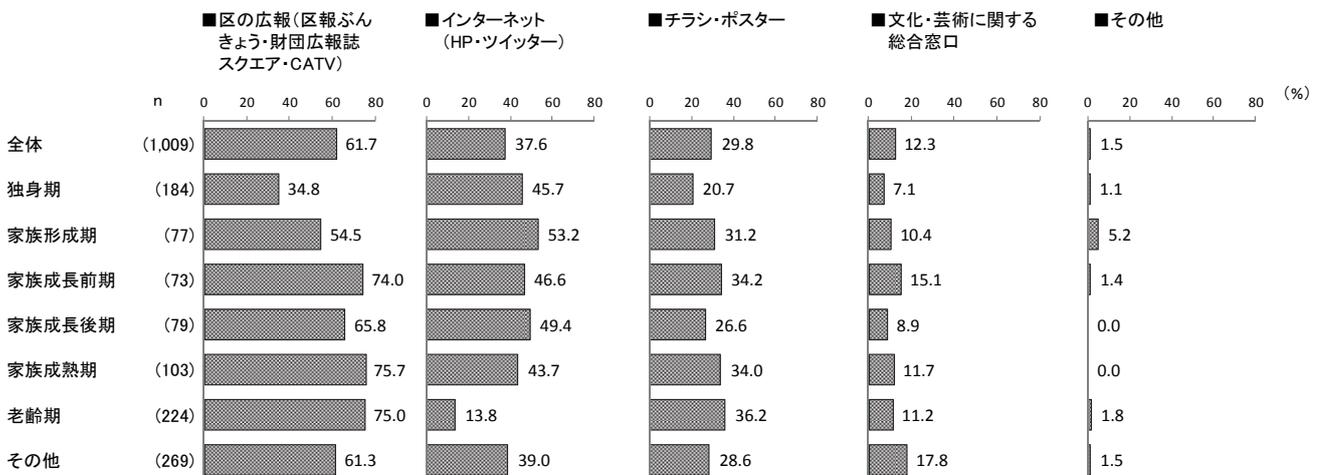
図 9-2-2 生涯学習情報の入手方法—性・年代別



性別にみると、「区の情報(区報ぶんきょう・財団広報誌スクエア・CATV)」は女性のほうが7.7ポイント高く、「インターネット(HP・ツイッター)」は男性のほうが7.0ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「区の情報(区報ぶんきょう・財団広報誌スクエア・CATV)」は男女ともに40代、50代、60歳以上の年代で最も多く、「インターネット(HP・ツイッター)」は男女ともに20代、30代の年代で最も多くなっている。一方、「文化・芸術に関する総合窓口」はいずれの年代でも2割以下と低い割合となっている。(図9-2-2)

図 9-2-3 生涯学習情報の入手方法—ライフステージ別



ライフステージ別にみると、「区の情報(区報ぶんきょう・財団広報誌スクエア・CATV)」は家族成長前期、家族成熟期及び老齢期で7割半ば、家族成長後期で6割半ばと多く、「インターネット(HP・ツイッター)」は老齢期を除くすべてのライフステージで4割以上と多くなっている。(図9-2-3)



# 10. 循環型社会

- 
- 10-1 地域生活での環境について関心のあるテーマ
  - 10-2 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）の認知度
  - 10-3 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）実現に向けて実践すべきもの
-



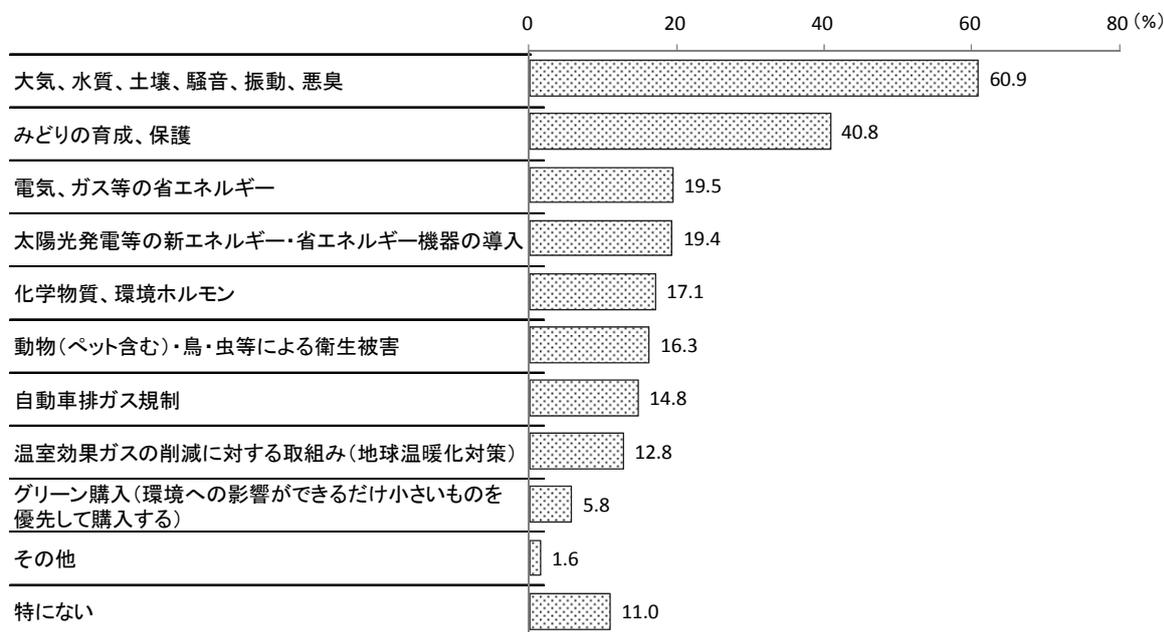
## 10 循環型社会

### 10-1 地域生活での環境について関心のあるテーマ

問 29 あなたが、地域生活での環境に関して関心のある事項は次のうちどれですか。3つ以内でお選びください。 (n=1,009)

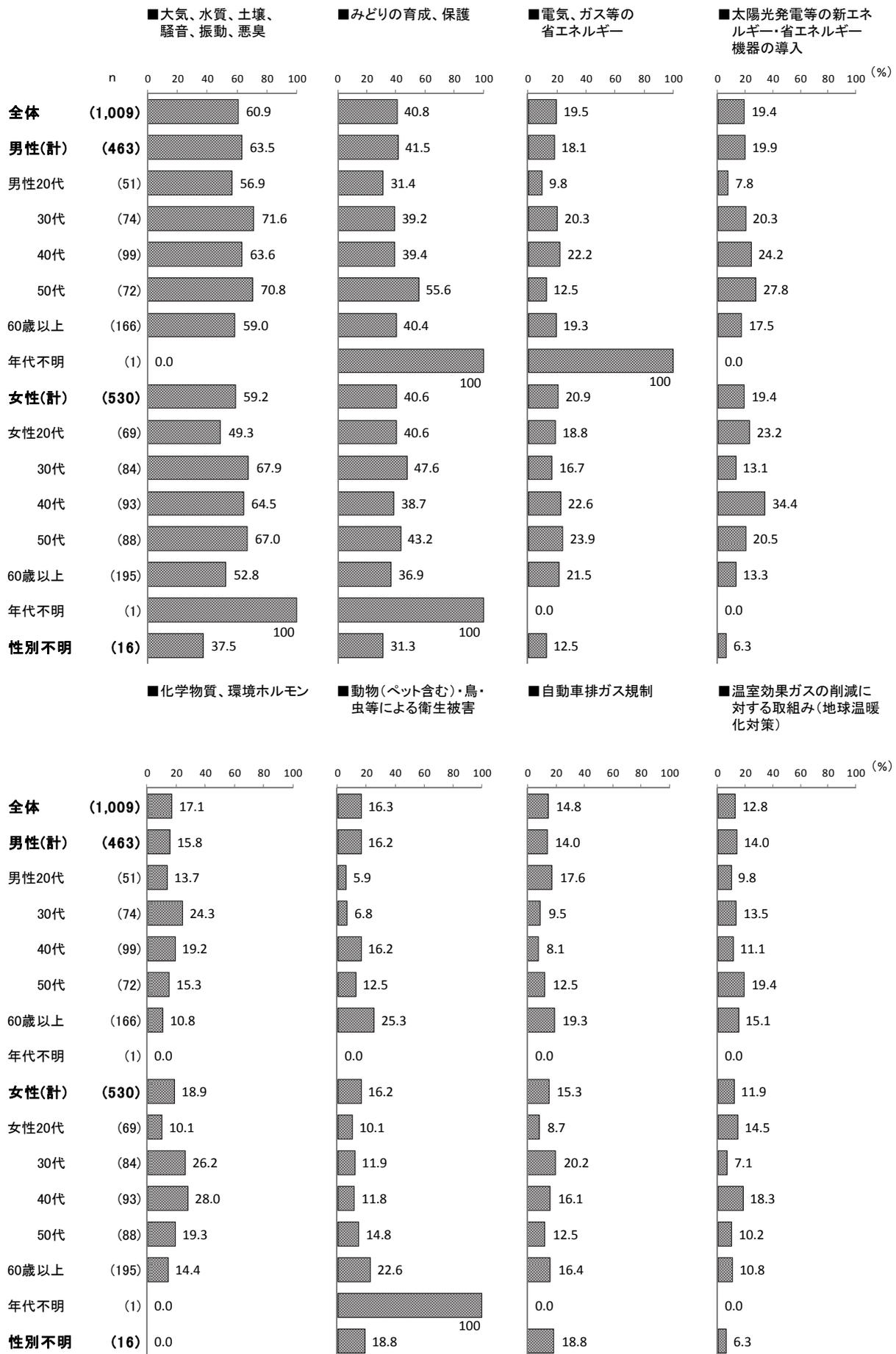
1	大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭	(60.9%)
2	みどりの育成、保護	(40.8%)
3	化学物質、環境ホルモン	(17.1%)
4	動物（ペット含む）・鳥・虫等による衛生被害	(16.3%)
5	電気、ガス等の省エネルギー	(19.5%)
6	自動車排ガス規制	(14.8%)
7	グリーン購入（環境への影響ができるだけ小さいものを優先して購入する）	(5.8%)
8	太陽光発電等の新エネルギー・省エネルギー機器の導入	(19.4%)
9	温室効果ガスの削減に対する取組み（地球温暖化対策）	(12.8%)
10	その他	(1.6%)
11	特にない	(11.0%)

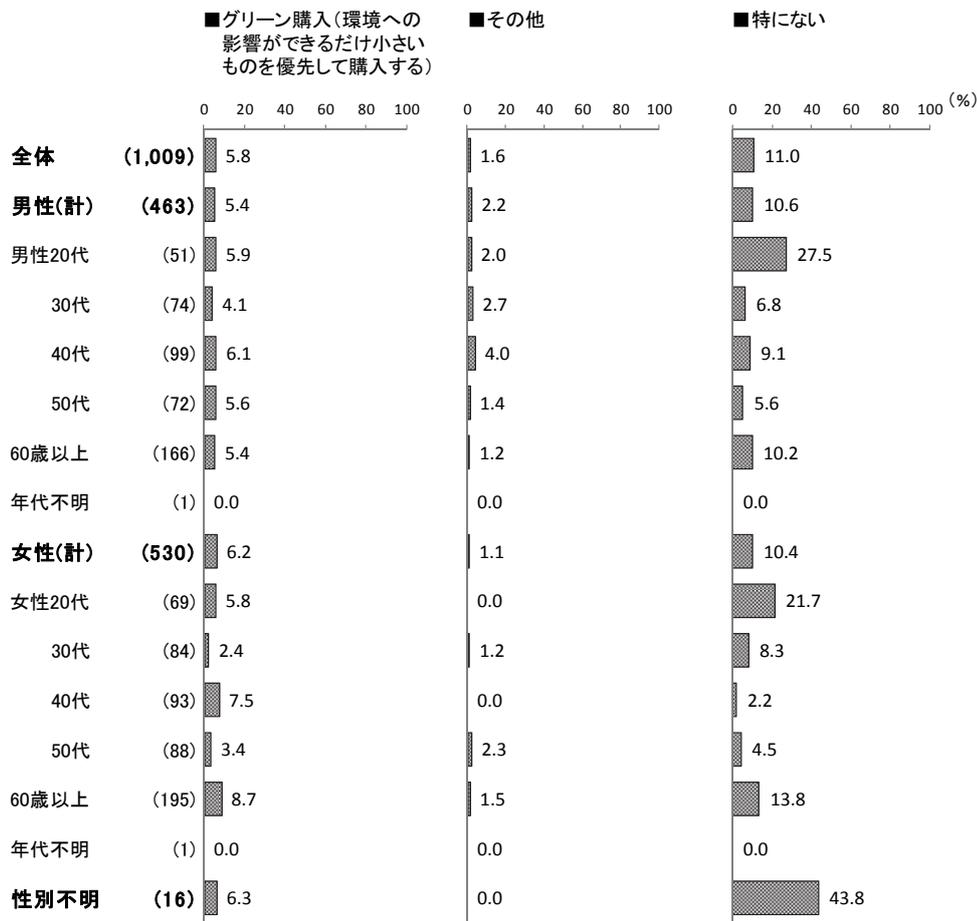
図 10-1-1 地域生活での環境について関心のあるテーマ



地域生活での環境について関心のあるテーマについて聞いたところ、「大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭」(60.9%)がほぼ6割と最も多く、次いで「みどりの育成、保護」(40.8%)、「電気、ガス等の省エネルギー」(19.5%)、「太陽光発電等の新エネルギー・省エネルギー機器の導入」(19.4%)、「化学物質、環境ホルモン」(17.1%)、「動物（ペット含む）・鳥・虫等による衛生被害」(16.3%)などの順となっている。(図 10-1-1)

図 10-1-2 地域生活での環境について関心のあるテーマー性・年代別





性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

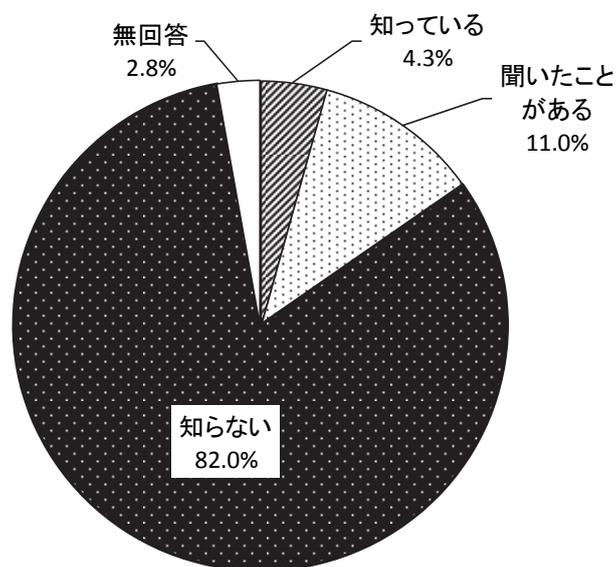
性・年代別にみると、「大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭」は男性30代、50代で7割を超え、女性30代、50代で7割近くと多くなっている。また、「みどりの育成、保護」は男性50代で最も多く5割半ば、「動物（ペット含む）・鳥・虫等による衛生被害」は男女ともに60歳以上で2割以上となっている。一方、「グリーン購入(環境への影響ができるだけ小さいものを優先して購入する)」はいずれの年代でも1割未満と低い割合となっている。(図10-1-2)

## 10-2 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）の認知度

問 30 区では、環境負荷の少ない循環型社会を目指し、平成 23 年 3 月に文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン文京）を改定しました。あなたは、この計画をご存じですか。1つお選びください。（n=1,009）

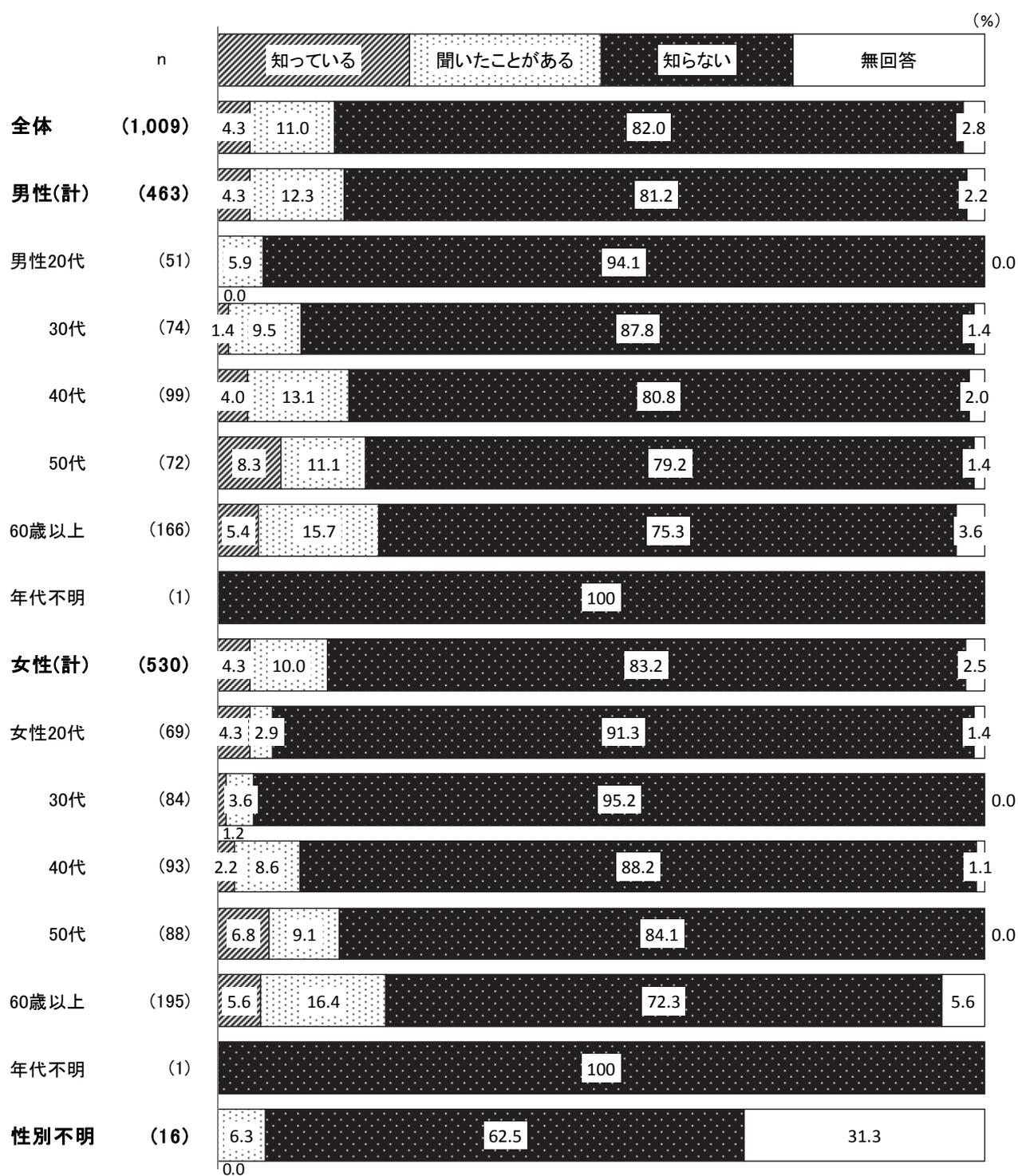
1 知っている	(4.3%)	3 知らない	(82.0%)
2 聞いたことがある	(11.0%)	無回答	(2.8%)

図 10-2-1 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）の認知度



文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）の認知度について聞いたところ、「知っている」（4.3%）が1割未満で、「聞いたことがある」（11.0%）がほぼ1割となっている。一方、「知らない」（82.0%）は8割を超えている。（図 10-2-1）

図 10-2-2 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）の認知度一性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

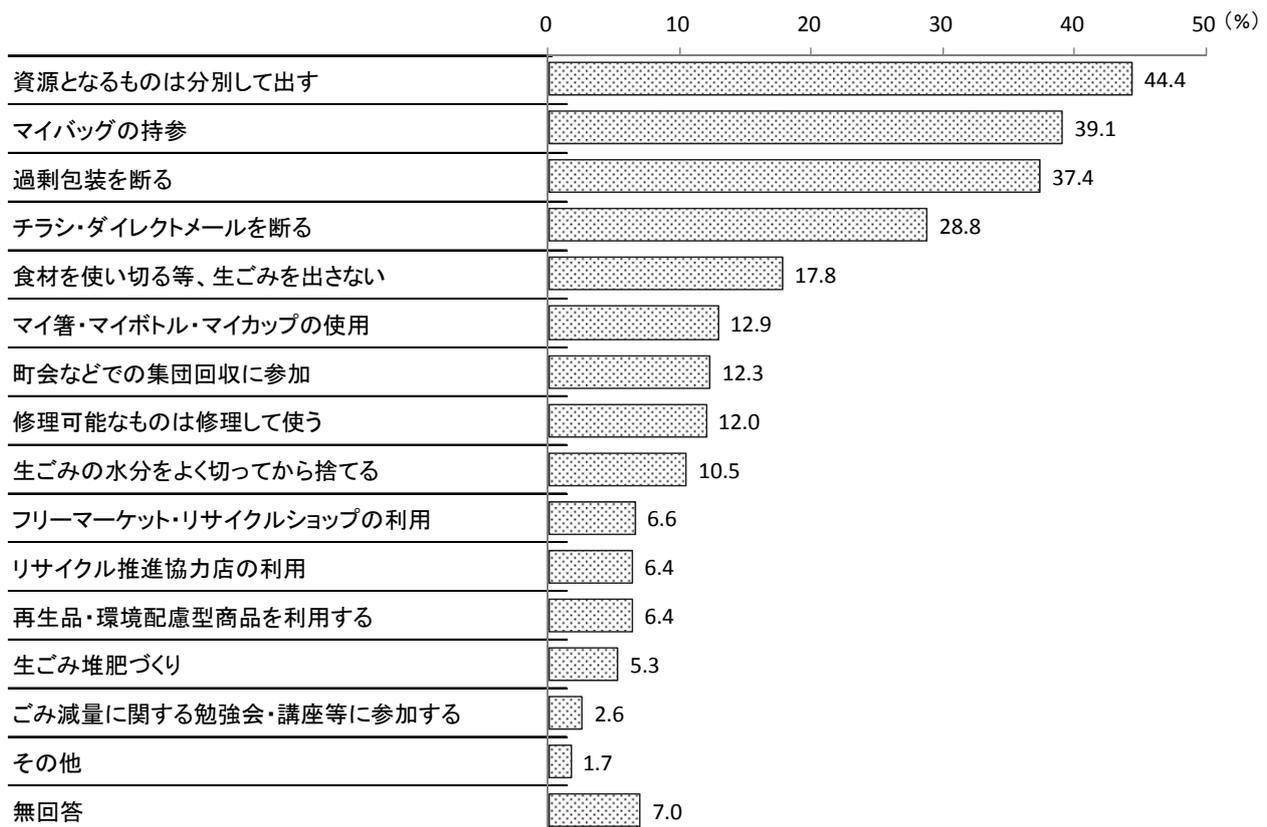
性・年代別にみると、「知っている」はいずれの年代でも1割未満と低く、「聞いたことがある」は男女ともに60歳以上で1割半ばとなっている。一方、「知らない」は男性20代と女性20代、30代で9割以上を占め、男性30代、40代と女性40代、50代で8割を超え多くなっている。(図10-2-2)

### 10-3 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）実現に向けて実践すべきもの

問 30-1 文京区一般廃棄物処理基本計画では、10年間で、ごみ量の約20%削減・資源回収量の約10%増加を目標としています。あなたは、この目標を達成するために、どのようなことを実践すると良いとお考えですか。3つ以内でお選びください。 (n=1,009)

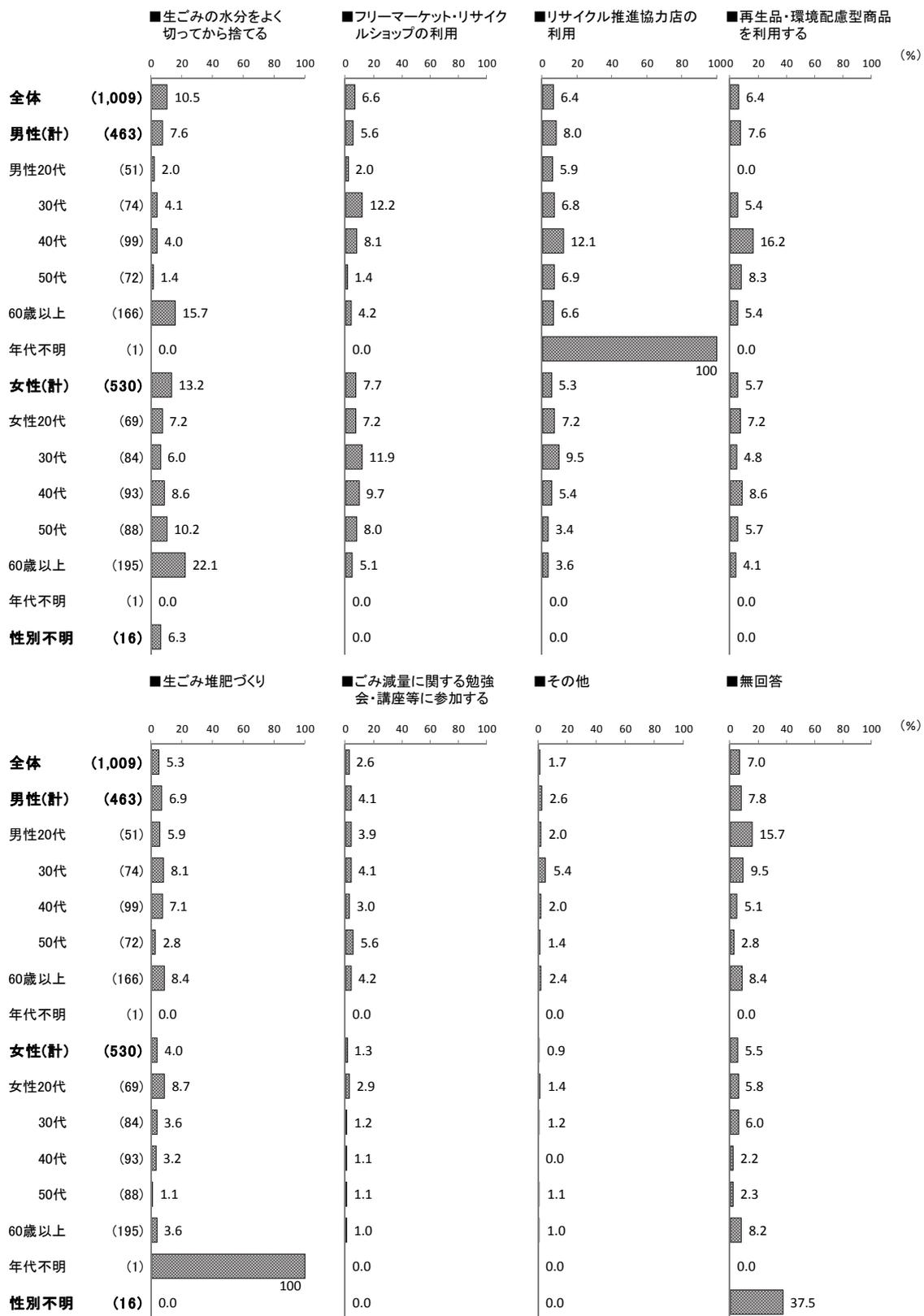
1 マイバッグの持参 (39.1%)	9 リサイクル推進協力店の利用 (6.4%)
2 マイ箸・マイボトル・マイカップの使用 (12.9%)	10 町会などでの集団回収に参加 (12.3%)
3 過剰包装を断る (37.4%)	11 資源となるものは分別して出す (44.4%)
4 チラシ・ダイレクトメールを断る (28.8%)	12 修理可能なものは修理して使う (12.0%)
5 食材を使い切る等、生ごみを出さない (17.8%)	13 再生品・環境配慮型商品を利用する (6.4%)
6 生ごみの水分をよく切ってから捨てる (10.5%)	14 ごみ減量に関する勉強会・講座等に参加する (2.6%)
7 生ごみ堆肥づくり (5.3%)	15 その他 (1.7%)
8 フリーマーケット・リサイクルショップの利用 (6.6%)	無回答 (7.0%)

図 10-3-1 文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）実現に向けて実践すべきもの



文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン）実現に向けて実践すべきものについて聞いたところ、「資源となるものは分別して出す」（44.4%）が4割半ばと最も多く、次いで「マイバッグの持参」（39.1%）、「過剰包装を断る」（37.4%）、「チラシ・ダイレクトメールを断る」（28.8%）、「食材を使い切る等、生ごみを出さない」（17.8%）などの順となっている。（図 10-3-1）





性別にみると、「マイバッグの持参」は女性のほうが18.5ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「資源となるものは分別して出す」は男性のすべての年代で3割以上を占めており、男性50代では6割近くとなっている。また、「マイバッグの持参」は女性のすべての年代で4割半ばを超えており、女性30代では5割半ばとなっている。一方、「生ごみ堆肥づくり」と「ごみ減量に関する勉強会・講座等に参加する」はいずれの年代でも1割未満となっている。(図10-3-2)

# 11. 議会

- 
- 11-1 区議会の活動の認知媒体
  - 11-2 区議会の活動として期待すること
  - 11-3 区議会ホームページの閲覧頻度
-



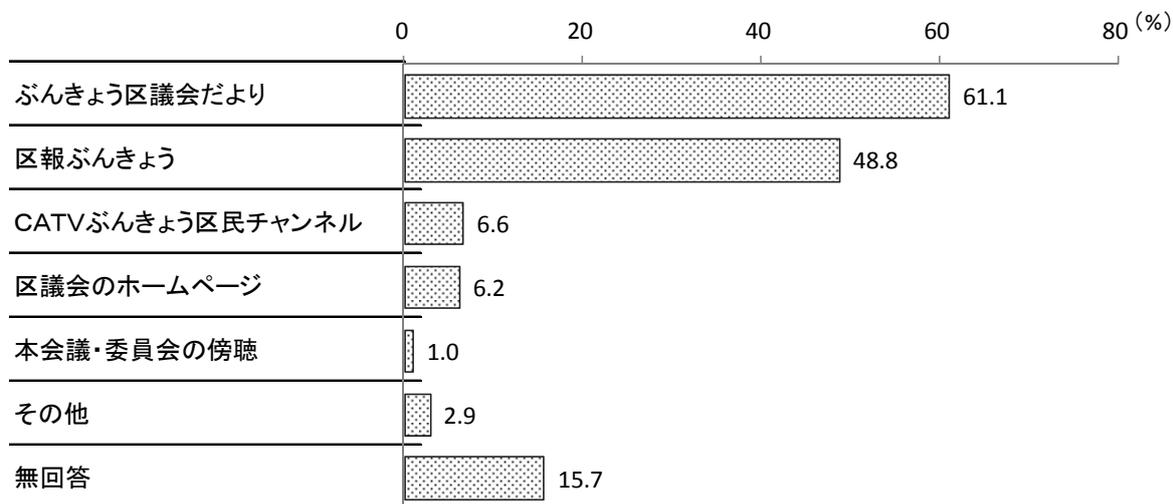
# 11 議会

## 11-1 区議会の活動の認知媒体

問 31 あなたは、区議会の活動を、どのようにしてお知りになっていますか。いくつでもお選びください。 (n=1,009)

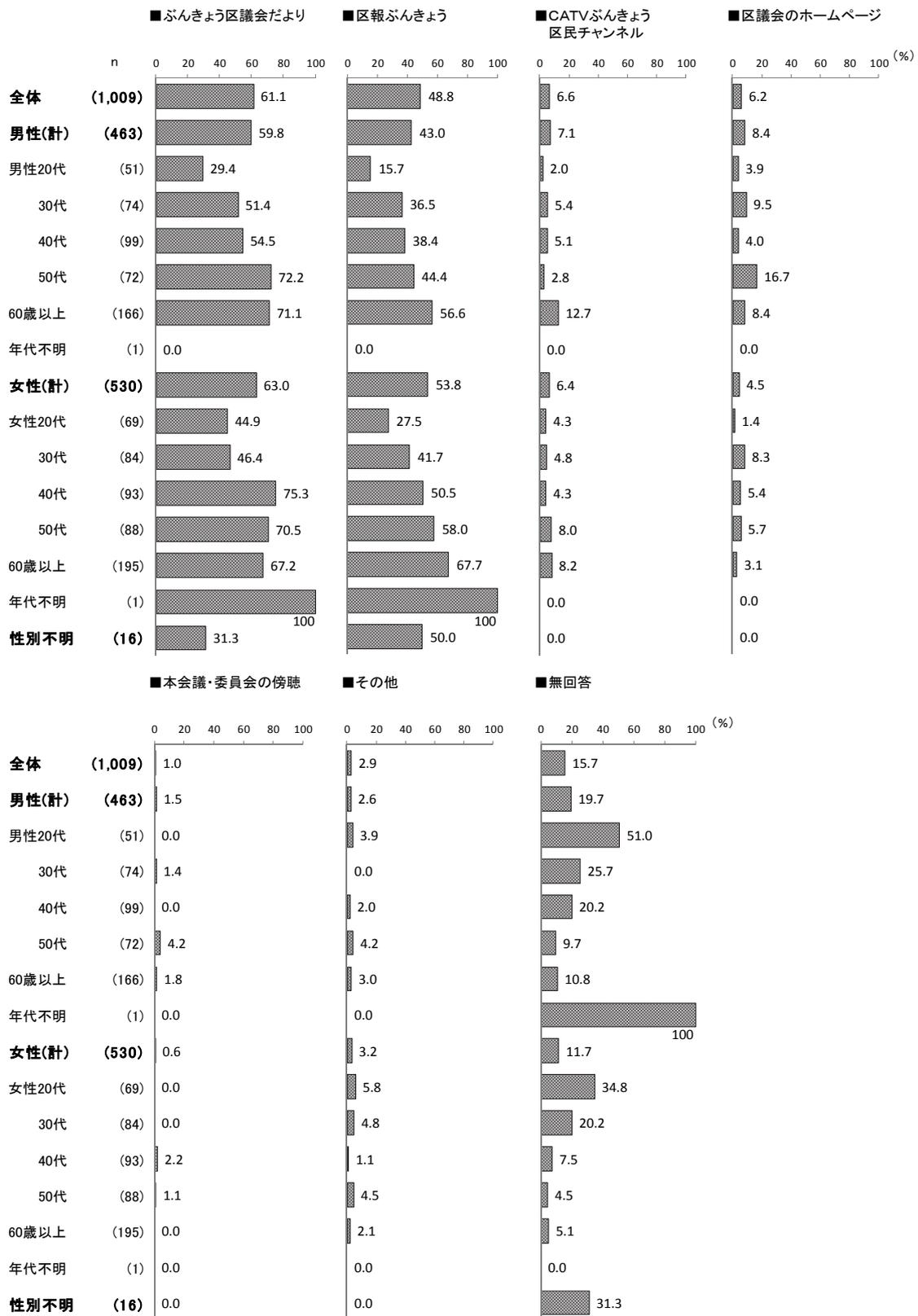
1 ぶんきょう区議会だより	(61.1%)	4 区報ぶんきょう	(48.8%)
2 区議会のホームページ	(6.2%)	5 CATVぶんきょう区民チャンネル	(6.6%)
3 本会議・委員会の傍聴	(1.0%)	6 その他	(2.9%)
無回答 (15.7%)			

図 11-1-1 区議会の活動の認知媒体



区議会の活動の認知媒体について聞いたところ、「ぶんきょう区議会だより」(61.1%)が6割を超え、「区報ぶんきょう」(48.8%)が5割近くと、この2項目が多くなっている。次いで、「CATVぶんきょう区民チャンネル」(6.6%)、「区議会のホームページ」(6.2%)、「本会議・委員会の傍聴」(1.0%)の順となっている。(図 11-1-1)

図 11-1-2 区議会の活動の認知媒体一性・年代別



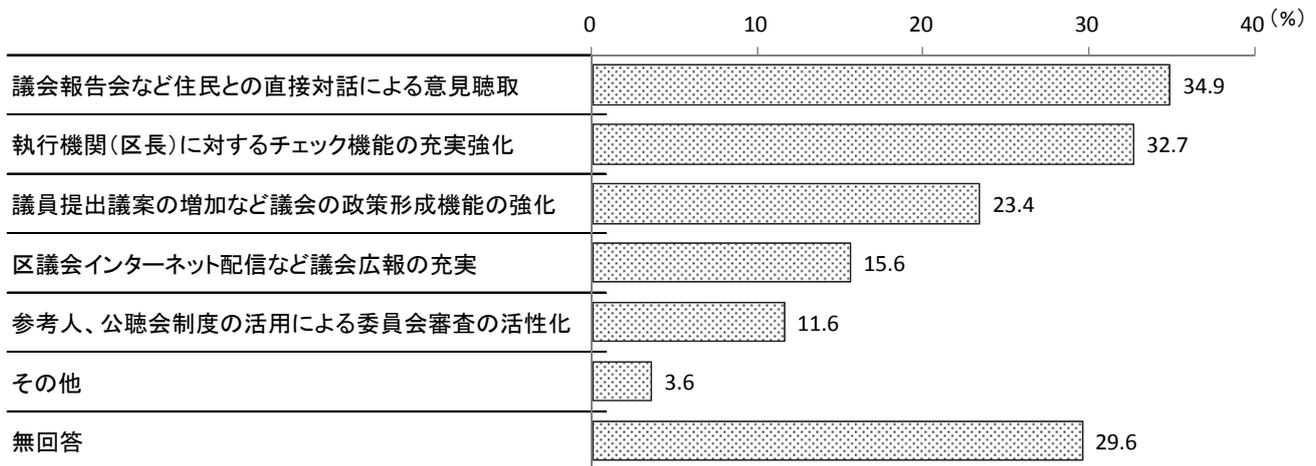
性・年代別にみると、「ぶんきょう区議会だより」は男性50代、60歳以上と女性40代、50代で7割以上となっている。また、「区報ぶんきょう」は男女ともに年齢があがるほど割合が高くなる傾向になっており、男性60歳以上で5割半ば、女性60歳以上で7割近くと多くなっている。(図11-1-2)

## 11-2 区議会の活動として期待すること

問 32 地方議会の活性化や議会改革が求められていますが、区議会の活動として期待することはどれですか。いくつでもお選びください。 (n=1,009)

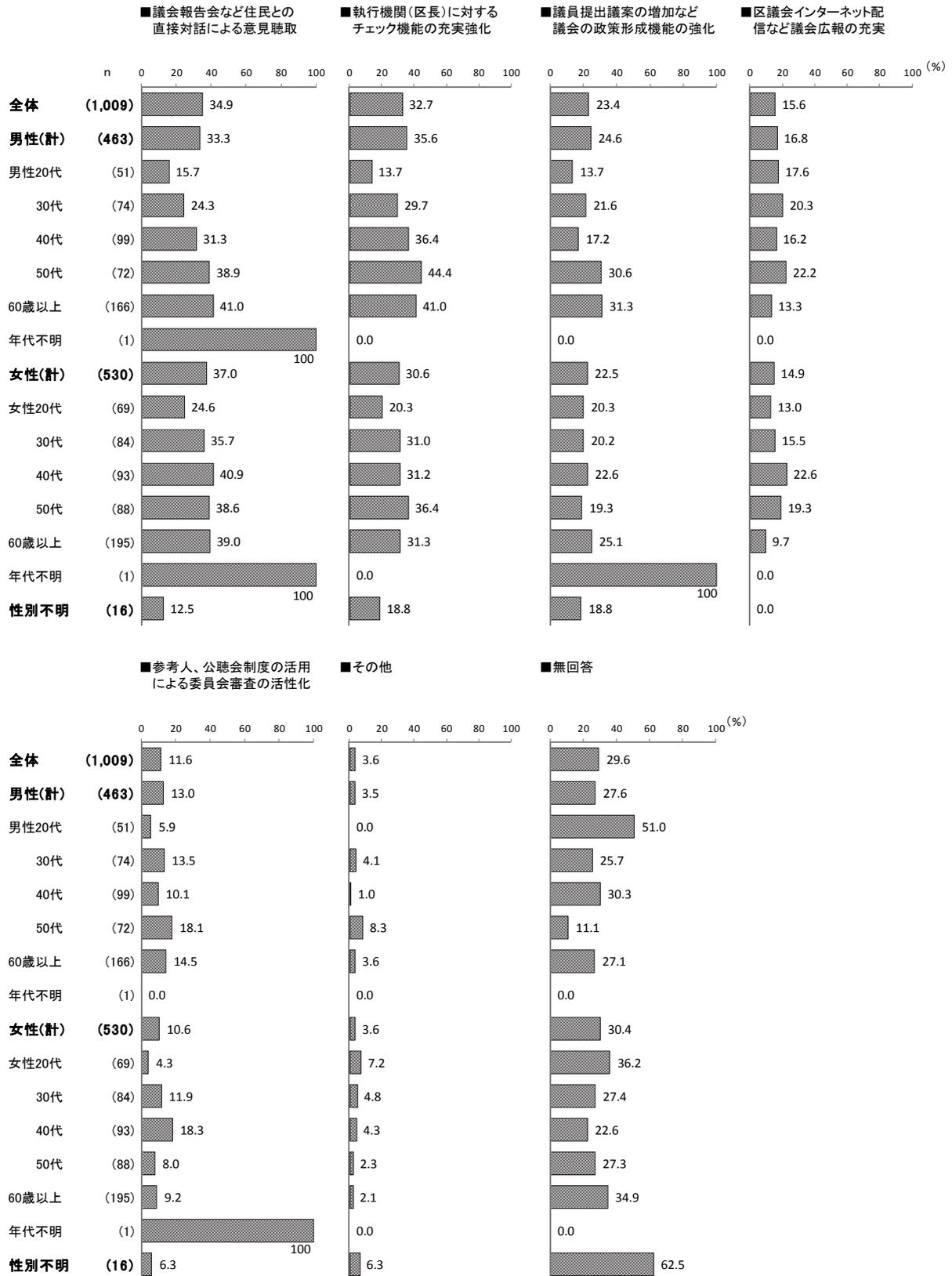
1 執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化	(32.7%)
2 議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化	(23.4%)
3 議会報告会など住民との直接対話による意見聴取	(34.9%)
4 参考人、公聴会制度の活用による委員会審査の活性化	(11.6%)
5 区議会インターネット配信など議会広報の充実	(15.6%)
6 その他	(3.6%)
	無回答 (29.6%)

図 11-2-1 区議会の活動として期待すること



区議会の活動として期待することについて聞いたところ、「議会報告会など住民との直接対話による意見聴取」(34.9%)が3割半ばと最も多く、次いで「執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化」(32.7%)、「議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化」(23.4%)、「区議会インターネット配信など議会広報の充実」(15.6%)、「参考人、公聴会制度の活用による委員会審査の活性化」(11.6%)の順となっている。(図 11-2-1)

図 11-2-2 区議会の活動として期待すること－性・年代別



性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向になっている。

性・年代別にみると、「議会報告会など住民との直接対話による意見聴取」は男性 50 代、60 歳以上と女性 40 代から 60 歳以上で 4 割前後と多く、「執行機関(区長)に対するチェック機能の充実強化」は男性 50 代、60 歳以上で 4 割を超え多くなっている。(図 11-2-2)

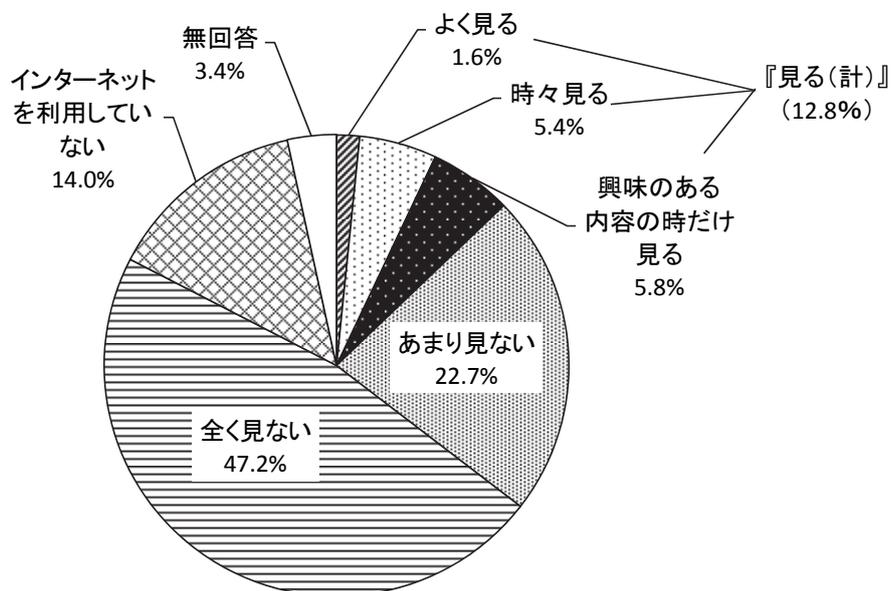
### 11-3 区議会ホームページの閲覧頻度

問 33 あなたは、区議会ホームページをどの程度閲覧されていますか。1つお選びください。

(n=1,009)

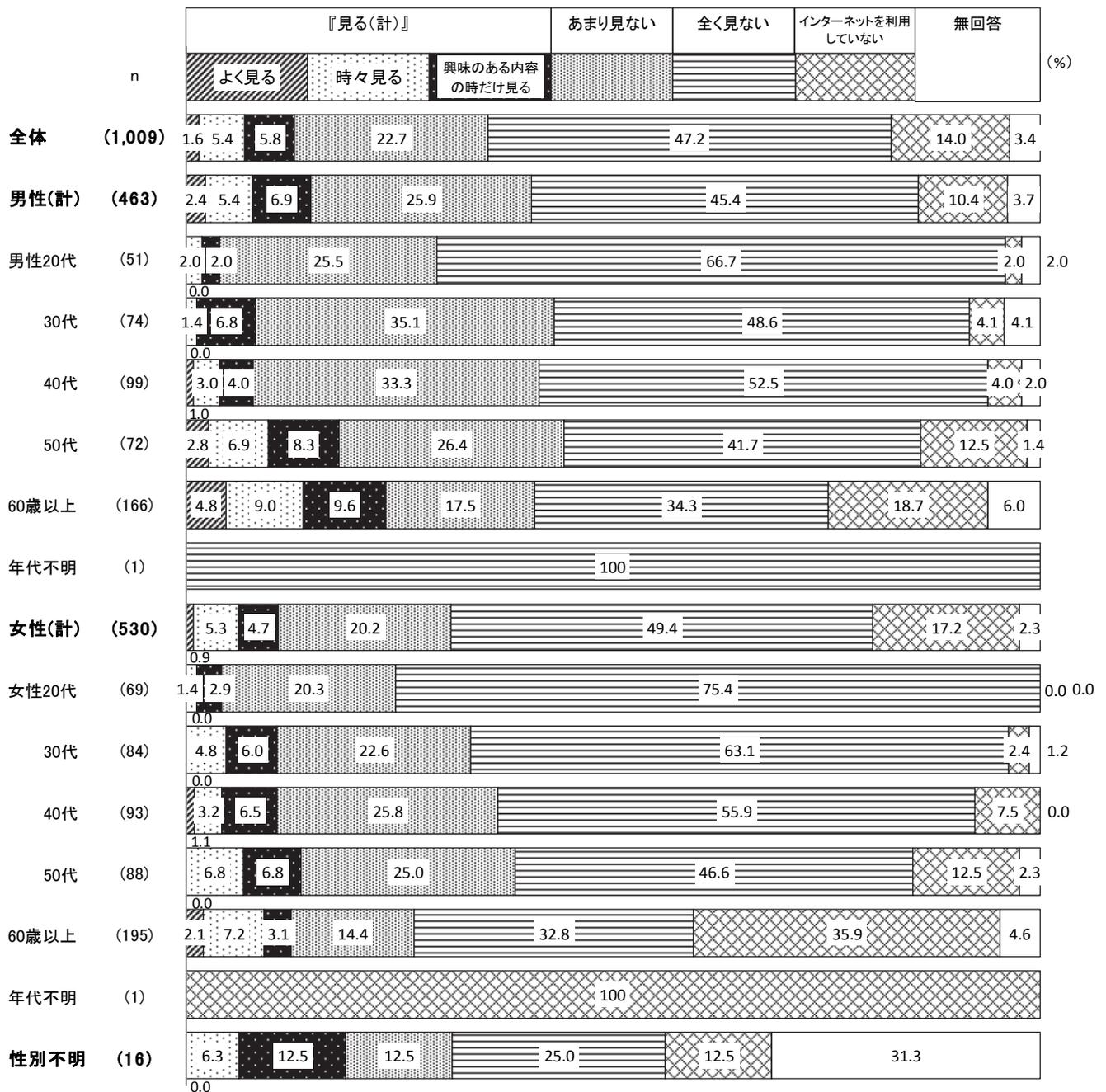
1 よく見る	(1.6%)	4 あまり見ない	(22.7%)
2 時々見る	(5.4%)	5 全く見ない	(47.2%)
3 興味のある内容の時だけ見る	(5.8%)	6 インターネットを利用していない	(14.0%)
無回答 (3.4%)			

図 11-3-1 区議会ホームページの閲覧頻度



区議会ホームページの閲覧頻度について聞いたところ、「よく見る」(1.6%)、「時々見る」(5.4%)、「興味のある内容の時だけ見る」(5.8%)を合わせた『見る(計)』(12.8%)が1割を超え、「あまり見ない」(22.7%)が2割以上となっている。一方、「全く見ない」(47.2%)が5割近く、「インターネットを利用していない」(14.0%)が1割半ばとなっている。(図 11-3-1)

図 11-3-2 区議会ホームページの閲覧頻度—性・年代別



性別にみると、「あまり見ない」は男性のほうが5.7ポイント高く、「インターネットを利用していない」は女性のほうが6.8ポイント高くなっている。

性・年代別にみると、「あまり見ない」は男性30代で3割半ば、「全く見ない」は女性で年代が低いほど割合が高い傾向にあり、女性20代で7割半ばと多くなっている。「インターネットを利用していない」は女性60歳以上で3割半ばと多くなっている。(図 11-3-2)

## 12. 広報

---

12-1 ケーブルテレビにあれば良いと思う番組

---



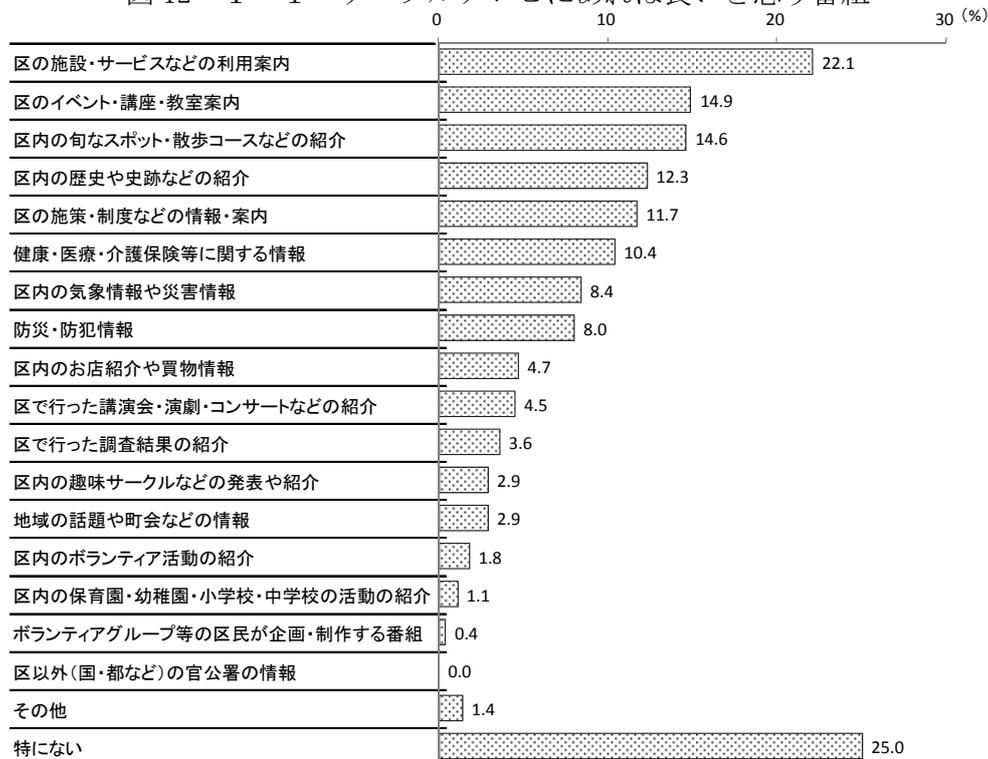
## 12 広報

### 12-1 ケーブルテレビにあれば良いと思う番組

問 34 区では「区民チャンネル」というケーブルテレビを運営しています。あなたは、「区民チャンネル」にどんな番組があればよい（見たい）と思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。 (n=1,009)

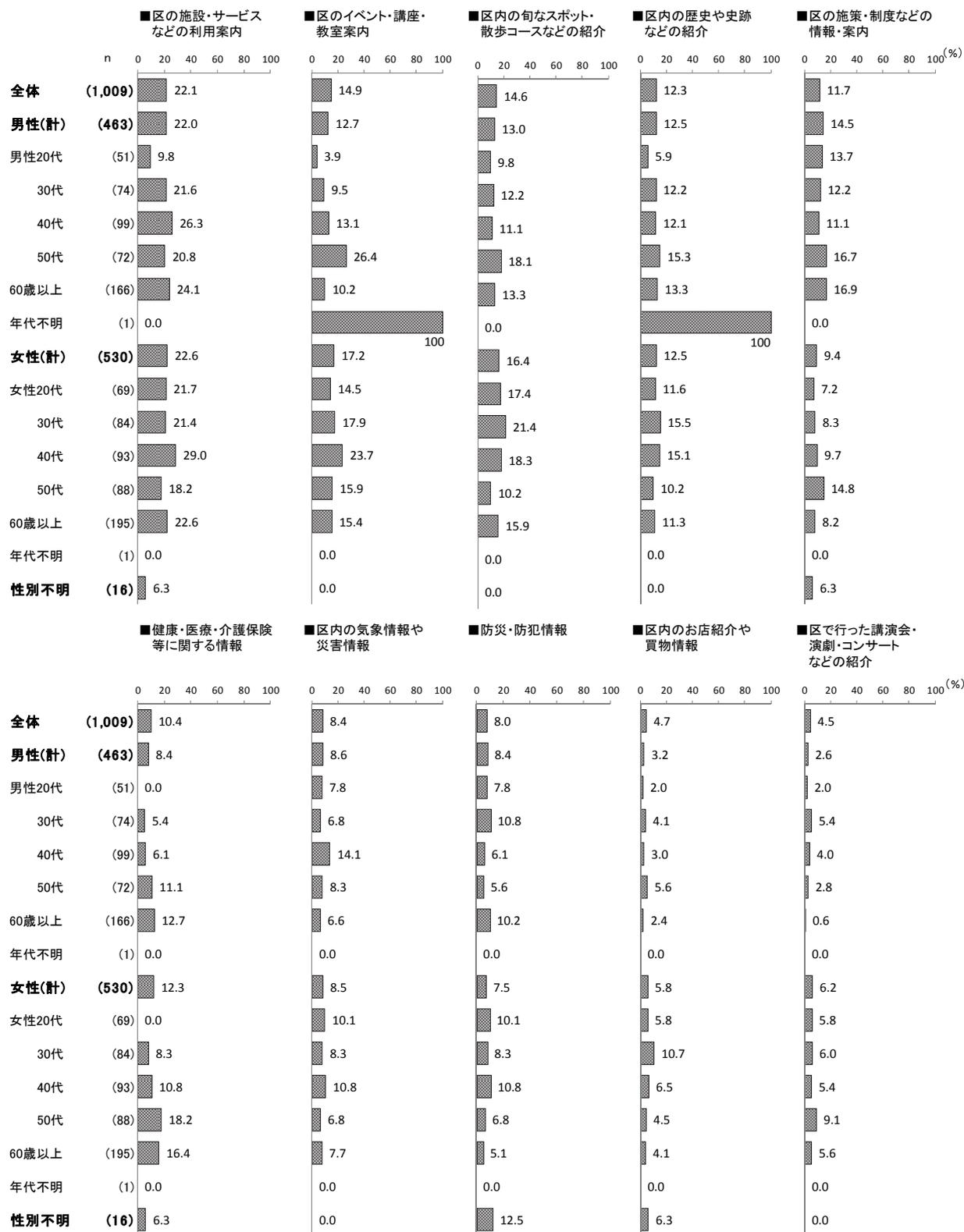
1 区の施策・制度などの情報・案内 (11.7%)	11 区内の気象情報や災害情報 (8.4%)
2 区の施設・サービスなどの利用案内(22.1%)	12 防災・防犯情報 (8.0%)
3 区のイベント・講座・教室案内 (14.9%)	13 区内のボランティア活動の紹介 (1.8%)
4 区内の歴史や史跡などの紹介 (12.3%)	14 区内のお店紹介や買物情報 (4.7%)
5 区内の旬なスポット・散歩コースなどの紹介 (14.6%)	15 区内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の活動の紹介 (1.1%)
6 区で行った調査結果の紹介 (3.6%)	16 区以外(国・都など)の官公署の情報 (0.0%)
7 区内の趣味サークルなどの発表や紹介 (2.9%)	17 ボランティアグループ等の区民が企画・制作する番組 (0.4%)
8 区で行った講演会・演劇・コンサートなどの紹介 (4.5%)	18 その他 (1.4%)
9 健康・医療・介護保険等に関する情報(10.4%)	19 特にない (25.0%)
10 地域の話や町会などの情報 (2.9%)	

図 12-1-1 ケーブルテレビにあれば良いと思う番組



ケーブルテレビにあれば良いと思う番組について聞いたところ、「区の施設・サービスなどの利用案内」(22.1%)が2割を超え最も多く、次いで「区のイベント・講座・教室案内」(14.9%)、「区内の旬なスポット・散歩コースなどの紹介」(14.6%)、「区内の歴史や史跡などの紹介」(12.3%)、「区の施策・制度などの情報・案内」(11.7%)、「健康・医療・介護保険等に関する情報」(10.4%)などの順となっている。(図 12-1-1)

図 12-1-2 ケーブルテレビにあれば良いと思う番組—性・年代別（上位 10 項目）



性別に上位 10 項目で見ると、「区の施策・制度などの情報・案内」は男性のほうが 5.1 ポイント高くなっている。

性・年代別に上位 10 項目で見ると、「区のイベント・講座・教室案内」は男性 50 代と女性 40 代で 2 割以上、「区内の旬なスポット・散歩コースなどの紹介」は女性 30 代で 2 割を超え多くなっている。（図 12-1-2）

### Ⅲ 使用した調査票



## 第22回 文京区政に関する世論調査

### ご協力のお願い

皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、文京区では、区政の各分野について区民の皆様が日頃感じていらっしゃることをお伺いし、今後の区政に役立てるために、「文京区政に関する世論調査」を3年ごとに実施しております。本年度は、8月10日号の区報でお知らせしましたとおり、8月中旬より実施することとなりました。

調査にあたりまして、区内にお住まいの20歳以上の方々の中から、無作為にあなた様をはじめ1,300人の方を調査対象者に選ばせていただきました。調査の結果は「こういった意見が何%」という形でしか発表いたしませんので、個人のお名前などが出ることは一切ありません。

なお、この調査票は、8月20日頃から9月初旬にかけて、下記の調査委託先（株式会社タイム・エージェント）の調査員が受け取りにお伺いいたしますので、ご回答のほどよろしくご協力申し上げます。郵送による回答を希望される場合は、下記調査委託先までご連絡願います。また、ご不明な点がございましたら下記までお問い合わせください。

ご多忙のところ、誠に恐縮ですが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成24年8月

文京区長  
成澤廣修

〈調査に関するお問い合わせ先〉  
株式会社タイム・エージェント  
東京都渋谷区円山町6-8松木家ビル3階  
電話03-3770-6831（直通）

受付時間  
月～金曜日 10:00～12:30、13:30～17:30

文京区役所 企画政策部 広報課 広聴・相談担当  
電話03-5803-1129（直通）

### ご記入にあたってのお願い

◎この調査票のご記入は、これを送付させていただいた宛名のご本人様をお願いいたします。

◎ご記入にあたっては、次の要領をお願いいたします。

1. ご回答は、あてはまる項目の番号に○印をつけてください。
2. 質問によって、○印は（1つ）（3つ以内）（いくつでも）といった、ことわり書きが付してありますので、ご回答にご注意ください。
3. ご回答が「その他」にあてはまる場合には、（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

#### ◆プライバシーマークとは…

経済産業省の外郭団体（財）日本情報処理開発協会が個人情報についての十分な保護策を講じた企業に対して付与する認定印です。（株）タイム・エージェントはプライバシーマークを取得しています。お客様からの信頼のみならず、情報提供者の方からも信頼されるよう、個人情報の保護に取り組んでいます。



【1 定住意向】

問1 あなたは、文京区にお住まいになって何年になりますか。1つお選びください。

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 5年未満   | 4 15～19年 |
| 2 5～9年   | 5 20～24年 |
| 3 10～14年 | 6 25年以上  |

問2 あなたは、これからも文京区に住み続けたいと思いますか。1つお選びください。

- |               |                |
|---------------|----------------|
| 1 ずっと住み続けたい   | 3 いずれは転出したい    |
| 2 当分の間は住んでいたい | 4 近いうちに転出するつもり |
|               | 5 わからない        |

(問2で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます)

問2-1 住み続けたいと思う理由を3つ以内でお選びください。

- |                              |
|------------------------------|
| 1 通勤・通学などの交通の便がよい            |
| 2 緑や街並みなどが整備されている            |
| 3 図書館、学校、保育園などの公共施設が整備されている  |
| 4 福祉施設や医療施設が整備されている          |
| 5 地元の商店などで生活に必要なものがそろい、便利である |
| 6 生まれ育った地域であり、愛着がある          |
| 7 持ち家のため、住み続けたい              |
| 8 その他(具体的に )                 |

【2 区政運営】

問3 次の区の施策のうち、あなたが満足に感じているものを、3つ以内でお選びください。

1 学校教育施策	14 都市整備施策
2 生涯学習施策	15 清掃・リサイクル施策
3 レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	16 環境施策
4 伝統文化保存施策	17 住宅・定住施策
5 地域内外の人との交流推進施策	18 公園・緑化・景観施策
6 保健衛生施策	19 防災施策
7 子育て支援施策	20 コミュニティ振興施策
8 高齢者施策	21 NPO・ボランティア振興施策
9 障害者施策	22 中小企業・商業振興施策
10 ひとり親施策	23 消費者保護施策
11 低所得者施策	24 地域情報化施策
12 青少年施策	25 その他
13 男女平等参画施策	(具体的に )
	26 特にない

問4 次の区の施策のうち、あなたが不満に感じているものを、3つ以内でお選びください。

1 学校教育施策	14 都市整備施策
2 生涯学習施策	15 清掃・リサイクル施策
3 レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	16 環境施策
4 伝統文化保存施策	17 住宅・定住施策
5 地域内外の人との交流推進施策	18 公園・緑化・景観施策
6 保健衛生施策	19 防災施策
7 子育て支援施策	20 コミュニティ振興施策
8 高齢者施策	21 NPO・ボランティア振興施策
9 障害者施策	22 中小企業・商業振興施策
10 ひとり親施策	23 消費者保護施策
11 低所得者施策	24 地域情報化施策
12 青少年施策	25 その他
13 男女平等参画施策	(具体的に )
	26 特にない

問5 次の区の施策のうち、あなたがさらに力を入れるべきだと考えるものを、順位をつけて、3つ以内で選び、下の記入欄に番号をご記入ください。

1 学校教育施策	14 都市整備施策
2 生涯学習施策	15 清掃・リサイクル施策
3 レクリエーション・スポーツ・芸術振興施策	16 環境施策
4 伝統文化保存施策	17 住宅・定住施策
5 地域内外の人との交流推進施策	18 公園・緑化・景観施策
6 保健衛生施策	19 防災施策
7 子育て支援施策	20 コミュニティ振興施策
8 高齢者施策	21 NPO・ボランティア振興施策
9 障害者施策	22 中小企業・商業振興施策
10 ひとり親施策	23 消費者保護施策
11 低所得者施策	24 地域情報化施策
12 青少年施策	25 その他
13 男女平等参画施策	(具体的に )
	26 特にない

1位

2位

3位

問6 区の財政状況に関心がありますか。1つお選びください。

1 大いにある	3 あまりない
2 少しはある	4 わからない

(問6で「1」または「2」とお答えの方にうかがいます)

問6-1 あなたは、区の財政状況について、どのような印象をお持ちですか。1つお選びください。

1 極めて厳しい	4 まだまだ余裕がある
2 厳しい	5 わからない
3 普通	

問7 質の高い効率的な行財政体制を確立するため、不断に行財政改革に取り組み、着実に成果をあげてきました。景気の低迷による厳しい経済状況の中でも財政の健全化を更に進めていくためには、今後どのようなことに力を入れていくべきだと考えますか。3つ以内でお選びください。

- 1 公共施設の老朽化や移転等に伴い、現施設や跡施設の有効活用を図る
- 2 職員数の適正化などにより、人件費を抑制する
- 3 費用対効果の検証を踏まえて、必要性が低くなった事業を廃止・縮小する
- 4 特定の人が利便を受けるサービスや施設利用に対しては、応分の負担をしていただく
- 5 民間との役割分担を見直し、民間委託や指定管理者制度を積極的に利用する
- 6 区民やNPOなどとの協働を推進して、公共サービスの提供を行う
- 7 区民の意向を踏まえて、行政サービスの水準を見直す
- 8 その他（具体的に \_\_\_\_\_ )
- 9 わからない

【3 協働・協治】

問8 平成19年12月文京区地域公益活動情報サイト「こらびっと文京」を開設しました。このサイトは区内のNPO、ボランティア団体、町会・自治会及び社会教育団体等を支援し、活動の情報を提供するものです。このサイトをご存じですか。1つお選びください。

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1 アクセスしたことがある           | 3 知らない            |
| 2 聞いたことはあるがアクセスをしたことはない | 4 インターネットを利用していない |

問9 区内でNPO、ボランティア団体及び町会・自治会等の地域に貢献する活動を行っている団体、組織やグループの活動に参加していますか。参加しているものを、すべてお選びください。

- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 町会・自治会     | 6 企業による奉仕活動   |
| 2 PTA        | 7 有志・仲間との奉仕活動 |
| 3 青少年対策地区委員会 | 8 その他         |
| 4 ボランティア団体   | (具体的に )       |
| 5 NPO        | 9 参加していない     |

問9-1 参加されている方にお伺いします。その活動は、どのような分野ですか。参加しているものを、すべてお選びください。

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1 区のイベント・行事の運営          | 10 公園管理・緑化          |
| 2 広報(CATV、区報など)         | 11 まちの清掃・リサイクル      |
| 3 防犯・地域安全活動             | 12 放置自転車対策          |
| 4 防災(災害発生時の支援ボランティアなど)  | 13 生涯学習(講座・教室の開催など) |
| 5 地域おこし(商店街、地域産業の活性化など) | 14 文化・芸術活動          |
| 6 青少年育成                 | 15 スポーツ活動           |
| 7 子育て支援                 | 16 外国人との交流・支援       |
| 8 高齢者・障害者の福祉            | 17 公共施設の管理・運営       |
| 9 健康づくり                 | 18 その他              |
|                         | (具体的に )             |

問9-2 すべての方にお伺いします。今後参加してみたいと思う地域での活動は、どのような分野ですか。参加してみたいものを、すべてお選びください。

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| 1 区のイベント・行事の運営          | 10 公園管理・緑化          |
| 2 広報（CATV、区報など）         | 11 まちの清掃・リサイクル      |
| 3 防犯・地域安全活動             | 12 放置自転車対策          |
| 4 防災（災害発生時の支援ボランティアなど）  | 13 生涯学習（講座・教室の開催など） |
| 5 地域おこし（商店街、地域産業の活性化など） | 14 文化・芸術活動          |
| 6 青少年育成                 | 15 スポーツ活動           |
| 7 子育て支援                 | 16 外国人との交流・支援       |
| 8 高齢者・障害者の福祉            | 17 公共施設の管理・運営       |
| 9 健康づくり                 | 18 その他<br>（具体的に     |

）

【4 防災・安全・まちづくり】

問 10 あなたは、災害に備えて、どのような対策をとっていますか。次の中からいくつでもお選びください。

1 食料・飲料水の確保	7 建物の耐震性および耐火性の確保
2 消火器・救急セットなどの用意	8 避難所等への避難方法の確認
3 ラジオ、懐中電灯等の非常持ち出し品の用意	9 家族との連絡方法・集合場所の確認
4 貴重品を持ち出す準備	10 その他
5 家具等の転倒防止	(具体的に )
6 ガラスの飛散防止	11 特に何もしていない

問 11 防災事業の利用度・参加度についてお伺いします。

(1) これらの事業をご存じですか。いくつでもお選びください。

(2) これらの事業を利用・参加したことがありますか。いくつでもお選びください。

(3) これらの事業を今後利用したいと思いませんか。いくつでもお選びください。

項目	(1) 知っている	(2) 利用・参加 したことがある	(3) 今後利用したい
ア 総合防災訓練	1	2	3
イ 避難所運営訓練	1	2	3
ウ 防災教室	1	2	3
エ 災害時要援護者名簿の登録	1	2	3
オ マイルームセイフティ事業 (家具類転倒・落下防止金具の設置)	1	2	3
カ 安心・防災メール	1	2	3
キ 防災ホームページ	1	2	3

問 12 あなたは、文京区暴力団排除条例が平成 24 年 4 月に施行されたことをご存じですか。

1 知っている	2 知らなかった
---------	----------

問 13 区では登録者に安心・防災メールを配信しています。あなたは、どのような情報の配信を希望しますか。 いくつでもお選びください。

- |            |          |
|------------|----------|
| 1 防犯等安心情報  | 5 交通情報   |
| 2 地震(震度)情報 | 6 イベント情報 |
| 3 気象情報     | 7 その他    |
| 4 災害情報     | (具体的に )  |

問 14 あなたが防犯対策として有用と考えるものは何ですか。 いくつでもお選びください。

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1 防犯カメラ        | 5 警察官の巡回          |
| 2 地域住民によるパトロール | 6 推進地区指定による地域での取組 |
| 3 青色パトロールカー運行  | 7 その他             |
| 4 安心メール配信      | (具体的に )           |

問 15 自転車の安全利用の推進のためには、あなたが重点を置くべきと思う施策について、次のなかから 3つ以内でお選びください。

- |   |
|---|
| 1 自転車レーンや自転車専用通行帯等の自転車専用走行空間の整備による歩行者と自転車との分離 |
| 2 広報や自転車実技教室・体験型交通安全教室等による自転車利用者のマナー向上        |
| 3 街頭での無灯火、危険、迷惑走行、信号無視や整備不良の指導取締りの強化          |
| 4 放置自転車への警告、撤去の強化                             |
| 5 駅周辺や商業・集客施設等の自転車駐車場の整備促進                    |
| 6 その他<br>(具体的に )                              |
| 7 特にない  |
| 8 わからない                                       |

問 16 あなたがお住まいの周辺地域のまち並み・景観について、どのように感じますか。 1つお選びください。

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| 1 満足している         | 4 どちらかといえば不満である |
| 2 どちらかといえば満足している | 5 不満である         |
| 3 普通             | 6 あまり考えたことはない   |

問 16-1 どのようなまち並み・景観が良いと感じますか。3つ以内でお選びください。

- 1 区内に多くある坂道の景観
- 2 歴史的な雰囲気のみち並み
- 3 住宅地として落ち着いた雰囲気のみち並み
- 4 寺社仏閣が多く集積した寺町の落ち着いたまち並み
- 5 下町風情のあるまち並み
- 6 水と緑による潤いのある神田川の景観
- 7 駅前や商店街などにおける人々の賑わいのある景観
- 8 公園や庭園の緑が見える景観
- 9 建物の緑化や街路樹の緑がつくる潤いのあるまち並み
- 10 建物の高さや色彩が調和しているまち並み
- 11 高台から見渡せる眺望
- 12 その他  
(具体的に )
- 13 良いと感じるまち並み・景観は特になし

問 17 区では、平成 21 年 4 月 1 日から「文京区歩行喫煙等の禁止に関する条例」を施行し、区内の公共の場所（屋外に限る）における歩きタバコとポイ捨て及び駅出入口前などの重点地域での路上喫煙を禁止しています。このことをご存じですか。1つお選びください。

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 1 よく知っている            | 3 知らない |
| 2 聞いたことはあるが内容はよく知らない |        |

【5 コミュニティ】

問 18 あなたの世帯は、町会や自治会に加入していますか。

1 加入している

2 加入していない

問 19 あなたは、今後、町会や自治会活動に参加したいと思いますか。 1つお選びください。

1 参加したい

3 参加したくない

2 機会があれば参加したい

4 どちらともいえない

問 20 町会・自治会に期待する内容はどのようなことですか。 いくつでもお選びください。

1 防災・防犯活動

6 高齢者・障害者・児童に対する福祉活動

2 交通事故防止活動

7 行政との連携

3 清掃・リサイクル活動事業などの環境活動

8 募金活動

4 お祭などのイベント

9 その他

5 地域親睦・交流活動

(具体的に

)

10 特にない

【6 子育て・教育】

問 21 子育て支援策として、区はどのような施策を実施すべきでしょうか。3つ以内でお選びください。

- 1 保育園・育成室等の保育サービスの充実
- 2 職場での育児休暇制度の充実など就労と育児の両立支援の推進
- 3 安心して育てるための環境の整備（道路の段差解消、公園整備など）
- 4 子育て中の親が情報交換できる場の整備
- 5 子育て情報の提供や各種相談サービスの充実
- 6 乳幼児等の健康の維持及び増進のための保健サービスの充実
- 7 経済的な支援の充実
- 8 一時預かり保育などの充実
- 9 児童虐待防止対策の充実
- 10 防犯等の子どもの安全対策の充実
- 11 非行等の防止対策の充実
- 12 ボランティアなどによる地域での子育て支援体制の整備
- 13 その他  
（具体的に

)

問 22 子育て支援サービスについてお伺いします。

- (1) これらのサービスをご存じですか。いくつでもお選びください。  
 (2) これらのサービスを利用したことはありますか。いくつでもお選びください。  
 (3) これらのサービスを今後利用したいと思いませんか。いくつでもお選びください。

項目		(1) 知っている	(2) 利用した ことがある	(3) 利用したい
1	両親学級、母親学級	1	2	3
2	保健サービスセンターの親子交流の場や相談サービス	1	2	3
3	教育に関する悩みや心配事を相談する教育相談室	1	2	3
4	保育園や幼稚園の園庭等の開放	1	2	3
5	身近な地域における 親子の交流の場	1	2	3
	5-①児童館	1	2	3
	5-②子育てひろば 5-③ぴよぴよひろば (子ども家庭支援センター内)	1	2	3
6	ファミリーサポートセンター	1	2	3
7	子ども家庭支援センターの総合相談、子育て支援講座	1	2	3
8	子育て支援ホームヘルパー派遣事業	1	2	3
9	一時保育事業(キッズルーム)	1	2	3
10	緊急一時・リフレッシュ時保育事業(保育園)	1	2	3
11	病児・病後児保育事業	1	2	3
12	民生委員・児童委員への子育てや児童問題の相談・援助	1	2	3

問 23 青少年健全育成に関して地域の大人たちができること、またやるべきことは何だと思いませんか。  
 いくつでもお選びください。

1 大人自身が社会規範を守る姿勢を示すこと 2 子ども達に進んで「おはよう」「こんにちは」等あいさつをすること 3 地域や学校の行事に参加、協力すること 4 子ども達を犯罪から守るため、地域での防犯体制を強化すること 5 近所の知り合いの子どもの育成に手を貸すこと 6 地域の関わりは必要だと思うが、実際に子どもの健全育成に関わるのは難しい 7 子育ては家庭の問題だと思う 8 その他 (具体的に ) 9 わからない
---

問 24 区立の小中学校では、次のような学校支援活動が実施されています。

(1) これらの活動をご存じですか。いくつでもお選びください。

(2) これらの活動に今後協力したいと思いませんか。いくつでもお選びください。

項目	(1) 知っている	(2) 協力したい
1 スクールガード 登下校等の見守りを行うボランティア	1	2
2 学校図書ボランティア 児童に本の読み聞かせ等を行うボランティア	1	2
3 学習ボランティア 学校において学習指導等を行うボランティア	1	2
4 バリアフリーパートナー 学校での特別な支援を必要とする子どもたちを支援するボランティア	1	2
5 ゲストティーチャー 授業で特技や専門分野等を子どもたちに教えるボランティア	1	2
6 学校支援地域本部事業 PTA や地域の人が、ボランティアで学校運営をサポートする事業	1	2

【7 障害者】

問 25 あなたは、障害のある人もない人も、子どもも高齢者も、すべての人が地域で普通（ノーマル）の生活を送ることを当然とし、共に認めあって普通の生活ができる社会を創造するという「ノーマライゼーション」の考え方をご存じですか。1つお選びください。

1 知っている	3 知らない
2 言葉だけは聞いたことがある	

問 25-1 区では、ノーマライゼーションの理念に基づき、障害の有無にかかわらず、ともに住み慣れた地域で生活をするため、障害に対する正しい知識を広め理解の促進を図っています。このような考え方があなたの周りや地域に浸透していると思いませんか。1つお選びください。

1 そう思う	4 そう思わない
2 どちらかといえばそう思う	5 一概にいけない
3 どちらかといえばそう思わない	6 わからない

問 25-2 あなたは、「ノーマライゼーション」の考え方を広く区民に定着させるために、どのようにしたらよいと思いますか。3つ以内でお選びください。

- 1 障害や障害のある人への理解を深めるための啓発・広報活動（情報提供）
- 2 障害のある人とない人が共に参加できるイベントの開催
- 3 学校における障害や障害のある人に対する理解を深める授業や活動の実施
- 4 町会・自治会等による地域での福祉に対する意識を高める活動
- 5 社会福祉協議会や関係機関・団体による福祉に対する意識を高める活動
- 6 障害のある人のスポーツ、レクリエーション及び文化活動の充実や広報活動
- 7 障害のある人に対するボランティアの育成及び活動支援
- 8 見守りや声かけ等、障害のある人と日常的に接する機会を多くするような活動
- 9 その他  
（具体的に )

【8 商店街・産業（消費者相談）】

問 26 あなたは、消費生活センターに消費者と事業者との間に生じたトラブルを相談するコーナーがあることをご存知ですか。1つお選びください。

- 1 相談したことがある
- 2 相談したことは無いが、知っている
- 3 知らない

【9 文化振興】

問 27 区では、大学や企業とも連携して、多様な生涯学習講座を開催していきます。そこで、あなたは、どのような講座があれば参加したいですか。3つ以内でお選びください。

- 1 趣味・娯楽に関するもの（茶道、書道、囲碁、将棋など）
- 2 教養に関するもの（語学、歴史、文学など）
- 3 芸術・文化に関するもの（絵画、音楽など）
- 4 現在の仕事や将来の就職・転職に必要な知識・技能に関するもの（資格取得）
- 5 ボランティア活動に必要な知識・技能等に関するもの
- 6 スポーツに関するもの（テニス、ヨガなど）
- 7 健康に関するもの
- 8 その他  
（具体的に )
- 9 特にない

問 28 文化・芸術及び生涯学習活動の情報入手にあたって、充実を望む媒体はなんですか。いくつでもお選びください。

- 1 区の広報（区報ぶんきょう・財団広報誌スクエア・CATV）
- 2 インターネット（HP・ツイッター）
- 3 チラシ・ポスター
- 4 文化・芸術に関する総合窓口
- 5 その他  
（具体的に

）

【10 循環型社会】

問 29 あなたが、地域生活での環境に関して関心のある事項は次のうちどれですか。3つ以内でお選びください。

- 1 大気、水質、土壌、騒音、振動、悪臭
- 2 みどりの育成、保護
- 3 化学物質、環境ホルモン
- 4 動物（ペット含む）・鳥・虫等による衛生被害
- 5 電気、ガス等の省エネルギー
- 6 自動車排ガス規制
- 7 グリーン購入（環境への影響ができるだけ小さいものを優先して購入する）
- 8 太陽光発電等の新エネルギー・省エネルギー機器の導入
- 9 温室効果ガスの削減に対する取組み（地球温暖化対策）
- 10 その他  
（具体的に
- 11 特にない

）

問 30 区では、環境負荷の少ない循環型社会を目指し、平成 23 年 3 月に文京区一般廃棄物処理基本計画（モノ・プラン文京）を改定しました。あなたは、この計画をご存じですか。1つお選びください。

- 1 知っている
- 2 聞いたことがある
- 3 知らない

問 30-1 文京区一般廃棄物処理基本計画では、10年間で、ごみ量の約20%削減・資源回収量の約10%増加を目標としています。あなたは、この目標を達成するために、どのようなことを実践すると良いとお考えですか。3つ以内でお選びください。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 マイバッグの持参              | 9 リサイクル推進協力店の利用         |
| 2 マイ箸・マイボトル・マイカップの使用    | 10 町会などでの集団回収に参加        |
| 3 過剰包装を断る               | 11 資源となるものは分別して出す       |
| 4 チラシ・ダイレクトメールを断る       | 12 修理可能なものは修理して使う       |
| 5 食材を使い切る等、生ごみを出さない     | 13 再生品・環境配慮型商品を利用する     |
| 6 生ごみの水分をよく切ってから捨てる     | 14 ごみ減量に関する勉強会・講座等に参加する |
| 7 生ごみ堆肥づくり              | 15 その他                  |
| 8 フリーマーケット・リサイクルショップの利用 | (具体的に )                 |

【11 区議会】

問 31 あなたは、区議会の活動を、どのようにしてお知りになっていますか。いくつでもお選びください。

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| 1 ぶんきょう区議会だより | 4 区報ぶんきょう          |
| 2 区議会のホームページ  | 5 CATVぶんきょう区民チャンネル |
| 3 本会議・委員会の傍聴  | 6 その他              |
|               | (具体的に )            |

問 32 地方議会の活性化や議会改革が求められています。区議会の活動として期待することはどれですか。いくつでもお選びください。

- |                            |
|----------------------------|
| 1 執行機関（区長）に対するチェック機能の充実強化  |
| 2 議員提出議案の増加など議会の政策形成機能の強化  |
| 3 議会報告会など住民との直接対話による意見聴取   |
| 4 参考人、公聴会制度の活用による委員会審査の活性化 |
| 5 区議会インターネット配信など議会広報の充実    |
| 6 その他（具体的に )               |

問 33 あなたは、区議会ホームページをどの程度閲覧されていますか。1つお選びください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1 よく見る          | 4 あまり見ない          |
| 2 時々見る          | 5 全く見ない           |
| 3 興味のある内容の時だけ見る | 6 インターネットを利用していない |

【12 広報】

問 34 区では「区民チャンネル」というケーブルテレビを運営しています。あなたは、「区民チャンネル」にどんな番組があればよい（見たい）と思いますか。次の中からあてはまるものを3つ以内でお選びください。

- |                          |                             |
|--------------------------|-----------------------------|
| 1 区の施策・制度などの情報・案内        | 11 区内の気象情報や災害情報             |
| 2 区の施設・サービスなどの利用案内       | 12 防災・防犯情報                  |
| 3 区のイベント・講座・教室案内         | 13 区内のボランティア活動の紹介           |
| 4 区内の歴史や史跡などの紹介          | 14 区内のお店紹介や買物情報             |
| 5 区内の旬なスポット・散歩コースなどの紹介   | 15 区内の保育園・幼稚園・小学校・中学校の活動の紹介 |
| 6 区で行った調査結果の紹介           | 16 区以外（国・都など）の官公署の情報        |
| 7 区内の趣味サークルなどの発表や紹介      | 17 ボランティアグループ等の区民が企画・制作する番組 |
| 8 区で行った講演会・演劇・コンサートなどの紹介 | 18 その他                      |
| 9 健康・医療・介護保険等に関する情報      | （具体的に                       |
| 10 地域の話や町会などの情報          | 19 特にな                      |

【フェイスシート】最後にあなたとご家族のことについてお尋ねします。

F 1 あなたの性別は。

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

F 2 あなたの年齢は満何歳ですか。

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1 20～29 歳 | 4 50～59 歳 |
| 2 30～39 歳 | 5 60～64 歳 |
| 3 40～49 歳 | 6 65 歳以上  |

F 3 あなたのご職業は次のどれですか。1つお選びください

- |             |              |
|-------------|--------------|
| 1 自営業・事業主   | 5 主婦         |
| 2 管理職・自由業   | 6 学生         |
| 3 事務職・技術職   | 7 無職         |
| 4 労務職・サービス業 | 8 その他（具体的に ) |

F 4 一緒に住んでいるご家族は、あなたを含めて何人ですか。

- |      |        |
|------|--------|
| 1 1人 | 4 4人   |
| 2 2人 | 5 5人   |
| 3 3人 | 6 6人以上 |

F 5 あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。

- |           |                |
|-----------|----------------|
| 1 一戸建て持ち家 | 4 賃貸マンション、アパート |
| 2 一戸建て借家  | 5 社宅、寮など       |
| 3 分譲マンション | 6 その他（具体的に )   |

F 6 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。

独 身	1 20～39 歳 2 40～64 歳 3 65 歳以上
子どもがいない夫婦	4 本人 20～39 歳 5 本人 40～64 歳 6 本人 65 歳以上
子どもがいる夫婦	7 一番上の子どもが小学校入学前 8 一番上の子どもが小・中学生 9 一番上の子どもが高校・大学生 10 本人が 64 歳以下で、一番上の子どもが学校卒業 11 本人が 65 歳以上で、一番上の子どもが学校卒業

長時間ご協力をいただき、ありがとうございました。

## 第 22 回 文京区政に関する世論調査

---

■発	行	平成 24 年 12 月発行 文京区企画政策部広報課 文京区春日 1-16-21 電話 03-5803-1129 (直通)	印刷物番号 C0212006
■実	施	株式会社タイム・エージェント 渋谷区円山町 6-8 電話 03-3770-6821 (代表)	

---